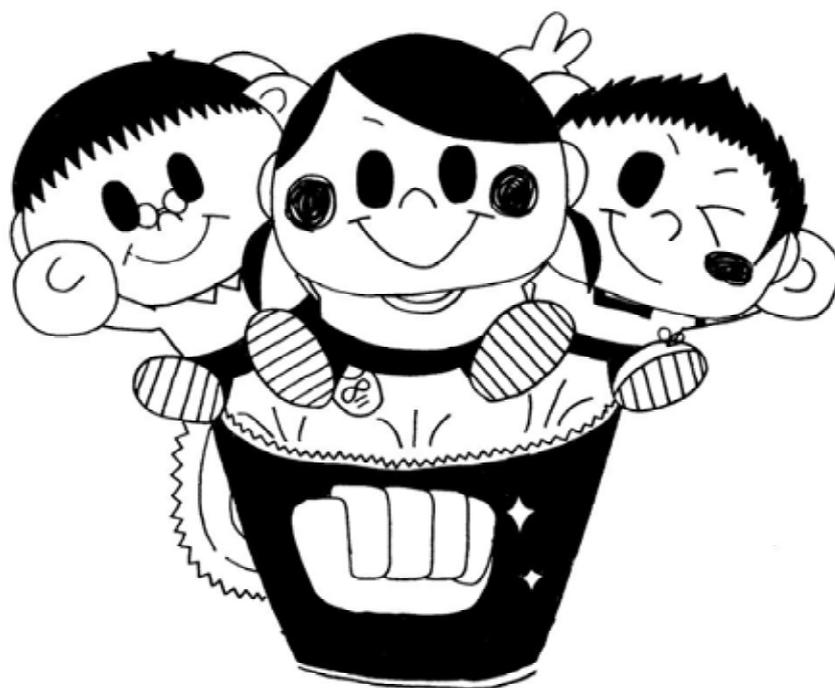


# 地域活性工場産 「元気の缶詰」

～子ども・若者が主体的に参画するための活動プログラム集～



平成 18 年 3 月

神奈川県青少年指導者養成協議会

## 「かながわ青少年支援・指導者育成指針」による定義

### 「青少年支援・指導者」について

ここで言う『青少年支援・指導者』とは、例えば親や地域の大人などを含めた青少年に関わるすべての大人を指しているのではなく、青少年活動や地域活動で実際に青少年を支援するあるいは指導する大人・若者を指しています。

### 「青少年」「子ども」「若者」について

ここで言う『青少年』とは概ね 30 歳未満の子ども・若者のことを言います。また『子ども』は学童期までとし、『若者』は中高生以降を指しています。

この事例集では、『子ども』『若者』について、上記のような定義としておりますが、取材先の代表者による原稿などでは異なる表現のものもあります。

## この活動プログラム集に出てくる用語

**子ども活動**：ここで言う『子ども活動』とは、日常的な自然発生的遊びから、子ども会活動や子どもが関わるイベントまで含みます。

**地域社会**：お互いに助け合ったり、協力し合うという関係性を維持しながら、自分たちが住んでいるところを住みやすくしようとする集団のことです。

**地域**：「単なる区切られた土地」「土地の区域」「地形が隣接している、同じ性質をもっているなどの理由からひとまとめにされる土地」のことです。

**JL**：ジュニアリーダー・・・地域の子ども会などを支援する活動をしている若者を指すことが多いようです。団体(ジュニアリーダーズクラブ等)によって多少異なりますが中高生年齢が多いようです。

**SL**：シニアリーダー・・・多くは 18 歳から 20 代の若者で、ジュニアリーダーを指導する立場にありますが、地域で直接子どもたちと関わる活動もしています。

イラスト：表紙・目次裏・ の扉・本文(P.10, 38, 46, 64, 110)・資料の扉・裏表紙  
伊勢原ジュニアリーダーズクラブ 会長 道合 美帆

のイラストは、各団体のチラシ等から掲載させていただきました。その他のイラストは、著作権フリーのイラスト集・イラスト提供サイトより掲載させていただきました。写真に関しては、各団体に御提供いただいたものを掲載させていただきました。

## はじめに

神奈川県青少年指導者養成協議会では、子ども・若者が地域活動に主体的に参画し、他者とのコミュニケーションを通して人への信頼感、愛着を醸成していくため平成 16 年度からさまざまな取り組みを進めております。

しかしながら、最近の子どもや若者は社会性が欠如しているとか、子どもを取り巻く地域社会が希薄になっているとか、また、異世代同士で交流する機会も少なくなるなど子どもが健やかに育つ地域社会の基盤が失われてきております。

「子ども・若者が現実社会の中でできるだけ多くの人と関わり、実体験を積むことにより社会性が身につき、コミュニケーション能力が高まり、対人関係が円滑になる。」という考え方のもとに、プログラムを作るとともに、若者が地域で子ども活動を展開している事例をまとめました。

若者が立ち上げ、地域の大人を巻き込み、子どもが参加したくなるような活動プログラム「みんなで先生体験」「私たちの地域の教科書づくり」「通学路安全マップづくりワークショップ」「小さな新聞記者」「私たちの笑店街」などそれぞれの地域に合うような事例を用意しました。

また、若者が子どもを理解し、一緒になって考え、活動していくことを学ぶ育成プログラムも用意しました。

この活動プログラム集が青少年と関わる多くの方々に活用され、地域社会が元気になっていくことを願っています。

最後になりましたが、このプログラム集作成にあたり、調査に御協力をいただきました関係機関・団体の皆様また、専門部会委員の皆様に大変御苦勞をおかけしました。謹んで感謝申し上げます。

平成 18 年 3 月

神奈川県青少年指導者養成協議会  
会 長 小宮 久雄

# 目次

## はじめに

### なぜ若者の参画なのか

若者が参画することで、地域社会が元気になり、健やかに子どもが育つ . . . . . 1

### 若者に使ってほしいプログラム集

1	若者が主体的に参画する活動プログラム . . . . .	11
	「ちょこっとアウトドア」 . . . . .	12
	「空き地はぼくらの遊び場だぁ！」 . . . . .	14
	「つくって・漕いで・冒険に出発だ！」 . . . . .	16
	「みんなで先生体験！」 . . . . .	18
	「私たちの地域の教科書づくり」 . . . . .	20
	「通学路安全マップづくりワークショップ」 . . . . .	22
	「子どもミニ留学体験学習」 . . . . .	24
	「小さな新聞記者」 . . . . .	26
	「回覧板ホームページ」 . . . . .	28
	「私たちの笑店街」 . . . . .	30
	「こだわりのヘルシークッキング」 . . . . .	32
	「地域をつなぐりレー劇場」 . . . . .	34
	「地域ふれあい囲碁大会」 . . . . .	36
2	地域で活動する若者の育成プログラム . . . . .	39
	「児童館へ行こう」 . . . . .	42
	「『子どもと遊ぼう』プロジェクト」 . . . . .	44

## 若者が主体的に参画している活動事例

子どもが主人公の地域活動を育てる	47
特定非営利活動法人 東京少年少女センター 会長 神代 洋一	
青山子ども会（青山学院大学）	52
青山子ども会副会長 麻生 裕一	
東京農業大学自然教育研究会ネイチャーズクラブ	54
ネイチャーズクラブ代表 増田陽二郎	
さがみちびっこクラブ	56
さがみちびっこクラブ外部担当 福士 朋子	
小学館レクリエーションリーダーズクラブに参加して	58
横浜国立大学教育人間科学部心理発達コース 仲里 歌織	
ジュニアリーダー活動に関わってきて	60
神奈川県ジュニアリーダー大会実行委員長 増井 保幸	
渋谷ファンイン	62
ユースワーカー 岩間 文孝	
<b>調査結果のまとめ</b>	<b>65</b>
<b>青少年が主体的に活動している団体情報</b>	<b>67</b>
<b>青少年が主体的に活動している団体一覧表</b>	<b>108</b>

## 資料

活動に利用できる施設情報	111
1 県内施設一覧表の見方	111
2 施設を利用するまでの流れ	112
県内施設一覧	114
活動に利用できる助成金情報	130
青少年主管課一覧表	131

編集後記	132
------	-----



# なぜ若者の参画なのか

若者が参画することで、  
地域社会が元気になり、  
健やかに子どもが育つ

平成 16 年度神奈川県青少年指導者養成協議会専門部会では、子ども・若者が主体的に参画するための活動事例集「子どもと大人の参画関係」を発行しました。この事例集は、地域において、子ども・若者が地域活動に主体的に参画するためには、大人がどのような関わりを持つべきなのかを考えてもらうためのものでした。子ども・若者と関わる大人に意識改革を求めたものです。

そして平成 17 年度にこの「子ども・若者が主体的に参画するための活動プログラム集」を作成し、多くの人に読んでいただきたいと考えています。その中でも特に読んでいただきたいのは、子ども・若者に関わる大人・若者です。現在地域で子ども・若者と関わっていて、活動をする上で課題を抱えている方の中に、例えば中高生をどのように参画させればいいのかなどで、悩んでいる方たちもいらっしゃるでしょう。あるいは現在活動をしていないが、地域で若者と何かやってみようと考えている方もいらっしゃるでしょう。そういう方々にぜひお読みいただきたいと考えています。

しかしこの はどちらかというと、大人に読んでいただきたいものです。地域、子ども・若者の現状を理解していただき、大人としてどのように子ども・若者と関わっていけばよいのかを考えていただきたいからです。地域社会のあり方については理想論と思われるかもしれませんが、あるいはそんなことを言っても無理だろうと言われるかもしれませんが、しかし誰かが、どこかで始めなければ、このままでは子どもが健やかに育つための地域社会が存在しなくなってしまうかもしれません。

すでに地域で活動しているあるいはこれから何かをしてみたいと思っている若者にも読んでいただきたいのですが、特に中高生はこの は読み飛ばしてもかまいません。以降を参考にさせていただき、まずはできることから始め、そして行動してもらいたいのです。失敗を恐れずに挑戦してほしいのです。体験することで学べるものがたくさんあるはずですよ。

# なぜ若者の参画なのか

## バーチャル(仮想的)空間の中で～現代社会の中で「子ども・若者は」「親子・家族は」「地域は」リアル(現実的)でない人々

自分の周囲の人たちが気にならない人が多いようです。例えば電車の中の光景を思い浮かべてください。携帯電話で話している人、大声で話す高校生、手鏡を出して化粧を始める若い女性、自分の周囲にいる人たちがリアルな存在ではなくなってしまっています。映画館のスクリーンの中の人物と同じ感覚なのではないでしょうか。バーチャルな存在となっています。

「人前で化粧をするのはみっともないよ」と年配の男性に声をかけられた女子高生は、何が起こったかわからないといった表情をしたということを聞いたことがあります。まさかスクリーンに映っている人物が自分に声をかけてくるとは誰も思わないでしょうから。

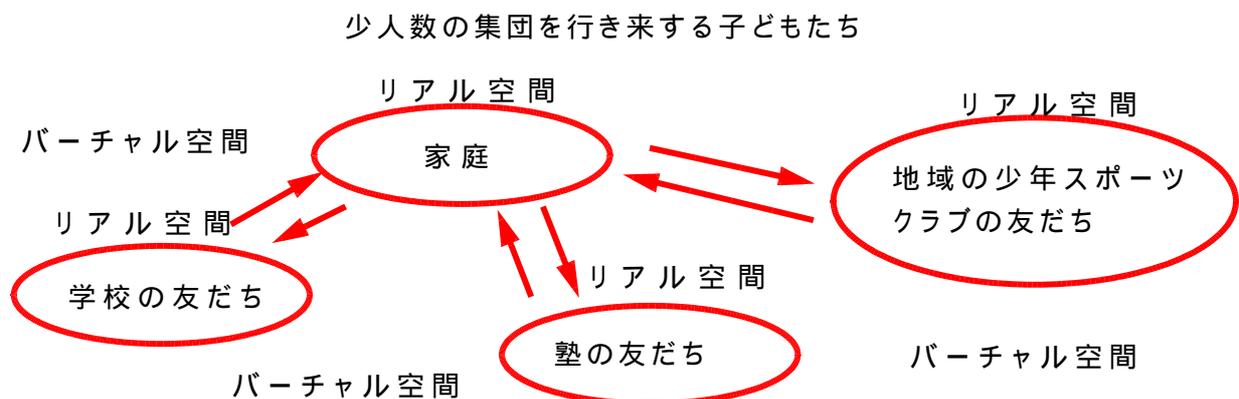
しかしこれらの現象は、電車や都会の雑踏などだけの話ではありません。自分の住んでいる近所でも同じことが言えないでしょうか。道で出会っても挨拶をしません。挨拶をするとびっくりした顔をされてしまいます。まさに看板に描かれた人物が、突然自分に挨拶してきたようなものです。

もし隣に住んでいる人と挨拶はおるか、顔を合わせたことすらないという人がいたら、その人にとっては家を一步出たら、そこに広がるのはバーチャル空間と言えるのかもしれませんが。しかしこれは今の時代そう珍しいことではないでしょう。隣人との関係性は希薄であり、些細なことでトラブルが生じます。それはお互いの気遣いが欠けているからです。人と人のつきあいがそこにはありません。

### リアル(現実的)な人間関係

学校または職場に行けば、そこにはリアルな存在としての友人あるいは同僚がいます。そこはお互いに気を遣い、そして葛藤のあるリアルな空間です。しかし今の子ども・若者にとって、その空間は小さなものになっています。友達グループの小集団化が進み、クラスがいくつかのグループに分かれるどころか、2、3人の小集団ばかりになっている場合があります。お互いのグループの関係性は希薄になりがちであり、ある日気がつくとクラスが電車や都会の雑踏と同じ状態になっているかもしれません。これではいじめに遭っているクラスメートがいても見て見ぬふりをしてしまい、電車の中で酔っぱらいに絡まれている若い女性を見ても、「電車男」のようにそう簡単には助けられないのと同じです。このことは現代の子どもたちがクラス全体であるいは集団で何かをするのが苦手だということにつながります。帰属感や一体感がなく、協力して何かに当たるといことに積極的になれないのです。

そして職場でも同じことが言えるのかもしれませんが。少人数の仲の良い同僚はいても、職場全体で親睦会をやってもなかなか人が集まりません。また職場の行事に参加するという人が少なくなっているところもあります。我々はそのような小集団による狭い空間をいくつか行き来しながら生活しているのかもしれませんが。その空間と空間を行き来する間は、スクリーンの中の風景がただ流れているだけです。



## 子ども・若者の現状

さて子どもたちはこのような現代にあってどのように育っているのでしょうか。小学生が友達と遊ぶとき、お互いに電話をしあって都合を聞きます。そして公園に集まってくるのは2、3人ということがよくあります。しかもベンチに座ってそれぞれが携帯用ゲーム機に興じている場面をよく見ます。あるいは2人で対戦型のカードゲームをしています。それでもたまに4、5人で鬼ごっこなどをしていることもあります。塾や習い事などで子どもたちが忙しい現状を現しています。

「外遊びの集団の規模・構成・内容」について、公園や校庭で遊んでいるそれらの子を実際に観測したところ、集団の規模としては2人で遊んでいる場合が最も多く26.5%、続いて1人の20.7%、3人の15.5%の順であった。年齢構成では、同年齢で遊ぶ場合が主で、昔のような異年齢での遊び集団は全体の8.1%に過ぎない。（『子どもの遊び実態調査』平成14年福岡県実施、対象：小中学生）

塾やお稽古等への参加状況をたずねたところ、児童については、6年生が一番参加率が高く(69%)、次いで4年生(65%)、2年生(55%)となった。塾やお稽古等に通っていると答えた者に対して、その日数をたずねたところ、6年生については「2日」が20%と最も多く、2年生、4年生は「1日」(2年生27%、4年生25%)が多かった。「1日」の参加をみると学年が進むにつれて値が低くなっていて、6年生は19%である。それに対して「2日」、「3日」、「4日」、「5日以上」については、学年が進むにつれてすべての値が高くなっている。（『子どもの遊びに関する調査』平成15年神奈川県教育委員会実施、対象：小学2、4、6年生）

子どもたちには社会性が身につけていない、人間関係づくりがうまくいわずと言われます。対人関係が未発達であり、コミュニケーション能力に乏しく、相手が考えていることを理解することがあまり上手でないとされます。対人関係に必要な「挨拶をする」「人の話を聞く」「人に話をする」という基本的なスキル(技能)が身に付いていないだけでなく、「相手の表情から(言葉には表れていない)気持ちを読む」「言葉の抑揚や言葉以外の手段で、感情を表したり、読み取ったりする」といったことも得意ではありません。さらに子どもたちの「幼児性の持続」「耐性の低さ」「共感性・自尊感情の乏しさ」なども言われます。

若者の中には、社会性があっても、上手に断る能力、選択する力や自己決定能力に欠けていて、いろいろな誘惑に勝てなかったり、その場の雰囲気流されてしまうことがあります。

子ども・若者が関わっている問題行動について、新聞やテレビ等のマスコミでよく取り上げられます。しかしそれは一部の子ども・若者によるものではなく、どの子ども・若者の延長線上にもある現象です。

このような現実があって、それを大人が「今の子どもは理解できない」とばかりは言ってられません。集団の中でもまれることがあまりなく、現実社会で多くの人との関わりを持たずに育った結果です。言わば社会性を身につけるための訓練としての実体験を積んでこなかった結果です。そういった状況になってしまっているのは、大人にも責任があるでしょう。

### 親子・家族関係の現状(「子ども・若者の現状」の原因として)

子ども・若者の現状があり、その原因として、最も考えられるのは親子関係・家族関係の希薄さがあります。例えばテレビを一緒に見るという家庭が減ってきているのではないのでしょうか。食事時間もばらばらであり、お互いに話をする時間が持てないという家庭もあるでしょう。テレビを一緒に見るということは、それぞれ感じたことを互いに話し合う材料を提供してくれます。また一緒に食事することで、その日にあった出来事について、話すこともできるでしょう。その結果共感することや反発することもあるでしょう。家族で共通の話題で話をするということは、お互いの感情を受容したり、ぶつけ合ういい機会だと思います。

また親が寛大になりすぎていることもあります。常識がずれてきていて、社会的責任を意識できない親がいます。つまり子どもを叱るべきときに叱らず、親として謝罪したり責任をとるべきところまでとらない親が増えていきます。

## 地域社会の現状

本来の地域社会あるいはコミュニティとは、お互いに助け合ったり、協力し合うという関係性を維持しながら、自分たちが住んでいるところを住みやすくしようとする集団のことです。それに対して地域とは、「単なる区切られた土地」「土地の区域」「地形が隣接している、同じ性質をもっているなどの理由からひとまとめにされる土地」などを現しているに過ぎません。地域で暮らしている住民同士の関係性の如何によって、本来の地域社会が存在するかどうかということになります。住民同士の関係が希薄化しているところが多くなってきて、地域社会が本来の地域社会ではなくなっています。

全国で、治安の乱れ・子どもの安全確保・3R ( Reduce リデュース(ごみの減量)・Reuse リユース(再利用)・Recycle リサイクル(再資源化))など、多岐にわたる問題が取りざたされています。個々の家庭だけでは解決できない問題がたくさん出てきています。

運動会などの地域行事があっても、住民があまり参加しないようなところも多くなっています。それは従来型の地域行事を続けていても、関係が希薄になってしまった今、皆で行事を盛り上げようという気概が失われてしまったということです。このように本来の地域社会が存在しなくなってしまったところでは、子ども・若者が健やかに育つのは難しいでしょう。

子ども・若者にとって、地域は決して居心地の良いところではなくなっているのではないのでしょうか。小学生の遊び場は少なくなっていて、また中高生の居場所はなかなかありません。中高生になれば、数人でたむろしているだけで、煙たがられたり、何か悪いことでもするのではないかという目で見られたりします。おのずと地域から離れて、自分という存在が匿名性を帯びるバーチャル空間である街へ出かけていくことになります。そこにはいろいろ誘惑が待っています。またあまり外に出ないタイプの子どもの若者は、家庭の中の自室にこもりがちになります。本当に狭い現実の空間の中で、インターネットというバーチャルな世界とつながっています。そしてそこにもたくさんの誘惑があり、時には犯罪に巻き込まれることもあります。

「住んでいる地域は元気があると思うか」という質問に対して、元気があると答えたのは37.5%、元気がないと答えたのは43.7%だった。「住んでいる地域に元気がない理由は？」(複数回答可)は、就職する機会や職場選択の余地がないが22.9%、祭りや子ども会など地域の活動を熱心にやる人がいないが20.3%あった。(『地域再生に関する特別世論調査』平成17年6月内閣府大臣官房政府広報室の世論調査、対象：全国20歳以上)

「地域等の活動への参加」という質問に対して、「地域のお祭り」が56.4%で最も多く、次いで、「地域の清掃や防災などの活動」(48.9%)、「地域のスポーツやレクリエーションの大会」(44.9%)、「募金、献血」(27.6%)、「地域の子どもの指導や世話」(23.3%)、「公民館・児童館などの講座や催し」(20.7%)などの順となっているという回答結果であった。(『第2回青少年の生活と意識に関する基本調査』平成12年4月内閣府実施、対象：9~23歳)

## 地域社会のあるべき姿

### 地域社会の再生

まずは隣近所に暮らしている人たちと普通に挨拶をし、会話ができる関係が必要です。そこからお互い居心地が良くなるように、少しずつ気遣いながら生活するようになっていくことが大事です。困ったときには互いに声をかけあい、悩みも相談できるようになっていくことが望ましいでしょう。そうやって地域に暮らしている住民たちの関係性を高めていくことが、地域社会を再生するきっかけとなります。

しかし口で言うのは簡単でも、実際には大変なことです。具体的にはどうすればよいのでしょうか。地域住民の共通の話題が必要になってきます。それをどのように創出していくのかについて、異世代の住民が参加できる行事を利用するという方法があります。もちろん従来通りの行事ではなく、魅力があって皆が楽しく参加できるようなものを考えなければなりません。そのために子ども・若者が力を発揮してほしいと思います。

### 子ども・若者はどう育っていくべきか

子ども・若者には現実社会の中でできるだけ多くの人と関わるといふ実体験を積むことが必要です。それも反面教師としての大人も含めて多くの人と関わりながら、育つべきなのです。現代の子どもは、親、教師、塾の先生、スポーツコーチなどの子どもに向かって教え込むタイプの人たちとの関わりが多く、地域社会の大人との関わりは少なくなっています。常に評価されている状態にありますので、非常にストレスがたまっています。また、これでは子どもも息苦しいでしょう。また地域によってはいろいろな仕事をしている大人が身近にいないところもありますので、「働く」ということを子どものときに意識できません。そして自分が大人になるためのモデル選びにも苦労します。

人と関わりを持っていく中で、自分の思い通りにならないことがたくさん出てきます。そのようなときには、相手に説明・説得する方法を考えなければなりません。自己主張しているだけではうまくいかず、相手の考えを受け入れ尊重しなければならぬことも少しずつわかってきます。またやっつけはいけないことや自分が嫌なことをどのように断ればよいのかも体験していかなければ身につけません。体験したことが糧になり、社会性が身につく、コミュニケーション能力が高まり、対人関係を円滑にすることができるようになっていきます。周囲の人との関係ができてくれば、バーチャルが徐々にリアルに変わっていきます。

子ども・若者は、地域社会の中で異世代の人たちと関係性を持つことで、健やかに育っていきます。

### 子ども・若者は何を望んでいるのか

普段の生活で子どもたちは何を望んでいるのでしょうか。子どもたちは家でテレビゲームをしたり、テレビを見たりして過ごす時間が多いのが現状です。しかし子どもたちはテレビゲームなどの遊びだけを望んでいるのでしょうか。そうではないと思います。子どもたちが、学校から帰った後に特に約束もせずに集うことができ、安心して遊べる場所が近所にあつて、そこへ行けば誰かが必ずいるような環境があれば、もっと外遊びをするでしょう。しかし実際には遊び場は少なく、子どもたちは忙しいのが現実です。

小学生では「自分の部屋にいるのが好き」と答えているのは 61.4 % であり、「外へ行くのは面倒くさいと思っている」のは 22.5 % であるが、「地域に遊び場が少ない」と思っているのは 49.4 % と半数近くになっている。（「モノグラフ 小学生ナウVOL.21-3 子どもの放課後」ベネッセ教育総研,2002、調査対象：東京・神奈川・千葉の公立小学校4～6年生）

上記結果はもっと遊び場があれば外で遊びたいと考えている子どもが潜在的に存在することを表しているのではないのでしょうか。（神奈川県青少年指導者養成協議会専門部会）

現代の子どもたちは大勢で遊ぶときにスポーツ的なことが多く、スポーツ以外の昔遊び（陣取り、鬼ごっこ、缶蹴り、だるまさんが転んだ、馬跳びなど）をあまりしていません。広い遊び場と大勢の子どもたちがいても、最初は何をやっていいかわかりません。しかし制約の少ない遊び場さえあれば、子どもたちは自然発生的に遊びを発明するものです。

中高生になると、飲食しながら友だちと気兼ねなく話をして過ごせる場所がほしくなります。またバスケットボールなどができるスポーツ施設、スケートボードができるハーフパイプを備えた施設、音楽演奏ができるスタジオなどを無料であるいは安く借りたいというニーズも出てきます。家庭や学校以外の居場所が必要になってきます。

### 子ども・若者の望むことをどう解決していくのか

遊び場・居場所づくりについて、行政の取り組みは現状では十分とは言えません。NPO がそのようなことに

関わってほしいところですが、それもまだまだ進んでいません。スポーツ施設やスタジオを備えた「ゆう杉並」(杉並区立児童青少年センター)のような立派な施設を作ることは、今後はなかなか難しいことです。

そういった現状の中で、地域社会の住民は何をすればよいのでしょうか。まず地域社会で暮らす子ども・若者が本当に望んでいることは何なのかということに、大人が耳を傾けるべきです。大人は彼らの言い分を聞くことから始めて、それらを引き受けるという覚悟を持ち、支援する方法を考えてほしいと思います。そうして地域社会の子ども・若者・大人と一緒に考え、汗を流すことでできることから解決してほしいと思います。

「住んでいる地域の大人たちとの共同行動」という質問に対して、大人たちと一緒に何かができることが「よくある」と「ときどきある」を合わせた、共同行動の経験のある者は小学4～6年生(よくある6.5%+ときどき45.3%)でほぼ半数となっている。中学生以上になると、大人たちと行動を共にしたことがある者は1～2割程度となり、「あまりない」もしくは「まったくない」という者が多数を占めるという回答結果になっている。また「大人たちとの共同行動の希望の有無」という質問に対して、「ぜひ一緒にやりたい」という者は、小学4～6年生では2割弱(17.7%)となっており、「時々ならやりたい」(54.8%)という者を合わせると、7割以上の者が共同行動の希望を持っている。中学生以上になると、共同行動を希望する者は5割前後となるという回答結果になっている。

「地域等の活動への参加」という質問に対して、小学4年生～中学3年生の参加状況は、小学校4～6年生と中学生では、「近所のお祭り」(小学4～6年生72.9%、中学生56.9%)、「子ども会や町内会の運動会、クリスマス会など」(同52.8%、16.3%)、「道路や公園などのそうじ、町内の避難訓練など」(同20.1%、11.8%)などが上位に挙げられているが、いずれも中学生より小学4～6年生の参加率が高くなっている。「まったく参加していない」者は、小学4～6年生が8.6%、中学生が22.9%である。前回調査と比較すると、いずれの活動も前回調査より参加率が低くなっている。また15～24歳の参加状況はいずれの年齢層でも「地域のお祭り」(15～17歳36.3%、18～21歳24.7%、22～24歳21.7%)への参加率が最も高くなっているが、若年齢層ほど高くなる傾向がある。「まったく参加していない」者は5割前後である。(『第2回青少年の生活と意識に関する基本調査』平成12年4月内閣府実施、対象:9～23歳)

上記結果から、子ども・若者は地域の大人と一緒に何かをしたいという希望を持っているが、機会があまりないあるいは参加したくなるような魅力のあるものがないと考えられるのではないのでしょうか。(神奈川県青少年指導者養成協議会専門部会)

## 若者が地域活動に関わる

子ども・若者が健やかに育つためには、地域社会の再生が必要です。そのために若者がその特性を生かし力を発揮し、地域行事を盛り上げてほしいと思います。以下に若者が子ども活動の支援をすることによって、子ども・若者が成長するという点について述べます。

### 子ども活動の現状

ここで言う『子ども活動』とは、日常的な自然発生的遊びから、子ども会活動や子どもに関わるイベントまで含みます。例えば子ども会活動では、役員の任期は1年間であり、初めて役員になった大人は何をしてよいかかわからず、前年度踏襲型の活動になりがちです。それも子ども会の会費を使ったツアータイプ、つまりテーマパークへ連れて行くようなものが多くなります。あるいは子ども祭りを行う場合がありますが、子どもにとって魅力がないものになっていることがあります。それはなぜか。例えば御神輿を担いで近所を練り歩くにしても、なぜ御輿をかついで練り歩くのかについて説明がないからです。小学校高学年になると参加が少なくなり、集まってもモチベーションが非常に低いので担ぐ子どもが少ないということになります。募金活動にしても、集まった募金の使い道

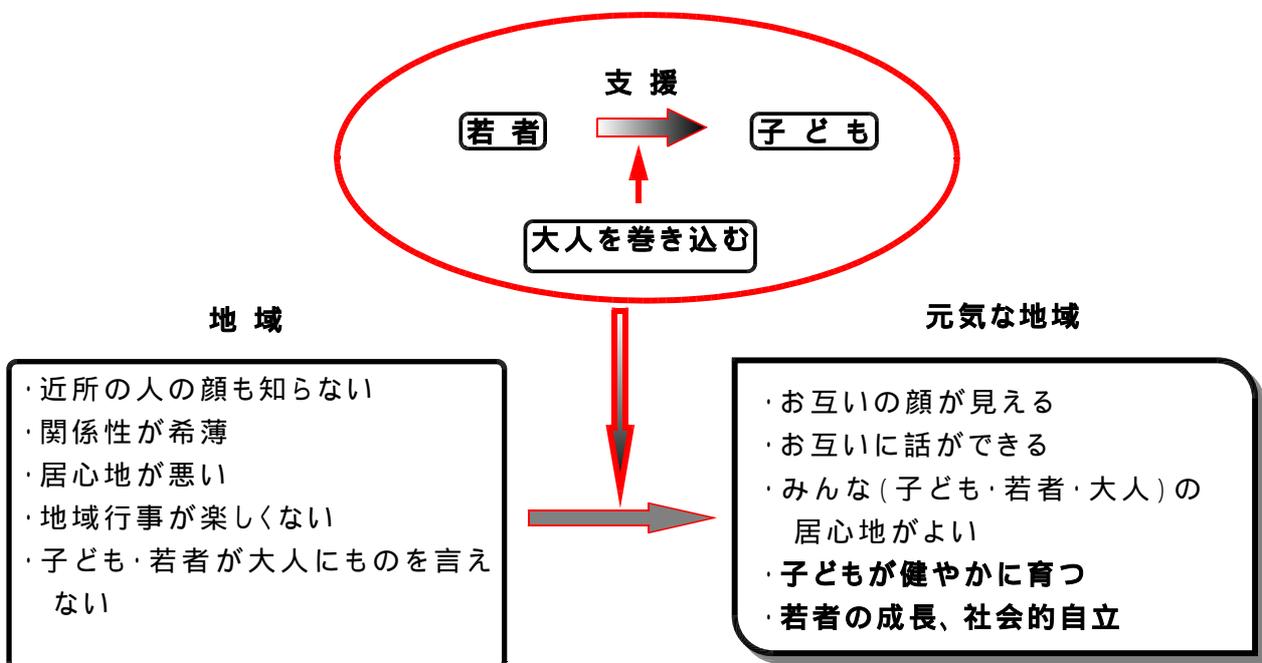
を説明しているのでしょうか。自分がやっていることの意義や効果を知ってやるのとそうでないのとでは、子どもの取り組み方や子どもへの効果が違ってきます。

しかし役員の人たちは、忙しい中でなかなか子どもの成長を待つような活動を立ち上げるのは難しいようです。中にはいいアイデアを持っている人がいても協力してくれる人がいないと実現するには二の足を踏んでしまうことがあります。

### 若者による子ども活動の支援の意義

このような子ども活動の現状に対して、もし中高生を中心とした地域に住んでいる若者が活動に参画するようになれば、活動に活気が出てきます。中高生が地域活動に参加する形態としては、子ども会行事へジュニアリーダーの参加があります。従来、子ども会からジュニアリーダーズクラブに依頼があるのは、新入生歓迎会、夏のキャンプ、クリスマス会、卒業生のお別れ会などでのゲーム指導がほとんどです。指導と言ってもレクリエーションゲームをリードすることです。子どもを指導して子どもがゲームをリードすることはほとんどありません。これでは、子どもとの関係は一過性のものとなってしまう、若者が地域活動に本当の意味で参画することにはなりません。子どもたちと日常的に関わりを持つことが重要です。

### 子どもの参画する魅力ある子ども活動



それではどのような参画の仕方があるのでしょうか。例えば土日などに児童館に出かけて行って、子どもと遊ぶということを続けてみてはどうでしょう。やがて人間関係が自然と生まれ、そこにはお兄さん、お姉さんとしての役割が生じます。遊び相手になるだけでなく、子どもたちがやりたいことが何なのかを自然と聞く役にもなります。そんな中から子どもがやってみたいことを実現させる手助けをしてみたらどうでしょうか。例えば「秘密基地づくりがしたい」という子どもからの要望が出たとします。しかし場所がない、それではどうすればよいのでしょうか。児童館付属の公園ではどうか。それを実現させるためには、どんなことをクリアしていかなければならないのかを子どもと一緒に考えるスタイルが必要です。若者が先に答えを出してはいけません。なかなか忍耐のいることですが、子どもの意見・考えが出てくるまで待つという姿勢が大切です。

このようなことは大人にはなかなかできません。大人は子どもより豊富な経験があり、その枠の中でものを考えてしまいがちです。その枠の外にある子どもの意見を素直に聞けない大人が多いようです。そして自分の経験の中でうまくいった例を持ち出して、子どもに聞かせようとしています。そういうことが繰り返されると、子どもはどうせ聞いてもらえないと思って、大人に話をしなくなります。また大人は子どもが伝えたい気持ちを聞き逃すことがあります。

その点年齢に近い若者には子どもに近い感性が残っていて、子どもたちの本音をすくい取る目の細かい網を持っています。

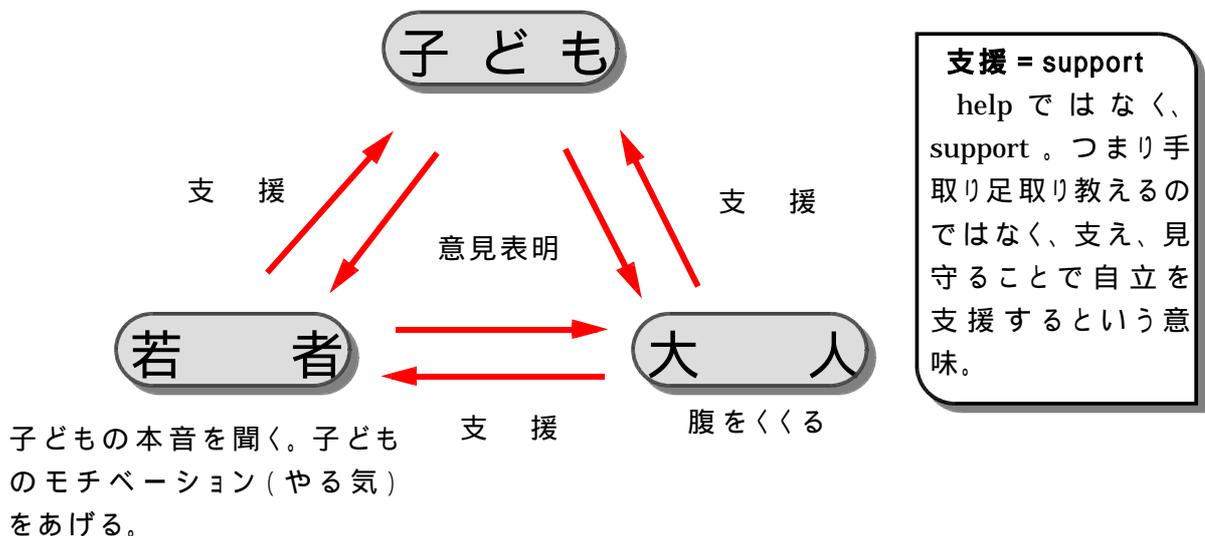
子どもは、心の中で自然に声を発しています。子どもの行動に目を向けてみるとよいでしょう。例えば、その場にいるのですが、どうも元気がありません。ゲームにも参加しません。このような状況を見逃さないようにしたいと思います。何か原因があるはずですが、その場にいるということは、参加したいという気持ちはあるのです。例えば「出がけに親とけんかした」「そこにいる友達との関係がうまくいっていない」などであるかもしれません。そんなときには無理にゲームに参加させることはありません。様子を見て何かその子にできることを探してあげて、「ここにいてもいいんだ」という気持ちにさせることが大事です。そして何か役割を与えられればさらによいでしょう。

元気のない子どもがいる場合、大人は無理にゲームに参加させたり、励ましたりすることがあります。しかしどうして元気がないのか理由を聞かなくてもよいし、寄り添ってあげるだけでもよいのです。したくなれば自分から話をします。そんなとき大人よりも日常的につきあいがあり、人間関係ができている若者であれば子どもは話をすることがあります。最初からこのような対処ができる若者はまれですが、少なくとも大人よりも子どもの気持ちをわかってあげることができるはずですが。

こういった活動では、若者は子どもたちに複数で関わるべきです。子どもをリードしたり、盛り上げたりする役割とちょっと周囲とちがった行動をしている子どもをフォローする役割が必要です。また子どもに対する自分の行動や言動については、気がつかないことが多いのですが、お互いに第三者としてフィードバックすることも大切です。短時間でもふりかえりをして、次回に生かすことが大切です。若者は、子どもとの関わり方について、研修を受けることも必要ですが、子どもと関わるという体験を通じて、多くのことを学ぶことが最も大切です。の2に若者の育成プログラムを掲載していますが、参考にしてほしいと思います。

こうして子ども・若者・大人が協力することで、一緒に課題を解決することができれば、地域の人たちの一体感が生まれ、地域社会の再生につながります。

### 子ども・若者・大人の関わり方



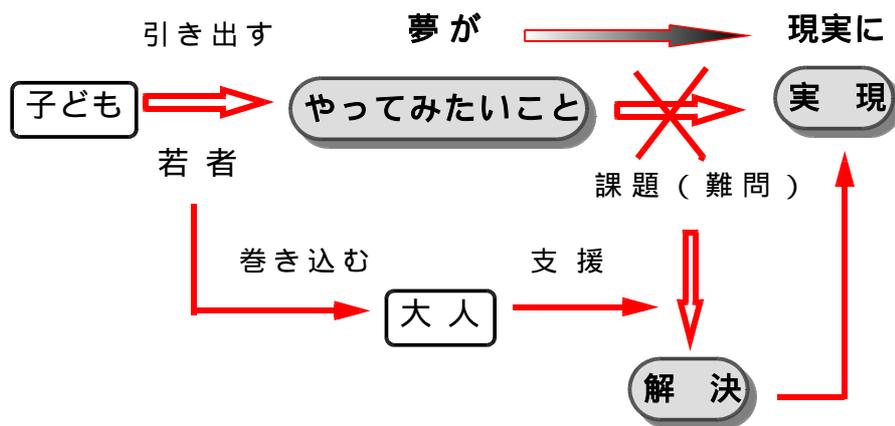
### 大人の役割

若者が子ども活動に参画するという事は有効なのですが、それでは大人は子ども活動にどのように関わればよいのでしょうか。子ども活動を進める上で、若者が子どもの声を聞きながら、子どもが望むものを実現していくことが大切です。しかし子どもの望むことを実現させるためには、課題がたくさん出てきます。子どもと解決策と一緒に考えても、子どもと若者だけでは困難なこともあります。例えば「成人の人間が責任を負うことが必要な場合」

「自治会などに協力を求める際の橋渡し役が必要な場合」「会場を借用する際に成人が申し込まなければならない場合」「荷物を運ぶ際に車が必要な場合」などが考えられます。そんなときには大人の力が必要となります。

大人は自分が望む方向に子ども・若者を向かせようとしがちです。またあれこれと口を挟むこともします。それでは子ども・若者の支援にはなりません。子ども・若者の言うことを素直に聞く耳を持つことが大切です。「面倒だ」「子どもの言うことはいちいち聞いてられない」「どうせ無理だろう」という否定的な考え方をしてほしくありません。また逆に「何でもできるから、どんどん意見を言ってみなさい」と言っておいて、実際に出てきた意見に対して、責任をとらないような関わり方は、子ども・若者を裏切ることになります。それこそ子ども・若者は大人に何も期待しなくなるし、意見も言わなくなるでしょう。やはり最初の段階で、大人にできることはこの範囲だということを明示し、それに対して大人は「腹をくくる」覚悟が必要になります。大人の意識改革を望みたいと思います。

### 子ども活動における若者・大人の役割



### 子どもが変わる～若者の支援が子どもにもたらすもの

子どもは親や学校の先生から普段いろいろなことを教わりながら生活しています。確かに教わることは大切であり、生きていく上でたくさんのことを学ばなければなりません。しかし大人の言うことを聞いているだけの繰り返しでは、それに馴らされてしまった子どもたちは、自分で考え課題を解決したり、困難を乗り越えていくことをしなくなってしまいます。また大人の言うことを聞いていればよいという考えの大人が多いと、子どもは初めはいろいろ考え・意見を出しても、どうせ聞いてくれないのだからと自分の意見を言わなくなってしまいます。それでは、子どもの成長にはつながりません。

若者が子どもの意見を聞き、一緒に考え、ときには大人の協力を得て、子どもが望むことを実現することができれば、子どもたちがどのように感じるでしょう。「へー意見を言ってもいいんだ」「へー僕たちの意見を聞いてくれるんだ」という実感につながり、自分でものを考え、工夫して解決するということができるようになっていきます。まさに「生きる力」「共感する心」が身につくことにつながります。そして何よりも民主主義体験をして、それを学んだこととなります。

地域社会でのこのような活動に参加することで、子どもたちは成功も失敗も体験するでしょう。成長していく過程で、実は失敗体験の方が重要なのです。次にうまくいくようにするためにはどうすればよいのかを、考えることにつながります。したがって大人は子どもの失敗を許すことを学んでいただきたいと思います。

地域社会での多様な体験を繰り返すことは、いわゆる「体験学習」となります。ソーシャルスキル(人との関わり方)を学んでいきます。さらに自分と社会とのつながりを実感することができます。社会性が身につくだけでなく、上手に断る能力、選択する力や自己決定能力を身につけていくことで、いろいろな誘惑に安易には乗らなくなります。またその場の雰囲気だけを判断材料にすることもなくなります。

これらはやがて子どもたちが社会的に自立していくために不可欠な知恵であり、スキル(技能)であり、自分で考え行動するために必要なものとなります。

## 活動に参画することが、若者にもたらずもの

若者が地域活動に参画することは、地域社会における一定の役割を担うこととなります。そこで地域の大人や子どもと関わり、社会との接点を持つことは、若者自身の成長につながり、社会的に自立するきっかけとなります。また地域社会自体を理解し、やがて大人になったときに、地域社会における大人としての役割を担うための動機付けともなります。そして何よりも若者自身が、生活していく上で自信をつけていくこととなります。

## 地域社会における人材の循環システムづくり

ここまで述べてきたことをまとめてみますと、地域で若者が子どもの参画する活動を立ち上げ大人を巻き込みながら子どもを支援することで活動を進めていけば、地域に暮らしている人たちが共通の話題を持ち関わり合いを持つようになり、本来の意味の地域社会として再生していくこととなります。

この冊子を読めば若者がすぐに活動を始めるということではありません。自ら行動できる意識の高い若者がそれほどたくさんいるわけではありません。やはり大人が何らかの形で若者に示唆したり、育てていかなければなりません。青少年支援・指導者と呼ばれる青少年活動に関わる大人の人たちは、実際に子どもと関わっていくのは若者であり、大人の役割は側面から支援することだと考えていただきたいのです。支援する側の大人の意識ですが、地域行事に参加したいと考えている人は潜在的に存在していると考えられます。ただきっかけがないだけではいかと思われれます。そのきっかけ作りを若者を通して、見つけてほしいところです。

大人が意識改革をして、子ども・若者を支援する形で関わっていけば、時間はかかっても子ども・若者は成長をしていきます。活動が楽しく魅力あるものであれば、子どもはやがて中高生になり、かつて自分たちが体験したことを次の世代(子ども)に体験させてほしいと思います。「調査結果のまとめ」(P.65)のジュニアリーダーズクラブへの参加動機を見ますと、実際にキャンプなどの楽しい経験をした小学生が、中学生になると、先輩に憧れて自分も子どもたちの面倒を見ることができるリーダーになりたいと、ジュニアリーダーになったというものがあります。それでは若者はどうか。若者は活動を実際に体験することで自信をつけていきます。そして年齢が上がっていくに連れて、地域社会のあり方を理解していきます。そして地域社会における大人の役割とはどんなものかを考え、自分もそのようにありたいと思ってもらえるのが望ましいわけです。また自分が育った地域に大人になっても住みたいと思えるようになればしめたものです。そのためには大人が地域社会におけるモデルになっていなければなりません。

実際には日本の産業構造を考えると自分の育った地域で職業に就くことは難しい状況です。地域に住んでいても通勤時間が長く、家には寝に帰ってくるだけ、あるいは転勤により県外に異動してしまうこともあります。ここでそのことを論じて、簡単には解決できない問題です。しかし、少なくとも地域社会の大人が子ども・若者と関わり、活動の中で頼もしいと見込んだ若者を地域で引き続き働くことができるように何とか考えてほしいと思います。若者をそのときだけの使い捨てにしてほしくありません。いずれにしても地域において子どもから若者へ、若者から大人へ、そして家庭を持ち子どもを育てるといった循環ができていけば、真の地域社会として機能し続けることとなります。地域社会における人材の循環システムとでも言えるものです。

「地域が元気になるための活動に参加したいと思うか」という質問に対して、参加したい(積極的に参加したい+機会があれば参加したい)が63.9%であり、参加したくない(あまり参加したくない+参加したくない)が21.3%で、住民の参加意識がある程度高いと言える。(『地域再生に関する特別世論調査』平成17年6月内閣府大臣官房政府広報室の世論調査、対象:全国20歳以上)



# 若者に使ってほしいプログラム集

## 1 若者が主体的に参画する活動プログラム

若者が主体的に参画し、地域の大人を巻き込んで進めていくための活動プログラムです。地域の子どもたちにとって魅力があり、参加したくなるようなプログラムを考えました。魅力があるだけに活動を進めていく上で、それぞれ課題があります。これらの課題を解決していくことで、若者の成長と地域社会の活性化を期待したいと思います。

## 2 地域で活動する若者の育成プログラム

地域の子どもたちと日常的に遊ぶことで、子どもを理解すると同時に人間関係づくりをして、子どもたちの考えていることを引き出し、子どもたちと一緒に地域で活動していくにはどうしたらいいのかを体験的に学ぶプログラムです。

既存の若者のグループ(例えばジュニアリーダーズクラブ等)による自主研修プログラムと地域で活動する若者をもっと増やしていくための行政(青少年主管課等)による研修プログラムの2つを用意しました。関係機関・施設等の協力が必要なので、準備期間が必要ですが、施設のニーズと一致すれば継続的に行えるものとなるでしょう。

# 若者に使ってほしいプログラム集

## 1 若者たちが主体的に参画する活動プログラム

では若者が子ども活動の支援をすることで、子どもが健やかに育ち、地域社会が活性化するのではないかという提言をしました。この章では、実際に若者が地域で使えるプログラムを提供します。

取り組みやすく、すぐに使ってみたくなるものを目指しましたが、地域によって事情が異なりますので、このプログラム通りにできるというわけではありません。その地域にあった方法で、改良して取り組んでいただきたいと思います。

各プログラムは、若者が主体的に立ち上げて、活動を進めていくような形のものとなっています。若者側からのアクションを期待しているからです。しかし地域の大人がこれらのプログラムを実現させたいと考えた場合、大人側から若者にアプローチして、一緒に進める形でもかまわないと思います。結果として子ども・若者が参画し、大人が支援することで進めていくことができれば、それでいいのではないかと思います。

それぞれのプログラムを実現するためには、解決しなければならない課題がいくつかあります。この課題を地域の子ども・若者・大人が知恵を出し合って、解決していくことが大事なことです。その過程で子ども・若者が成長し、また地域社会の活性化にもつながっていくことでしょう。

### 「若者たちが主体的に参画する活動プログラム (P.12 ~ P.37)」の見方

活動の趣旨 : 活動を実施する目的や理由を箇条書きで示しています。(目的:Why)

主な活動内容 : 中心となる活動内容を箇条書きで示しています。(内容:What)

【 データ 】 : 活動を実施する上の基礎的なデータです。  
(誰が:Who、いつ:When、どこで:Where、  
どれぐらいの費用で:How much)

【日程プログラム】 : 活動をどのように進めていくのかを時間を追って説明しています。  
(どのように:How)

活動のポイント : 実際に活動を進めていく際に、目的を達成するために必要なポイントと活動を円滑に進めるためのヒントを箇条書きにしました。

# ちょこっとアウトドア

～近所でキャンプできたらいいな～

## 活動の趣旨

- ・子どもたちが普段遊んでいる公園(広場・河原・海辺)を会場に、「キャンプ」という異質な空間を持ち込むことにより、地域に住む大人・若者・子どもが協力して過ごす体験をし、楽しむ。
- ・「アウトドア(野外)体験活動」をあまり体験したことのない子どもたちに、機会を作る。



## 主な活動内容

- ・テントによる宿泊・野外料理・レクリエーション(キャンプファイヤー、ウォークラリー、肝試し等)

### 【データ】

#### 実施主体

ジュニアリーダー、子ども会役員など

#### 実施地域

単位子ども会レベル

#### 連携(協働)先とその内容

子ども会(コアスタッフ)、  
自治会・町内会役員(コアスタッフ)など

#### 活動形態

イベント

#### 実施時期

夏休みが好ましい。

#### 準備開始時期

実施日から数えて4ヶ月くらいは必要。

#### 参加対象・定員

対象:地域に住む住民  
定員:会場となる公園(広場)の大きさによる

#### 募集方法

自治会・町内会の回覧、掲示板など

#### 実施場所

近くの公園・広場・河原・海辺など

#### 経費・財源

自治会費及び参加者負担



### 【日程プログラム】

\* イベント立ち上げの時は以下の手順を取るとよい。

#### 発起人による会議

子ども会や町内会に賛同を得られるように、趣旨やおおよその計画をたて、プレゼンテーションの準備をする。

子ども会や町内会の会合に出席し、

プレゼンテーション(提示、発表)

コアスタッフ(中心となるスタッフ)募集

子ども会役員など、若者・子どもを積極的に募集する。

大人の側は子ども会指導者や町内会役員にもスタッフになってもらう。

コアスタッフ会議 (例:4月中旬～ 2回)

計画の見直しをし、原案を作成する。

スタッフ募集の広報を作る。

スタッフ募集(例:4月下旬)

回覧や掲示板にて、スタッフを募集する。

スタッフ会議(例:5月下旬～ 3回)

コアスタッフの作った計画の原案を検討し、計画案を練り上げる。役割分担を明確にする。

役割分担に沿って、活動

参加者募集、渉外などの活動をそれぞれ行う。

スタッフ会議(例:7月中旬)

役割ごとの進捗状況をチェック

スタッフ会議(例:8月中旬)

実施するための最終チェックと準備

実施当日(例:8月下旬)

スタッフ反省会(特に時期は定めない)

## 活動のポイント

### 【実施地域の特徴】

- ・どこでも、可能であるが、火を扱うことになるので、会場となるところはある程度の広さが必要である。

### 【子どもの参画の仕方】

- ・スタッフ会議に参加し、子どもが果たせる役割等を考え、意見を述べる。
- ・広報用のポスターなどできることは積極的に参加する。
- ・当日の活動の中心となる。

### 【若者の関わり方】

- ・活動の企画・運営・実施に関わる。
- ・当日は子どもを支援する立場となり、企画がスムーズに進むようにマネジメント(管理)する。

### 【大人の巻き込み方】

- ・子ども会や町内会の会議に出席し、おおよその計画をプレゼンテーションして賛同を得るようにする。資金援助の可能性が出てくる。
- ・大人にとっても、交流の場であることをアピールすることが大切である。

### 【活動を円滑に進めるために】

< 継続して実施するために >

- ・実施主体は、初期は大人がある程度主導になっても仕方ないが、若者から意見を取り入れていく姿勢を持つことと、若者にできることは権限委譲していくことを心がけていく必要がある。いずれは、主導から支援していけるように、若者を育成していく。
- ・野外活動においては、リスクはつきものである。リスクマネジメント(危機管理)については十分計画の段階で盛り込まなくてはならない。参加者(子どもの場合は保護者も含む)には「リスク(軽微な怪我などたいしたことの無い危険)とハザード(命に関わるような、取り返しのつかない危険)をしっかりとわきまえて、参加してもらう必要がある。

< 事前のチェックポイント >

- ・水場・トイレがあるかどうかの確認は必ずやっておくとよい。
- ・会場となる場所は管理者が行政であったり、民間であったり、または私有地であったりするので、その許可を得る必要がある。手続きの手順を調べておく必要がある。(公園を使用する場合は、市町村に公園管理条例などの法律があるので、それに従って申請を出す必要がある。海岸や河川については使用したい場所についてよく調べ、管理規則等が定められていないか確認する必要がある。火を扱う場合は、いずれの場所で行うにしても消防署に届けを出しておく。)
- ・野外料理やキャンプファイヤーなどを行うときは、付近に住宅がある場合は特に、煙対策や事前の周知を徹底する必要がある。

公園に関する問い合わせは、各自治体の公園管理の担当課に問い合わせてください。

< 会議場所 >

- ・役割ごとに会議の必要が出てくる可能性がある。そのために、自治会・町内会館等を会議場所として、すぐに使えるようにしておくとうい。

< 内容の工夫 >

- ・バーベキュー大会など行事がある場合は、それにジョイント(合同で実施)していく方が計画に無理がなくてよい。

< スタッフ・大人の協力者 >

- ・地域の情報として、スタッフ、アドバイザー(助言者)等になってくれそうな、野外活動に堪能な大人を調べておき、協力を求めるとよい。
- ・ジュニアリーダーズクラブ全体で取り組むよりも、その地域に住むリーダーが中心となり、そこに他のメンバーがサポートする形の方が地域の大人たちに理解を得やすい。また、ノウハウ(know-how:技術的知識・情報)が固まってくれば、他地域においても広がっていく可能性が開けるであろう。
- ・コアスタッフ・スタッフはなるべく子どもも含めて、幅広い年齢層から募集する。地域の連携を強めていく上でも、積極的にすすめていく。

# 空き地はぼくらの遊び場だぁ！

～子どもたちによる遊び場作り～

## 活動の趣旨

- ・地域で子どもが自由に遊べる場所がなくなってきているので、遊び場を提供する。
- ・空き地という空間を使って、子どもたちの自由な発想を育てる。

## 主な活動内容

地域で使われていない比較的広い空き地を借り受け、年間を通した遊び場づくり

### 【データ】

#### 活動主体

地域の若者(中高生) 5～10人程度

#### 実施地域

複数の子ども会あるいは自治会単位

#### 連携(協働)先とその内容

例えば、れんげ畑を作って遊ぶことを考えたとき自治会・子ども会・小中学校 PTA(協力)、青少年主管課(資金援助、空き地の情報提供)、農家(れんげ畑の指導、わら提供)、公民館等(会議場所提供)

#### 活動形態

年間通して、日帰り、宿泊の行事とイベントを組み合わせる。

#### 実施時期

年間通して随時

#### 準備開始時期

随時だが、例えばれんげ畑に間に合うようにするためには、3月から

#### 参加対象・定員

地域の子ども・若者・大人、定員は特になし

#### 募集方法

自治会の広報・掲示板、地域の小学校でチラシ配布

#### 実施場所

地域の空き地

#### 経費・財源

子ども会会費、助成金、イベントの売り上げ等



### 【日程プログラム】

- 3月 **第1回コアスタッフ会議**  
発起人グループによる、計画骨子を考える会議。公民館、児童館、地区センターなどを借りて月2回程度の会議を継続する。
- 4月下旬 **空き地探索隊出動**
- 5月 **関係団体等協力依頼**  
自治会、子ども会、農家、小中学校 PTA、青少年主管課への協力依頼(資金・広報等含む)する。また、空き地情報を持っている部署を紹介してもらう。協力してもらえる大人スタッフも募る。
- 5月下旬 **協力農家決定**  
遊び場となる空き地を決定する。
- 6月 **子どもスタッフ募集イベント計画・準備**  
空き地の整備、秘密基地の材料集め等含む。
- 7月下旬 **子どもスタッフ募集イベント実施**  
(例)秘密基地づくりをして、キャンプする。
- 8月中旬 **子ども・若者スタッフ合同ワークショップ**  
子どもからのアイデアを募集、れんげ畑を利用したイベントや日常的な使い方等  
ワークショップ:共同で何かを創り出す作業を表し、参加・体験型の会議や研修、実践の場などである。
- 9月下旬(例) **れんげの種まき**  
れんげ畑フェスティバルを実施するとしたら、協力農家の指導を受けて実施
- 10月 **日常的な利用スタート**  
(例)秘密基地強化作戦として、わらぶき屋根の基地づくりをする。11月秘密基地強化完了
- 12月 **冬季利用を考えるワークショップ**  
冬季(12月末～3月)利用あるいは年末年始のイベントのアイデアを子どもたちから募る。
- 12月下旬～1月初旬  
(例) **カウントダウンフェスティバル**  
大晦日に、新年を迎える際零時前に、参加者全員で、秒読みをする。秘密基地で年越しそばを食べ、そこで年明けを迎える。
- 2～3月 **れんげ畑フェスティバル計画・準備**
- 4月下旬～5月中旬 **れんげ畑フェスティバル実施**
- 6月 **今後の利用を考えるワークショップ**  
子どもスタッフに、1年間の活動をふりかえってもらい、今後の活動をどうするかを若者スタッフと考えてもらい、今後につながる。

## 活動のポイント

### 【実施地域の特徴】

広い空き地があるような場所

企業誘致の予定地などで、買い手がつかず空き地になっているような場所  
工場が移転した跡地(跡地に計画がある場合は、一時的な使い方になる)

### 【子どもの参画の仕方】

- ・子どもスタッフはアイデアを考え十分に出す。
- ・イベント時はスタッフとして、友人などに声をかけ一緒に働く。
- ・日常の遊び活動で、低学年の面倒を見る。

### 【若者の関わり方】

- ・遊びながら、子どもとの人間関係づくりをする。
- ・子どもスタッフのやる気を維持・向上するための工夫として、子どものアイデアをできるだけ尊重する。また役割がない子どもがないようにする。
- ・子ども・若者のアイデアを大人にいかに関わり理解し賛同してもらうかが大事なので、焦らずじっくり説得することが大切である。

### 【大人の巻き込み方】

- ・地域の人たちにもメリットがあるように、話を持っていくことが大切である。
- ・地域で誰(核になっている人)に話を通せば、円滑に進めることができるのかを事前によく調べておき、誠意を持ってお願いすることが大切である。
- ・キャンプや年越しを外とするようなイベントもあるので、支援してもらえる大人スタッフを集めることが重要である。キャンプ好きやアウトドアクッキング(野外料理)が好きな父親や地域の大人が必ずいるので、何とかおだてて参加してもらう。
- ・昔から住んでいる人たちと、新しく移り住んだ人たちが一緒にできる楽しい内容の活動を考え、協力・参加を促す。

### 【活動を円滑に進めるために】

< 会場 >

- ・企業誘致の計画が進まず、使われずに放置されているような場所を探してみる。自治体で情報を提供しているところもある。そういう場所の有効利用として、自治体に話を持ちかける。

< 事前のチェックポイント >

- ・空き地で可能な活動範囲を借用する地主と十分に打ち合わせる。例えば、火を使って調理をできるようにしたいが、火を使えるのか、使えるなら直火でもいいのかだめなのかを確認するなどが必要である。もし直火がだめならたき火台や七輪などで工夫する。

< スタッフ・大人の協力者 >

- ・もしレンゲ畑を作るのであれば、地主に許可を得ることと指導してくれる農家も早くから探しておく必要がある。
- ・子どもスタッフを募集する際のイベントはできるだけ楽しいものを考え、たくさん集まるものにする。スタッフとしては小学校4～6年生くらいが、自分で考えて動けるので、いいだろう。
- ・日常的な活動を重視する。例えば週2回程度は、子どもが遊べるようにしたい。その際常駐して安全管理や遊び相手になるような若者スタッフまたは協力してもらえる地域の大人を募集するといい。
- ・秘密基地づくりの際には、材料調達できるかどうかが大変である。特に材料として竹は必須で、竹林を持った地主に協力依頼をする。

< 内容の工夫 >

- ・1年契約であれば、秘密基地の材料を処分する必要があるため、あまり恒久的な材料を使用せず、秘密基地は簡易なものとする方がいい。
- ・日常活動は、あまり制限を加えず自然発生的な遊びをしてもらえればよい。例えば雪が積もれば、雪合戦、かまくらづくり、雪だるまづくりなどである。
- ・わらぶき屋根を葺く技術者がいないと思われるので、子どもたちの自由な発想に任せればよい。
- ・「カウントダウンフェスティバル」では、支援してもらえる大人を多数集めて、子どもが安心して参加できるようにする。
- ・「れんげ畑フェスティバル」の内容としては、「匍匐(ほふく)前進迷路づくり・遊び」、「ギネスに載せよう! レンゲの花輪づくり」など、考えればたくさん見つかる。
- ・イベントではできるだけ農家の作物を使った食べ物を作って提供(販売も可)する。



# つくって・漕いで・冒険に出発だ！

～自分たちの手で作ったカヌーでレイクツーリングへ出かけよう～

## 活動の趣旨

- ・異年齢の集団が、地元産の木材を使いカナディアンカヌー(カナダの先住民が使っていた木製の小艇を原形にした小型の艇)を作ることにより、製材の技術にふれるとともに、チームが分担してものを作り上げることの楽しさを体感する。
- ・出来上がったカヌーを使って基本操作について研修をするとともに、水辺の活動における危険性についても知識を深め、セルフレスキュー実習で仲間同士が助け合う大切さを体感する。
- ・カヌーで湖に漕ぎ出すことにより、コンビネーションの大切さを体感し、雄大な自然の中を全員の協力で漕ぎ渡る達成感を味わう。

## 主な活動内容

製材、カナディアンカヌーおよびパドル製作(4～5艇)、カヌー基本操作研修、カヌーセルフレスキュー研修、レイクツーリング(湖周遊)、オークション体験

### 【データ】

#### 実施主体

ジュニア・シニアリーダー・大学生

#### 実施地域

神奈川県全県下

#### 連携(協働)先と内容

製材所:材料の購入と製材

カヌークラブ:製作指導

カヌークラブ:基本操作、レスキュー指導

ツーリングガイド依頼

地元学校:制作・保管場所提供

関係省庁:湖の使用許可申請

県立清川青少年の家:相談全般・指導依頼・

TEL046-288-2319 紹介

#### 活動形態

年間を通して日帰りまたは一泊程度の日程で製作会を実施。各研修会・レイクツーリングについては日帰り実施

#### 実施時期

1年間

製作:6ヶ月～8ヶ月

各研修:夏休み期間中

レイクツーリング:1月

オークション実施:3月

#### 準備開始時期

1月

#### 参加対象・定員

小学校高学年～

大学生 20人

程度

#### 募集方法

各地区青少年施設

へのチラシ配布、各学校へのチ

ラシ配布

#### 実施場所

製作・保管を依頼

できた小・中・高等

学校等

#### 経費・財源

連携協力先より

借り入れ、カヌーオ

ークション売却によ

り、収益を補填



### 【日程プログラム】

#### 1月中旬 第1回コアスタッフ会議

発起人数名による、計画骨子を考える  
会議、連携先検討

#### 1月下旬 第2回コアスタッフ会議

連携先への打診・挨拶  
実施要項作成・実施計画作成  
広報計画検討

#### 2月中旬 第3回コアスタッフ会議

連携先への依頼作成・依頼  
チラシ作成

#### 3月初旬 コアスタッフ・連携先協力者会議

実施計画等説明、意見交換  
参加者募集

#### 3月下旬 参加者決定、関係書類送付

#### 4月 参加者への説明会

コアスタッフ・連携先協力者紹介  
スケジュール説明

#### 5月 製材(作業工程に参加)

#### 6月～ 製作開始(制作日を決めて)

#### 7月下旬～8月下旬

製作と同時並行で基本操作研修、  
セルフレスキュー研修を実施

#### 9月～1月下旬

#### カナディアンカヌー完成

行程が遅れているグループは全員が手  
伝い完成させる。

レイクツーリング日程・計画全般検討、  
湖の使用申請提出

#### 2月中旬 レイクツーリング実施

無事帰還打ち上げパーティー  
オークション出品話し合い

#### 3月初旬 オークション出品・売却

連携協力先報告、お礼  
実施主体に収益を補填

## 活動のポイント

### 【実施地域の特徴】

- ・森林組合や製材所があり林業が行われている地域
- ・カヌーの製作技術の指導者がいて、協力者が得られる地域
- ・カヌーの操作技術、セルフレスキュー指導をしてもらえる協力者が得られる地域
- ・カヌーでレイクツーリング(湖周遊)を実施できる湖がある地域

### 【子供の参画の仕方】

- ・年齢に応じてそれぞれの役割を担い、カヌー製作の過程を楽しみながら参加する。
- ・カヌーを漕ぐこと、水辺での危険に、気づき今後の活動に活かしていく。
- ・様々な場面で、年上の相手に対しても自分の意見を述べることの大切さを経験する。
- ・雄大な自然の中で目標を達成する喜びを体感する。

### 【若者の関わり方】

- ・活動の企画・運営・実施について、グループ内の自由な意見交換の雰囲気作りを心掛ける。
- ・年少の参加者も自らの役割分担の中で製作に参加できるよう配慮する。
- ・カヌーの基本操作、水辺のセルフレスキュー方法を学び、今後の活動に活かせるように資質の向上に努める。
- ・みんなで協力し、助け合い、やり遂げていくことの大切さを体感する。
- ・雄大な自然の中で目標を達成する喜びを体感する。
- ・地域の連携協力者との交流を通して、コミュニケーションの仕方を経験し学ぶ。

### 【大人の巻きこみ方】

- ・地域の連携協力者(大人)に交渉する際に、明確な目的、入念な準備計画、早めの相談・準備、企画運営の情熱の伝え方が大切である。
- ・相手の意見は率直に受け入れ、企画運営に反映する。

### 【活動を円滑にすすめるために】

< 継続して実施するために >

- ・カヌーは最終的にオークションにかけて売却してしまうのでなくなってしまう。但し、自作のパドルは各自の手元に思い出の品として残ることになる。ここまででとりあえず企画は終了となる。しかし、第1回目の参加者の中でやる気のあるものがいれば、新たな仲間を募り、また1からカヌー製作に打ち込み、次々に仲間の輪が広がっていくことを期待できる。

< 製作場所 >

- ・製作場所の確保が必要。製作期間を短縮することも可能なので、交渉次第である。

< 大人の協力者 >

- ・製作経験のある協力者を捜してみる。キットを使った製作ならば、説明書に従って、経験のある方の指導・助言をもらいながら作ることが出来る。
- ・塗装の専門家の助言をもらえれば、より仕上げもきれいになる。
- ・完成した後、どの湖で漕ぎ出すかも大切なポイントである。自然湖・河川は許可無く漕ぎ出すことが可能であるが、人工のダム湖では許可が必要で、個人の申請により許可をもらうのは難しいのが現状である。
- ・カヌーを漕ぎ出す際の危険についても事前にレクチャーをしてくれる協力者が必要である。危険性を事前に知っていれば、準備をして危険を回避することができる。

< 予算 >

- ・製材から始めるのか、キットを利用するのかによって、予算、人員等の条件が変わってくる。参考までに以下に自作キットによる金額を掲載しておく。

- |            |                                |
|------------|--------------------------------|
| (1)自作キット   | 10万～20万 / 1艇 程度。               |
| (2)工 具     | 3万円程度 / 1セット                   |
| (3)消耗品     | 2万円程度 / 1艇                     |
| (4)指導者謝金   | 1回(全日)につき5千円～1万円程度、20回程度。交渉次第。 |
| (5)製作場所借用料 | 交渉次第。                          |

# みんなで先生体験！

～世界に一人だけの楽しい先生に～

## 活動の趣旨

- ・異年齢の子ども・若者が関わることにより、普段にはない出会い、人間関係をつくることができる。
- ・自ら地域を調べたりすることで、自分たちが住む地域と地域の住人について知るきっかけとなる。

## 主な活動内容

子ども、若者、大人が参加者の地域の人々(子ども、大人等全世代の人々)に自分たちの得意なことを「教えること」、「指導すること」を体験する。

### 【データ】

#### 活動主体

ジュニアリーダー、子ども会など

#### 実施地域

中学校区程度がよい。

#### 連携(協働)先とその内容

自治会、子ども会、小中高等学校 PTA、公民館など

#### 活動形態

イベント

#### 実施時期

夏休み以降が望ましい(夏休みに準備ができるので)。

#### 準備開始時期

夏休み以前が望ましい。

#### 参加対象・定員

基本は地域に住む人たちが、誰でも参加可能、定員は特になし

#### 募集方法

自治会の広報・掲示板、地域の小中学校でチラシ配布

#### 実施場所

どこでも可能だが、学校、公民館などが望ましい。

#### 経費・財源

子ども会会費、自治会費、参加者負担

### 【日程プログラム】

- 4月 **コアスタッフミーティング**  
発起人を中心に口コミでコアスタッフになってくれそうなメンバーを集める。公民館、児童館等で顔合わせをする。
- 5月 **コアスタッフ会議**  
イベント実施時期を含めた年間計画について話し合う。また自分が何の先生を担当するかを話し合う。
- 5月下旬 **関係団体等協力依頼**  
自治会、子ども会、教育委員会、小中高等学校PTAに協力を依頼(資金、広報等)し、共催の形にして、イベントの会場の決定する。
- 6月 **子どもスタッフ募集、若者スタッフ募集**  
自治会、町内会、ジュニアリーダー等に募集の協力をしてもらおう。
- 7月 **地域の活動、団体を調査**  
自治会、公民館等に地域での活動している団体を調査。また、6月に募集した子ども若者スタッフに、先生をやってくれそうな人材、中高校生の部活等ボランティアでかかわってくれそうな人を紹介してもらおう。
- 8月 **子ども、若者、大人に先生依頼**  
7月に決まった人たちに協力を依頼する。
- 8月下旬 **コアスタッフ会議**  
自分たちが何を教えるのか、子ども、若者、大人の先生をやってくれそうな人たちの誰に依頼するかを決める。
- 9月 **広報活動、イベント当日の日程を決める**  
各先生の配置場所、アトラクション等時間的なことも含めて話し合う。
- 9月下旬 **スタッフ会議(先生になってくれる人も含める)**  
各配置の説明、当日の流れを説明する。チラシ配布を各先生たちにも協力してもらおう。
- 10月 **コアスタッフ会議**  
当日のスタッフの配置、協力団体へのイベント案内等の確認をする
- 10月下旬 **イベント「いろんな先生大集合！」 開催**
- 11月 **ふりかえりのためのコアスタッフ会議**  
活動、イベントのふりかえりを行う。また、慰労会の企画を行う。
- 11月下旬 **慰労会「今年もみんなありがとう！会」**  
子ども、若者、大人スタッフ、協力してくれた関係団体に集まってもらってイベントのふりかえり、今後の活動について考える。

## 活動のポイント

### 【実施地域の特徴】

- ・特になし

### 【子どもの参画の仕方】

- ・子どもスタッフも遊びやゲームなどで先生として参加する。
- ・また、イベント時は低学年の面倒も見る。



### 【若者の関わり方】

- ・子どもの気持ちや言葉を代弁して大人へ伝える。また、大人の言葉を子どもへ分かりやすい言葉で伝える通訳としての役を担う。
- ・地域の高校、大学のクラブ、サークルなどに協力してもらうのもよい。(スポーツの先生等)

### 【大人の巻き込み方】

- ・地域のサークルや活動団体に対して子ども、若者に地域の活動を知ってもらいたいということを伝える。
- ・子ども、若者にかかわりたいと思う大人は、必ずいるので、根気よく探し協力を得る。(PTAなどの協力を得ながら活動できると学校の理解も得やすい。)

### 【活動を円滑に進めるために】

#### < 会場 >

- ・イベント会場にフリースペースも用意する。そこでは、子ども、若者がスタッフとして常駐し、疲れてしまった子どもが気分転換出来るように努める。気をつけるのは、ずっと子どもがそこだけにいないようにすること。
- ・会場では、いくつかのグループごとにまとまってブースをつくる。子ども、若者、大人の先生役で1つのグループとなると結果的にいろいろな世代が集まるのでいい。

#### < スタッフ・大人の協力者 >

- ・うまく教育委員会、学校に協力してもらえると、近隣の学校にもスタッフ、参加者などを募集してもらえる可能性がある。
- ・イベント時に低学年の子も楽しく参加できるように簡単な内容のプログラムも用意する。また、昔遊びの先生を大人に願うのもいい。
- ・ハプニングには、冷静に対処する。大人にも場合によっては協力してもらうこと。

### 例(学校を借りる場合)

- ・会場内を用途によって振り分ける。(スポーツ等は体育館、料理系なら料理室等)
- ・プログラムの配布(各部屋で何をやっているかなど)、落し物、忘れ物の管理、連絡等のための本部を入口に近いところにおく。
- ・若者に各会場の状況、トラブル等のためのパトロールをしてもらう。
- ・片付けの事もあるので、15時くらいで終了する。会場全体で片付け、掃除等を行う。

### 主な先生例

#### < 子ども、若者から >

パソコン教室、固くなった頭チェック(簡単なクイズ等)、知ってる? 流行の遊びなど

#### < 大人から >

大人と勝負! 将棋対決、動物のお話、みんなも出来る日曜大工など

(注) 以上は各世代のイメージで考えたものですので、各世代に特定したものではありません。自分たちの考えられるものを自由に出して先生になって下さい。



# 私たちの地域の教科書づくり

～子どもと大人で地域社会のモラルについて考えよう～

## 活動の趣旨

近年、子どものモラルの低下が社会問題化しているが、その解決のためには「まず大人から」襟を正すことが大切ではないだろうか。タバコのポイ捨てや電車内での携帯電話をはじめ、授業参観のときにおしゃべりをする親、深夜まで幼児を連れて買い物をするなど、他人に迷惑をかけなければ何をしてもよいという親の風潮が公共心の欠如など子どもの健全な成長の妨げとなっている。

この活動は、青少年の健全な育成には「親の教育こそ必要」「どのようにすれば親の教育が可能か」との意見に応えたワークショップ(参加・体験型)形式での事業である。

## 主な活動内容

- ・モラルを考え直すための大人向けの教科書を子ども・若者が作成する。
- ・モラルについて子ども・若者と大人の討論会をする。

### 【データ】

#### 活動主体

子ども会や学校(小学校高学年～高校生くらいまで)

#### 実施地域

地域や学校等

#### 連携(協働)先とその内容

P T A や地域の大人たち

#### 活動形態

ワークショップ形式

#### 実施時期

半年くらいを想定

#### 参加対象・定員

地域の小・中・高校生、大人(討論会のときに参加)

#### 募集方法

子ども会や学校などでチラシ配布  
公民館報などで募集

#### 実施場所

社会教育施設や学校

#### 経費・財源

事務用消耗品程度、  
P T A や公民館などの  
事業として取り上げる  
ことで捻出



### 【日程プログラム】

#### 4月 準備会議

発起人グループによる、計画骨子を考える会議。

#### 5月 第1回ワークショップ(以下WS)

日程の確認

自己紹介ゲーム

公共の場で「してはいけないこと、不快なこと」を自由に話し合う(ブレインストーミング 付せん利用)

進行役は若者が望ましい

#### 6月 第2回WS

前回のふりかえり

公共の場で「してはいけないこと、不快なこと」について第1回で記入した付せ进行分类(シチュエーション別)

内容を班内で発表

#### 7月 第3回WS

班で発表した内容を全体で共有し、項目ごとに、A4サイズヘイラスト入りで作成する。(教科書作り)

発表へ向けた役割分担、練習

#### 8月 第4回WS

地域の大人たちの前で発表

大人たちと子どもたちが互いに話し合う場を設ける。(しゃべり場)

#### 9月 P T Aでの啓発開始

P T Aなどで配布し、大人のマナー向上に努める。

子ども・若者と大人の  
討論会実施

ワークショップ開催の1週間  
前に打合せ会議を開催し、進行  
や準備物品について確認する。



### 【実施地域の特徴】

- ・公民館区や自治会区などの「地域」を対象地域とする。

### 【子どもの参画の仕方】

- ・小学校高学年～高校生くらいまで参加が可能
- ・互いに話せる雰囲気さえできれば、世代ごとの「常識観」のギャップ(どこまで許せるか)の大きい方が議論が盛り上がり予想されるので、グループ内の世代を可能な限りシャッフルするとよい。

### 【若者の関わり方】

- ・若者が発起人になってくれるかどうか難しい。そういう場合は、大人の側で若者をその気にさせて、スタッフとして若者に何とか参画してもらわなければならない。
- ・実際にワークショップをしたときに、意見がたくさん出るか或いは内容が少しシビアなので静かになってしまうかによるが、進行役は若者が望ましい。子ども・若者たちは大人たちを目の前にしては、なかなか本音で語ってくれないと思うからである。子どもたちから本音の意見を引き出したり、子どもの意見の視点を変えたり、大人たちの(頭の固い)意見を子どもが理解できるような言葉へ変換したりするような役割は「子どもでもない・大人でもない」若者ならではの役割だと考える。

### 【大人の巻き込み方】

- ・PTAに話を持ちかけ、協働して取り組んでもらうようにするとよい。
- ・大人がワークショップのファシリテーター(一人ひとりの持っている経験、知恵、気づきを引き出し学習と参加を促進する人)や参加者として各班に1名ずつ入ってもらおうとよい。

### 【活動を円滑に進めるために】

<ワークショップの進め方>

- ・ワークショップ形式で進めることで、子ども・若者の意見を集約できるようにする。
- ・ワークショップの運営サイドに関わる中心的なメンバー(若者)と参加者(子ども)とに分け、それぞれが自分の意見を述べたり、役割を果たす場面を作り出すことが大切である。
- ・大人だけではなく大人と子どもがともにマナーの向上を考える契機として行うという視点が大切であり、そのための仕掛を考えるとよい。例えば討論会を実施し、多くの大人・子どもを集めて皆で考えるイベントなどである。
- ・基本的に正解があるわけではないので、できるだけ沢山話し、知らない人とのコミュニケーションを楽しむという視点が大切である。
- ・公共の場で「してはいけないこと、不快なこと」について、どうしてそのようなことをしてしまうか(原因)、どうしていけないのか(理由)、そうは思わない(反論)など、参加者同士がよく話し合い、結論を導き出すという作業をどれだけ深めることができるかがポイント(意見は一つだけではないはず)である。



# 通学路安全マップづくりワークショップ

～ 子どもたち自身で通学路をチェックしよう～

## 活動の趣旨

近年、通学路などで不審者による子どもへの声かけや痴漢・露出・つきまといなどの事例が目立つようになっている。こうした状況の改善のため、様々な地域で「通学途中の子どもたちを地域が見守る運動」が展開されるとともに、大人の手による防犯マップ作りが行われている。

この活動は、子どもたちが通学路を点検し、子どもたち自身の手で安全マップを作成することで、危険箇所等を把握して犯罪の防止につなげるものであり、子どもたちが地域を知るきっかけになる。

## 主な活動内容

・子どもたちの目から見た通学路の通学路安全マップ作りをする。

### 【データ】

#### 活動主体

登校班などの子どもたちと地域の中高生

#### 実施地域

通学区域

#### 連携（協働）先とその内容

自治会などの防犯組織、PTAなど

#### 活動形態

ワークショップ形式

#### 実施時期

半年くらいを想定

#### 参加対象・定員

登校班などの子どもたちと地域の中高生

#### 募集方法

登校班ごとに実施

#### 実施場所

社会教育施設や学校

#### 経費・財源

PTA会費など



### 【日程プログラム】

#### 4月 準備会議

発起人グループによる、計画骨子を考える会議。

#### 5月 第1回通学路安全マップ作りワークショップ（以下WS）

日程の確認

自己紹介ゲーム

通学路の現況などを自由に話し合う（ブレンディング 付せんを利用等）

#### 6月 第2回通学路安全マップ作りWS

前回のふりかえり

通学路の現況について、第1回に記入した付せんを分類

#### 7月 第3回通学路安全マップ作りWS

通学路を現地踏査

現地踏査の内容を班内で発表

班内で集約した内容を班ごとに発表

#### 8月 第4回通学路安全マップ作りWS

班で集約した内容を、地域全体の地図へ集約する。

発表へ向けた役割分担、練習

#### 9月 第5回通学路安全マップ作りWS

地域の方（自治会、学校、PTAなど）を招いて班ごとに結果発表

PTAや自治会などの研修の位置づけで子どもたちが出向いて話をするのも効果があると思われる。

#### 10月 地域での啓発開始

自治会報・掲示板、PTA会報などを用いて危険箇所などの見守りを呼びかける。

ワークショップ開催の1週間前に打合せ会議を開催し、進行や準備物品について確認する。



## 活動のポイント

### 【実施地域の特徴】

- ・公民館区や自治会単位などの「地域」を対象地域とする。
- ・通学路だけでなく、日頃の遊び場や生活道路など範囲を拡大して行ってもよい。

### 【子どもの参画の仕方】

- ・自分たちの身近な話題であるため、比較的参加はしやすいものと思われる。
- ・小学生だけではなく、地域内にある中学校や高校での事例も入れるとより詳細なマップができあがる。

### 【若者の関わり方】

- ・この活動は、「子どもたち自身の手で」行うことがポイントである。(地図を上手に作る事が目的ではない。地図作りをとおして危機意識を養うことが目的である。)
- ・若者の関わり方として、子どもたちと大人たちの橋渡し役となることが求められます。具体的には、活動を進めていくためのコーディネーター、活動当日の進行役など学校や自治会、PTAといった地域に住む大人と一緒に取り組むとより効果が高まるので、そうした大人たちと子どもたちの間をつなぐ潤滑油的な役割が期待される。

### 【大人の巻き込み方】

- ・地域に住む自治会や防犯協会、学校、PTA、青少年健全育成関係団体などと一緒に取り組むことで、通学路の安全意識を高めていただくことが重要
- ・ワークショップのファシリテーター(一人ひとりの持っている経験、知恵、気づきを引き出し学習と参加を促進する人)、現地踏査の安全確保などの役割が考えられる。
- ・地元の警察署に依頼し、通学路の不審者対策についてのアドバイスをもらう。

### 【活動を円滑に進めるために】

#### < 子ども・若者の意見 >

- ・ワークショップ形式で進めることで、子ども・若者の意見を集約できるようにする。
- ・ワークショップの運営サイドに関わる中心的なメンバー(若者・大人)と参加者(子ども・若者)とに分け、それぞれが自分の意見を述べたり、役割を果たす場面を作り出すことが大切である。

#### < 活動内容 >

- ・安全安心まちづくりのイベント等の場で発表することも考えられる。
- ・交通安全、防災、痴漢防止などの視点も入れることで、子どもたちがいろいろな角度で地域を知るきっかけになる。



# 子どもミニ留学体験学習

～ 海外へ行かなくても、留学気分味わえる～

## 活動の趣旨

国際感覚を養うとともに、この体験を通して、国際社会に対応できる幅の広い視野を身につけ、自己の可能性への気づきを促す。

## 主な活動内容

地域に住んでいる外国人や小・中・高等学校のALT (Assistant Language Teacher : 外国語学習指導助手) 等の講師と連携し、宿泊疑似留学生活の中で外国語 (日本語) を学ぶ。

### 【データ】

#### 活動主体

海外派遣研修等 OB の若者とジュニアリーダーによる実行委員会、市、小・中学校 (他市あり)

#### 実施地域

市内小・中学校区ほか

#### 連携 (協働) 先とその内容

小・中学生及び同じく外国人の子どもたち、中学校、他市

#### 活動形態

宿泊体験学習 (2泊3日) ほか

#### 実施時期

8月下旬が望ましい

#### 準備開始時期

1月

#### 参加対象・定員

市内の小学6年生、中学1年生の日本人、同じく外国人の子どもたち (他市あり)

#### 募集方法

市内小・中学校へチラシ配布 (外国人の募集は他市へも)

#### 実施場所

宿泊可能な研修施設他

#### 経費・財源

市の予算、受益者負担

### 【日程プログラム】 ( ) 内が企画進行

#### 1月 実行委員会発足

ジュニアリーダーが発起人となり、若者たちによる実行委員会を立ち上げる (ただし、市職員が支援していく形で)。実行委員会立ち上げ後、市職員の支援により、すぐに参加者募集に伴う市内小・中学校及び他市への案内をする。 (次年度小6、中1になる子どもたち) 締め切りは3月講師及びスタッフも同時に依頼、または募集を行う。

#### 3月 全体会議

講師及びスタッフを選考し第1回全体会議を開催する。同月中に参加者の選考会も行う。

#### 4月 募集・協力依頼

週1度の特別外国語会話教室開講及びプログラム作成会議も進めていく。外国人の子どもたちの募集、他市への協力依頼

#### 5月 外国人の子どもたちについての処々の調整

#### 6月 外国人の子どもたちの選考、調整、説明会

#### 7月 上旬 第1回日常外国語会話チェック

下旬 外国人の子どもたちとの顔合わせ会、自己紹介等

#### 8月 上旬 第2回日常外国語会話チェック

お盆休み (それぞれの気持ちの整理)

#### 下旬 子どもミニ留学体験学習開催

#### 9月 参加者ふりかえり会

参加者を集めてのふりかえり会 (お菓子や飲み物、立食パーティー形式)

#### 10月 スタッフふりかえり会

講師、スタッフのみでのふりかえり会

## 活動のポイント

### 【実施地域の特徴】

- ・郊外で住宅地とは隔たれた区域で、自然体験活動等が可能な地域

### 【子どもの参画の仕方】

- ・研修期間中のプログラムは、外国語会話講師及び市職員と相談し、事前に参加する日本の子どもたちが作成する。
- ・基本的に、研修中は日本語を使用せずに展開していく。
- ・事前の外国語会話研修が必要である。
- ・自らが積極的に外国語で発言し意見交換を努力して行う。
- ・参加する外国人小・中学生も会話を理解しようとする努力が必要である。
- ・主には、外国語を学ぶためであるが、外国人小・中学生も日本語が学べるような研修プログラムを助言し考慮させる。

### 【若者の関わり方】

- ・発起人グループをジュニアリーダーに設定しておく。
- ・スタッフとして海外派遣研修等 OB の若者あるいは外国語に理解力のある高校生(ジュニアリーダー)・大学生を参画させる。

### 【大人の巻き込み方】

- ・地域に住んでいる外国人に声をかけ、協力依頼する。
- ・県・市区町村等で作成している人材バンクを利用し、外国人で外国語会話を指導できる人を探す。
- ・教育委員会に、活動の趣旨を理解してもらって、外国語会話講師の派遣を依頼する。
- ・同様に日本人外国語会話講師にも協力を依頼するが、研修期間中の主な講師役は外国人講師とする。
- ・講師間にも学習の機会を与えることも必要。

### 【活動を円滑に進めるために】

#### < 事前準備 >

- ・事前に、1週間に1度の日程で特別外国語会話教室を実施する。
- ・(財)神奈川県国際交流協会等に問い合わせて、協力してもらえる団体を紹介してもらい、その団体を通して外国人の子どもたちの募集をする方法もある。

#### < 内容の工夫 >

- ・外国人4人、日本人4人のグループを作り、1グループに1人の外国人外国語会話講師と3人の日本人外国語会話講師を配置する。
- ・外国語によるゲームや歌、物づくり、自然体験活動等を学ぶ。
- ・食事や生活面でも外国の生活様式を取り入れる等の工夫を凝らし、また、状況によっては、同様に日本様式も体験できるようにする。
- ・公平であることに配慮する。

#### < 発展 >

- ・今後、交流が進み、例えば外国人の子どもたちの家庭へ、ミニホームステイを行い、更には、外国語会話能力試験など経て海外へのホームステイを考慮していく。
- ・(財)神奈川県国際交流協会等に紹介してもらった団体の行事等に参加して、交流を深める。



### 国際交流に関する情報源

(財)神奈川県国際交流協会 企画情報課 TEL 045-896-2896

ホームページ / 県内地域国際化協会等リンク集 URL: <http://www.k-i-a.or.jp/>

かながわ県民活動サポートセンターホームページ / ボランティア活動情報

URL: <http://www.kvsc.pref.kanagawa.jp/index.html>

(財)横浜市国際交流協会ホームページ / 横浜の国際交流・協力グループ / 国際交流・協力ボランティアグループ・リンク URL: <http://www.yoke.city.yokohama.jp/>

# 小さな新聞記者

～地域のちょっとしたいい話を見つけに、みんなで取材に出かけよう～

## 活動の趣旨

地域の新聞を子どもたちが主体となって作ることによって、地域の人たちと交流する。また、新聞を通して子ども・若者・大人の相互理解をはかる。

## 主な活動内容

地域の情報を調査し、新聞を作る。また、学校であった出来事(流行の遊びなど)を載せ、子どもが読んで大人が読んで楽しい記事にする。その記事を大学に貼ったり、近所に配ったりする。

### 【データ】

#### 実施主体

地域の若者

#### 実施地域

市内小学校区(または中学校区)

#### 連携(協働)先とその内容

自治会、子ども会、小中学校PTA、大学

#### 活動形態

年間を通した新聞作り

#### 実施時期

2～3ヶ月に1つを作成

#### 準備開始時期

3月にスタッフの募集開始

4月に取材開始

5月に発行

#### 参加対象・定員

地域の子ども・若者・大人、定員は特になし

#### 募集方法

自治会の広報・掲示板、地域の小学校・中学校などでチラシを配布

#### 実施場所

公民館、地区センターなど

#### 経費・財源

地域の商店からの広告料、PTAの予算(PTAと協力して行った場合)



### 【日程プログラム】

- 1月 若者スタッフ募集  
地域の大学の掲示板や小・中・高校で呼びかけをする。最寄のボランティアセンターなどにチラシを置いてもらったり、Web上で募集をかける。
- 2月 第1回コアスタッフ会議  
発起人グループと若者スタッフによる今後の計画骨子を考える会議  
スタッフ募集開始(市内小中学校への募集要項配布)
- 3,4月 取材開始(取材先の検討・決定)  
紙面の構想を練る  
記事のネタ集め(学校に記事のネタを集めるポストを設置するなど)
- 5月 広告掲載の交渉  
新聞発行、配布  
地域の商店街、小・中・高等学校、大学に配布。近隣住民にも配布
- 6月 第2回コアスタッフ会議  
発行した新聞の検討、改善点を次回に生かす。  
新スタッフ募集(市内小中学校への募集要項配布)
- 7,8月 取材開始  
(夏休み特集を盛り込んだり...)、広告掲載の交渉
- 9月 新聞発行、配布
- 10月 第3回コアスタッフ会議
- 10,11月 取材開始  
(学園祭など、地域の情報を沢山取り上げる)、広告掲載の交渉
- 12月 新聞発行  
発行後、子どもスタッフ、若者スタッフによるふりかえりをする。

## 活動のポイント

### 【実施地域の特徴】

特になし

### 【子どもの参画の仕方】

- ・小中学生スタッフは、積極的に記事のネタを探したり、地域の人と頻繁に関わり、できるだけ大人の力に頼らずに取材を行う。
- ・広告を出してくれる地域の商店を探したり、交渉したりすることにも積極的に参加する。

### 【若者の関わり方】

- ・活動の企画・運営・実施時のリーダー的存在として関わっていく。
- ・新聞全体のおおまかな構想をたてる。
- ・子どもスタッフのサポートを行う。
- ・若者の視点から記事を書く。
- ・新聞を作成するごとに、反省会を行い小中学生が次回の活動を円滑に進められるようなアドバイスを行う。

### 【大人の巻き込み方】

- ・子どもたちの地域についての取材などに、快く応じてもらえるようにする。
- ・広告掲載に関して、地域住民への宣伝となると共に、地域の活性化につながるということを伝える。

### 【活動を円滑に進めるために】

< コアスタッフ会議 >

- ・大人と若者スタッフとの会議(コアスタッフ会議)で、新聞作りのある程度の方針を固めておく。

< 記事内容 >

- ・記事内容は、子どもの身の回りの生活を始め、地域への取材やアンケート、コラムなど多彩なものにし、誰が読んでも楽しめるものにする。また、場合によっては、若者や大人も記事を書くことによって違う世代の相互理解ができるような記事作りにも取り組んでいけると良い。

例えば、地域の名人発掘、学園祭っておもしろい、地域のイベント取材しました、大人が知らない小中学校で流行っていることなどの記事を書いたりする。また、あるひとつのトピックに関して、子ども・若者・大人のそれぞれの立場から意見を言うコーナー(どっち！勉強大切派？家の手伝い大切派？それとも遊びたい派？など)を作ると世代の相互理解にもつながっておもしろい。

- ・新聞発行後のアンケート調査などを行い、次へ活かしていく。

< 予算 >

- ・予算的に商店からの広告料が難しければ、PTAに趣旨を理解してもらい資金協力をお願いするのも良い。しかしその場合、取材が学校のできごと中心になってしまうこともあるので(自由度が狭まる恐れがあるので)、注意する必要がある。

< 子どもの安全 >

- ・子どもの安全を確保する。例えば以下のような工夫をする。

- (1)必ず複数で取材に出かけること
- (2)どこに取材に出かけるかを、毎回若者がきちんと把握していること
- (3)腕章・ゼッケン等を身につけたり、幟(のぼり)を持って取材することで、地域の人たちに認知してもらおう。



# 回覧板ホームページ

～ 情報発信！子ども・若者も読みたくなるような回覧板づくり～

## 活動の趣旨

若者が主体となって、地域の情報を伝える回覧板のホームページ(以降HP)版を設置し運営する。若者から地域の情報を発信することにより、地域に住む人々がお互いを身近に感じることができ、地域のつながりを深めることができる。

## 主な活動内容

子ども・若者も読みたくなるような回覧板をインターネット上のHP上に構築する。

### 【データ】

#### 実施主体

地域の10代後半～20代前半の若者  
(中3～大学生くらい)

#### 実施地域

自治会単位、または小学校区単位

#### 連携(協働)先とその内容

自治会、各学校、地域の商店、行政、地域の大人、学校の先生など

#### 活動形態

HPの運営、更新、取材、広報

#### 実施時期

1月から翌年3月迄の14ヶ月間で1シーズン  
更新、取材、広報は随時(月2回会議)

#### 準備開始時期

開設時は半年前から。次年度以降は1～3月  
が引継ぎ、新規スタッフ研修期間

#### 参加対象・定員

スタッフ5～10名程度  
監督・管理の大人2～3名

#### 募集方法

中学校などでスタッフ募集チラシの配布  
自治会回覧板  
各学校、公民館、図書館、地域の商店などに  
募集ポスターの掲示  
メールなどで申し込み受付

#### 実施場所

自治会館、公民館、自宅のPCから  
(メール、メッセージなど)

#### 経費・財源

自治会費、バナー広告  
収入で運営



### 【日程プログラム】

11月上旬 第1回開設委員会議  
立ち上げ人(数名)で、計画を  
具体化する打ち合わせ  
HPスペース確保  
関係諸団体、商店などに協力  
依頼

11月下旬 第2回開設委員会議  
チラシ、ポスターの作成、印刷  
HP運営、管理上のルールの確  
認

12月 スタッフ募集開始  
チラシ、回覧板、ポスター等で  
募集

1月中旬～3月 スタッフ会議(以降月2回程度  
実施)  
事前研修  
趣旨説明。PCリテラシー演習、  
ネットでのマナーについて  
スタッフ役割分担

#### < HP運営班 >

記事や写真の編集・発信  
HPデザイン、運営・管理  
掲示板やコメントへの返信

#### < 取材班 >

地域各組織や団体から情報収集をす  
る。  
行事に参加し、写真撮影、記事作成

3月 HP開設準備

4月 HP運営開始

月2回更新ペースで運営。  
(コメントなどに対する返信は随  
時)

スタッフ打合せはインターネット  
を利用して随時行う。

月2回のスタッフ会議は、管理  
委員の大人も交えて直接会って  
行う。

## 活動のポイント

全世代において、HP上でお互いに積極的にコミュニケーションをとるように心がける

### 【実施地域の特徴】

スタッフや指導者のいずれかの家庭、もしくは自治会館などに、インターネット環境の整ったパソコンが1台以上あること。

### 【子どもの参画の仕方】

・子ども記者を募り、イベントやその他地域に関する情報提供をしてもらう。  
(学校行事や子ども会での活動の感想の作文や絵などを提供してくれるとよい。)

### 【若者の関わり方】

・スタッフは、HPの運営全般、取材、情報収集など中心となって活動する。  
・イベントや、その他地域に関する情報提供をする。

### 【大人の巻き込み方】

・活動の趣旨を理解してもらうために具体的なもの(回覧板 HP の例)を事前に作成しておき、その有用性、有効性をプレゼンテーションして、大人を巻き込む。

### 【活動を円滑に進めるために】

- ・**監督、管理者**として複数名の大人を置くとよい。(自治会役員や学校の先生などで、コンピューターにある程度精通している人、地域のことを理解している人)
- ・**監督、管理の大人**には、スタッフの自主性を尊重し、必要に応じて指導・助言してもらうとよい。(特にインターネット上の掲示板やメール等でやりとりする際のモラルの関係や個人情報の扱いに関する指導に重点)
- ・地域の商店や団体等に**スポンサー**になってもらい、HP上に広告バナーを設置する代わりに、ポスターを掲示させてもらうとともに、**広告料**をもらう。
- ・イベントや、その他地域に関する**情報提供**をする。
- ・より多くの地域の人々に閲覧してもらえよう、**見やすいデザイン・ページ構成**と、充実した内容にする。
- ・インターネットの特性を活かし、管理者と利用者が**双方向のコミュニケーション**が取れるようにHPを工夫する。お互いに積極的にコミュニケーションを図るよう心がける。
- ・様々な自治会、小学校区単位で設置すれば、閲覧者やスタッフがコンテンツを通して、自分の住む地域だけではなく、**他の地域の人とも相互につながりを持つ**ことができる。  
(各市町村区単位でポータルサイトを設置してくれるとよい)

### HP具体案

双方向のコミュニケーションが容易にできるようにするために、Blog(ブログ)、Wiki(ウィキ)、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)などを利用するとよい。

- ・イベント情報(学校、行政、子ども会、地域の団体など)
- ・ゴミ収集日や災害時の対応などの自治会関連情報
- ・取材班の行事体験記、HP運営班編集記など
- ・掲示板、コメント欄(情報交換、コミュニケーションの場として)
- ・関連団体や役所HPへのリンク、地域の商店のバナー広告 etc...



### 【用語解説】

**WWW( World Wide Web )**とは、インターネット等で提供されるハイパーテキストシステム(複数の文書(テキスト)を相互に関連付け、結び付ける仕組み)。単に Web と呼ばれることも多い。インターネットは本来、ネットワークを指す言葉であったが、日常用語では WWW を指すことも多い。

**ウェブページ (webpage)**とは、World Wide Web の個々のページのことである。もし、この記事が World Wide Web を使ってパソコンの画面上で見ているなら、あなたが見ているこの記事はウェブページの 1 つである。

**ウェブサイト(Website)**とは、一連のウェブページの集まりとしてできている意味のあるまとまり

**バナー広告**とは、バナー (banner) が WWW 上のウェブサイトで他のサイト(ページ)を紹介する役割をもつ画像のことで、主に広告・宣伝用に作られたもの

**PCリテラシー**とは、コンピュータを操作して、目的とする作業を行い、必要な情報を得ることができる知識と能力を持っていること。

**コンテンツ(contents)**とは、ウェブサイト上で提供される、ニュースなどの情報や音楽・映画・漫画・アニメ・ゲームなど各種の創作物を指す。

**ポータルサイト (portal site)**とは、WWW にアクセスするときの入口となるページのこと。

**ブログ(ウェブログ、Blog、Weblog)**とは、狭義には World Wide Web(Web)上のウェブページの URL (そのページを表すアドレス)とともに覚え書きや論評などを加え記録(Log)している Web サイト。

**ウィキ(Wiki)**あるいはウィキウィキ(WikiWiki)とは、ウェブブラウザ(ホームページ閲覧ソフト)を利用して WWW サーバ上のハイパーテキスト文書を書き換えるシステムの一つである。

**ソーシャル・ネットワーキング・サービス ( Social Networking Service )**とは、人々の「つながり」を重視して趣味や嗜好、仕事関係、男女関係などを電子的に構築するサポートをするサービスである。社会的ネットワークをオンラインで提供するもの、といってもよい。  
(出典:フリー百科事典『ウィキペディア ( Wikipedia )』)

# 私たちの笑店街

～ 儲かりまっか？ みんなで商売体験！ ～

## 活動の趣旨

- ・子どもたちが楽しく、笑顔で商売(就労)体験をする。
- ・地域の人たちが、この活動を通して知り合い、楽しく会話し、一緒に何かをする機運を作る。

## 主な活動内容

- ・年1回、子どもたちによるフリーマーケットを中心としたイベントを開催する。

### 【データ】

#### 活動主体

高校生以上の青少年、10人程度

#### 実施地域

小学校区または中学校区

#### 連携(協働)先とその内容

小中学校 PTA(共催)、自治会・子ども会(広報等協力)、教育委員会(後援)、公民館(会議場所提供)

#### 活動形態

フリーマーケット開催

#### 実施時期

春と秋

#### 準備開始時期

随時

#### 参加対象・定員

小中学生、定員は特になし

#### 募集方法

自治会の広報・掲示板、地域の小中学校でチラシ配布。参加団体についてはタウン誌等に掲載依頼する。

#### 実施場所

小学校または中学校の校庭(雨天時は体育館)

#### 経費・財源

第1回目はPTA行事として位置づけてもらい、2回目はその売り上げで、実施する。

### 【日程プログラム】

秋に第1回を開催するための日程

3月

#### 第1回コアスタッフ会議

発起人グループによる、計画骨子を考える会議。公民館、児童館、地区センターなどを借りて月2回程度の会議を継続する。

4月

#### 関係団体等協力依頼

自治会、子ども会、教育委員会、小中学校 PTA、協力依頼(資金・広報等含む)する。教育委員会には後援を、小学校 PTA には共催を依頼する。

5月下旬

#### 会場決定

小学校または中学校 PTA との共催を得て、フリーマーケットの会場を決定する。

6月

#### 子どもスタッフ募集イベント計画・準備

7月下旬

#### 子どもスタッフ募集イベント実施

夏休みを利用して、体育館を使った仮想フリーマーケット開催。スタッフによる模擬店をいくつか用意し、参加者には客と店番の両方を体験してもらう。

8月

#### 子ども・若者・PTA合同ワークショップ

フリーマーケットの規模・内容・アトラクション・参加団体等について、アイデア出しをする。

9月

#### 参加団体募集

並行して店を出す子どもスタッフは商品の仕入れ・調達、作成等を進める。

10月

#### 参加団体決定・調整会議

11月

#### フリーマーケット開催

12月

#### ふりかえりワークショップ&クリスマス会

子どもスタッフに、活動をふりかえってもらい、今後の活動をどうするかを若者スタッフと考えてもらい、今後につなげていく。その後慰労会を兼ねてクリスマス会を実施する。

## 活動のポイント

### 【実施地域の特徴】

特になし

### 【子どもの参画の仕方】

- ・小中学生スタッフはフリーマーケットを出店することが主な活動となる。
- ・出店以外の企画のアイデアも出す。
- ・フリーマーケットに来た子どもたちも店番をできるシステムにする。



### 【若者の関わり方】

- ・子ども(小中学生)が参加したくなるようなイベントを企画して、子どもスタッフを募集する。
- ・子どもが主体となるように、フリーマーケットの全体構想にも子どもが意見を出せるように工夫する。その際子どものやる気をそがないように、子どもの意見をできるだけ尊重する。
- ・大人と子どもの調整役に徹する役割のスタッフも必要である。

### 【大人の巻き込み方】例：PTAと協働する場合

- ・PTA 役員の負担ができるだけ少なくなるように、子ども・若者が主体で実施するということをうまくプレゼンテーションして、協力・理解を求める。
- ・PTA のメリットにもなり、地域の人たちが集まる楽しい行事に育てていくことを理解してもらい、協力してもらうように理解を得る。
- ・PTA は裏方にまわってもらうようにして、子どもができるだけ前面に出て活躍してもらう。

### 【活動を円滑に進めるために】

- ・子どもの当日参加者にも、「働く」体験ができるように、システムを工夫する。例えば 1 時間店番をすると、それに見合う回数券を渡して、それでゲームしたり、食べ物や飲み物を購入できるようにして、「働く」という体験をする。
- ・上記のシステムを取り入れると、売り上げは少なくなると思われるが、それでも売り上げが出た場合、次回のフリーマーケットの資金に、一部は PTA への寄付に回す。それでもまだ余裕がある場合は、子どもスタッフに還元することで、モチベーションをあげる。
- ・フリーマーケット以外の目玉として、魅力のあるアトラクションがほしい。例えば若者を引きつけるためのものとして、体育館のステージを使ったライブなども考えられる。その他若者の感覚で考えてみるとよい。
- ・大人向けの商品も用意する。
- ・地域の大人が集えるようなものとして、クイズ大会やもの作りチャンピオン大会なども考えるといいだろう。
- ・フリーマーケットの商品は、基本的には子どもが持っているものや家庭にあるものを主体とする。あとは自分たちで制作して売れると考えられるもの(例えば、アクセサリ・小物類、食べ物・飲み物類)がよい。
- ・飲食品を出す場合は、保健所の指導を仰ぐ。
- ・事前に自治会等に協力してもらい、当日の参加数のある程度把握し、それを参考にして飲食物の量を決定し、無駄のないようにする。
- ・総合的学習の時間で、農作物を栽培している小学校などでは、その作物をフリーマーケットで販売するとよい。



# こだわりのヘルシークッキング

～ 安心して美味しいものを食べたいですね～

## 活動の趣旨

- ・食文化にこだわり、ヘルシーで美味しく安心な食べ物を作り、食べる。
- ・地域の産業である農業を体験し、理解する。
- ・地域の子ども・若者・大人をつなぎ、笑顔で話のできる関係を作る。

## 主な活動内容

農業体験、料理作り、屋台(模擬店)体験、物売り体験

### 【データ】

#### 活動主体

ジュニアリーダー

#### 実施地域

小学校または中学校の学校区程度が良い。

#### 連携(協働)先とその内容

自治会・子ども会(協力)、小中学校 PTA (共催)、農家(農業体験への協力等)、公民館(会場提供)

#### 活動形態

年間通して日帰りで随時実施、最後はイベント

#### 実施時期

年間通して随時(地域行事に合わせる)

#### 準備開始時期

1月(農業体験に間に合わせる)

#### 参加対象・定員

地域行事の規模に合わせる

#### 募集方法

自治会の回覧板、小・中・高等学校でチラシ配布

#### 実施場所

公民館

#### 経費・財源

地域行事の主体から



### 【日程プログラム】

- 1月中旬 第1回コアスタッフ会議  
発起人数名による、計画骨子を考える会議
- 1月下旬 第2回コアスタッフ会議、  
チラシづくり
- 2月初旬 スタッフ募集  
近隣の中学校・高校で教わった教員を通して、学校の協力を仰ぎチラシを配布
- 3月 スタッフ会議 2回  
(4月以降月1～2回のスタッフ会議)  
活動内容、役割分担、スケジュール決定
- 4月 地域の協力者(自治会、子ども会、学校、  
公民館等)への挨拶と協力依頼(会議場  
所の確保、秋の地域行事への参加につい  
ての依頼も含む)
- 5月 参加者募集  
教わった教員を通して、小中学校の協力を  
仰ぎチラシ配布
- 6月 ワークショップ 2回  
活動内容について参加者との共通理解  
及びアイデア募集  
「こだわり農家さがし」について、計画立  
案と役割分担
- 7月 こだわり農家さがし
- 8～9月 農業体験(除草、収穫等)
- 10月 料理教室、事前準備
- 11月 地域行事への出店
- 12月 スタッフ・参加者による  
クリスマス会
- 1月 新年会、スタッフふりかえり会議

## 活動のポイント

### 【実施地域の特徴】

- ・農業が盛んであるが、新興住宅地もあり農業には実際にふれていない子どもが多い地域で実施しやすいだろう。

### 【子どもの参画の仕方】

- ・活動の中で中心となって働く。
- ・何を食べてみたいかを考え、それを作るためには食材にこだわる必要があることを理解し、安全な「食」について意識する。
- ・どのような農業体験をしたいかを考える。
- ・屋台(模擬店)での営業方法について考え、実際に商売をする。



### 【若者の関わり方】

- ・活動の企画・運営・実施をする。
- ・子どもの活動を支援しながら、活動を推進する。
- ・子どもにできることは何かを見極め、できるだけ子どもに役割を担わせる。
- ・子どものモチベーション(やる気)をあげることを常に考えるとよい。

### 【大人の巻き込み方】

- ・大人にもメリットがあるように、話を持っていくことが大切である。
- ・地域で誰(核になっている人)に話を通せば、円滑に進めることができるのかを事前によく調べておき、誠意を持ってお願いすることが大切である。

### 【活動を円滑に進めるために】

#### < スタッフ・大人の協力者 >

- ・実施主体をジュニアリーダーにしているが、地域で何かやってみたいという若者がいるのであればジュニアリーダーだけにこだわる必要はない。
- ・ジュニアリーダーズクラブ全体で取りかかるよりも、その地域のジュニアリーダー数名が核になって、地域の他の中高生を巻き込むと活動の輪が広がる。
- ・ジュニアリーダーズクラブからの派遣という形では、ジュニアリーダーが主体にはなれないので、ジュニアリーダーの自主活動として位置づけると良い。
- ・大人の巻き込み方として、大人側にもメリットがあることを強調して、交渉していくと良い。
- ・活動を立ち上げる上で、必要なことは地域の資源の活用である。したがって、地域の特徴、住んでいる人、公共施設等の情報を把握する必要がある。情報収集する際には地域の大人から聞き取り調査をするなどの地道な活動が必要である。

#### < キーワード >

- ・この活動では、「食」「農業」をキーワードにして、組み立てる。

#### < 実地地域 >

- ・対象地域は単位子ども会レベルだと「こだわり農家」を探すのが難しそうなので、学校区程度がよいだろう。



# 地域をつなぐリレー劇場

～ あなたも演出家・脚本家・俳優になれる～

## 活動の趣旨

地域、学校、家庭を結ぶ連携、協働の関係作りをする。

## 主な活動内容

- ・各公民館(地区センター等の施設でもよい)がある地域で劇団を作り、継続するストーリーを各地域でリレーし演劇を展開していく。
- ・市内の高校生から作品を募集する。



## 【データ】

### 活動主体

各公民館がある地域の小・中学生 20 人程度

ここでは 14 公民館のある市という設定にしてある。

### 実施地域

各公民館がある地域を対象とする

### 連携(協働)先とその内容

地域住民、小・中学校、公民館等

### 活動形態

市内の 14 公民館について、2 公民館を一つの単位として、その地域ごとに分け 7 つの劇団を作る。そして、各劇団がそれぞれ 40～50 分程度で終わる演劇を創作する。その 7 つのストーリーが継続性のあるものにして、各公民館区をリレー上演する。

### 実施時期

10 月下旬(2 年に 1 度の開催)

### 準備開始時期

実行委員会発足、作品募集を 7 月に

### 参加対象・定員

市民・定員は体育館等の収容人数による

### 募集方法

市広報紙、公民館だより等への掲載  
市内小・中学校、高校へチラシ配布

### 実施場所

2 公民館を一つの単位と考え、そのうち、立地や設備、広さ等を考慮して決定する。  
また、小・中学校の体育館も考えられる。

### 経費・財源

市の予算

## 【日程プログラム】 ( )内が企画進行

### 7月 実行委員会発足

ジュニアリーダーが発起人となり、若者たちによる実行委員会を立ち上げる。(高校生・大学生がスタッフ)ただし、市職員が支援していく形で。実行委員会立ち上げ後、早速、市職員の支援により、作品募集に伴う市内高校への案内(締切は12月)

### 9月 スタッフ募集・依頼及び監督依頼

### 11月 第1回全体監督者会議

### 12月 作品選考会及び出演者募集(スタッフ)

### 2月 第2回全体監督者会議

### 3月 出演者選考会(全体監督及びスタッフ)

### 4月 練習開始

1週間に1度のペースで練習開始、また、今月から1ヶ月に1度のペースで全体監督者会議を開催していく。

### 7月 中間発表

関係者のみを集めた中間発表を行い、7ストーリーを通した改善点等の確認を行う。

### 8月 お盆休み

それぞれの気持ちの整理

### 9月 最終確認

7ストーリー通しのリハーサルをする。

### 10月 全体監督者最終会議

下旬「地域をつなぐ劇場リレー」開幕

### 11月 各公民館区ふりかえり会

～ 慰労会を兼ねてクリスマス会を実施

### 12月 全体監督者会議ふりかえり会

各公民館区ふりかえり会を踏まえて

慰労会を兼ねて忘年会を実施

## 活動のポイント

### 【実施地域の特徴】

- ・地域に公民館などの施設があると望ましい。他の施設があれば、それを利用することもできる。

### 【子どもの参画の仕方】

- ・小・中学生は出演者として参画するが、自分や周りへのせりふや振り付けの演出についても積極的に意見を交わし参画する。
- ・公民館区ごとに役者は変わるが、役柄は同じであるところに微妙な違いが生じ、子ども一人ひとりの個性が活きる。

### 【若者の関わり方】

- ・ジュニアリーダーを発起人グループとする。
- ・スタッフとして高校生(ジュニアリーダー)・大学生を参画させる。
- ・市内の高校に通う現役高校生から作品を募集する。
- ・受験準備のため、4月から中3、高3(スタッフ)になる生徒の参加については、保護者と学校との調整を要する。

### 【大人の巻き込み方】

- ・まず、演劇に興味関心がある大人を巻き込むことが重要。
- ・監督(大人)はいるが、あくまで助言程度で、演出については、自分たちで構成していく。
- ・監督は各中学・高校の演劇部顧問やそれに関わる者、または、演劇クラブや団体に演劇に関して精通している者に依頼する。
- ・各監督間の意思疎通を常に図ること。
- ・スタッフは公民館区内の住民から、成人、高校生(ジュニアリーダー)・大学生を募集する。

### 【活動を円滑に進めるために】

#### <ストーリー>

- ・公民館等の施設の数によって、ストーリーの数を決めるとよい。
- ・継続するストーリーは、市内の高校に通う現役高校生から作品を公募する。
- ・ストーリーの内容には「家庭・地域・学校の協働」のキーワードが盛り込まれたもので作品を募集する。

#### <市職員の役割>

- ・公平性を保つために、市職員(公民館職員)が常に状況を把握し、演出内容に注意をする。

#### <日程調整>

- ・演劇の発表回数が増えるほど、日程調整が重要となり、公演日と公演日の日数が空かないよう考慮する。
- ・週1回の日程で練習していくとよい。
- ・スタッフ会議等は、子どもたちが練習する施設で主に行う。



# 地域ふれあい囲碁大会

～あなたも私も囲碁名人～

## 活動の趣旨

・年間を通じて実施する事業として、子どもと大人と一緒に参加できる「囲碁」を取り上げ、参加者である小学生が地域の中学生や高齢者とのふれあいが期待できる内容とした。

## 主な活動内容

・世代を超えて、多くの地域住民が参加できる囲碁大会を行う。

### 【データ】

#### 活動主体

若者(中高生)を主体とする実行委員会  
学社連携の事業

#### 実施地域

地域にある公民館、青少年センター、中学校など(なるべく「地域」を意識したものであることが好ましい)

#### 連携(協働)先とその内容

参加者:子ども会、小学校など  
主催者:公民館、中学校・高校の部活動など  
協力者:学校の部活動、老人会など

#### 活動形態

導入          ステップアップ          大会  
(合間にイベントの実施)

#### 実施時期

年間通して随時

#### 参加対象・定員

地域の小学生、中学生、地域住民

#### 募集方法

地域の自治会報・掲示板、地域の小学校、子ども会でチラシ配布

#### 実施場所

社会教育施設、学校

#### 経費・財源

公民館事業費、参加費など

### 【日程プログラム】

- 4月      準備会議  
          発起人グループによる、計画骨子を考える会議  
          実行委員会のメンバー選定
- 5月上旬    第1回打合せ会議  
          事業内容、日程、会場などの検討
- 5月下旬    第2回打合せ会議  
          実施主体の選定、依頼についての検討
- 6月上旬    実施主体の依頼・承認
- 6月下旬    参加者募集  
          子ども会、学校、公民館報を通じて実施
- 7月      第1回囲碁教室  
          導入部分のゲーム  
          中学校囲碁部の指導による小学生向けの教室(導入)
- 8月      第2回囲碁教室  
          中学校囲碁部の指導による小学生向けの教室(導入+発展)
- 9月      第3回囲碁教室  
          中学校囲碁部の指導による小学生向けの教室(応用)  
          地域の高齢者(公民館利用サークル)との対戦
- 11月     焼き芋、芋煮会(イベント例示)  
          囲碁を楽しんだ後、中学生・地域の高齢者・参加者の小学生のみんなで焼き芋などを楽しむ
- 12月     囲碁大会(その1)  
          リーグ戦方式(無作為)で囲碁の大会を実施
- 1月      囲碁大会(その2)  
          リーグ戦方式(階級別)で囲碁の大会を実施  
          順位決定 表彰

## 活動のポイント

### 【実施地域の特徴】

- ・なるべく中学校や公民館などの「地域」を単位とする。
- ・同じ地域に住む子ども、若者、大人、高齢者がひとつとなって同じ事業に関わることが大切。

### 【子ども参画の仕方】

- ・子ども会など参加者となる小学生にイベントのニーズを聞く

### 【若者の関わり方】

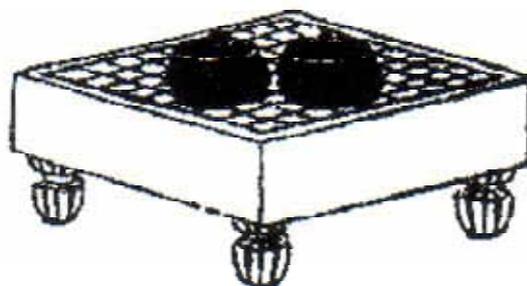
- ・指導役となる実行委員会の中学生を中心として事業を組み立てる。

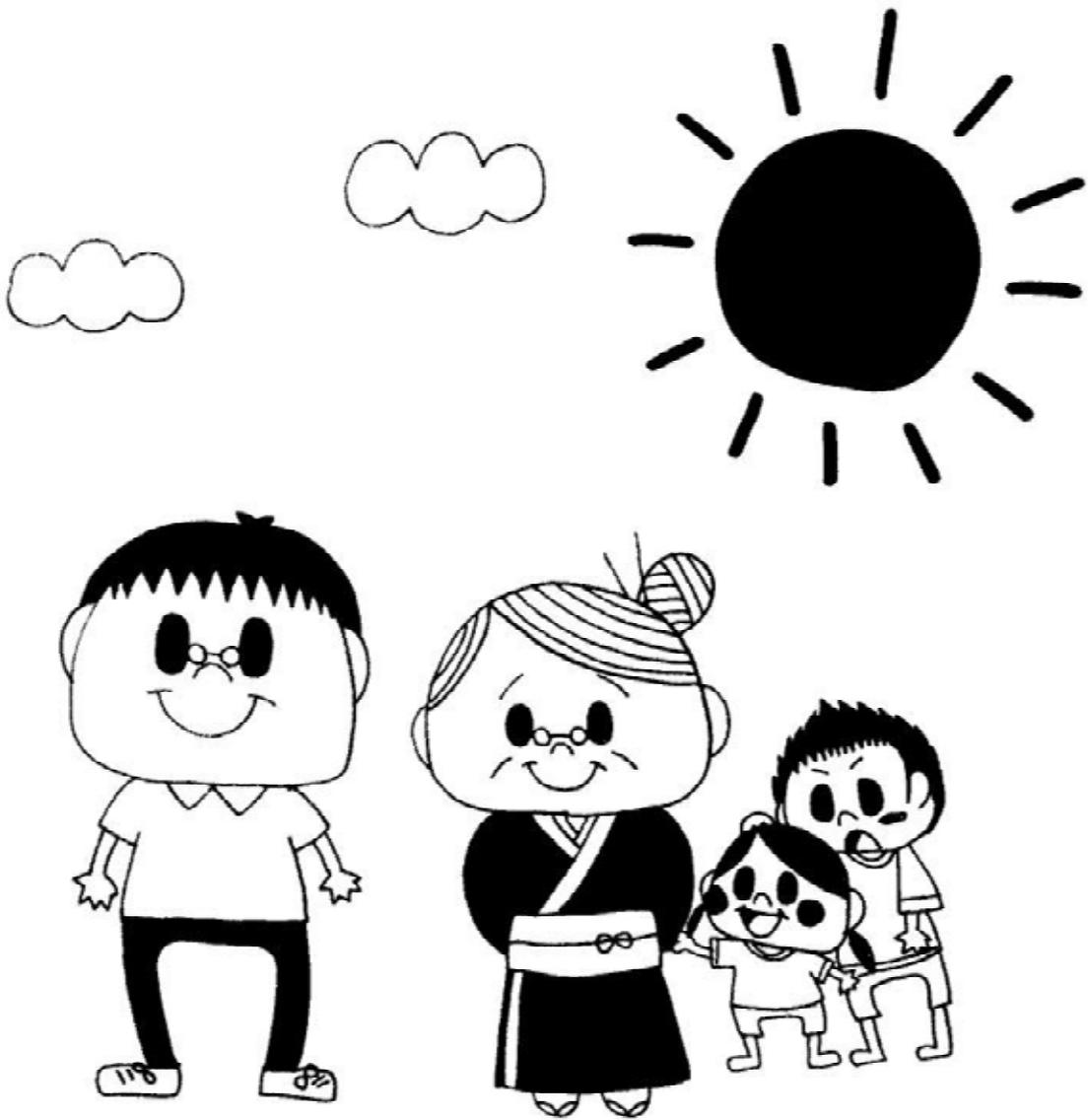
### 【大人の巻き込み方】

- ・地域の高齢者(公民館利用サークル)に事業へ参加してもらおう。
- ・イベント実施時に協力をしてもらおう。
- ・公民館などの社会教育施設は、実行委員会の意見を入れながら、全体のコーディネートを担当してもらおう。

### 【活動を円滑に進めるために】

- ・子どもの中には囲碁好きな子もいるので、うまく活用する。
- ・競技としての囲碁というよりもコミュニケーション手段としての囲碁という視点が大切。碁を指しながらいろいろな会話を楽しめるようにする。
- ・コミュニケーションを主眼にしているため、焼き芋など誰もが楽しめる内容のものを入れる。
- ・囲碁以外の競技として、将棋、オセロ、トランプ等を取り入れてもよい。
- ・さらに盛り上げる手段として、大画面によるテレビゲームスタイルにして、会場の参加者で共有できる方法も考えられる。ただし、ゲーム機メーカー等の協力を得られるようにしなければならない。





## 2 地域で活動する若者の育成プログラム

### (1) 体験学習を通して若者が育つ

子どもとの日常的な人間関係づくり体験を通して、若者が自ら成長することを期待します。そこには体験学習の理論が生きています。

体験学習の4つのステップ



#### ステップ1：体験すること

グループ(若者たち+子どもたち)で子どもと遊ぶことで、子どもとの関わりを体験する。

#### ステップ2：指摘すること(体験の内省と観察)

体験から気づいた点をふりかえり、共に体験したグループで共有する(分かち合う)。指摘するという言葉を使うが、これは他者を非難することではない。体験したことの中から、自分や他者の姿、関係やグループの様子を見つけ出すことを意味する。

#### ステップ3：分析する(一般化する)

ふりかえりで集められた情報・データについて、なぜそのようなことが起きたのかということ进行分析し、自分、子ども、そこにいたグループの問題点を考察する。

#### ステップ4：仮説化する

ステップ3で考察したことを活用して、次に子どもたちと遊ぶ際に、自分が成長するために具体的に試みてみたい行動を考える(これを成長のための仮説化と呼ぶ)。このステップを通して、自分の対人関係能力や社会的スキルを習得することになる。できる限り具体的な行動計画を立てることが大切である。

このステップ1～4の次に来るのが、新しい具体的な体験になり、再びステップ1～4を繰り返し循環過程によって、若者が成長していくことになります。

### (2) 育成プログラム

若者が子ども活動に主体的に参画するためには、子どもとの関わり方が基本となります。それを身につけるには、どのような研修を受ければよいのでしょうか。対人関係能力は本を読んだり、人の話を聞いても身につくものではありません。やはり日常的にいろいろな人と

関わっていく中で、自然に身についていくものです。子どもとの関係づくりも同じです。したがって、子どもと遊ぶ体験を通して、若者に子どもとの関わり方を学んでほしいと考えています。

若者に地域で継続的に活動してほしいと考えると、自分の住んでいる地域の児童館等の施設を利用させてもらうのが最も手近で、しかも有効ではないでしょうか。地域の子どもと日常的に関わっていく中で、子どもとの関わりを学べると同時に、地域の子どもたちが何を考え、何を望んでいるのかもわかるようになります。そこから、地域を元気にし、しかも子どもが健やかに育つための子ども活動のスタートです。もし児童館等の施設がないような地域であれば、放課後児童クラブ、地域子ども教室(文部科学省子どもの居場所づくり推進事業)、プレーパーク(冒険遊び場)などを利用させてもらう方法も考えられます。

**育成プログラムの見方：** の1の活動プログラムの見方に準じます。

**自主研修・日常(長期)タイプ:「児童館へ行こう」(P.42)**

既存のグループなどで自分たちが研修を積む際に利用できるプログラムです。このプログラムの特徴は、自分が住んでいる地域の児童館等の施設に日常的に通って、子どもたちと遊ぶというものです。この日常的な人間関係づくりを重視しています。

**行政主導・短期集中タイプ:「子どもと遊ぼう」プロジェクト」(P.44)**

子どもと関わる若者を育てて、地域で活動する若者を増やしていくためのプログラムです。地域に根ざした活動をするジュニアリーダーの絶対数が不足している現状があり、ジュニアリーダーズクラブの事務局が青少年主管課になっている場合などに、利用していただきたいと思います。このプログラムの特徴は、中高生が参加しやすい夏季休業中の期間に実施することです。夏季休業中であれば、子どもたちも児童館等の施設に平日でも午前中から遊びに来ているので、子どもと接する機会が多くなります。

(3) 若者が子ども活動に参加するために学んでほしいこと

ア 子どもとの接し方(初級から中級)

(ア) 子ども理解及び子どもとの接し方を体験的に学ぶ活動

- ・児童館等施設への訪問
- ・子どもキャンプにおけるサブリーダー体験等
- ・子ども対象のイベントへのボランティア参加等

(イ) 子どもとのコミュニケーションスキル(コミュニケーション能力)

「子どもの話を聞く」「子どもに話をする」「子どもと会話する」を学ぶためのロールプレイ体験

ロールプレイ:あるテーマについて、自分とは異なる立場(同じ場合もある)の人物になりきり、役割(ロール)上の立場に立って考え、議論する(問題解決を図る)学習手法

(ウ) 子どものモチベーション(やる気)を高め、子どもから意見を引き出すスキル(能力)

- ・アイスブレイキング(またはアイスブレイク)の手法

アイスブレイキングとは、場の固い雰囲気や緊張を和らげ、参加者の緊張を解きほぐすことを目的とした簡単なゲームやアクティビティを「氷を砕く」という意味で「アイスブレイキング」と呼ぶ。

<参考>「アイスブレイクの進め方」日本キャンプ協会

<http://www.nyc.go.jp/sponsored/16sizen/16shibun3.pdf>

<参考文献>「みんなのPA系ゲーム243」(諸澄敏之編、2005年、杏林書院)

・コーチング(相手の目標を達成させるため、その人の能力を引き出すこと)

イ 活動の企画・運営(上級)

- (ア) アイデアを出す能力
- (イ) 企画力
- (ウ) マネジメント力(活動を管理・運営する能力)

ウ 組織の運営(上級)

- (ア) マネジメント力(組織を運営する能力)
- (イ) 次世代を育成する能力(世代交代の促進)

エ 大人との関係(上級)

- (ア) 大人の話に素直に聞ける
- (イ) 大人に意見を言える
- (ウ) 大人を説得する力

オ 子どもをリードして活動を進める方法

- (ア) アイスブレイキングの方法(中級)  
場を和ませ、モチベーションをあげる手段
- (イ) ゲームの組み立て・リード(中級)



出会いのアイスブレイキング

- (ウ) ファシリテーター(一人ひとりの持っている経験、知恵、気づきを引き出し学習と参加を促進する人)の役割(上級)
- ゲームは手段であって、目的ではないことを理解し、何のためにゲームをするのかを考え、その目的にあったアクティビティー(活動)を選び、組み立て、リードする能力

- ・ワークショップ形式の活動を進めていく役割
- ・会議・打ち合わせの進行役
- ・参加型学習を進めていく役割

アイスブレイク、KJ法、グループ討議、合意形成、ブレインストーミング、グループワークトレーニング、ロールプレイ、環境教育プログラム、シンポジウム等

大人と一緒に進める形がよい。補助役として関わりながら、学ぶとよい。

KJ法:文化人類学者の川喜田二郎氏が考えたカード操作による発想法

ブレインストーミング:集団(小グループ)によるアイデア発想法の1つで、会議の参加メンバー各自が自由奔放にアイデアを出し合い、互いの発想の異質性を利用して、連想を行うことによってさらに多数のアイデアを生み出そうという集団思考法・発想法

カ 野外活動の基礎

- (ア) キャンプ、ウォークラリー等を実施する際に必要な基礎知識・技術(中級)
- (イ) カヤック、カヌー等の水辺の活動についての基礎知識・技術(中級)
- (ウ) 救急法、心肺蘇生法の資格取得(初級)
- (エ) 水辺のレスキューの基礎知識・技術(中級)
- (オ) リスクマネジメント=危機管理(中級から上級)

予測される危険に対して、事前に対処することで、プログラム展開上の安全管理をする。

# 児童館へ行こう

～ 地域の子どもと遊んでみよう～

## 活動の趣旨

- ・若者が実際に子どもと遊ぶことを通して、子どもとの関わり方を学ぶ。
- ・若者のコミュニケーション能力の向上を図る。
- ・子どもの考え・能力・やる気を引き出すノウハウを学ぶ。



## 主な活動内容

- ・毎週土曜日に児童館等の施設を訪問し、ボランティアとして子どもと遊ぶ。

### 【データ】

#### 実施主体

ジュニアリーダー等の若者

#### 実施地域

在住している地域

#### 連携（協働）先とその内容

市内児童館等施設、市教育委員会（児童館等施設主管課）

#### 活動形態

毎週土曜日の午後

#### 実施時期

随時

#### 準備開始時期

1～3月（企画・準備期間、連携先との調整）

#### 参加対象・定員

ジュニアリーダーズクラブ会員（中高生）、定員は特になし

#### 募集方法

各中学校、周辺の高等学校

#### 実施場所

施設訪問：児童館等の施設  
全体研修会：市立中央公民館等で広い会場のある施設

#### 経費・財源

特になし

### 【日程プログラム】

- 1月 企画（具体的内容決定）
- 2月 市教育委員会（児童館等施設主管課）への協力依頼、市内児童館等施設
- 3月 自主研修  
集団遊び・昔遊び体験等
- 4～3月 施設訪問、自主研修、小イベント実施



## 活動のポイント

### 【実施地域の特徴】

児童館等の施設がある地域がよい。施設がない場合は、土曜日に開いている放課後児童クラブがあれば、そこに依頼して訪問する方法も考えられる。

### 【若者の関わり方】

- ・自分が小学校の頃に、遊びに行っていた児童館がよい。
- ・子どもとの日常的な関係づくりを大切に、本音で話ができるようにする。  
地域の子どもとの日常的な関係づくりを考えた場合、自分が住んでいる近くの児童館がよい。またその地域で次世代を育成する(小学生が中高生になって、同じように遊びに来てくれるように)という意味もある。
- ・遊び相手として、子どもに関わり、日常的な関係づくりを念頭において、活動していく。
- ・児童館の事業(イベント等)にもボランティアとして、積極的に参加し協力する。
- ・人間関係ができてきたところで、小イベントを企画し実施する。  
例)ジュニアリーダーの得意技を發揮して、ゲーム大会を実施する。あるいは昔遊び体験などもよい。

児童館の指導員と事前に十分に打ち合わせをする。

- ・子どもが自分たちでやりたいことを聞き出し、可能だと思われることを実施していく。  
研修中と考えれば、施設内の活動に留めておく方がよい。もし施設外で活動を実施するのであれば、十分な事前準備が必要である。保護者の同意、安全管理面で十分な配慮、子どもたちの保険の加入、他のクラブ会員の協力等について、事前にクリアしておかなければならない。

### 【大人の巻き込み方】

- ・ジュニアリーダーズクラブとしての活動であれば、青少年主管課を通して、教育委員会に協力依頼するとよい。
- ・児童館の事業(イベント等)への協力も約束し、メリットを強調する。
- ・昔遊びの達人(大人)をさがし、協力依頼し、事前に指導してもらって体験しておくとうい。
- ・昔遊びの達人(大人)に依頼して、イベントを実施することも考えるとよい。

### 【留意点】

- ・ボランティア保険に入っておくことを勧める。
- ・児童館指導員とは、事前に十分な打ち合わせをし、役割分担を明確にし、児童館指導員の役割を奪うような関わり方はしないようにする。あくまでボランティアであることを忘れてはならない。

### 【ふりかえり・研修会】

- ・必ず複数で訪問し、児童館の閉館時間後、ふりかえりをする場を設け日誌の形で記録を残し、次回に生かす。
- ・月に1回程度、児童館で活動している全員が集まって、全体研修会を開き、子どもとの関わり方について情報交換をして全体で共有する。またテーマを設け、知識・技能を高める場とする。  
例)ゲームを使ったコミュニケーションの方法、ソーシャルスキルトレーニング(SST)(1)、コーチング、アサーショントレーニング(2)、環境学習、自然観察、昔遊び、ニュースポーツ、クラフト等

1 ソーシャルとは「社会的」「対人的」「人づきあい」、スキルとは「技」「技能」「技術」つまりコツの意味である。人は、経験を通して人づきあいのコツを覚えていくのである。SSTとはそのためのいろいろな手法を取り入れたトレーニングの方法である。

2 お互いを大切にしながら、それでも率直に、素直にコミュニケーションすることをアサーションと言い、そのためのトレーニングの方法である。

講師を呼ぶのに予算が必要な場合、青少年主管課と相談するかまたは青少年活動に対する助成金をさがし、経費を捻出する。

# 『子どもと遊ぼう』プロジェクト

～ジュニアリーダー育成プログラム～

## 事業の趣旨

- ・子どもと関わる若者の裾野を広げ、人材育成を図り、ジュニアリーダーへの勧誘も図る。
- ・若者が実際に子どもと遊ぶことを通して、子どもとの関わり方を学ぶ。
- ・若者のコミュニケーション能力の向上を図る。

## 主な事業内容

- ・夏季休業中に児童館等の施設を訪問し、ボランティアとして子どもと遊ぶ。

### 【データ】

#### 実施主体

市(区町村)青少年主管課

#### 実施地域

市(区町村)全域

#### 連携(協働)先とその内容

市内児童館等施設、市・県教育委員会、管内教育事務所、市内中学校、市内公立・私立高等学校(中学生、高校生ボランティアの募集)、県立青少年センター(企画協力及び研修のノウハウの提供)

#### 事業形態

事前研修(日帰り2回)、施設訪問(夏季休業中の週2日(土日含む))、情報交換・研修(日帰り)、事後研修(日帰り)

#### 実施時期

6～9月

#### 準備開始時期

前年度10～3月(企画・準備期間、連携先との調整)

#### 参加対象・定員

市内中学生、市内在住高校生

定員は、受け入れ施設の規模、数による。

#### 募集方法

各中学校、周辺の高等学校

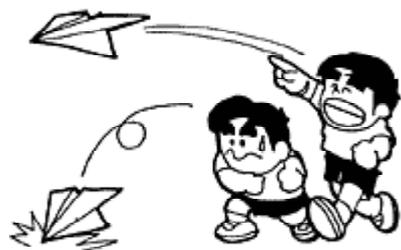
#### 実施場所

施設訪問:児童館等の施設

全体研修会:市立中央公民館等で広い会場のある施設

#### 経費・財源

市の予算



### 【日程プログラム】

- |        |  |
|--------|--|
| 10月    | 企画段階<br>企画(具体的内容決定)・起案・予算計上、県立青少年センターへの協力依頼及び打ち合わせ |
| 11～12月 | 行政等へ協力依頼<br>市・県教育委員会・管内教育事務所への協力依頼                 |
| 1～3月   | 関係機関へ協力依頼<br>市内中学校、市内公立・私立高等学校への協力依頼、児童館等施設への依頼    |
| 4月     | 児童館等施設指導員への説明会及び研修会                                |
| 5月     | 中高生ボランティア募集  |
| 6月     | 事前研修2回   |
| 7～8月   | 施設訪問   |
| 8月中旬   | 全体研修1回   |
| 9月初旬   | 事後研修1回   |



## 事業のポイント

### 【実施地域の特徴】

児童館等施設が各地域にある市(区町)がよい。もし施設がない場合は、土曜日に開いている放課後児童クラブと連携することで、実現可能である。その他には、地域子ども教室推進事業(文部科学省子どもの居場所づくり推進事業)との連携も考えられる。

### 【研修内容の例】

#### < 事前研修1 >

アイスブレイキング体験(参加者同士の関係づくり)、子どもとの接し方(ロールプレイによる、話し方・聴き方体験)、児童館からの諸注意(児童館指導員より)

#### < 事前研修2 >

遊びの達人による昔遊び体験、集団遊び体験、安全管理(リスクマネジメント)

#### < 施設訪問 >

子どもと遊ぶ体験(この体験を通して子どもとの関わりを学ぶ)、ふりかえり日誌記入(毎回複数で訪問できるとよい。共通体験をふりかえることができ、それを共有できる。)

#### < 全体研修 >

情報交換及び各事例に対する意見交換、テーマ研修(アイスブレイキングの手法等)

#### < 事後研修 >

全体のふりかえり、今後の活動の方向性について、ジュニアリーダー活動・入会案内について

### 【大人の関わり方】

#### < 研修担当者 >

- ・定期的に施設を訪問し、若者の様子を見ると同時に、指導員に状況を聞く。
- ・メーリングリストを立ち上げるなどして、参加者の情報の共有化を図る。
- ・若者が個人的に相談をできるようにしておく。
- ・青少年活動や子どもと接することにおいて経験豊かな人に依頼して、若者にアドバイスしてもらう。
- ・4月の説明会・研修会で児童館指導員に対して、事前に研修の意義や内容について十分な説明をして、協力依頼しておく。

#### < 児童館指導員 >

- ・役割分担を明確にし、若者が直接子どもと接することができるように配慮する。
- ・事業(イベント等)が施設訪問中にあれば、参加者の若者に来てもらい、積極的に動くように指示する。

### 【事業を進める上での配慮事項】

- ・教育委員会等の連携先には、中高生がこの事業に参加すると、どういう効果があるのかということを具体的に説明する。また子どもにとっても、自分たちと異年齢の若者(中高生)と遊ぶことで、いろいろな経験になることを理解してもらう。
- ・児童館指導員との連携・協働が非常に重要であるので、事前に十分な趣旨説明をし、理解してもらうことが必要である。
- ・県立高等学校の生徒であれば、手続きをすることで、この活動が学校外におけるボランティア活動として位置づけることができることができれば、単位の認定につながることもある。

学校外における学修の単位認定(学校外における学修の単位認定に関する実施要領)

科目「ボランティア活動」に該当する活動

- (ア) ボランティア活動、その他これに類する活動に係る学修で、継続的に行われる活動(当該生徒の在学する高等学校の教育活動として行われるものを除く。)として高等学校教育に相当する水準を有すると校長が認めたもの。
- (イ) 公的機関やそれと同等の信頼できる団体等の受け入れや仲介のある活動であり、受け入れ先や仲介先と十分に連携がとれ、活動の証明が可能であること。



## 若者が主体的に参画している活動事例

この章では、ジュニアリーダーによる活動とは異なる事例として、若者が地域で子ども活動を展開している事例を紹介しました。



# 子どもが主人公の地域活動を育てる

特定非営利活動法人 東京少年少女センター 会長  
少年少女センター全国ネットワーク事務局長  
神代洋一



## 1、私たちの会の紹介

NPO 法人東京少年少女センターは、1982年に「子ども組織の自主的・民主的な発展」を願う父母、青年、教育関係者らが集まって結成され、2000年11月にNPO法人となりました。

子どもたちが集まり、遊び、行事を作り出していくことは、子どもが持っている本来の権利を自分たちで実現していく過程であり、それを身近な地域で行っていくことは、民主的な社会の形成者としての住民(市民)を育てることであると考え、「子どもたちによる、子どもたちのための、子どもの組織」づくりをめざす活動を行ってきました。

私たちの会では、子どもたちの活動のサポート・指導役として、青年の役割を重視しています。「すべき」と大人が子どもを引っ張ろう、教え込もうとするのではなく、子どもたちのあこがれの存在であるちょっと年上のお兄さん・お姉さんが、子どもたちの話をよく聞いて、いっしょに悩んだり、考えたりしながら、子ども自身が何をどうしたらいいのか気づくよう、じっくりと関わることをだいにしてきました。

公園や公民館などに集まって遊ぶ「遊び会」、クリスマス会などの「季節行事」、ハイキングやキャンプなどの「野外活動」を月1~2回行うこと、その準備やまとめのための「実行委員会」や「全員での話し合い」を適宜行うというのが、子どもたちの実際の活動スタイルです。

取り組みを「企画、準備」し、「実践」し、「まとめる(総括する)」という一連の流れを子どもたちがやり切れるよう、どのようにサポートするのか、その過程で起こる子どもたちのさまざまな問題にどう対応していくのか、青年たちは「指導(員)会議」を持って、的確な指導ができるように学んだり、話し合ったりしています。

「集まって遊ぶのが楽しい」「行事や遠足に出かけられるのがうれしい」... 小さい子どもたちの素直な願いであり、喜びです。いまの社会の中では学年が進むにつれて、ともすると「あそぶ」ことが「罪悪視」され、「塾」や「おけいごと」「スポーツ活動」で個人的なスキルを高めたり、「競争して成果をあげること」のほうが「意味があること」という圧力が強くなってきます。「小さい子といっしょに遊んでいるところを見られると恥ずかしい」「まだ、そんなことやっているの!」と同級生から言われる」「そろそろ受験だから、子ども会はやめたら?と親から言われた」など、内外からの圧力の中で、活動を去っていく子も少なくありません。

子ども自身が「集まること、遊ぶこと、楽しいとりくみを作ること」が自分の人間としての欠かせない権利だと自覚することがなにより大事なのですが、そのためにも、親やまわりの大人たちが正しく子どもの権利を認めること、子どもが社会人として、市民としてまっとうに育つためには自治的な集団(組織)活動の体験が欠かせないことをしっかりとつかんでいることが必要です。

私たちの会では、学習会や研究会の開催、パンフレットの発行などを通して、子どもの異年齢集団活動の理解を深めています。

子ども - 青年 - 親の三世代の育ちあいを考える中で、活動の中で育った子どもたちが、青年になって後輩の子どもたちと関わり、さらに結婚し親となって地域の子どもの組織を支える活動の担い手となっていくという大都会の中で失われつつある子育ての文化が伝承できるコミュニティーの創造にも微力ながら一役をかってるのが私たちの団体の特徴です。

## 2、子どもが主人公の地域活動を育てる

私たちは、地域子ども組織の役割を「地域にあって、子どもたちの暮らしのありようとかかわりながら、自らの権利の実現をめざす生き生きとした地域生活(地域活動)を創造する核となることをめざす集団」ととらえ、具体的な実践を交流する中で「地域に根ざす子どもが主人公の活動のあり方」を考えあってきました。



全国津々浦々にさまざまな子ども会や少年団、子ども組織の活動が展開されていますが、「子どもが主人公の活動」という視点で見たときに次のいくつかの点で考え直してみる必要があると思います。

大人が決めて子どもたちを引き回すのではなく、子どもたちに提案して、子どもたちが運営するとりくみとなるように配慮しているか

子どもたちが話し合って決めたことを理解してサポートする大人の姿勢があるか

活動を「計画し、実践し、総括する」という一連の流れが子どもたちによって行われているか

子どもたちの自治的な活動が育っているか

M区のある子ども会では、毎月1回、学校の校庭などを使って集団遊びを楽しむ「あそび会」を行っています。最初の頃は、リーダーの青年たちが子どもたちに「いっしょにあそぼう」と声をかけ、遊びの内容は、集まった子どもたちの意見も取り入れながらですが、大筋はリーダーが決めて行っていました。ルールの説明も、リーダーが前に立って大きな声で子どもたちに説明するという風でした。

ある年の冬のこと、リーダーたちは「季節にあった行事をふだんできない規模でやったら楽しいのでは」と考え、「今度の遊び会は、ジャンボカルタ大会をやる」と決めて、子どもたちを誘いました。リーダーたちは意気込んで準備を行ったのですが、子どもたちの反応はいまひとつ、参加者もいつもより少なかったのです。

なぜ少なかったのか。参加した一人の子どもの発言がリーダーたちの胸をつきました。

「いつもは、『あそぼう!』って言って集まるでしょ。だから『何して遊ぶのか?』とか楽しみだけど、今日は、『カルタをしよう』だったから、カルタをやりたい子しか集まらなかったんじゃない」

地域の子ども会育成者から、「せっかく行事を企画しても子どもたちが集まらない」、「集まっても小さい子どもたちばかりでお守りをするのがたいへん」という声をよく聞きます。「いろいろなゲームをして、『これで子ども会を終わります』と言ったとたんに『もう、遊んでもいい?』と聞かれてショックだった」という声もよくあります。

ちょっとした遊び活動ひとつとってみても、「子どもたちの子どもたちによる…」活動を育てることは簡単ではありません。

M区の子ども会では、その後、次の「あそび会」を準備する「実行委員」に子どもたちから立候補してもらい、実行委員の子どもたちと相談しながら準備をし、お誘いのピラも子どもたちが作成し、友だちに配るようにしました。「自分たちで決めて、自分たちで誘いかけ、当日を成功させて次につなげる」というサイクルをつくる中で、「子ども会は自分たちのもの」という意識を育てています。

先にあげた4つの視点を具体的な子どもたちの活動の中で、どう発展させていったらいいのか、育成者・リーダーは実践から学びながら的確なサポート・指導の方向を考えていかなければならないと思います。

### 3、「仲間」が育つ活動 - 思春期と子ども組織

10歳くらいまでの子どもたちにとっては、「いっしょに楽しく遊ぶ」ことがなによりの願い、要求です。夢中になって遊んだり、遊びの中で起こったトラブルを話し合いで解決したりすることを通して「友だち」関係を育てていきます。

しかし、10歳を越える頃からは、「いっしょにいて楽しい」だけでは済まなくなってきました。「友だちは自分のことをどう思っているのか」が気になり出します。これまで何も感じなかった異性を意識するようになったり、学校や家庭、社会的な影響の中で進路や進学についても悩んだりするようになります。悩みはあるけれど、まだどう表現したらいいのかわからない、「もし裏切られたら」と思うと友だちにも簡単に打ち明けられない…。そんな思いの中で「子ども会に行っても心から楽しめない」「小さい子ばかりだし、話が合わない」などの理由で活動に出てこなくなる傾向が強まってくるのもこの頃です。



K市で行った子ども会のキャンプでは、子どもたちが話し合い、テーマを「仲間」に決めました。「学校は友だち関係がごちゃごちゃしていて、気を使う」「学校では自分を作らないといけない」「学校でいじめが原因で自殺を考えた子もいる」と口々に現実の学校生活の「厳しさ」を語り、「何かあるととことん話し合って、自分をさらけ出せる」この集団は、「ホッとでき、安心して本音で話せ、仲間がいて、遊びが楽しいだけじゃない集団」だと言うことを「みんなに伝えたい」と言う中学生たちの話し合いから生まれたテーマでした。

決めてはみたものの、子どもたちは、キャンプファイヤーの出し物の中で、「仲間」をどう表現するか悩みました。「仲間って言われてもよくわからない」という意見や「仲間だと思っていた子にいじめられた」という子の辛い思いと向き合う中で、「仲間ってなんだろう?」という問いと改めて一人ひとりが向き合うことになったのです。

子どもの権利の実現のために、いっしょに活動する人間関係は、「仲間」と呼ぶのにふさわし

い関係でしょう。私たちの会は「子どもたちの仲間を育てる」ことをスローガンに掲げています。残念ながらいまの社会は、人間的な成長・発達を否定する状況に満ち満ちています。そこに流されずに、人間らしい生き方、協働のしかたを青年や大人のサポートを受けながら身につけていくことが子どもたちの地域活動に求められています。10代以降の思春期の子どもたちの活動には、こうした視点でのとりくみが欠かせないものと私たちは考えています。

#### 4、青年リーダーを育てる

子どもたちの活動にとって欠かせない存在である青年リーダー。時には優しくおだやかに、時には情熱的に激しく遊び、活動する青年たちの姿は、子どもたちにとってはもちろんのこと、父母にとってもあこがれのまです。

これまで述べてきたように、私たちは子どもの異年齢集団活動に果たす「青年」の役割はたいへん大きいと考えています。かつての村社会では「子ども組」から「青年団」に入るとは、一人前の住民として認められ、地域の行事や防災、共同の仕事を支える一員になる重要な成長の節目としての意味を持っていました。

青年団が果たす役割のひとつが「子ども組」の「指導」でした。

わたしたちの会では、



日常の遊びや活動の個々の場面で青年が子どもたちに寄り添いながらサポートすること。子どもたちだけでは企画・準備・運営することが困難な規模のイベントを「子ども参画」を基本に置きながら創造・構築すること。

指導や事業創造の力量を高めるための学習を自主的・自覚的・集団的に行っていくこと。

を「青年集団」の役割と考えています。

「夢と冒険 ぼくらのキャンプ」をスローガンに全都から500人以上の子ども・青年が集う3泊4日の「少年少女キャンプ村」の運営、1000人以上の子どもたちにあそびの楽しさを伝える「あそび万博」の運営をはじめとして、数々の大きなイベントを作り上げていく中で、青年自身も「社会的な仕事」をする意義・責任を学んでいきます。

S区やT市の青年たちは、「もっと多くの子どもたちにイベントに参加してもらいたい」、「子どもの仲間作りの活動を知ってもらいたい」という思いで、資料を抱えて地区にある学校を訪ね、直接、校長先生に会って話を聞いてもらいました。青年たちの子どもにかける思いに感じた校長先生は、教育委員会にも連絡をとって全校でお誘いのビラ配布ができるようになりました。その後も、学校の宿泊行事の付き添いに青年を誘ってくださったり、PTAの広報誌で活動を紹介してくれたりとさりげない援助をしてくれるようになりました。

青年の生き方・活動が学校や地域に認められ、励まされるということは、何より当の青年たちの大きな自信になります。子どもたちと関わる活動は、単に個人的な趣味の活動ではなく、社会的な役割・意義を持った活動だという自覚も生まれます。

最近、学校や企業で「ボランティア活動」が奨励されるようになりました。「内申書や履歴書に記載できる」からと私たちの会の門をたたく若者も増えています。

子どもの成長と自己の成長を結びつけ、その活動の社会的意味を理解し始めた青年リーダーたちは、こうした動きに対して「ぼくたちの活動はボランティアではない」と主張します。

「ボランティア」という言葉が独り歩きして、青年たちの活動評価に混乱を与えているのは残念なことです。ボランティアの日本語での概念として、「奉仕活動」「善行活動」「社会貢献活動」などさまざまな訳が飛び交っていますが、青年が子ども会の育成や子ども集団の活動に関わることは、そのどれでもなく、青年が地域の中で一人前に育っていく上で必要不可欠な要素のひとつと私たちは考えています。



地域のコミュニティーが失われる中で消えていったものは、子どもたちの異年齢集団だけではありません。地域社会の中でそれぞれの世代に応じた役割を持って生きるという青年や大人の生き様が消失し、見えなくなっていました。子どもたちは、誰のどんな文化を模倣したらいいのでしょうか。力強く遊び、活動し、生きる先輩集団の姿が身近に見えることは、子どもの社会的成長にとってなによりの栄養です。

子どもの仲間作りの活動は、いまの社会の中でそれぞれの世代に応じた人間らしい生き生きした生活を取り戻すための努力を子どもは子どもなりに、青年は青年なりに、そして大人は大人らしく行っていく世代を超えた仲間関係を育てていくことにもつながっているのだと思います。

## 【団体資料】

**団体名：特定非営利活動法人 東京少年少女センター**

**設立：1982年10月 NPO 認証：2000年11月**

**所在地：〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-44-11 オフィスホワイトパーチ1F**

**電話：03-3379-7479 ファックス：03-3379-7027**

**ホームページ：<http://www.children.ne.jp/> 電子メール：[info@children.ne.jp](mailto:info@children.ne.jp)**

**目的：**「この法人は、子ども組織の活動の自主的で民主的な発展を願って、東京都内で地域の異年齢集団の活動や子ども組織を育てる活動に関わる人たちに対し、その活動を支援する事業を行うとともに、そうした活動の意義を都民に啓発するための事業を行うことを通して、子どもたちの地域での健やかな成長・発達に寄与することを目的とする。」(定款より)

詳細は上記ホームページを御覧ください。

**PR：**下記のような活動をしています。

無料ホームページ開設サービス

全国の子ども会や子どもの異年齢集団に関わる人たちのために、「無料ホームページ開設サービス」を行っています。

開設申し込みは <http://hiroba.children.ne.jp/>

子育て相談、子ども相談、活動相談

単発の相談：<http://www.children.ne.jp/about/contact.html>

継続した相談：<http://www.children.ne.jp/counsel/>

季刊誌「ちいきとこども」発行

少年少女センター全国ネットワーク



# 青山子ども会

副会長 麻生裕一

私が青山子ども会に入会した理由は大きく2つあります。1つ目は自分自身の成長のためです。私は将来、小学校の教師になりたいと思っており、大学も教育学科に所属しているので、教師になる前から子どもたちと関わっていくことが、自分にとってとても良い経験になると思ったからです。2つ目の理由は地域の子どものためです。現在は、都市化やテレビゲームなどの普及により、子どもたちの遊び場が減少しているのではないかと感じます。そこで、子どもたちに遊び場を提供するという、そして子どもたちに様々な体験を通して豊かに育ててほしいという願いから、入会しようと思いました。

実際に活動してみると、「楽しい」と「難しい」と両方を感じました。子どもと遊んでいると、素直に楽しいと感じますし、子どもの発想の豊かさや、純粋さにおどろかされます。しかし、子どもとの関わり方というのがすごく難しいと感じることがあります。それは、子どもの暴力行為に関してです。一緒に遊んでいると、パンチやキックをしてくる子がたくさんいます。戦いごっこのように接してくる子には一緒に遊ぶということができませんのですが、そういう意図でなく本気でやる子がいます。そういうときに、私たちはどういう対応をしなければならないのかということで、難しいと思うことがあります。親ではなく先生でもない大学生という立場が難しいのだと思います。会全体としても、このことについて何度も話し合っており、やはり度を越えた暴力行為があった場合は、しっかりと叱り、子どもに理解をさせることが大切だということになっています。このように子どもと関わっていく上での難しさを経験しつつも、自分自身にとっての良い経験になっていることに間違いはないと思います。そして、子どもにも様々な活動体験を通して、大学生と接することを通して豊かに成長してくれることを期待しています。

私たちは月2回ミーティングをして、活動の反省や企画書発表、サマーキャンプのことなど様々な内容を話し合っており、5時間以上話し合っていることもしばしばあります。やはり、地域と関わっていくサークルであり、時には子どもを預かるという重大な責任が伴うサークルであるため、中途半端ではいけないという思いで真剣に取り組んでいます。その甲斐があつてか、青山子ども会が相模原で活動をするようになってから3年になりますが、しだいに地域の方たちに青山子ども会が知られてきているなと感じます。1泊2日のサマーキャンプや春の遠足などの参加希望者が増加し、小学校や福祉関連機関からのいろいろな依頼を受けるなど、活動の幅も広がってきています。

しかし、それに伴う問題も起こっています。参加希望者の増加に伴い、人数制限をせざるをえない状況となっていることです。それはつまり、「参加したいのだけど参加できない子ども」が増加してしまうということです。そして運が悪いと連続して参加できないという場合があります(実際に起こっています)。私たちとしては全員参加させたいのですが、安全面を考えるとどうしても限界があります。そういった矛盾がとても問題になっていて話し合いの主題となることがしばしばあります。これからも話し合いを重ねて、よりよい方法を考えていくことが必要であると思います。

様々な問題はありますが、私たちはこれからも地域の大学生として、地域の子どものたちと接し、共に成長するという目標に向けて、そしてなにより自分たちが楽しんで活動をおこなっていきたいと思っています。

## 活動データ

問い合わせ先	代表 麻生裕一	-	a1204002@cc.aoyama.ac.jp		
活動エリア	相模原市大野北地区	活動拠点	大野北こどもセンター		
自主活動	普段は毎週土曜日13:30~16:30大野北こどもセンターや大野北小学校の校庭で工作やゲーム、ドッジボール、障害物リレーなど毎回違う活動をしている。				
自主研修	内 容		講師（指導者）		
初心者向け	実施していない	-	-		
中上級者向け	実施していない	-	-		
活動上の課題	会員の増加傾向に伴い会員間の責任感ややる気の格差の解消。地域との関わり方。				
連携（協働事業）	連携（協働）相手	-	内容 -		
イベント（委託）	-				
協力事業	相手先	-			
	内 容	-			
	回 数	-	延人数 -		
アピールポイント	会員の子どもに対する思いやりの高さ、楽しませようとする意気込み。				
会発足のきっかけ	児童福祉の向上に情熱を燃やす青山学院大学の学生有志の呼びかけによって発足した。				
会員募集方法	青山学院大学でちらし配布				
参加動機	・子供が好きだから ・将来のために				
会員情報等	年齢層	18歳 ~ 24歳	大学生	年会費	6,000円
	会員数	85人	実働人数	50人	会則
指導者	会員OB・OG				



夏のキャンプのキャンドルファイヤー

# 東京農業大学自然教育研究会ネイチャーズクラブ

代表 増田陽二郎

わたしが自然教育研究会ネイチャーズクラブ(以下ネイチャーズ)に入ったきっかけはせっかく東京農大に入ったのだから、ここにしかないサークルに入ろうという単純な理由でした。地域の小学生を対象に活動しているというのはサークル紹介のときに聞きましたがそれ以外のことはほとんどわからない気楽な状態で活動に参加しました。そこで活動の内容を知ったときは正直驚きました。その内容は地域の小学生対象に大学生が自然教室といった企画を考え、自然の不思議を小学生に自然教室で体験してもらうという大学生が主催者といった形のものでした。

そのサークルに本格的に参加し始めてから私は変わっていきました。最初は周りの目を気にしていてゲームなどをやるときも大学生が小学生対象のゲームと一緒にやるなんて恥ずかしいと思っていたのが、恥ずかしいという気持ちがなくなったところか自分からやりだすようになったのです。そうしたら不思議と子どもとの距離が縮まった気がしました。そのとき先輩によく言われていた「自分の殻を破らなきゃ子どもが楽しまないよ」という言葉が理解できました。今ではもうゲームを実施するときに周りにどんな人たちがいても気にならなくなり、後輩にゲームを教える側の立場になっています。新しく入った人はたいていゲームをやることに戸惑ったり、恥ずかしがったりします。ですが、主催者である大学生が恥ずかしがったりすると子どももゲームをしていいのか困ってしまいます。そのようなことのないよう後輩に自分たちのやっているゲームには素晴らしい意味があり、また楽しさがあるのだからやっていることを誇るべきだということを伝えていきたいです。

上の文でゲームということばがよくでましたがネイチャーズではネイチャーゲームを活動に取り入れます。このゲームは自分の五感を使うもの、もしくは想像力を使うものがほとんどではじめてやる人はたいてい悩みます。特に自分の想像で書いたもの、もしくは考えたものを皆にみせるときは躊躇します。特に初めてやった子どもはすごく恥ずかしがります。ですが、子どもの想像力は素晴らしく、ときには大学生が感心してしまうようなものができます。もっと子どもがその個人の想像力に自信を持ち、それを外に出していってこれたらと思います。

またネイチャーズの活動では学校ではしないような経験をしてもらおうと思い、竹での水鉄砲づくり、こんにゃく芋からのこんにゃくづくり等いろいろな体験をしてもらっています。これらの体験が子どもの意欲、想像力の幅を広げることに役立てばうれしいと思います。

最近ではこのようなネイチャーズの活動が地域に伝わったのか参加希望者がどんどん増えています。ですが、大学生の人手不足のため参加をお断りすることもあります。どうやって実働人数を増やしていくかが最近の悩みです。

他にも子どもへの接し方、会の運営などいろいろな課題がありますが、東京農大にある豊かな自然を子どもに楽しんでもらえるようネイチャーズを盛り上げていきたいと思っています。



こんにゃく作り

## 活動データ

問い合わせ先	東京農業大学厚木キャンパス学生サービス課	-	info@nodai-natures.com
活動エリア	東京農業大学厚木キャンパス、厚木市立愛甲公民館	活動拠点	東京農業大学厚木キャンパス
自主活動	春、夏と東京農業大学厚木キャンパスにて小学生を集め自然教室を開催する。内容は毎回さまざまではあるが、農大の自然を活用して行う。		
自主研修	内 容		講師（指導者）
初心者向け	実施している	毎週月曜日の昼休みに定例会を行う。また、不定期でネイチャーゲーム初級指導員の資格を持っている会員、OB、OGが主体となってネイチャーゲームを行う。	先輩会員、会員OB・OG
中上級者向け	実施している	夏休みの期間中に2泊3日もしくは3泊4日の合宿を行う。内容はネイチャーゲームやレクリエーションゲームを自然のなかで行う。	先輩会員、会員OB・OG
活動上の課題	会員数に対して実働人数が少ないため子どもの募集人数に限られ、募集人数を大幅に超える場合参加を断らなければならなくなる。		
連携（協働事業）	連携（協働）相手	厚木市立愛甲公民館	内容 冬の自然教室の実施。公民館側に資金提供、会場提供してもらいネイチャーズは人員提供、企画、運営を行う。募集は両者が行う。
イベント（委託）	近隣小学校で開催されるイベントのスタッフ 冬は自然教室を厚木市立愛甲公民館の共催という形で開催する。		
協力事業	相手先	なし	
	内 容	-	
	回 数	-	延人数 -
アピールポイント	子ども会活動及び社会参加活動の意義を理解し、ボランティアスピリットをもって、自己の成長を高め、思いやりを大切にする仲間づくりを目的とする。		
会発足のきっかけ	東京農業大学厚木キャンパスの豊かな自然を利用し自然教室を開くとともに、地域住民の方々に東京農業大学を知ってもらいたいため。		
会員募集方法	・毎年春の新生生の勧誘 ・ホームページでの呼びかけ		
参加動機	・子どもと接することが好きだから ・自分も自然にふれたいから		
会員情報等	年齢層	18 歳 ~ 26 歳	大学生 年会費 4千円
	会員数	58人	実働人数 30人 会則 あり
指導者	会員OB・OG、担当職員		



綿の苗を植え付けているところ



クリスマスケーキ作り

# さがみちびっこクラブ

外部担当 福土朋子

## 【活動に参加したきっかけ】

もともと「さがみちびっこクラブ」は、地区子連下にあるシニアリーダーが2年前独立したものです。

したがって、今のメンバーの大半はシニアリーダーのメンバーであり、全体の3分の1程度は中学校からこういった活動をしていました。

ですから、きっかけは「面白そうだから」「友達がやっているから」だと思います。

今は「子どもが好き」「楽しい」「得るものがたくさんある」「ここが好き」だから続けている、そして続けたいと思えるのだと思います。

## 【活動していて、自分が変わったこと】

### ・関わる年齢層の拡大

参加してくれる子どもたちと一緒に遊び、同年代の仲間と話し合い、保護者の立場の人と意見を交換する。こんな経験を出来るのは今だけだと感じられます。

### ・自信

前へ出てゲームをしたりするのですが、初めは上手く出来なかつたり周りが見えなくて「やりたくない」とか考えていたのですが、後輩に教える立場になると自然に出来るようになり自信が付きました。今ではそれを楽しむ余裕まで出てきました。

### ・目的意識

今までの活動では抜けていたことであり、抜けてはいけなかったことだと思います。

「なんとなく」ではなく「なぜそれをするのか」「何のためなのか」

自分たちで企画を立てるのだから目的を考えられないと出来ないのです。

いつも自己満足にならないように気をつけて意識しています。

そして、「自分がなぜここで活動するのか」「自分がどうなりたいのか」「クラブをどうしたいのか」そうやって手探りでも少しずつ自分の理想の活動に近づけていければと思っています。

## 【子どもたちに何を期待しているのか、また変化など】

私たちはある程度の範囲では「失敗してもいい」と考えています。

失敗して、なぜ失敗したのか考えて、それでこそ身に付くと思います。

だから失敗を恐れず好奇心を持って挑戦して、失敗してしまったときはちょっと立ち止まって考えて次のステップに上がって欲しいです。

そして子どもだけではなく、保護者の方も一緒に参加して子どもに戻ってくれたらいいなと思います。子どもと一緒に参加して家へ帰ってからその話で盛り上がり、そんなきっかけ作りが出来ればと思いながら企画させていただいています。

## 【クラブを運営していく上での課題・苦労】

人材不足が最大の課題です。

高校生への呼びかけや活動の楽しさを伝えていくことで、広げていかなければならないと考えています。

また、まだ発足2年目ということもあり活動の方向性が定まっていなのが現状です。

目的にかなった活動をしていくために、どういう活動をしていくか考えていきたいと思っています。

## 活動データ

問い合わせ先	会長宅	-	sagami_c_c@hotmail.com
活動エリア	相模原市相原地区周辺	活動拠点	相模原市相原公民館
自主活動	「あそびっこ隊」という年6回程度の様々な企画を行っている。今年度はウォークラリー、キャンプ、創作教室、お楽しみ会などを企画。参加募集は、相原地区の各小学校にチラシを配布している。		
自主研修		内容	講師（指導者）
初心者向け	実施している	メンバー対象で年に一回、一泊2日で行う。企画の立て方、野外炊事の火のつけ方、井桁の組み方、ゲーム研修などをおこなう。	先輩会員、会員OB・OG
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	スタッフ不足が大きな課題。高校への呼びかけをするなどして、まず認知度を上げるところからしなくてはならない。また、参加者側も塾など生活が変わり参加が減っている。魅力のある企画、そして時間帯の工夫などしていかなければならない。		
連携（協働事業）	連携（協働）相手	相原地区子ども会連絡協議会、青少年指導員	内容 養成研修会の企画運営・サポート。
イベント（委託）	公民館事業の企画運営・サポートなど。		
協力事業	相手先	相原地区各子ども会	
	内容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ	
	回数	15回	延人数 80人
アピールポイント	大人でも子どもでもない中間の視点を活かした企画立て、友達のような上からではない関係、普段の生活ではない小学生・高校生・大学生・保護者という縦のつながりを作っていくことを目的とし活動しています。		
会発足のきっかけ	子ども会のない地域の子どもも含めた遊び場の提供をするために、シニアリーダーからの独立。		
会員募集方法	・地区中学校(3年生)にチラシ配布 ・ジュニアリーダーに呼びかけ		
参加動機	・活動内容が面白かったから。 ・メンバーが楽しかったから。 ・子どもが好きだから。		
会員情報等	年齢層	15歳以上 上限なし	大学生、専門学校生、社会人
	年会費	1,000円	
	会員数	16人	実働人数 10人
	会則	あり	
指導者	会員OB・OG、青少年指導員		



竹の水鉄砲作り



作った水鉄砲でペットボトル倒し

# 小学館レクリエーションリーダーズクラブに参加して

横浜国立大学教育人間科学部  
仲里 歌織

小学館レクリエーションリーダーズクラブは、会員数約 250 人のクラブで、主にキャンプやイベントの運営をボランティア活動として行っている団体です。私は現在、キャンプレクリエーションリーダー研修会を終了し、キャンプ活動やイベント活動に関わらせてもらっています。

私がこのクラブに参加したきっかけは、もともと子どもが好きで子どもと関わることがしたい、またキャンプ活動にも興味があると思っていた頃に、大学で募集要項を見つけたことがきっかけでした。研修内容を見ると、かなり本格的な活動であることが一目で分かりましたし、そのクラブを知っている友だちが、結構大変らしいよと言っていたので、「よしっ、これならやりがいがある!!」とすぐ申し込みをしにいきました。

研修会の内容としては、日々の発声練習、集団ゲームの練習、2 回の宿泊研修、キャンプソング・ゲームの指導、グループワークトレーニング、上級救命技能資格講習など全 10 回から成り、どれも内容の濃いものでした。

その中で特に印象深かったのが、合宿研修でした。1 回目の研修は研修生が参加者の立場となり、様々なゲームに取り組みさせてもらったり、キャンプファイヤーに参加したりしました。私はこの時「こんなにもキャンプ活動が楽しいのか」と心底驚き、「ぜひ私もこの体験を子どもたちに提供したい!!」と強く感じました。それと同時に、こんなにキャンプが楽しいのは、スタッフがとても一生懸命頑張ってくれているからだなあ、スタッフってすごいなあと感じました。その証拠に夜も遅くまでミーティングをしていて、その日の反省や次の日の企画が成功するように打ち合わせをしていました。スタッフの方たちが一生懸命企画してくれたように、私もこれから頑張ろうと強く感じた合宿研修でした。

研修会の中で岩田先生(小学館レクリエーションリーダーズクラブ代表)のお話を伺っているうちに、なぜこんなにキャンプを楽しく感じたのかが分かってきました。それは、スタッフの方全員が「ホスピタリティトレーニングを受け、常におもてなしの心で相手を楽しませよう」という気持ちを持っているからだろうと思いました。

現在私は研修を終え、クリスマスフェスティバルに参加させてもらっているのですが、ゲーム練習ひとつとっても妥協はしない(しっかりと指導してくれる)小学館レクリエーションリーダーズクラブは素敵だと思っています。妥協をしない根底には常に子どもたちに楽しんでもらいたい、子どもたちの笑顔が見たいという「おもてなしの心」があるからだと思うからです。

このクラブには小学校 4 年～高校 3 年生で構成されている少年部というところがあるのですが、上記のような「おもてなしの心」を学んでいる彼らは、笑顔で大きな声で挨拶をしてきてくれたり、素敵な子たちだなあと感じます。このクラブの良いところは、「おもてなしの心」以外に、色々な年齢層の人が関わっているところではないかと感じます。少年部・青年部・指導部からなり、大人から子どもまで一緒に活動しています。小学部の子たちと一緒にゲーム練習をした時も、自信なさげにしている子を励まし、そのことでちょっと頑張ってみようという勇気を出しているところを見かけるからです。

今後も色々な年齢の人と関わり、励ましたり励まされたり、クラブのみんなと共に成長できたら良いなあと感じています。

## 小学館レクリエーションリーダーズクラブの概要

### 【お話を伺った方】

小学館レクリエーションリーダーズクラブ代表 岩田 勉 氏



会員数約 250 人のクラブです。少年部( 35 人、小学校 4 年生から高校 3 年生)、青年部( 130 人、大学生年齢以上で年齢制限はなく、社会人も含む)、指導部( 80 人、青年部から継続して活動しているメンバーで、10 人はスタッフ(職員))から成り立っています。主に、キャンプ・イベントの運営・指導をボランティア活動として行っています。「自己表現の場・自分を成長させる場」「仲間づくりの場」「勇気、チャレンジ精神を育む場」「課題解決能力(生きる力)を育む場」として、自らが積極的にクラブの活動に携わっていくことを旨としています。

**あそび・冒険・体験・自然**を柱に様々な野外活動を行っています。「あそぼうけんクラブ」「やまと自然学校(1泊2日キャンプ)」「キッズ アウトドアクラブ(幼児対象の野外活動)」など日帰りから、3週間に及ぶ長期キャンプに、年間数千人の子どもが参加しています。リーダーは子どもたちのカウンセラーとして、寝食をともにし、徹底した安全管理と、子ども指導を行っています。

また文化・イベント活動として、物語を繰り広げながら手品を展開する「ストーリーマジックショー」と創作児童演劇を実施していて、親子で楽しめるプログラムです。演出・脚本・音響等のすべてをリーダー自らが作り上げます。また「巡回遊びの学校(遊びの出前)」では幼稚園・小学校の子ども・教員を対象としていて、多様な遊びの指導・運営を行っています。

これらの活動を支えるリーダー養成事業として、「**キャンプ・レクリエーションリーダー研修会**」を実施しています。主に大学・専門学校等に募集をかけていて、教育・福祉系の学生が 5,6 割います。また幼稚園、保育園、福祉系の仕事をしている社会人もいます。東京キャンプ協会、東京都レクリエーション協会と提携していて、研修を修了しますと、「レクリエーションインストラクター」「キャンプインストラクター」「自然体験活動リーダー」「上級救命技能」の 4 つの資格取得ができます。参加動機はいろいろですが、楽しさや仲間ができたことを優先するようになり、研修を終わってみて結果として資格が取れたという感じです。5 月初旬に始まり、8 月に研修を修了しますと、会員として残りイベントの運営に携わっていくことになります。

その他に子どもとの接し方を学ぶために、ホスピタリティトレーニング(HT)、グループワークトレーニング(GWT)などを年に 4,5 回実施しています。HT はおもてなしの心を学ぶもので、笑顔で迎え、きちんとあいさつをして、子どもにも親にも安心感を与えるためのものです。GWT はゲームを通して、仲間づくり、協力、人の痛みを理解することをゲームを通して学ぶものです。プロジェクトアドベンチャーの手法も使っています。

しかしトレーニングでは理論的なものを学ぶことが中心で、実際には活動の中での体験が最も重要です。現場で子どもたちと接して、ふりかえりそれを次の活動にフィードバックしていくことの繰り返しで学んでいます。そうやって会員・リーダー間で切磋琢磨しながらお互いを高め合い、日々成長し、活動に参加しています。

# ジュニアリーダー活動に関わってきて

## 第1回神奈川県ジュニアリーダー大会 実行委員長 増井保幸

ジュニアリーダーは、「子どもと大人のパイプ役」として全国の多くの市区町村に存在し、中高生を中心に組織される地域密着型の青少年団体です。主な活動として、各地域の子ども会活動のサポートや、地域の行事への参加・協力などを行っています。

私は伊勢原ジュニアリーダーズクラブに所属し、現在は会のスーパーバイザーとして会員の指導・サポート及び会の総括をしています。また地元での活動の他に、県の子ども会連絡協議会の行事などにも積極的に参加し、県内のジュニアリーダーのネットワークづくりにも努めています。

さて、私がこのジュニアリーダーという活動の存在を知ったのは、もう11年も前の事になります。当時は小学6年生で、夏休みに市の子ども会連絡協議会が主催した「イン・ジュニアリーダー合同研修会」という1泊2日のキャンプに参加した時の事でした。このキャンプは、市内の子ども会に所属している小学5,6年生60名が参加者となり、かまどや飯ごうを使ってカレー作りをしたり、キャンプファイヤーをしたり、ナイトウォークをしたり、2日目にはマスのつかみ取りをして獲った魚を調理したりと、非常に楽しい1泊2日間でした。

そしてこのキャンプの企画・運営をしていたのがジュニアリーダーのお兄さん・お姉さん達でした。自分よりも少し年上で、手際よく私たち参加者をリード・サポートしてくれる彼らの姿がとてもカッコよく、憧れを抱いたとともに、私もジュニアリーダーになりたいと強く感じました。この事がきっかけとなって中学1年生の夏に伊勢原ジュニアリーダーズクラブに入会し、現在まで活動を続けてくる事となりました。

これまで10年間の活動を通じて、私は様々な体験・経験をする事ができました。子ども会の行事や地域のイベントに参加して、子どもからお年寄りまで様々な方とふれあえた事。自分達で企画・運営をした行事が成功し、仲間と喜びを分かち合った事。様々な地域のジュニアリーダーと知り合い、かけがえのない友人が沢山できた事。どの活動も普段の生活の中ではなかなか味わう事のできなかつたであろう貴重な経験ばかりです。もちろん活動の苦労もそれなりにありましたが、嬉しかった事も辛かった事も全部ひっくるめて一生モノの思い出です。

また、活動を通して子ども達と長く関わっていると自分自身が成長するとともに、子ども達やクラブの会員達が日々成長している姿をうかがうことができる事もこの活動の大きな魅力です。

小学校に入学したての頃はまだ頼りなかつた小さな子が、学年が上がっていくといつの間にかリーダーシップを取るようになり、6年生を迎える頃には子ども会のリーダーになって年下の子の面倒を見ていたりします。ジュニアリーダー達も同様です。徐々に活動に対する責任感が芽生えてきたり、ジュニアリーダーの意義や楽しさを実感してくるようになると、積極的に活動への参加や発言をしてくれるようになります。このようなシーンに遭遇するたびに、活動をしてよかったと心の底から実感できます。

中高生の頃には気づく事ができませんでしたが今になって考えてみると、「活動していて楽しいから」という理由でやっていたジュニアリーダーの活動は、実は自身のためだけではなく、微力ではありますが子どもたちを始め地域の方々に貢献している活動だったのだと感じ、続けてきてよかったと改めて思う事ができます。この活動を続けてこられた事を私は誇りに思います。今後も自己のため、地域のためにこの活動を続けていきたいと思えます。

## ジュニアリーダーの活動の様子



第1回神奈川県ジュニアリーダー大会



アクティブキッズワールド2005



お年寄りとの親睦



キャンプでの野外炊事

# 渋谷ファンイン

ユースワーカー 岩間文孝



渋谷区内11箇所のファンイン

渋谷ファンインは、渋谷区内で子どもの居場所づくりをしている地域の団体です。「ファンイン」とは、中国語で「歓迎」という意味です。当初は子ども達の居場所の総称として使っていました。その後、渋谷区内 11 箇所に活動が広がり、それぞれの地名をつけて「〇〇ファンイン」と呼ぶようになりました。

わたしは、教師を目指していましたので、たくさん子どもと触れ合う機会がほしいと感じ、ファンインの活動にかかわることになりました。ボランティアをしたいという気持ちではなくて、自分の勉強のためにしたい、自分自身を生かすきっかけにしたいといった思いがありました。

渋谷ファンインの活動は、3つのスタイルがあります。1つは、たまり場活動です。子ども達が自由に集まり自由に過ごします。そのたまり場には、ユースパートナーとよんでいる若者が、子ども達の相談相手や遊びのサポーターとしてかかわります。2つ目は、クラブ活動です。子ども達に希望の多いスポーツ、ダンス、バンド等の活動や学習活動を行います。3つ目は、体験活動(イベント)で発表の場、ふれあいの場として、時には、学校、地域と連携して行います。

ファンインでのわたしの最初のかかわりは、上原ファンインでユースパートナーとしての活動でした。実際に活動してみると、たまり場は、不登校の子ども達も気軽に立ち寄れる場でした。そこで、不登校の子ども達の相談活動も行うピアサポーターとしての活動も行うようになりました。その活動が現在は、ファンインピアサポート委員会として学校や教育委員会と連携しながら不登校、ひきこもりの子ども達の自宅へ訪問する等の活動も行うようになり、わたしも何人かの子どもの自宅へ訪問しています。

活動を続けていくことで、今までに出会ったことのないような子ども・若者の存在を知ることが出来ました。多様な子ども・若者との出会いは、わたしにたくさんのことを学ばせてくれました。そして、子どもたちが毎週のように来て、満足そうに帰っていく姿は、わたしに大きな喜びも与えてくれます。また、ファンインの大人スタッフに活動を認めてもらうこと、集まってくる子どもの保護者の方に喜んでもらえることも、わたしの喜びの1つです。子どもたちが喜んでくれる、地域の大人に認めてもらえるという2つの有用感が、わたしをここまで育ててくれ、そして、活動を続けられた原動力になっているのだと思っています。

ファンインに集まる子どもたちを見ていると、すごいなあっていつも感じさせられます。子どもたちの本能から遊ぶ姿、何でも吸収してしまう吸収力、発想力には本当にびっくりしています。一方で、みんなで遊ぶ事に対して慣れていない、1人で遊ぶ事ばかりの子どもが増えていることに不安を感じることも多くなりました。

子ども達は、感性が豊かで、変化にもとても敏感です。その子ども達と共に育っていくためにも、子ども達の声に耳を傾け、子ども達に寄り添い、地域の新しい力を取り込みながらこれからも活動していきたいと思っています。

## 渋谷ファンインの活動の様子



お菓子づくり  
(本町ファンイン)



玉原高原ハイキング  
(本町ファンイン)



工作教室  
(代々木ファンイン)



たまり場活動  
(上原ファンイン)



冒険遊び場  
(せせらぎファンイン)



自然体験  
(鳩森ファンイン)



ストリートバスケット  
(美竹ファンイン)



ピンポンクラブ  
(代官山ファンイン)



クレイメーション制作  
(恵比寿ファンイン)





## 調査結果のまとめ

この章では子ども活動を展開している青少年団体、ジュニアリーダーズクラブ等について、市区町村の青少年主管課や青少年関係団体に調査依頼し、回答をいただいたものをまとめたものを掲載しています。

横浜・川崎地区	P.67 ~ 80
横須賀三浦地区	P.81 ~ 84
湘南地区	P.85 ~ 94
県央地区	P.95 ~ 101
西湘地区	P.102 ~ 104
足柄上地区	P.105 ~ 106
津久井地区	P.106
民間団体	P.107
青少年が主体的に活動している団体一覧表	P.108 ~ 109

## 調査結果のまとめ

この章では、平成 17 年 7 月末に、各市区町村青少年主管課( 63 )及び青少年関係機関・団体( 44 )に対して、「平成17年度神奈川県青少年指導者養成協議会専門部会に係る調査青少年団体、ジュニアリーダー等について」という調査依頼をして、45 団体から御回答をいただいたものについて 67 ページ以降(これ以外の 3 団体については、 に掲載させていただきました)にまとめました。1 ページに 1 団体または 2 団体(ページ数の関係で同じページに 2 団体を掲載させていただいたところがあります)のデータを掲載しました。それを一覧表の形にまとめたものを、「青少年が主体的に活動してる団体一覧表」( P.108 )に掲載しています。

各団体で御回答いただいた項目すべてではなく、公表しても差し支えないものについて掲載しました。余白の部分には資料をいただいている団体について、年間行事、自主研修の内容、チラシ、キャンプのしおりのカット・イラスト等を可能な範囲で掲載させていただきました。

いくつかの項目について、傾向として出てきているものについて以下に述べます。自主活動の内容で多かったのは、「自主研修」「キャンプ」「親睦のためのクリスマス会等」「市民祭等への参加」です。その他には「イベント」「新聞発行」「ボランティア活動」等を実施している団体があります。定例会はほとんどの団体が実施していて、会員同士で話し合いながら活動を進めていることがうかがえます。

活動上の課題では、最も多かったのは「人材・後継者不足」で 18 団体があげています。その理由として、「加入者の不足」「会員の中高生が部活動・受験で忙しい」などがあがっています。また「中心メンバーの育成」「女子に比べて男子が少ない」「社会人になると忙しくて参加できなくなる」「ジュニアリーダー卒業後の活動の場がない」などをあげている団体もあります。

協力事業については、相手先に「子ども会連絡協議会・地区子ども会・単位子ども会・育成会等」と回答しているのが 26 団体と圧倒的に多くなっています。次が「市町主催事業」で 10 団体ありました。あとは「青少年指導員連絡協議会」「老人会」等がありました。この子ども会への協力事業というのは、子ども会からの依頼があって、行事のお手伝いをするというものです。団体によっては、この活動が時期によって非常に多く、人手不足になる団体も多いようです。夏のキャンプ、クリスマス会、新入生歓迎会を実施する時期が忙しいようです。協力の内容を見ますと、「レクリエーションゲーム」を最も多いと答えた団体が 26 団体、2 番目に多い内容では、「イベントのスタッフ」が 15 団体、「キャンプ(キャンドル)ファイヤー」が 12 団体となっています。これらの活動への参加回数の上位 5 団体は、以下の表になります。

協力事業への参加回数の上位5団体

順位	1	2	3	4	5
回数(回)	84	67	50~60	47	47
延人数(人)	240	257	300	148	100
平均参加人数(人)	2.9	3.8	5	5.5	2.1
会員数(人)	71	85	41	71	39
実働人数(人)	50	30	20	55	12
延人数/実働人数(人)	4.8	8.6	15.0	2.7	8.3

3 番目の団体は、回数を 60 回として、平均を出した。

この表以外の団体では、平均参加人数が、25 人が 1 団体( 2 回)、20 人が 2 団体( 1 回、3 ~ 5 回)。8.3 人が 1 団体( 3 回)というところもありますが、回数が少ない団体です。回数が 12 回で平均 8.8 人という団体もあります。

回数・人数を回答した 25 団体(回数だけで、延人数の回答がない 4 団体は除いた)の総回数は 571 回、総延人数は 2,575 人で、1 回に平均 4.5 人が参加していることになります。

これらの結果から言えることは、各団体が非常に活発で忙しい活動を展開しているということです。このことから人材不足、後継者不足という課題が浮かび上がってきます。

参加動機は、「キャンプなどでリーダーに接して、楽しかった・おもしろい・かっこいいと思ったから」「リーダーへの憧れ」「ボランティアに興味があった」の3つが多く、それぞれ 10 団体以上があげています。「参加したイベント・研修会が楽しかった」「子どもが好き・関わりたい」「キャンプがしたい」等もありました。この参加動機を考えると、もっと多くの機会を通じて参加を呼びかければ、団体への加入の可能性があると思われます。しかし忙しい中で、会員募集の行事を組み立てていくのもなかなか難しいのではないかと思います。ジレンマになっているように見えます。

自主活動と協力事業の比率が、アンバランスになっている団体が多く、本当にやってみたい活動というものを実現できず、あるいは見いだせないままに忙しい活動を継続していて、それが原因で実働人数を逆に減らしてしまい、さらに忙しい会員が多くなっているのではないのでしょうか。

魅力のある活動を展開することで会員のモチベーション(やる気)を維持しつつ、その活動にたくさん子どもたちに参加してもらって、彼らに入会してもらうことで会員増につなげてほしいと思います。

## 67ページからの表の見方 団体名

問い合わせ先	事務局が青少年主管課の場合、その電話番号を掲載した。事務局が個人宅の場合は掲載していない。		
活動エリア	活動している地域	活動拠点	定例会等を実施する場所
自主活動	団体独自の活動		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している(いない)		研修を指導している人
中上級者向け	実施している(いない)		研修を指導している人
活動上の課題	活動している上での問題点や悩み		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	内 容	-
イベント(委託)	協力事業でイベント形式のもの		
協力事業	相手先	協力事業の相手先団体等	
	内 容		
	回 数	延人数	
アピールポイント	団体のいい点やうりとなる点		
会発足のきっかけ	団体を創設することになった理由・きっかけ		
会員募集方法			
参加動機	団体に入会・参加のきっかけや動機		
会員情報等	年齢層	会員の年齢層と其中最も多い年齢層	年会費
	会員数	実働人数	会則
指導者	会員を指導している立場の人		

# 鶴見区ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	鶴見区ジュニアリーダーズクラブホームページ <a href="http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=tsurumijlc">http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=tsurumijlc</a>			
活動エリア	鶴見区全域	活動拠点	鶴見ふれあいセンター	
自主活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班長研修会(サマーキャンプ参加者を対象に、クラブへの興味をより深くもってもらい、クラブの活動を知ってもらうことを目的として、毎年秋ごろに行っている。)</li> <li>・花月園キャンプ(地域の子もたちが参加。メンバーが企画)</li> <li>・他区・他都市ジュニアリーダーズクラブとの交流会。</li> <li>・会員相互の親睦を目的としたクリスマス会や新年会、食事会など。</li> </ul>			
自主研修	内 容		講師(指導者)	
初心者向け	実施している	リーダー養成講座(区役所):中高生向け。レクや野外活動、野外炊事の基本を学ぶ。 定例会(JLC):月1回、地区センター等でレク・ファイヤーゲームの講習を行っている。	会員OB・OG、横浜市レクリエーション協会会員	
中上級者向け	実施している	総括研修会:毎年度末、会員のみ対象の宿泊研修。	会員OB・OG	
活動上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材が少ない。特に近年は男子が少なくなっている。</li> <li>・認知度が低い。その克服は会の目標でもある。</li> </ul>			
連携(協働事業)	連携(協働)相手	なし	内容	-
イベント(委託)	区内小学4~6年生対象の鶴見区子どもサマーキャンプの企画・運営			
協力事業	相手先	鶴見区子ども育成会連絡協議会・地区の子ども会		
	内 容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ、子どもと若者のひろば(たまり場・フリースペース)開設モデル事業、区民フェスティバルへの出店(フリマ)など		
	回 数	年間15回程度 (さらにひろば開設モデル事業が月2回)	延人数	約150人
アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気がよくて、クラブの雰囲気がとても明るいところ。</li> <li>・挨拶や返事、敬語などの礼儀をしっかり意識しているところ。</li> </ul>			
会発足のきっかけ	各単位子ども会の発展を図るため、区内の子ども会の活動の奉仕、及び子どもに対する指導・助言することを目的とし、そのために子ども会のリーダーを育成し、リーダー間の相互の研修、ならびに親睦交流を深めることを趣旨として、鶴見区子ども育成会連絡協議会の傘下団体という位置づけで発足。			
会員募集方法	「鶴見区子どもサマーキャンプ」に参加の小学5、6年生に入会を呼びかけている。その他、イベント等を通してメンバーから小学校高学年や中高生に直接紹介したり、携帯のサイト等で呼びかけたりしている。			
参加動機	サマーキャンプで、リーダーに憧れたり活動内容に興味を持ったりしたのがきっかけ、というメンバーが多い。			
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 18歳	中高生	年会費 中学生 1000円 高校生 1500円
	会員数	34人	実働人数 20人	会則 あり
指導者	会員OB・OG、子ども会役員			

# 西区子ども会育成連絡協議会ジュニアリーダースクラブ

問い合わせ先	西区役所地域振興課内	045-320-8392	hi00-izumiya@city.yokohama.jp		
活動エリア	西区内を中心とした横浜市内	活動拠点	ふりーふらっと野毛山(横浜市青少年交流センター)		
自主活動	西区子ども大会、区民まつり、健民祭などでゲーム、レクリエーション指導に参与している。				
自主研修	内 容		講師(指導者)		
初心者向け	実施している	仲間づくりやJLの役割の話し合いと交流会(2泊3日)	会の先輩・OB・OG、子ども会役員		
中上級者向け	実施している	室内レクリエーションなど実技の実施	会の先輩・OB・OG、子ども会役員		
活動上の課題	社会人になると時間的に余裕がなくなり、活動時間確保に苦難。				
連携(協働事業)	実施していない				
イベント(委託)	小学校5,6年対象のキャンプの企画、運営、実施など				
協力事業	派遣先	西区の単位子ども会/地区センター			
	派遣内容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ、キャンプのスタッフ、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、地区センターまつりの協力、紙芝居大会のスタッフ協力など			
	派遣回数	12回	延人数 30人		
アピールポイント	単位子ども会や地域活動にボランティア派遣協力している。ゲームの指導などが好評。				
会発足のきっかけ	昭和43年、子ども会活動の上で、青年の参加の必要性が求められ、研修合宿をして発足				
会員募集方法	子ども会の回覧等を通し、募集チラシで呼びかけ				
参加動機	・キャンプで指導してくれたリーダーに憧れて ・子ども会に派遣されたJLに触れ、自分も目指す。				
会員情報等	年齢層	13歳 ~ 40歳	中高生中心	年会費	1,200円
	会員数	60人	実働人数	40人	会則
指導者	会員OB・OG、担当職員				

## 平成16年度 行事報告

日 時	行事名	内 容	参加人数
4月25日	定期総会	行事報告・決算報告・行事計画等	29人
5月22日	風流大会	クラフト、流しそうめん	38人
6月20日	学年別研修会・班長研修会	ジュニア学年別研修会、紙飛行機づくり	24人
7月20日	CAMP事前研修会	野外炊事の練習	31人
7月28日	CAMP事前研修会	名札づくり、役割・献立決め	26人
7月30日~8月2日	CAMP	野外炊事、キャンプファイヤー	48人
8月22日	CAMP事後研修会	CAMP反省会	28人
9月25日	ハイキング	ウォークラリー、運動会	25人
10月10日	健民祭	運動会手伝い	25人
10月23日	中2主催研修会	ウォークラリー、野外レク	17人
11月7日	区民祭	懐かしいおもちゃ、紙芝居、フリーマーケット	14人
11月13日~14日	SL主催宿泊研修会	学年別研修会、全体研修会	27人
12月25日~26日	クリスマス研修会	親睦レク、キャンドルファイヤー、ポイントラリー	40人
1月29日	スポーツ大会	お正月の遊び、ドッジボール	12人
2月27日	遊友遊楽	クッキーづくり、親睦レク	21人
3月19日~20日	新人研修会	親睦レク、キャンドルファイヤー、海賊ラリー	73人

# 保土ヶ谷区ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	保土ヶ谷区役所地域振興課	045-334 - 6307	-
活動エリア	主として保土ヶ谷区内	活動拠点	地区センター他
自主活動	自主研修(キャンプ他)・お楽しみ会・定例会(毎月)・区子連行事への派遣 等		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	宿泊研修を通じてJLとは何かを学習させる。	先輩会員、会員OB・OG
中上級者向け	実施している	単位リーダーズクラブの養成を大勢で学ぶ。	先輩会員、会員OB・OG
活動上の課題	クラブへの参加を増やすこと。加えて良きリーダーを育てること。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	区役所地域振興課	内容
イベント(委託)	小学生対象のキャンプ・体験学習・研修会等の企画・運営・実施		
協力事業	相手先	区内の単位子ども会及び区子ども会行事	
	内 容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ	
	回 数	単位会10 回・区子連 行事10回	単位会50 人・区子連 150人
アピールポイント	子ども達の良きお兄さん、お姉さんとしてのグループです！		
会発足のきっかけ	区子ども会育成連絡協議会の傘下ではあるが、自主的に活動することを目的に組織を立ち上げた。		
会員募集方法	・小学校5・6年生のJL養成研修会で呼びかける。 ・区子ども会育成連絡協議会の会長会議で全子ども会に回覧。		
参加動機	・リーダーに憧れて ・皆で集まって過ごすのが楽しい。		
会員情報等	年齢層	12 歳 ~ 24 歳	中学生中心
	会員数	40人	実働人数 40人
指導者	年会費 1200 会則 あり		
	指導者 会員OB・OG、区子連(区子ども会育成連絡協議会専門委員会も含む)		

## 第2回子ども体験学習

趣 旨	・野外炊事の楽しさを感じ、技術や知識を身につける。 ・火や包丁などの危険を理解し、常に安全な行動を心がけることを身につける。 ・宿泊での活動を通して、仲間との協調性や、リーダーシップ、積極性を育てる。
主 催	保土ヶ谷区子ども会連絡協議会
企画・運営	保土ヶ谷区ジュニアリーダーズクラブ
日 程	2005年10月1～2日(1泊2日)
会 場	横浜市三ツ沢公園野外活動センター
対 象	小学校4～6年生
内 容	野外炊事体験、レクリエーション他

# 旭区ジュニア・リーダーズ・クラブ

問い合わせ先	旭区地域振興課 生涯学習支援係	045-954-6095	yu00-segawa@city.yokohama.jp
活動エリア	旭区全域	活動拠点	旭区内の公共施設(地区センター、福祉保健活動拠点など)
自主活動	旭区子ども会育成連絡協議会と共に、5～6年生対象の班長研修会、6年生対象の新人養成研修会及び子ども会活動の発表の場である旭区新年子ども大会を企画、実施している。その他に会員対象のレクリエーション行事、会に興味のある区内の中学生も対象とした活動体験や親睦交流を目的とする行事など。		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	日帰り2回、1泊2日4回、2泊3日1回。ジュニアリーダーとして必要な知識や技術の習得を目的に、キャンプやレクリエーション指導等の研修。	先輩会員
中上級者向け	実施している	高校生対象の研修会、シニア(高校卒業以上)対象の研修会を必要に応じて、各2～3回程度実施。スタッフや指導者として必要な知識・技術の向上を目的とする。	先輩会員
活動上の課題	中学生会員の活動への参加率が低下している。また、会員数も遞減傾向にある。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	旭区子ども会 育成連絡協議会	内容 子ども(小学生)対象の事業実施の際、区子連が参加者募集、資金拠出、連絡調整等を行い、ジュニアリーダーが企画・運営、子どもの指導を行っている。
イベント(委託)	特になし		
協力事業	相手先	旭区内の子ども会	
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ	
	回 数	12回	延人数 60人
アピールポイント	会長をはじめとする役員は原則として高校生が担当することにしており、高校生が主体となって企画・運営をしている。また、それをサポートする高校卒業以上の会員層が充実している。		
会発足のきっかけ	保土ヶ谷区から分区して旭区が誕生した際に、保土ヶ谷区ジュニア・リーダーズ・クラブから独立して発足した。		
会員募集方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学5～6年生対象の班長研修会(9月)の参加者に呼びかける。</li> <li>・小学6年生(新中学1年生)対象の新人養成研修会開催(2月)。</li> <li>・その他、区内の子ども会への呼びかけ、子ども会行事でのPR。</li> </ul>		
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先輩リーダーにあこがれて。</li> <li>・子ども会行事でリーダーと一緒に遊んで、楽しかったから。</li> <li>・班長研修会や新人養成研修会が楽しかったから。</li> </ul>		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 45歳	社会人、中高生が多い
	年会費	1,200円	
	会員数	61人	実働人数 55人
	会則	あり	
指導者	高校卒業以上で後輩の指導・育成活動に参加の意志のある会員をシニアと称し、後輩の指導・育成に当たっている。		

# 磯子区ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	三上 清香	045-750-2393 (磯子区地域振興課)	-
活動エリア	磯子区	活動拠点	磯子
自主活動	-		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	7月研修(1泊)や会議の際にリーダーがどうあるべきかという研修をします。	シニアリーダー
中上級者向け	実施している	シニアリーダーになると洋上セミナーや金子連主催の都市大会、各小学校のボランティア等、個人的に勉強、経験をしています。	-
活動上の課題	まだまだクラブとして、成長の途中ではありますが、楽しく明るく活動するだけでなく、けじめのあるクラブになるように日々努めています。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	なし	内容
イベント(委託)	祭、フェスティバル、子どもまつり、健民祭、磯子まつり、洋光台ウォークラリー等		
協力事業	相手先	地域子ども会の手伝い	
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ	
	回 数	20回 平成16年度	延人数 40人程度
アピールポイント	人数が多いですが、みんな1つになって活動しています。年齢差がありますが、仲良く話ができる仲です。		
会発足のきっかけ	地域活動を通じて、リーダー同士の親睦と青少年育成として自主性、創造性、社会性を学びリーダーシップを習得し、地元子ども会に協力すること		
会員募集方法	サマーキャンプ等、行事に参加した小学生への呼びかけ		
参加動機	あこがれやボランティアへの興味		
会員情報等	年齢層	13歳 ~ 36歳	中高生中心
	会員数	50人	実働人数 46人
指導者	シニアリーダー		

## 平成16年度 活動報告

2004年4月	定期総会
5月	新入生歓迎会
7月	7月研
8月	赤城サマーキャンプ(2泊3日)、洋光台四街区祭、洋光台五街区祭、洋光台サイエンスフェスティバル、サマキャンお疲れ様会
9月	いそごどもまつり、サマキャン写真会
10月	YJ球技大会、洋光台健民祭、ボラ協祭、磯子まつり、
11月	洋光台ウォークラリー、洋光台サンモール祭
12月	クリスマス会(洋光台一丁目、洋光台四丁目、洋光台一街区、洋光台四街区、杉の子、杉田西部、ログハウス)
2005年1月	1月研。くらき子ども会新年会
3月	卒業生を送る会(浜西、レインボー、室の木)、野島春キャンプ(1泊2日)

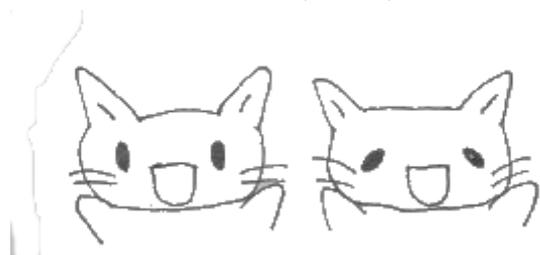
# 港北区ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	港北区地域振興課 生涯学習支援係	045-540-2239	ha02-yoshida@city.yokohama.jp
活動エリア	港北区全域	活動拠点	港北区役所
自主活動	アウトドア活動教室、冬季宿泊研修会、春季宿泊研修会		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	レクリエーションゲーム、野外炊事研修、グループワークトレーニング	先輩会員、担当職員
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	スタッフが女性の割合がふえて男性が少なくなっている。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	なし	内容
イベント(委託)	区子供会宿泊研修、区民まつり		
協力事業	相手先	港北区内の子ども会等	
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ	
	回 数	45回 平成16年度	延人数 約200人
アピールポイント	参加をしてくれている子ども達のよきお兄さん、お姉さんの活動をしています。		
会発足のきっかけ	子ども会の年少指導者を育成するために結成された。		
会員募集方法	冬・春に小学生を対象にした研修会の時に募集する。		
参加動機	子ども会、地域のイベントのお手伝いなどしたときに参加していた。		
会員情報等	年齢層	13歳 ~ 28歳	中高生中心 年会費 18歳未満(中学生・高校生)2,500円、18歳以上3,000円
	会員数	60人	実働人数 30人 会則 あり
指導者	会員OB・OG、担当職員		

## アウトドア活動教室

趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立心、協調性の育成。</li> <li>・高校生にとっては、リーダーシップの育成になり、中学生にとっては、団体活動を学ぶ場となっている。</li> <li>・中高生、専門学校生、大学生の交流にもなっている。</li> </ul>
主 催	港北区ジュニアリーダーズクラブ
企画・運営	港北区ジュニアリーダーズクラブ
日 程	2005年8月18~21日(3泊4日)
会 場	赤城林間学園キャンプ場
対 象	中高生
内 容	キャンプ、野外ゲーム等

自主研修として、春季宿泊研修会(1泊2日)、冬季宿泊研修会(1泊2日)等を実施している。



# 緑シニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	緑シニアリーダーズクラブ	045-932-3130	-
活動エリア	緑区内	活動拠点	横浜市くろがね 青少年野外活動センター
自主活動	地域のイベントへ手伝いとして参加したり、自主的に星空キャンプを開催している。		
自主研修	内容		講師（指導者）
初心者向け	実施している	野外活動上の安全管理の行い方、キャンプの企画運営	クラブ員
中上級者向け	実施している	野外活動の安全管理をどう向上させていくか	クラブ員
活動上の課題	新規メンバーの加入、中心メンバーの育成		
連携（協働事業）	連携（協働）相手	-	内容
イベント（委託）	緑区民祭り・横浜市中心地区センター祭り、その他多数		
協力事業	相手先	なし	
	内容	-	
	回数	-	延人数
		-	-
アピールポイント	若年層が中心になりキャンプの企画、運営をおこなうところ		
会発足のきっかけ	13年前に区からの呼びかけで発足		
会員募集方法	-		
参加動機	-		
会員情報等	年齢層	15歳～28歳	中高生が多い
	年会費	中高生月額200円・高校卒以上月額500円	
	会員数	30人	実働人数
		20人	会則
			あり
指導者	会員OB・OG		



## 星空キャンプ



野外炊事・レクリエーションなど楽しいことをいろいろするよ★  
星空キャンプを通して友達の輪をひろげて、仲良くなろう★

1. 日にち 9月24日(土)～25日(日)  
宿泊施設に泊まります
2. 対象 小学校4～6年生
3. 定員 40人(応募多数の場合抽選となります)
4. 場所 くろがね青少年野外活動センター(宿泊施設)  
[田園都市線が尾駅よりバス]
5. 参加費 2500円(保険料・交通費込み)
6. 申し込み 9月8日必着で下記の住所まではがきを送ってください。こちらから9月14日まで抽選結果をお送りしますが、届かない場合は下記の連絡先までお電話ください★★キャンプの詳細内容は当選通知とともにしおりを送ります。

★申し込み&連絡先★  
はがきに「星空キャンプ参加希望」と明記し、  
参加者氏名(フリガナ)・ニックネーム・学年・年齢・性別・保護者氏名・住所・電話番号をご記入のうえ、  
〒226-0013 横浜市緑区寺山町118  
『緑区役所地域振興課生涯学習支援係星空キャンプ担当』  
まで送付してください。  
(TEL.045-930-2235 FAX.045-930-2242)

★10代から20代のスタッフが企画運営をしています。  
★子どもたちが色々な体験を楽しみながら友達の輪を広げていくことを目標としています。

★★★★★★★★★★★★★★



主催：  
緑シニアリーダーズクラブ

# あおばレクリエーションリーダー倶楽部

問い合わせ先	青葉区役所地域振興課	045-978-2295	ma00-inayoshi@city.yokohama.jp		
活動エリア	青葉区内	活動拠点	区内地区センター		
自主活動	・青葉サマーキャンプ(子ども向けのキャンプの企画・運営:下見、事前説明会、当日進行、事後講習、思い出会) ・同窓会(今年度は、こどもの国で班に分かれてのこどもの国散策、原っぱ遊び) ・ミーティング(活動の計画、実行するための会議で、月2回程度)				
自主研修	内容		講師(指導者)		
初心者向け	実施予定	ジュニアリーダーについて	ジュニアリーダー		
中上級者向け	実施予定	登山、危機管理、キャンプについての座学講習	ジュニアリーダー、OB		
活動上の課題	組織の拡大、メンバーの人材育成を体制化すること				
連携(協働事業)	連携(協働)相手	-	内容 -		
イベント(委託)	なし				
協力事業	相手先	なし			
	内容	-			
	回数	-	延人数 -		
アピールポイント	参加費がかからないこと。 年齢幅に左右されず、それぞれのメンバーが個性的であること。 小学生へのキャンプ開催により、平日頃得られない経験がたくさんできること。				
会発足のきっかけ	年下の異年齢の子どもたちや地域の大人たちとの関わりが少ない青年層に対し、キャンプの企画運営など、大人や子どもたちとともに事業を達成することで得られる様々な体験の機会を提供する。(区自主事業)				
会員募集方法	区版広報誌、インターネット、過去キャンプ参加者へのDM、高校・大学への掲示				
参加動機	ジュニアリーダーに対する憧れ				
会員情報等	年齢層	16歳 ~ 29歳	大学生が多い	年会費	無料
	会員数	16人	実働人数	10人	会則
指導者	担当職員				

## 平成16年度あおばレクリエーションリーダー倶楽部事業

日程	活動内容	場所	内容
2004年5月12～13日	青葉サマーキャンプ ・キャンプ地下見	国立信州高遠 少年自然の家	現地下見とキャンプに向けた研修
8月1日	青葉サマーキャンプ ・事前説明会	青葉公会堂	サマーキャンプに向けた保護者と子供への説明会
8月21～24日	青葉サマーキャンプ	国立信州高遠 少年自然の家	野外炊飯、クラフト作り、プラネタリウム見学、千代田湖ハイキング、しおり作り、キャンプファイアー
9月26日	青葉サマーキャンプ ・事後講習、思い出会	青葉公会堂	キャンプに行った仲間が集い、思い出を呼び起こし共有する。
1月5日	同窓会	こどもの国	班に分かれてのこどもの国散策 原っぱ遊び
3月30～31日	春キャンプ	横浜少年自然の家	過去サマーキャンプ経験者を中心とした中学生キャンプ
月2回程度	ミーティング	主に地区センター、ボランティアセンター等	通年における、上記の活動の計画、実行するための会議

# 栄区ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	栄区地域振興課	045-894-8395	sjlc@hotmail.co.jp	
活動エリア	栄区全域	活動拠点	本郷地区センター	
自主活動	バーベキュー大会、江ノ島・鎌倉散策 (例)「夏だ！遊ぼう！バーベキュー！」区内の小中学生60人を対象に野外での調理を体験します。また、レクリエーションを通して子ども同士交流を図ります。			
自主研修		内 容	講師（指導者）	
初心者向け	実施していない	-	-	
中上級者向け	実施していない	-	-	
活動上の課題	メンバーの人数が少ないことから、今後どうしていくか話し合う必要がある。最近は、部活や塾で忙しい中高生が増えてきたのか、なかなか中高生のメンバーが入らない。			
連携（協働事業）	栄区子ども会連絡協議会 連携（協働）相手 その他、現在、栄区地域振興課と調整中です。	内 容	栄区子ども会事業との連携。 栄区児童文化ワークショップ事業でのワークショップ企画・運営の協力（調整中）	
イベント（委託）	夏休みのキャンプの手伝い、クリスマス会、新入生を迎える会、卒業生を送る会などの司会・進行およびレクリエーションを行う			
協力事業	相手先	栄区各地区の単位子ども会および区子連		
	内 容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ		
	回 数	20回	延人数	70人
アピールポイント	おそらく、他のジュニアリーダーズクラブよりはメンバー数が少なく、大学生のメンバーが多いため年齢層が高い。しかし、その分、メンバー同士の仲が良く、子ども会の方からすると安心して依頼が出来るのではないかと自負しています。			
会発足のきっかけ	戸塚区から栄区が分かれたときに戸塚区ジュニアリーダーズクラブのメンバーが発足。一度は解散したものの、再度活動したいメンバーが集まって発足させた。			
会員募集方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会行事に参加し、その場でチラシの配布</li> <li>自主企画事業において呼びかける。</li> <li>過去の参加者(小学校高学年～中学生)向けに行事を企画し呼びかける。</li> </ul>			
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーの人がおもしろい人だった。</li> <li>リーダーの人のようになりたかったから。</li> <li>参加者として参加してすごく楽しかったから。</li> </ul>			
会員情報等	年齢層	14歳～21歳	高校生、大学生中心	年会費 1,000円
	会員数	9人	実働人数 9人	会則 あり
指導者	栄区子ども会会長、担当職員			



# 泉区ジュニアリーダースクラブ

問い合わせ先	泉区地域振興課	045-800-2395	-
活動エリア	主に横浜市内全域	活動拠点	横浜市内全域
自主活動	<p>・養成研修会～泉区内の小学校5年生以上を対象に、ジュニアリーダーとして必要な基本事項を学ぶための研修会を毎年10月～3月に開催している。(新たなジュニアリーダーの候補者を養成)</p> <p>・こども探検隊～泉区の小学生4年生以上を対象に、道志村や赤城山などの施設を利用して、テント建てや山登り、ウォークラリーなどのプログラムを中心としたキャンプを毎年8月に開催している。(養成研修会へ参加してもらうためのきっかけづくり)</p>		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	毎月の定例会の中で、一泊研修会や野外炊事等を行いスキルアップをはかっている。	先輩会員
中上級者向け	実施している	毎月のスタッフ会議の中で、後輩会員を指導するための研修を行いスキルアップをはかっている。	先輩会員
活動上の課題	後継者不足。最近では、募集をしても会員が集まらなくなってきた。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	青少年の居場所づくり事業の各実行委員会(青少年指導員、体育指導委員、主任児童委員など)	内容 実行委員会は、会場提供、参加者募集を行い、クラブは人員提供、企画・運営をする。
イベント(委託)	なし		
協力事業	相手先	子ども会や区役所などが行う小学生等を対象とした行事	
	内 容	レクリエーションゲーム等のイベントの企画・運営、イベントスタッフとしての手伝い	
	回 数	-	延人数 -
アピールポイント	行政が事務局機能を持つことなく、自ら企画運営を行っている。		
会発足のきっかけ	昭和63年、泉区が戸塚区から分区したことに伴い、戸塚区リーダースクラブから分離新設。		
会員募集方法	小学校5年生以上対象のジュニアリーダー養成研修会(区内小中学校の対象者全員にチラシを配付)の受講者に呼びかける。		
参加動機	子どもたちと楽しく触れ合うことが好きである。ボランティアに興味がある。		
会員情報等	年齢層	中学1年 ~ 30歳未満	高校生以上が多い
	会員数	19人	実働人数 19人
	年会費	4,200円	会則
			あり
指導者	先輩会員		



キャンプの様子

## 瀬谷区ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	瀬谷区地域振興課	045-367-5696	-
活動エリア	瀬谷区全域	活動拠点	-
自主活動	定例会、研修会、アドベンチャーキャンプなど		
自主研修	内 容		講師（指導者）
初心者向け	実施している	レク研修、炊事・野外活動、定例会 など	会員OB・OG
中上級者向け	実施している	同上	会員OB・OG
活動上の課題	後継者不足。		
連携（協働事業）	連携（協働）相手	特になし	内容 -
イベント（委託）	瀬谷区子どもまつり、アドベンチャーキャンプ、映画会、子供会でのクリスマス会、お楽しみ会 など		
協力事業	相手先	瀬谷区子供会育成連絡協議会、及び単位子供会	
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ	
	回 数	10～20回	延人数 -
アピールポイント	子どもたちと年齢も近く、明るく楽しく接することができる。また、各行事等においても自主性を発揮し企画している。		
会発足のきっかけ	子供会など運営していくうえで、中・高生たちのほうが大人よりも子どもとのコミュニケーションがうまくとれる、また自らの成長が図られることから。		
会員募集方法	夏のアドベンチャーキャンプ等の行事を機会に参加者に呼びかける。		
参加動機	・キャンプ等の行事が楽しかった。 ・ジュニアリーダーズクラブの役員が楽しかった。 など		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 25歳	中高生中心
	会員数	25人	実働人数 25人
			年会費 1,200円
			会則 あり
指導者	会員OB・OG、子ども会役員		

川崎市子ども会連盟 ジュニアリーダースクラブ・(7行政区にジュニアリーダースクラブを設置)

問い合わせ先	川崎市子ども会連盟	044-733-3951	-	
活動エリア	川崎市全域及び年2～3回全国子ども会の研修参加 活動拠点 市内こども文化センター			
自主活動	各区民祭などでゲームコーナーなどを担当			
自主研修	内 容		講師(指導者)	
初心者向け	実施している	ステップアップ研修	シニアリーダー	
中上級者向け	実施していない	-	-	
活動上の課題	・部活動、受験等で参加がしにくいこと。 ・ジュニアリーダー卒業後、18～25歳のシニアリーダースクラブへの入会する者が少ないこと。			
連携(協働事業)	連携(協働)相手	なし	内容 -	
イベント(委託)	小学4～6年生対象の各区子どもリーダー研修会の宿泊研修でキャンプ(キャンドル)ファイヤー・ゲームを担当			
協力事業	相手先	川崎市内単位子ども会、市内こども文化センターなど		
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ、キャンプのスタッフ、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、こども文化センターの行事の手伝い、小学校バザーの手伝い		
	回 数	約200回(各区30回程 延人数 度×7区)	-	
アピールポイント	会員が自主的に計画し、参加し、リーダーである意識を自己の中で根付かせていくこと。			
会発足のきっかけ	子どもリーダー研修会修了後、良き先輩として活動する居場所を提供し、会員個人のリーダーシップの意識を高めようと声をかけた。			
会員募集方法	・小学4～6年生対象の子どもリーダー研修会修了者に呼びかける。 ・会員の友達へ口づてで伝える。			
参加動機	・子ども会の良きおにいさんおねえさん役になり、行事等をサポートすることが好きだから ・地域以外の交流ができるから。			
会員情報等	年齢層	中学生～高校生	中高生	年会費 0円～2,000円(行政区により異なる)
	会員数	98人	実働人数 98人	会則 あり
指導者	会員OB・OG、その他			

平成16年度活動報告(宮前区の例)

2004年4月	宮崎さくら祭参加(4日)、宮前区子ども会連合会総会出席(25日)
5月	平成16年度準備会(8日)
6月	多摩川美化活動参加(6日)、平成16年度開講式(6日)
7月	市子連JL研修参加(10～11日)、自己研修<新会員歓迎会>(18日)、川崎市JL連絡会参加(24日)、全国子ども会中央大会参加(27～31日)、関東ブロックJL神奈川大会参加(29～31日)
8月	区内シニアeverlastingによる研修(3日)、川崎市野球大会サポート(7,8日)、第36指定都市JL横浜大会参加(9～12日)、子どもリーダー研修会宿泊研修参加(16～18日)
9月	宮前ふれあいフェスタ参加(12日)
10月	宮前区民祭参加(17日)、宮前区ミニ子ども会議参加(23～24日)
2005年2月	市子連JL研修参加(11～12日)、アクティブキッズワールド参加(19日)
3月	中高生リーダー研修参加(20～21日)、青少年フェスティバル前日準備・当日ボランティア(26,27日)、自己研修及び平成16年度閉講式(29～30日)

定例会(毎月第2土曜日14:00～15:00)

JL連絡会(第3土曜日18:00～20:00)

中高生リーダー(7月～3月の研修まで10回)

# 川崎市子ども会連盟 シニアリーダーズクラブ むげん

問い合わせ先	川崎市子ども会連盟事務局	044-733-3951	-
活動エリア	川崎市全域	活動拠点	川崎市子ども会連盟事務局
自主活動	・川崎市子ども会連盟のジュニアリーダーに対する研修を開催し、ジュニアリーダーの養成を行う。(年3回、ジュニアリーダー宿泊研修会を実施) ・その他子ども会連盟主催行事の運営等		
自主研修		内 容	講師(指導者)
初心者向け	実施していない	-	-
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	新規会員の育成		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	川崎市青少年育成推進委員会	川崎市・川崎市青少年育成推進委員会主催の青少年フェスティバル等の事業に対して、実行委員として会員を派遣し、事業連携を行っている。
イベント(委託)	なし		
協力事業	相手先	市主催行事等	
	内 容	市主催の青年対象行事の企画立案(実行委員として派遣)	
	回 数	2回	延人数 -
アピールポイント	・青年層(18歳~25歳)が、ジュニアリーダー(中学生・高校生年齢)の養成を行うことにより、ジュニアリーダーのニーズに合う研修を実施している。		
会発足のきっかけ	不明		
会員募集方法	・シニアリーダーズクラブ主催の研修会にて案内 ・各子ども会を通じて募集		
参加動機	・子どもが好き ・楽しい、友達(仲間)が増える。		
会員情報等	年齢層	18歳 ~ 25歳	大学生中心
	年会費	1,500円	
	会員数	14人	実働人数 10人
	会則	あり	
指導者	-		

## 平成17年度活動計画

2005年5月29日	市子連総会
7月	第1回ジュニアリーダー宿泊研修会
10月	第2回ジュニアリーダー宿泊研修会
2006年1月	成人を祝うつどい
2月	第3回ジュニアリーダー宿泊研修会
3月25~26日	青少年フェスティバル
4月	平成17年度むげん総会

# 川崎市青少年の家 ユースワーカーズ倶楽部

問い合わせ先	川崎市青少年の家	044-888-3588	-		
活動エリア	川崎市	活動拠点	川崎市青少年の家		
自主活動	定例会、主催事業、四季事業等(資料参照)				
自主研修	内 容		講師(指導者)		
初心者向け	実施していない	-	-		
中上級者向け	実施していない	-	-		
活動上の課題	社会人が多く、自分の仕事との兼ね合いが難しい。				
連携(協働事業)	連携(協働)相手	なし	内容 -		
イベント(委託)	青少年の家フェスタの企画、運営、実施				
協力事業	相手先	青少年の家、中学校自然教室指導員、市のイベントへの参加出店等			
	内 容	事業プログラムのサポート(生活全般、野外炊事、クラフト、プール等)、レクリエーションゲーム、イベントスタッフ、キャンプ(キャンドル)ファイヤー			
	回 数	28回	延人数 120人		
アピールポイント	明るさ、まとめ、自主企画事業の実施				
会発足のきっかけ	主催事業「青少年フェスタ」の実行委員会から発展				
会員募集方法	市内社会教育施設等にチラシ配布				
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちとのふれあいが好きだから。</li> <li>・ボランティア活動に興味がある。</li> <li>・青少年の家の事業に参加して興味を持った。</li> </ul>				
会員情報等	年齢層	15歳 ~ 38歳	中高生	年会費	2000円 (別途保険料)
	会員数	33人	実働人数	20人	会則
指導者	担当職員				

## 川崎市青少年の家ユースワーカーズ倶楽部 第8期活動計画

毎月2回(第1火、第3水)	定例会	全24回
2005年9月17日(土)~18日(日)	主催事業	自主企画事業を実施(子ども対象)
秋 or 随時	研修会	
2005年10月16日(日)	宮前区民祭	出店・活動紹介
未定	部員・職員歓送迎会	
夏・秋・冬・春	親睦交流事業(四季事業)	部員同士の親睦・交流目的
随時	ペットボトルソーラー大改修	台風で崩壊したペットボトルソーラー 温水器改修
2006年3月12日(日)	青少年の家フェスタ(受託事業)	企画・運営・出店
2006年5月17日(水)	総会	

その他にサポート事業として、エコチャレンジクラブ(子ども仲間づくり事業)、青少年教育施設連携事業、ほのぼのスクール(通学合宿事業)、エコゼミナール(子ども環境学習事業)、さくら祭などを実施



# 横須賀市ジュニアリーダー養成講習会OB会

問い合わせ先	横須賀市こども育成部青少年課	046-822-8224	ya-ci@city.yokosuka.kanagawa.jp
活動エリア	横須賀市全域	活動拠点	横須賀市青少年会館を中心に役員会を開催している。また、会員同士の打合せは横須賀市市民活動サポートセンターを中心に実施している。
自主活動	会員の親睦を図る誕生会などの行事の開催(H16実施)		
自主研修	内容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	宿泊1回、講話・話し合い(平成16年度実施)	先輩会員
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	高校・大学受験生も会員になっており、常に活動できる人が限られているため、新入生歓迎会やクリスマス会の時期は人手が足りない状態である。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	わんぱくフェスティバル実行委員会	内容 実行委員会の一員として、実行委員会への出席・当日のイベント運営にあたった。
イベント(委託)	なし		
協力事業	相手先	市内全域の子ども会や子どもにかかわる団体	
	内容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、プール安全監視、子どもと一緒にプールで遊ぶ	
	回数	84回(H16)	延人数 240人(H16)
アピールポイント	とにかく子どもがすき!とにかく明るい!		
会発足のきっかけ	市内には一部の地域しかジュニアリーダーが存在しないため、市内全域をカバーするため養成講習会を修了したジュニアリーダー達が自主組織を発足。		
会員募集方法	ジュニアリーダー養成講習会修了後の講習生および前年度OB会登録者へ、年度ごとの登録更新の確認をOB会員が取りまとめている		
参加動機	先輩のジュニアリーダー達と一緒に活動したい。		
会員情報等	年齢層	14歳 ~ 22歳	中高生中心
	年会費	2,300円	
	会員数	71人	実働人数 50人
	会則	あり	
指導者	会の役員や先輩が指導		

## 横須賀市ジュニアリーダー講習会プログラム

日程	平成17年3月12日(土)~13日(日) 1泊2日
会場	県立三浦ふれあいの村
参加者	40人(スタッフのジュニアリーダー5人含む)、青少年課担当職員3人
趣旨	初心者向けの研修
内容	レクダンス創作、ゲーム(研修の合間に実施)、講話(スタッフが劇を行い、それを題材に悪かった点、改善点について話し合う)・・・スタッフが進行して、すべてのプログラムを進めている。

## 鎌倉市シニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	鎌倉市役所青少年課	0467-23-3000	なし
活動エリア	鎌倉市(キャンプ等を除く)	活動拠点	鎌倉市
自主活動	地域のイベントでの出店(平成17年度)		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	夏期キャンプでゲームやカンテラ作りの指導をするにあたっての事前研修	先輩会員、青少年指導員
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	-		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	-	内容
イベント(委託)	小学4~6年生対象の夏期キャンプでの班付指導、ゲーム指導。		
協力事業	相手先	鎌倉市の地区行事(子ども会、地区の青少年育成団体等)	
	内 容	レクリエーションゲーム	
	回 数	数回	延人数 数人
アピールポイント	-		
会発足のきっかけ	-		
会員募集方法	キャンプ等の行事参加者へのPR		
参加動機	ボランティアに興味がある・子どもと関わりあいたい など		
会員情報等	年齢層	13歳~29歳	中学生から社会人
	年会費	500円	
	会員数	19人	実働人数 5~8人
	会則	あり	
指導者	青少年指導員		

## 逗子市子ども会連絡協議会ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	会長 小沢正和	046-873-2976	-
活動エリア	逗子市全域、三浦	活動拠点	-
自主活動	・市民まつりにて模擬店の出店 ・リーダーとの合同宿泊研修会		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	ジュニアリーダー宿泊研修のプログラムにディベート研修を導入	先輩会員、青少年指導員、担当職員
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	後継者(会員)不足、加入者の減少		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	逗子市教育委員会	内容
イベント(委託)	青少年指導員連絡協議会主催の中高生ディベート大会への出場		
協力事業	相手先	なし	
	内 容	-	
	回 数	-	延人数 -
アピールポイント	会員の明るさ、行事での一致団結力		
会発足のきっかけ	市子連創立35周年を記念して、ジュニアリーダー事業に着手した。		
会員募集方法	・市内小学校6年生(全員)にチラシを配布 ・単子子ども会役員へ募集案内を配布		
参加動機	-		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 17歳	中高生
	年会費	なし	
	会員数	24人	実働人数 24人
	会則	なし	
指導者	会員OB・OG		

# みうら青年ボランティアビューロー

問い合わせ先	事務局長宅				
活動エリア	市内各地	活動拠点	毎週土曜日に市青少年会館にて会議を行っている。		
自主活動	(主催事業)美化財団と協力した海岸清掃、クリスマスイベント、Go!Go!フレンドリーパーク(こどもの日主催企画)				
自主研修	内容		講師(指導者)		
初心者向け	実施している	毎週土曜日に定期的に行なわれる会議の中で、自主的にゲーム講習を行っている。		先輩会員	
中上級者向け	実施している	保育園におけるインターンシップ、手話講習、福祉講習		会員自身が指導者の選定を行なう。間に青少年教育係が入ることもあるが、あくまで自主性に任せている。	
活動上の課題	あくまでも高校生たちが自主的に行っていることなので、社会教育課であげる点はない。				
連携(協働事業)	連携(協働)相手	三浦市教育委員会	内容	姉妹都市交流(須崎市)受入れ・派遣事業、青少年指導員を中心とした「うどん祭り」、先に紹介した「ユースボランティアフォーラム」を協働して企画・運営を行い、また事業の反省を行っている。	
イベント(委託)	-				
協力事業	相手先	三浦市の各地区の単位子ども会			
	内容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ			
	回数	青少年教育係では把握せず	延人数	青少年教育係では把握せず	
アピールポイント	高校生達を中心となって自主的に活動内容について決定をしている。				
会発足のきっかけ	神奈川県青少年会館担当により発足				
会員募集方法	毎年度末に行なわれる、教育委員会が主催を行なう中学卒業生を対象としてボランティアについて考える「ユースボランティアフォーラム」というイベントで運営補助を行い、参加者への呼びかけを行っている。				
参加動機	「ユースボランティアフォーラム」にて楽しそうにボランティアに取り組んでいるメンバーに憧れたから 等				
会員情報等	年齢層	15歳 ~ 22歳	高校生中心	年会費	なし
	会員数	29人	実働人数 23人	会則	あり
指導者	なし				

機関誌「ビューロー」の一部を掲載します。

**最近の活動内容☆☆**

7月30,31日 姉妹都市交流須坂受け入れ

7月,8月 たくさんの子ども会カラオケの依頼がありました。

8月17~19日 姉妹都市交流須坂訪問

9月11日 海岸清掃

9月25日 定例総会

10月9日 教育委員会より依頼

10月30日 教育委員会より依頼のうどん祭り

11月13日 ビューロースポーツ大会

12月 たくさんの子ども会カラオケクリスマス会の依頼がありました。

12月19日 ビューロー主催クリスマス会

1月22日 ビューロー新年会

2月23,24,3月4日 ユースボランティア説明会

3月12日 教育委員会より依頼

3月17~19日 ユースボランティアフォーラム

3月26日 定例総会

**2号の発行が"とて"も遅れてしまっ"ごめんなさい!"**

味漢字の志 子供が知ってほしい

編集後記

**ビューロー**

特別号

みうら青年ボランティアビューロー 広報局

# 葉山ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	葉山町教育委員会 生涯学習課青少年係	046-876-1111 内線453	manabi@town.hayama.kanagawa.jp
活動エリア	葉山町全域	活動拠点	葉山町役場(教育委員会生涯学習課の事務所がある。)
自主活動	ビーチコーミング、子ども会派遣活動、ジュニア祭り		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	レクゲーム研修	先輩会員
中上級者向け	実施している	宿泊研修。ワークショップを通じてジュニアリーダーに求められる知識や経験を養成する。	先輩会員
活動上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加、不参加の二極化。定例会や行事に参加するリーダーの顔ぶれが固定化されつつある。</li> <li>・レクゲームのバリエーションが少ないので増やしていきたい。</li> </ul>		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	なし	内容 -
イベント(委託)	なし		
協力事業	相手先	町の青少年育成事業、子ども会派遣	
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ	
	回 数	12回 (昨年度)	延人数 64人
アピールポイント	町子ども会に声を掛け、子ども達と一緒にビーチコーミングをするなど積極的に地域に溶け込んだ活動をしている。		
会発足のきっかけ	青少年育成事業を推進していく上で、行政と子ども達の間立つ若者の存在が必要だと考え「ジュニアリーダー養成講座」の受講者に声を掛け発足した。		
会員募集方法	町主催の「ジュニアリーダー養成講座」の受講修了者に声を掛け募集する。		
参加動機	-		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 22歳	中高生中心
	年会費	1,000円	
	会員数	48人	実働人数 27人
	会則	あり	
指導者	高校生以上のジュニアリーダー		

## ジュニアリーダー宿泊研修

期 日	平成17年3月30～31日
場 所	上郷森の家
対 象	ジュニアリーダー
内 容	ワークショップ(ゲーム、野外炊事)、ワークショップ(ジュニアリーダーの今後の活動について)、ワークショップ(森戸海岸にて)



## 藤沢市コミュニティーリーダー高校生

問い合わせ先	財団法人藤沢市青少年協会 0466-25-5215		youth@cityfujisawa.ne.jp			
活動エリア	藤沢市全域・県立の施設等		活動拠点 藤沢市青少年会館			
自主活動	青少年会館での秋の祭典に、卒業生を交えて出店をしたり、外国人と交流をし、異文化を学ぶ。また、外国人との親睦を深める。また、異年齢との交流も行い、小学生、中学生を対象にクリスマス会を開催する予定。					
自主研修			内 容	講師（指導者）		
初心者向け	実施していない		-	-		
中上級者向け	実施していない		-	-		
活動上の課題	後継者不足。この2・3年は会員を募っても集まらないのが現状。また、卒業生も終わってしまったら遊びに来るなど、事業の手伝いをするという傾向が見られなくなった。					
連携（協働事業）	連携（協働）相手	なし	内容	-		
イベント（委託）	なし					
協力事業	相手先	なし				
	内 容	-				
	回 数	-	延人数	-		
アピールポイント	高校生一人ひとりがしっかりと自覚を持ち、事業の打ち合わせなどには積極的に参加し、自分の意見をしっかりとっており、一般の高校生を対象に交流を深めるなど、外国の人との交流もする予定です。					
会発足のきっかけ	藤沢市が青少年を育成していく上で、青少年リーダーを育成してほしいと要望があり、市内の高校生に呼びかけた。					
会員募集方法	・市内高校(全校)にチラシ配付 ・藤沢市広報紙に掲示					
参加動機	-					
会員情報等	年齢層	15 歳 ~ 18 歳	高校生	年会費	なし	
	会員数	5人	実働人数	5人	会則	なし
指導者	担当職員					

## 藤沢市コミュニティーリーダー中学生

問い合わせ先	財団法人藤沢市青少年協会 0466 - 25 - 5215		youth@cityfujisawa.ne.jp			
活動エリア	藤沢市全域・県立の施設等		活動拠点 藤沢市青少年会館			
自主活動	藤沢での活動が中心で、夏過ぎのビーチクリーンなどをし、環境について考える場を与えるとともに、コミュニティーリーダーだけではなく一般の中学生も加え他学校との交流も深める事業を予定している。					
自主研修			内 容	講師（指導者）		
初心者向け	実施していない		-	-		
中上級者向け	実施していない		-	-		
活動上の課題	中学生は受験生もあり、部活等でなかなか全員で話し合える場が持てないのが現状で、打ち合わせの回数が多くなってしまふ。					
連携（協働事業）	連携（協働）相手	なし	内容	-		
イベント（委託）	なし					
協力事業	相手先	なし				
	内 容	-				
	回 数	-	延人数	-		
アピールポイント	中学生が一人ひとりがしっかりと自覚を持ち、一般の中学生を対象に交流を深めるなど、環境を考えた事業を年間事業計画の中に含んで活動をしている。					
会発足のきっかけ	藤沢市が青少年を育成していく上で、青少年リーダーを育成してほしいと要望があり、市内の中学生に呼びかけた。					
会員募集方法	・市内中学校(全校)にチラシ配付 ・藤沢市広報紙に掲示					
参加動機	-					
会員情報等	年齢層	13歳 ~ 15 歳	中学生	年会費	なし	
	会員数	18人	実働人数	18人	会則	なし
指導者	担当職員					

# 平塚市ジュニア・リーダーズクラブ

問い合わせ先	平塚市青少年課	0463-32-7029	seishonen@city.hiratsuka.kanagawa.jp
活動エリア	平塚市全域	活動拠点	平塚市青少年会館
自主活動	野外活動研修会、福祉体験研修会、宿泊研修会 など		
自主研修	内 容		講師（指導者）
初心者向け	実施している	野外活動研修会、福祉体験研修会、宿泊研修会 など	先輩会員
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	-		
連携（協働事業）	連携（協働）相手	-	内容
イベント（委託）	成人式などの手伝い		
協力事業	相手先	平塚市の各地区の単位子ども会	
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ、キャンプのスタッフ、キャンプ（キャンドル）ファイヤー、人形劇	
	回 数	67回 平成16年度	延人数 257人 平成16年度
アピールポイント	自覚をもって行動し、責任感も高まることで、好奇心や物事に対する積極性も養われる		
会発足のきっかけ	昭和57年に、第1期平塚市中学生リーダー養成講習会（第2期より平塚市ジュニア・リーダー養成講習会と改名）の卒業生30名によって自主的に結成された団体		
会員募集方法	平塚市ジュニア・リーダー養成講習生へ申込書を配布 昨年度クラブ生へ継続申込書を配布		
参加動機	-		
会員情報等	年齢層	14歳 ~ 18歳	中高生
	会員数	85人	実働人数 30人
指導者	年会費 1600円 会則 あり 会員OB・OG		

## 平成17年度 事業計画

	自主事業	関連事業
2005年4月	総会	
5月		各地子ども会
6月	定例会（野外活動研修会）	
7月		七夕クリーン作戦
8月	定例会（CAMP）	海岸清掃
9月	定例会	
10月		各地区 地区レク
11月	定例会（登山）	浅間祭
12月		会館クリスマスパーティー 各地区クリスマス会
2006年1月	定例会（宿泊研修会）	
2月	定例会	
3月	定例会（レクゲーム・レクダンス講習会）	かいかん音楽まつり 各地区歓送迎会

その他の活動として、各地区活動、各部活動、ジュニアリーダー養成講習会、平塚市中高生地域リーダー県外交流体験事業、わんぱく体験隊、全国子ども会中央大会、海洋研修、関東甲信越静地区子ども会ジュニアリーダー大会、他市交歓会、ホームページ運営など

# ヒコーキ雲の会

問い合わせ先	会長宅or平塚市青少年会館 0463-32-7029			-	
活動エリア	平塚市内	活動拠点	平塚市青少年会館		
自主活動	会報の発行、姉妹都市(アメリカ合衆国カンザス州ローレンス市)派遣団の受入イベント等				
自主研修	内 容			講師(指導者)	
初心者向け	実施していない	-	-		
中上級者向け	実施していない	-	-		
活動上の課題	-				
連携(協働事業)	連携(協働)相手	-	内容	-	
イベント(委託)	なし				
協力事業	相手先	なし			
	内 容	-			
	回 数	-	延人数	-	
アピールポイント	-				
会発足のきっかけ	平塚市青少年海外派遣事業の派遣団員OB・OGが、姉妹都市交流と団員間の交流を目的に発足した。				
会員募集方法	平塚市青少年海外派遣事業で派遣された団員がそのまま加入				
参加動機	-				
会員情報等	年齢層	13 歳 ~ 30 歳	-	年会費	1,000円
	会員数	185人	実働人数	20人	会則
指導者	-				

## 平成17年度ヒコーキ雲の会活動計画

2005年4月	Jet Stream1、お花見、スポーツ交流会
5月	ローレンス派遣団受け入れ実行委員会発足
6月	ローレンス派遣団受け入れ、Jet Stream2
7月	七夕クリーン大作戦、20次派遣団お見送り、20次派遣団お迎え
8月	社会見学、夏キャンプ in びわ、24hTV募金活動、ビーチ大会
9月	Jet Stream3、TOEIC講座
10月	浅間祭試し作り
11月	浅間祭、青少年健全育成のつどい、Jet Stream4
2006年1月	成人式お手伝い
3月	総会

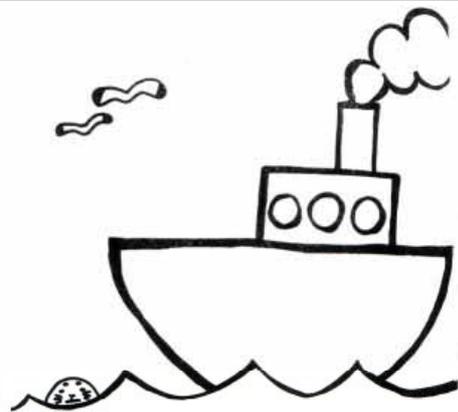
# 平塚市海洋少年隊

問い合わせ先	平塚市青少年課	0463-32-7029	-
活動エリア	平塚市域、洋上	活動拠点	平塚市青少年会館
自主活動	総会(親睦会)、浅間祭模擬店、七タクリーン清掃、青少年健全育成のつどい(育成フォーラム)、クリスマス会		
自主研修	内 容	講師(指導者)	
初心者向け	実施していない	-	-
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	特になし		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	-	内容
イベント(委託)	洋上研修(事前・本・事後研修)		
協力事業	相手先	洋上研修(事前・本・事後研修)	
	内 容	イベントのスタッフ	
	回 数	2回	延人数 4人
アピールポイント	中・高校生による自主的な活動		
会発足のきっかけ	夏季に行われる平塚市海洋少年団交流事業洋上研修のスタッフ育成のほか、ボランティア活動などの社会参加を目的とする。		
会員募集方法	平塚市海洋少年団交流事業参加者へチラシ等で勧誘		
参加動機	・活動内容(洋上研修へのスタッフ参加)への興味から ・皆でわいわい楽しくやるのが好きだから		
会員情報等	年齢層	14歳 ~ 16歳	中高生
	年会費	500円	
	会員数	12人	実働人数 12人
			会則
			ある
指導者	特になし		

## 平成17年度事業報告

	自主事業	関連事業
2005年4月	総会、親睦会	
5月	研修会	
6月	研修会	
7月	研修会	海洋少年団事前研修協力、七タクリーン作戦
8月		海洋少年団本研修・事後研修協力
9月	上半期反省会	
10月	交流会	
11月		浅間祭参加、青少年健全育成のつどい
12月	クリスマス会	
2006年3月	年度末反省会	

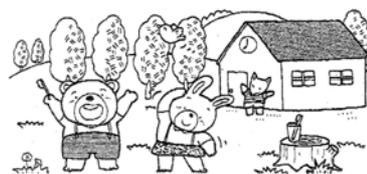
役員会議、企画会議は随時開催



# 茅ヶ崎市ジュニア・リーダーズ・クラブ

問い合わせ先	茅ヶ崎市青少年課	0467 - 82 - 1111	seishou@city.chigasaki.kanagawa.jp
活動エリア	茅ヶ崎市全域	活動拠点	茅ヶ崎市青少年会館
自主活動	8月スポーツ大会(ジュニアリーダーズクラブの親睦と交流)、11月市民ふれあいまつり(ふれあいコーナーにテントを出し、お祭りに来た子どもたちにクラフト指導をしたり、交流をする)		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	年間5回の研修を行い、リーダーとして必要なことを勉強するとともに、たくさんの仲間と出会いを体験し、お互いに学びあうことを大切にします。	青少年指導員、担当職員、神奈川県レクリエーション協会
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	-		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	茅ヶ崎市老人クラブ連合会	内容 お年寄りと子どもの踊りの交流と映画会
イベント(委託)	なし		
協力事業	相手先	茅ヶ崎市の各地区の単位子ども会、青少年課、老人会等	
	内 容	レクリエーションゲーム、単位子ども会の派遣依頼、ドッジボール審判(学区子ども会)、イベントのスタッフ、キャンプのスタッフ、キャンプ(キャンドル)ファイヤー	
	回 数	50~60回	延人数 300人
アピールポイント	子ども会活動及び社会参加活動の意義を理解し、ボランティアスピリットをもって、自己の成長を高め、思いやりを大切に作る仲間づくりを目的とする。		
会発足のきっかけ	20周年(茅ヶ崎市子ども会連絡協議会)を機会に青少年活動を活発に行うために青少年課と子ども会が協力して設立。		
会員募集方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校4年生からインリーダー研修会参加の呼びかけをする。</li> <li>・中学校1年生を対象に「ジュニアリーダー養成基礎講座」参加の呼びかけを行う。</li> <li>・講座を受講しジュニアリーダーズクラブに登録する。</li> </ul>		
参加動機	-		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 18歳	中高生
	年会費	600円	
指導者	会員数	41人	実働人数 20人
	会則	あり	
指導者	会員OB・OG、青少年指導員、担当職員、茅ヶ崎市子ども会連絡協議会育成会々員(子ども会の役員経験者)		

## ジュニアリーダー養成講座(主催:茅ヶ崎市教育委員会)



趣 旨	地域の行事などで、ボランティアで主に小学生を対し、ゲームや野外活動の指導する青少年リーダーを育てることを目的としている。講座修了後、ジュニアリーダーズクラブへの入会を呼びかけている。		
対 象	中学1年生		
内 容 (平成17年度)	日 程	内 容	目 的
	3/13(日)	ゲーム講習会	ゲームを通じた仲間づくり、ゲームやその組み立てを覚える。
	5/7(日)	KYT(危険予知トレーニング)	安全に活動するための知識・技術を身につける。
	6/25(土) 7/2(土) ~3(日)	『遊び体験教室』 スタッフ補助体験	先輩ジュニアリーダーの補助、班付リーダーを体験、ゲームリーダーも体験
	8/23(火)	ジュニアリーダー養成基礎講座	野外活動やゲーム(キャンドルファイヤー、グループワーク等)など、ジュニアリーダーとしての必要な技術を身につけます。
3/27(月)~ 3/28(火)	ジュニアリーダー養成実践講座	ディスカッション、グループワーク、ゲーム等を通して、地域活動のリーダーとしての質をさらに高める。	

## 秦野リーダー研修クラブ

問い合わせ先	秦野市教育委員会青少年課 0463-81-7011 seisyou@city.hadano.kanagawa.jp						
活動エリア	秦野市全域		活動拠点		秦野市立青少年会館		
自主活動	募集研修、自主研修						
自主研修	内 容				講師（指導者）		
初心者向け	実施している	キャンプの基本指導、ゲーム指導など		先輩会員、会員OB・OG、青少年指導員、担当職員、子ども役員			
中上級者向け	実施している	ゲーム指導など、指導員の研修に参加させてもらう		青少年指導員			
活動上の課題	後継者不足。 キャンプに活動が偏ってきている。						
連携（協働事業）	連携（協働）相手	YROH、諏訪市ジュニアリーダー	内 容		交流、研修		
イベント（委託）	なし						
協力事業	相手先	子どもまつり、青少年交流洋上体験研修事業、青少年交流会館師走祭、子ども会各種事業、新成人のつどい実行委員会					
	内 容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ					
	回 数	15回程度	延人数	-			
アピールポイント	-						
会発足のきっかけ	不明						
会員募集方法	・中学生対象のイベント参加者へ呼びかけ ・市広報での公募						
参加動機	・小学生、中学生のキャンプなどに参加したときに、自分もやりたいと思った。 ・ボランティア活動がしたかった。						
会員情報等	年齢層	15歳	～	25歳	高校生中心	年会費	2,000円
	会員数	17人		実働人数	17人	会則	あり
指導者	会員OB・OG、青少年指導員、担当職員、その他						

## YROH(International The Young Relation Of Hadano)

問い合わせ先	秦野市青少年課 0463-81-7011 seisyou@city.hadano.kanagawa.jp						
活動エリア	世界中		活動拠点		秦野市青少年会館		
自主活動	海外の方を講師にした料理会、インドネシアの留学生を招いて宿泊交流・秦野市民の日のパネル展示、パヤオグッズ販売・輸入、ホームページの作成・開設・管理・フエビカ運動(鍵盤ハーモニカ・笛等の回収事業)、ユニセフ募金活動、国際ボランティア貯金						
自主研修	内 容				講師（指導者）		
初心者向け	実施していない	-			-		
中上級者向け	実施していない	-			-		
活動上の課題	・進学等の理由によるメンバーの流動化防止 ・活動啓発の必要性 日本人や外国人の講師招聘、研修参加による基礎知識習得 ・活動範囲が広いのである程度、活動的を絞る必要性がある						
連携（協働事業）	連携（協働）相手	秦野リーダー研修クラブ	内 容		交流		
イベント（委託）	なし						
協力事業	相手先	子どもまつり、青少年交流洋上体験研修事業、青少年交流会館師走祭、新成人のつどい実行委員会					
	内 容	スタッフとして協力					
	回 数	20回程度	延人数	150人程度			
アピールポイント	-						
会発足のきっかけ	秦野市海外派遣事業は、国際交流や国際協力に多少の興味を持つ青少年が、具体的に海外での実体験を通して、様々な青少年活動を行うための「きっかけ作り」として捉えている。この派遣団員の事後活動の場としてYROHが設立された。						
会員募集方法	(1) 秦野市が行う青少年海外派遣事業に参加した人 (2) 本会の目的に賛同する人を随時募集。						
参加動機	海外で得た成果を踏まえ、国際理解を深め様々なボランティア活動をしたいため。						
会員情報等	年齢層	14歳	～	25歳	高校生以上中心	年会費	なし
	会員数	54人		実働人数	20人	会則	あり
指導者	会員OB・OG、担当職員						

# 成瀬ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	伊勢原市青少年課	0463-94-7171	seisyounen@isehara-city.jp
活動エリア	伊勢原市内	活動拠点	成瀬公民館、伊勢原市青少年センター (伊勢原市青少年課の事務所がある)
自主活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生歓迎会(メンバー集め)</li> <li>・ゲーム研修会</li> <li>・クリスマス会</li> </ul>		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	サマーキャンプ(野外活動実習)、ゲーム研修会	会員OB・OG 青少年指導員
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバー間の連絡網が上手くまわらない</li> <li>・あまり行事に参加しないメンバーの活性化</li> </ul>		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	なし	内容 -
イベント(委託)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成瀬地区体育祭の賞品係</li> <li>・伊勢原市主催の工作ランドでの指導</li> <li>・成瀬地区青少年指導員連絡協議会主催のナイトウォークゴール後のレクリエーション</li> </ul>		
協力事業	相手先	伊勢原市成瀬地区の単位子ども会	
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ	
	回 数	5回/年	延人数 30人
アピールポイント	とにかく明るく、楽しく、一生懸命です。		
会発足のきっかけ	伊勢原ジュニアリーダーズクラブに参加していた成瀬地区のメンバーにより、より地域に密着した活動をしていこうとの趣旨で発足		
会員募集方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校にチラシを貼る。</li> <li>・新入生勧誘会(クラブ活動紹介)時にジュニアリーダーの活動を紹介する。</li> </ul>		
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動がしたい。</li> <li>・インジュニアキャンプが楽しかったので同じような活動を続けたかった。</li> <li>・青少年指導員主催の行事に参加した際、手伝いをしていたジュニアをみて自分もしてみたかった。</li> </ul>		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 18歳	中高生
	年会費	1,000円	
	会員数	21人	実働人数 21人
	会則	あり	
指導者	青少年指導員		

# 伊勢原ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	伊勢原市青少年課	0463-94-7171	isehara_jlc@hotmail.com
活動エリア	成瀬中学校区を除く伊勢原市全域、 要望に応じて市外への派遣も。 活動拠点 伊勢原市少年センター、大田公民館		
自主活動	・自主研修会(年2回)、他地域ジュニアリーダーズクラブとの交流会(年複数回) ・地域のお年寄りとの親睦交流会、活動拠点付近の清掃活動		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	毎月の定例会の中で時間を設け、その都度の会員の要望に応じて研修を実施 レクゲーム、ジュニアリーダーに関する学習、KYT、調理研修、バルーンアートなど	先輩会員 他地域の シニアリーダーなど
中上級者向け	実施している	JLの自主研修ではないが、年度末に伊勢原市子連が、指導者研修会として各単位子ども会の新役員対象にレクリエーションや安全教育の研修会を行っている。その中にジュニアリーダーを加えていただき、勉強させていただいている。	外部講師
活動上の課題	会員数に対し依頼が非常に多く、JLは毎週末ほぼ休みなく活動しておりとても忙しいこと。それに伴い、自主活動や自主研修の時間を設けることができないこと。 若いリーダーたちが、どうしても高校生やシニアリーダーに頼りがちになってしまうこと。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	-	内容 -
イベント(委託)	小中学校や公民館のふれあい祭り、市や市子連主催の事業、PTAや青少年指導員主催の事業などへの参加・協力。市商工会主催の大納涼祭り協力など。(年15回程度)		
協力事業	相手先	市内の単位子ども会、市内外の団体・施設、青少年課、市子連など	
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ、その他、キャンプのスタッフ、キャンプ(キャンドル)ファイヤー(その他:小中学生が主体となって行事運営するためのサポート。青少年育成者の話し合いへの参加協力)	
	回 数	約50回	延人数 300人
アピールポイント	会員の仲が良いこと、元気が良いこと。会員同士協力し一生懸命活動していること。 市内の活動はもちろん、市外の活動にも積極的に参加しジュニアリーダーの横のつながりづくりに努めていること。		
会発足のきっかけ	子ども会活動をしていた当時の小学6年生(1期生)達が、中学に上がっても子ども会や地域での活動を仲間と一緒に継続して行いたいと考え、平成3年に発足。		
会員募集方法	・市内中学校及び小学6年生にチラシ配布 ・中学生対象の春のイベント企画への参加者に呼びかける。 ・年間の行事を通して随時呼びかける。		
参加動機	・リーダーの人がカッコよかった。 ・リーダーの人に憧れた。 ・会の雰囲気を楽しそうだった。		
会員情報等	年齢層	13歳 ~ 27歳	中高生
	会員数	29人	実働人数 21人
			年会費 1,000円
			会則 あり
指導者	会員OB・OG、青少年指導員		

# 寒川町ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	寒川町生涯学習課青少年担当 0467 - 74 - 1111 syougai@town.samukawa.kanagawa.jp		
活動エリア	町内	活動拠点	寒川町教育委員会
自主活動	毎月1回定例会を開き、会員同士の情報交換・行事の予定等を話し合う		
自主研修	内 容		講師（指導者）
初心者向け	実施している	レクゲームを通しての仲間づくり	青少年指導員 青少年指導員OB
中上級者向け	実施している	自主キャンプを行い、スタッフとして必要な知識、技術の習得	青少年指導員
活動上の課題	男女の比率が偏っている		
連携（協働事業）	連携（協働）相手	青少年指導員連絡協議会	内容 子どもまつりや小学生リーダーキャンプにクラブが人員提供、企画、運営をする
イベント（委託）	なし		
協力事業	相手先	なし	
	内 容	-	
	回 数	-	延人数 -
アピールポイント	異年齢間の交流により、リーダーの育成に対し高校生から中学生へと伝承がスムーズになり途切れにくくなる。		
会発足のきっかけ	数年前まで中学生友の会があったが、中学卒業後のリーダーとしての活動の場を広げることを目的として、中高生が一体となったジュニアリーダーズクラブを立ち上げる。		
会員募集方法	町内中学校（全員）にチラシ配布 ・中学生対象のイベント企画への参加を呼びかける		
参加動機	キャンプの時ジュニアの人が格好良かった、自分たちで何かやりたかった、視野を広げたかった。		
会員情報等	年齢層	13 歳 ~ 18 歳	高校生
	年会費	600円	
	会員数	46人	実働人数 25人
	会則	ある	
指導者	青少年指導員		

## 新会員募集！レクゲーム大会

寒川町ジュニアリーダーズクラブは、中学生・高校生が教育委員会の行うリーダーキャンプのアシストや、子ども会のお手伝いなど様々な活動を行うボランティアグループです。あなたも、一緒に活動してみませんか。

新会員募集とジュニアリーダーズクラブ体験会を兼ねたゲーム大会を開催しますので、参加をお待ちしています。



日時 平成17年5月14日（土）  
13：00～16：00

場所 北部公民館集会室

内容 レクゲームなど

参加 人数把握のため、下記問合せ先まで連絡して下さい。

## 大磯町ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	大磯町生涯学習課	0463-61-4100	-
活動エリア	町内の生涯学習施設、運動公園、足柄ふれあいの村(キャンプ等)	活動拠点	大磯町生涯学習館
自主活動	青少年キャンプ、クリスマス会、その他町の行事等。		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施していない	-	-
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	ジュニアリーダーの会員数が年々減少している。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	なし	内容
イベント(委託)	青少年キャンプ、クリスマス会。		
協力事業	相手先	子ども会(小学4,5,6年生)	
	内 容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ	
	回 数	2回	延人数 50人
アピールポイント	人数が少ないが、その分結束が堅く仲良く活動をしている。		
会発足のきっかけ	町子連が組織して、小学生等のリーダー的存在をつくった。		
会員募集方法	広報大磯に掲載し、募集をかける。子ども会を通じて募集する。		
参加動機	ジュニアリーダーとなり、小学生のまとめ役になりたい。		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 15歳	中高生中心
	会員数	7人	実働人数 7人
指導者	青少年指導員		

## 二宮町シニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	二宮町生涯学習課	TEL 0463-72-6912	radiant@town.ninomiya.kanagawa.jp
活動エリア	二宮町全域	活動拠点	二宮町生涯学習センター
自主活動	町内落書き消し、町内ゴミ拾い、地元中学体育祭手伝い(派遣)、町内単位子ども会活動手伝い(派遣)		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施する予定	未定。レクについて、その技術を徹底的に研修する予定	未定
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	数年前にベテランの年代が一度に抜けたため、一時的に混乱し、組織的にも崩壊しかかったが、現在は持ち直し、会員も増加傾向にあるが、まだ、内部の問題を自分たちだけで解決する能力が未熟である。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	地域ボランティア団体、青少年指導員等	内容
イベント(委託)	なし		
協力事業	相手先	町子ども会野外活動、町内単位子ども会活動手伝い、町恵友会各種研修、町教育委員会事業手伝い、町ゴミ拾いキャンペーン	
	内 容	子どもへの指導	
	回 数	7回(4月~8月現在)	延人数 約50
アピールポイント	現在、青少年指導員には相談をするのみで、全て自分たちで運営している。		
会発足のきっかけ	中学生団体「恵友会」を卒業後も自分たちで自主的にボランティア活動をしたいという有志と、青少年指導員の指導によって始まった。		
会員募集方法	中学生青少年ボランティア団体「恵友会」の卒業生に直接勧誘する以外、町広報、ポスター等で勧誘する。		
参加動機	現会員の9割が「恵友会」の出身で、その時楽しかったからこれからも同じような活動をしていきたいというのが多い動機です。それ以外は子どもが好きで地域の子と係るボランティアをしたいという理由で入会した子もいます。		
会員情報等	年齢層	15歳 ~ 20歳	高校生中心
	会員数	20人	実働人数 20人
指導者	会員OB・OG、青少年指導員、事務局		

# 厚木市ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	厚木市青少年課	046-225-2580	8700@city.atsugi.kanagawa.jp		
活動エリア	厚木市全域	活動拠点	厚木市ヤングコミュニティセンター		
自主活動	中学校へのチラシ配布、ゲーム研修会、クリスマス研修会等				
自主研修	内 容		講師（指導者）		
初心者向け	実施している	ジュニアリーダー新規加入者に対し、ジュニアリーダーについて研修してもらう	先輩会員		
中上級者向け	実施している	中学生2・3年生のジュニアリーダーに対し研修を行う	先輩会員		
活動上の課題	ジュニアリーダー引退後、活動の場を提供すること。				
連携（協働事業）	連携（協働）相手	青少年指導員	内容 少年少女フェスティバル ヤングコミュニティセンターフェスティバル		
イベント（委託）	厚木市と秋田県横手市との子ども会交流への随行派遣				
協力事業	相手先	両市の子ども会			
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ			
	回 数	10回	延人数 約50人		
アピールポイント	指導者研修会、初・中級研修会、上級研修会、自主研修会等、積極的に活動している。				
会発足のきっかけ	ジュニアリーダーの資質の向上を図るとともに、青少年関係団体、特に子ども会への協力及び地域社会への参加を通じて、明るいまちづくりの進展に寄与することを目的に発足された				
会員募集方法	・市内中学校にチラシを配布 ・小学校5・6年生対象の子ども会インリーダー研修会で加入を呼びかけている				
参加動機	・ジュニア活動、ボランティア活動に興味があった。 ・小学生のとき、ジュニアのお兄さんお姉さんに憧れた。 ・子どもが好きだから				
会員情報等	年齢層	13歳(中1)～17歳(高2)	中高生	年会費	入会金100円
	会員数	200人	実働人数 100人	会則	あり
指導者	会員OB・OG、青少年指導員、担当職員、子ども会育成者				

## 平成17年度 事業計画

2005年4～5月	自主事業	各中学校区総会
4月	自主事業	総会
5月15日	市主催事業	少年少女フェスティバル協力
5月28～29日	市主催事業	養成(カウンセラー)研修会
6月5日	市主催事業	子ども育成者・インリーダー研修会協力
7月23～24日	市主催事業	養成(初級:第29期生+中級)研修会
7月29～31日	市主催事業	少年少女国内交流会
7月29～31日	-	関東甲信越静地区子ども会ジュニアリーダー大会
9月11日	協力事業	青空ライブに協力
10月	協力事業	赤い羽根共同募金街頭運動協力
10月16日	市主催事業	少年少女球技大会に協力
11月13～14日	市主催事業	ヤングコミュニティセンターフェスティバルに協力
11月21日	自主事業	クリスマス研修会
2月26日	市主催事業	少年少女芸術鑑賞会に協力
3月11～12日	市主催事業	養成(上級)研修会
3月28～29日	自主事業	宿泊研修会



養成研修会については、先輩のジュニアリーダーがスタッフになって、企画・運営・実施している。

# 大和市ジュニアリーダー研修会

問い合わせ先	大和市青少年センター	046-260-5224	seishou@city.yamato.lg.jp		
活動エリア	市内全域	活動拠点	大和市青少年センター		
自主活動	野外炊事場でのデイキャンプ・県レクリエーション協会会員の指導によるキャンプファイヤーの研修・宿泊を伴う野外活動等の実施。				
自主研修	内 容		講師（指導者）		
初心者向け	実施していない	-	-		
中上級者向け	実施していない	-	-		
活動上の課題	応募者が少ないため、年代層の偏りやメンバーのマンネリ化が見られる。				
連携（協働事業）	連携（協働）相手	なし	内容 -		
イベント（委託）	地域における夏休みキャンプにおける運営協力(2地区)				
協力事業	相手先	なし			
	内 容	-			
	回 数	-	延人数 -		
アピールポイント	幅広い年齢層の会員が、互いに研鑽しあい、より良いジュニアリーダーとなるべく活動を進めている。				
会発足のきっかけ	子ども会や地区の行事において、子ども達を遊ばせるゲーム依頼等を年間を通じて受ける中、野外活動やレクリエーション、ゲーム等の更なるスキルアップを図るため、ジュニアリーダー研修会を企画した。				
会員募集方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施に先がけ、市広報に募集記事を掲載。参加希望者は随時入会受付。</li> <li>・ボランティアサークル「サークルありんこ」会員に呼びかけ、参加希望者を募る。</li> <li>・市内中学校・高校にチラシおよび掲示用ポスターを配布。参加希望者を募る。</li> </ul>				
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報およびポスター・チラシをみて、この研修会に興味を持った。</li> <li>・子ども会で遊んでもらったので、自分でもやってみたかった。</li> <li>・将来、保育関係の仕事を希望しているのので、やってみたかった。</li> </ul>				
会員情報等	年齢層	14歳 ~ 30歳	中高生中心	年会費	なし
	会員数	18人	実働人数 18人	会則	なし
指導者	会員OB・OG、県レクリエーション協会会員				



活動の様子

# 大和ユースクラブ・わくわく冒険隊

問い合わせ先	大和市青少年センター	046-260-5224	seisho@city.yamato.lg.jp
活動エリア	大和市全域	活動拠点	大和市青少年センター
自主活動	宿泊研修(春・夏・冬)、定例会(ユース・わくわく)を中心に学校や地域・家庭ではできない活動を、年間を通して、自分達自身で自主的に企画・実施している。		
自主研修		内 容	講師(指導者)
初心者向け	実施していない	-	-
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	-		
連携(協働事業)	連携(協働)相手 青少年指導員連絡協議会	内 容	青少年指導員との交流会の企画・運営をする。
イベント(委託)	小学校5,6年生対象の夏休みキャンプの企画、運営、実施		
協力事業	相手先	大和市内各種団体の事業等の支援・大和市事業(成人式等)の支援	
	内 容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ	
	回 数	9回	延人数 85人
アピールポイント	異年齢集団が相互に連携をとりながら、いろいろなことに興味・関心を持ち、積極的に取り組む姿勢を身につけようとしている。		
会発足のきっかけ	発足前は、ジュニアリーダー研修会、青年リーダー研修会といった名称で、年間数回実施していたが、活動内容、活動形態などを抜本的に改め、ユースクラブを立ち上げた。		
会員募集方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年3月に市広報にて募集、中学生以上は随時入会受付。</li> <li>・小学校5,6年生対象の「わくわく冒険隊」(ユースクラブ支援)卒業生に呼びかける。</li> <li>・中学生対象のイベント企画への参加者に呼びかける。</li> </ul>		
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報やまとを見て、体験活動、ボランティア活動に興味を持った。</li> <li>・わくわく冒険隊に参加して、引き続きユースクラブの活動もやってみたかった。</li> <li>・宿泊研修に参加したかった。</li> </ul>		
会員情報等	年齢層	10歳 ~ 30歳	ユースクラブは中高生、わくわく冒険隊は小学生
	会員数	137人	実働人数 100人
指導者	年会費		ユースクラブ(なし・行事内容によって実費負担) わくわく冒険隊(年会費3000円)
	会則		あり



カヌー体験



参加者 集合写真

# 海老名市ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	海老名市青少年課	046-231-9787	seisyonen@city.ebina.kanagawa.jp				
活動エリア	海老名市全域		活動拠点	海老名市立青少年会館			
自主活動	子ども会等の各種行事から依頼を受け、レクゲーム等のお手伝いをしている。						
自主研修	内容		講師（指導者）				
初心者向け	実施している	夏休みに2泊3日で実施。ジュニアリーダーとして活動していく上で、必要な知識、技術の習得。	先輩会員、担当職員、担当職員、相談役（2人）				
中上級者向け	実施していない	-	-				
活動上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業に参加できない会員が目立つ。</li> <li>・ジュニアリーダー活動と部活動の両立。</li> </ul>						
連携（協働事業）	連携（協働）相手	なし	内容	-			
イベント（委託）	小6～中3対象の養成研修会						
協力事業	相手先	海老名市の各地区単位子ども会					
	内容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ					
	回数	43回	延人数	142人			
アピールポイント	各自主事業の企画・運営を全て会員で行う。						
会発足のきっかけ	不明						
会員募集方法	毎年度3月に開催する養成研修会で募集(小6～中3対象)						
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しそうだったから。</li> <li>・キャンプを自分で企画してみたかったから。</li> <li>・ボランティア活動を試してみたかったから。</li> </ul>						
会員情報等	年齢層	12歳	～	29歳	中高生中心	年会費	1,200円
	会員数	39人	実働人数	34人	会則	あり	
指導者	会員OB・OG、担当職員、相談役（2人）						

## 平成17年度実施事業

4月	定期総会
8月	自主研修会
10月	運動会
2月	はつはるまつり(青少年会館主催事業)参加予定
3月	養成研修会 開催予定

この他に、市内子ども会等の各種行事お手伝いとして、今年度は32件の依頼を受けました。(12月末現在)

# 座間市ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	座間市青少年課	046-253-8415	sseinen@city.zama.kanagawa.jp		
活動エリア	座間市全域	活動拠点	座間市青少年センター		
自主活動	市子連主催のリーダー野外キャンプの為の事前研修や相模川クリーン作戦での清掃、ふるさと祭りでのアトラクションをして集う子どもたちとの親睦を深めている。				
自主研修	内 容		講師（指導者）		
初心者向け	実施している	KYT、仲間づくり、ジュニアリーダーの役割とは何かを考える	先輩会員、会員OB・OG、担当職員		
中上級者向け	実施している	厚木市のジュニアと1日合同研修。スタッフとして活動していく上に必要な知識・技術の養成。	他市のジュニアリーダー		
活動上の課題	ジュニアリーダー卒業後、地域とのつながりがなくなる。活動場がなかなかない。				
連携（協働事業）	連携（協働）相手	座間市青少年センター	内容 青少年センターのお祭り等に会場提供をしてもらい、クラブは人員提供、企画・運営をする。		
イベント（委託）	市子連主催のリーダー野外キャンプや市子連ピックの協力をしている。				
協力事業	相手先	座間市の単位子ども会			
	内 容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ			
	回 数	3～5回	延人数 100人		
アピールポイント	会員の明るさ、リーダー性、参画意識				
会発足のきっかけ	子ども会活動を実施していく上で、若者の存在が必要だという要望があり、子ども会のリーダーに声をかけ発足した。				
会員募集方法	・市広報にて募集案内 ・小学校4,5,6年生対象の夏のリーダーキャンプ参加者に呼びかける。				
参加動機	・リーダーの人がおもしろい人だった。 ・リーダーの人がかっこよかった。 ・皆で楽しそうだったから。				
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 22歳	中高生中心	年会費	なし
	会員数	45人	実働人数 34人	会則	なし
指導者	会員OB・OG、担当職員、市子連役員				

## 初心者向け研修

ジュニアリーダーズクラブ開講式 (日帰り)	目的	ジュニアリーダーの役割の理解、仲間づくり
	内容	レクリエーションゲーム、レクダンス、KYT(危険予知トレーニング)を実施

## 中上級者向け研修

厚木市 & 座間市交流会(日帰り)	目的	互いの地域の向上
	内容	厚木市との合同研修会、ゲーム研修、KYT、ディベート、キャンドルファイヤー

# ジュニアリーダーズクラブオブあやせ (JLC of あやせ)

問い合わせ先	綾瀬市青少年課	0467-70-5655	su7220@city.ayase.kanagawa.jp
活動エリア	綾瀬市全域	活動拠点	中村地区センター(定例会等開催) 綾瀬市青少年課
自主活動	ジュニアリーダー新聞の発行(春夏秋冬で作成)		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	JLC of あやせ会員全員が対象で、夏休みに2泊3日で行う。JLとして必要な技術の向上や仲間とのきずなを深めることを目的とする。	先輩会員、会員OB・OG、担当職員
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	今年新たにジュニアリーダーに加入した中学1年生と先輩ジュニアとの交流。及び全体的にジュニアリーダーとしての技術の向上。		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	特になし	内容
イベント(委託)	綾瀬ロータリークラブ主催の「綾瀬子ども祭り」においてJL及びシニアリーダーが参加し、模擬店等を出したりして住民同士の親睦等を深めるために努力している。		
協力事業	相手先	綾瀬市の各地区の単位子ども会、青少年課、老人会等	
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ、キャンプのスタッフ、キャンプ(キャンプ)ファイヤー	
	回 数	47回	延人数 160人
アピールポイント	会員の明るさ、リーダー性はもちろんのこと、中心的に活動しているのが中学1年から高校生までと幅広いので、単位子ども会の活動においても低学年から高学年まで幅広く対応できる。また、元気が良く、笑いが絶えないクラブである。		
会発足のきっかけ	昭和58年10月に開催された高相地区子連ジュニアリーダー研修会に参加した中学生11名が本市におけるJLの必要性を強く感じ、発足準備会を結成した。その後、当時の子ども会会長と調整をし、その11名が中心になり、昭和59年5月に発足した。		
会員募集方法	・小学校4～6年生対象の春の少年リーダーキャンプにて呼びかける。 ・3月に1泊2日で行う春季研修会にて呼びかける。 ・現在のJL会員が個々に友人を誘う。		
参加動機	・リーダーの人がかっこよかったから ・リーダーの人が明るく楽しそうだったから		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 38歳	中高生・社会人が多い
	年会費	1,200円	
	会員数	39人	実働人数 12人
	会則	あり	
指導者	会員OB・OG、担当職員		

## 平成16年度自主研修プログラム

インリーダー キャンプ	目的	ジュニアリーダーとしての知識、技術、能力の向上を図る。	対象	ジュニアリーダー
2004年8月12日 ～14日	内容	レクリエーション研修、闇夜の神隠し、レクダンス、宝探し、野外炊事、キャンプファイヤー、川遊び		
ジュニアリーダー 春季研修会	目的	市内の小中学校6年生対象に、規律ある集団生活やレクリエーションゲーム等を経験することにより、地域でのリーダーの育成とジュニアリーダーの養成を図る。		
2005年3月26日 ～27日	対象	小学校6年生、スタッフとしてJL、SL、市子連役員3人、市担当者2人		
	内容	レクリエーションゲーム、レクダンス練習、創作料理、キャンプファイヤー、ウォークラリー		

自然とのふれあい、仲間とのふれあいを目的として、以下の研修会も実施しています。

少年リーダー研修会(対象:小学校4～6年生、時期:5月、1泊2日)

ジュニアリーダー研修会(対象:中学生、時期:6月、1泊2日)



# 愛川ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	愛川町教育委員会 生涯学習課青少年教育班	046-285-1111 (内線:527)	k-namizuka@town.aikawa.kanagawa.jp
活動エリア	愛川町全域 活動拠点 愛川町文化会館		
自主活動	リーダーズ会議で小学生対象のイベント企画		
自主研修	内 容		講師（指導者）
初心者向け	実施している	ジュニアリーダー・インリーダー研修会	愛川レクリエーションクラブ
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	会員数は多いが行事や部活等の関係で実働人数確保が難しい。		
連携（協働事業）	連携（協働）相手	特になし	内容 -
イベント（委託）	サマーフェスティバル参加		
協力事業	相手先	依頼があれば自分の地区の催し物の手伝いに	
	内 容	子ども会活動の手伝い	
	回 数	今年度依頼は5回	延人数 20人
アピールポイント	楽しいイベントを企画し、中高生が、小学生をひっぱるにより、自らリーダーとしての資質向上に励める。		
会発足のきっかけ	子ども会活動を実施していく上で、中高生にリーダー等として参加してもらいたいという要望があった。		
会員募集方法	市内中学校(全員)にチラシ配布		
参加動機	楽しそうだから		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 16歳	中高生
	会員数	88人	実働人数 20人
			年会費 なし
			会則 なし
指導者	事務局、愛川レククラブ		

## 愛川ジュニアリーダーズクラブ インリーダー研修会プログラム

午前	レクリエーションの基本的なプログラム、演習実技
午後	ニュースポーツ
指導	愛川レクリエーションクラブ



ジュニアリーダー・インリーダー研修会



第1回ジュニアリーダー会議

# 小田原市ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	小田原市教育委員会青少年課	0465-33-1736	seisho@city.odawara.kanagawa.jp		
活動エリア	小田原市内全域	活動拠点	青少年ワークスペース (小田原市青少年相談センター内)		
自主活動	定例会(月1回)、キャンプ、クリスマス会を開催し、会員間の親睦を深めるとともに指導者としての知識、技術の向上を図る。				
自主研修	内 容		講師(指導者)		
初心者向け	実施している	月1回、ゲーム研修を開催	先輩会員		
中上級者向け	実施している	野外活動研修(初心者も含め、青少年育成推進員と一緒に、キャンプについて学ぶ)	外部講師(県内青少年宿泊施設の職員)		
活動上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者としての意識の高め方</li> <li>・お手伝いの機会がかなり多く、人数調整が難しい。</li> <li>・卒業後の活動が続かない。</li> </ul>				
連携(協働事業)	連携(協働)相手	小田原市青少年育成推進員協議会	内容 市が同協議会へ委託している「地域少年リーダー養成講座」の企画・運営に従事する		
イベント(委託)	地域少年リーダー養成講座(2泊3日の野外体験キャンプ)、小田原市・今市市子ども会交歓会(1泊2日の交流会)、ふれあい子どもフェスティバル(市内子ども会のスポーツイベント)、インリーダー研修会(新小6対象のリーダー研修)の企画・運営				
協力事業	相手先	地域の子ども会、市等主催のフェスティバル			
	内 容	レクリエーションゲーム、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ			
	回 数	47回	延人数 148人		
アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の明るさ、リーダー性、参画意識</li> <li>・地域少年リーダー養成講座のような行事に企画の段階から関わり、指導者としての意識を高めている。</li> <li>・地域子ども会のイベントにも積極的に関わり活動している。</li> </ul>				
会発足のきっかけ	進んで地域の子どもの指導にあたり、地域活動を活発にし、指導者としての技術を身につけた中学生・高校生を養成することを目的として発足した。 (要望があったのか市が独自に立ち上げたのかは不明)				
会員募集方法	・地域少年リーダー養成講座参加者、小田原市・今市市子ども会交歓会参加者、問い合わせのあった人に呼びかける				
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事に参加したらジュニアリーダーの人が楽しそうだったから</li> <li>・みんなをひっぱっていきい先輩になりたいから</li> <li>・他の学校の友達をたくさん作りたいから</li> </ul>				
会員情報等	年齢層	14歳～18歳	中高生	年会費	1,000円
	会員数	71人	実働人数 55人	会則	ある
指導者	会員OB・OG、担当職員				

## 平成17年度活動計画

2005年4月10日	総会・4月定例会
5月	地域少年リーダー養成講座の企画に参加
7月	小田原市・今市市子ども会交歓会事前研修協力(2日)、地域少年リーダー養成講座事前研修協力(3日)、ふれあい子どもフェスティバル協力(9日)、地域少年リーダー養成講座事前研修協力(23～25日、塔ノ峰青少年の家2泊3日)、小田原市・今市市子ども会交歓会協力(28～29日、1泊2日)
8月28日	小田原市・今市市子ども会交歓会事後研修協力
9月上旬	地域少年リーダー養成講座 第1回事後研修協力
9月または10月	神奈川県主催「子どもを支援する若者セミナー」参加
2006年1月28日	インリーダー研修会協力
3月上旬	地域少年リーダー養成講座 第2回事後研修協力
定例会(月1回):ゲーム研修、キャンプ研修(8月2泊3日、3月1泊2日)等、役員会(月2回)、機関誌発行 地域依頼行事への協力(子ども会キャンプ、クリスマス会等)、レクリエーション、放課後児童クラブ手伝い	

# 小田原市シニア・リーダーズ・クラブ

問い合わせ先	小田原市教育委員会青少年課	0465-33-1736	seisho@city.odawara.kanagawa.jp
活動エリア	小田原市全域	活動拠点	青少年ワークスペース(小田原市青少年相談センター内)
自主活動	中高生以上を対象とした「ナイトウォーク」、小学生を対象とした料理教室、海外青年協力隊の方に講話をいただく「国際シンポジウム」などを実施し、青少年と社会とのパイプ役としてふれあいの場を提供するとともに、自己の向上に努めている。定例会(月1回)		
自主研修	内 容		講師(指導者)
初心者向け	実施している	レクリエーションを通じて親睦を深める、活動内容の理解、自主企画の立案・運営方法の指導など	先輩会員
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	後継者不足		
連携(協働事業)	連携(協働)相手	特になし	内容
イベント(委託)	きらめき子どもフェスタの運営補助(子どもたちの学習成果や活動発表、模擬店など)		
協力事業	相手先	イベント募集対象として主に市内の子ども	
	内 容	イベントのスタッフ	
	回 数	1回	延人数 20人
アピールポイント	・地域の青少年と大人を結ぶパイプ役として活動している ・自主的に企画し行動する		
会発足のきっかけ	大学生以上の有志が集まり発足した。		
会員募集方法	・チラシの配置(青少年課内) ・当団体主催のイベント参加者に呼びかける		
参加動機	・ボランティアに興味がある ・当団体主催イベントにスタッフとして関わりたい		
会員情報等	年齢層	18歳 ~ 30歳	大学生・社会人中心
	年会費	500円	
	会員数	27人	実働人数 10人
	会則	ある	
指導者	会員OB・OG		

## 平成17年度事業計画

	イベント	他活動への協力	研修・自主企画	親睦・その他
2005年4月			ダーツ同好会(自主企画)	総会
5月	スポーツ大会		キャンプin塔ノ峰(研修)	SSN(機関誌)8号
6月				青少年育成推進委員との話し合い
7月			青少年関係職員研修 講師(研修)	
8月	ナイトウォーク			
9月	キャンプin塔ノ峰			
10月			秘密の企画(自主企画)	
11月				親睦旅行
12月	パティシエになろう		みかん狩り(自主企画)	SSN(機関誌)9号
2006年1月		成人式のお手伝い		
2月	第7回国際シンポジウム	きらめき子どもフェスタ		
3月			入会説明 会(研修)	いちご狩り (自主企画)

# 湯河原町ジュニアリーダーズ・クラブ

問い合わせ先	湯河原町教育委員会事務局 社会教育課(青少年担当)	0465-63-2111 内線834	syakaiky@town.yugawara.kanagawa.jp		
活動エリア	湯河原町内全域及び周辺 活動拠点 (特に設けていない)				
自主活動	他市町村JLとの交流会(年1回)				
自主研修	内 容		講師(指導者)		
初心者向け	実施している	危険予知トレーニングの実践	県子ども会安全会		
中上級者向け	実施している	危険予知トレーニングの実践	県子ども会安全会		
活動上の課題	自主活動(JL単独で企画・運営・実施)を増やしていきたい。				
連携(協働事業)	連携(協働)相手 湯河原町青少年指導員会	内 容	ネイチャーゲームやふれあい活動への参加及び協力(予定)		
イベント(委託)	小学校5・6年生対象のリーダー研修会、子ども会主催のイベント企画・運営・実施協力				
協力事業	相手先	湯河原町子ども会・地区子ども会			
	内 容	レクリエーションゲーム、イベントのスタッフ、キャンプのスタッフ、キャンプ(キャンドル)ファイヤー、産業まつりでのJLブース参加、社会参加活動として青少年関係団体による「おだわら提灯」作り、海岸清掃に参加			
	回 数	10回	延人数 60人		
アピールポイント	あらゆる活動(子ども会・地域・・・)の中で、常になくはならない存在と認識されてきた。子どもたちからも“やさしい・たのしい・すごい”という声が多くあげられている。				
会発足のきっかけ	子ども会活動、学校・地域活動を実施していく上で、子ども会の“お兄さん・お姉さん”的役割が必要だという事でジュニアリーダーが発足した。				
会員募集方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会小学生会員に対する募集チラシの配布</li> <li>・中学校1年生に対する募集チラシの配布</li> <li>・町広報誌による募集広告</li> </ul>				
参加動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動への興味</li> <li>・子ども会活動への参加意欲</li> </ul>				
会員情報等	年齢層	13歳 ~ 18歳	中高生	年会費	1000円
	会員数	33人	実働人数	33人	会則
指導者	ジュニアリーダー担当 子ども会役員(三役相当)				



インリーダー研修会での指導と準備を担当



親善都市との交流会でゲーム指導

# 大井町ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	大井町教育委員会生涯学習課	0465-85-5016	kyouiku@town.oi.kanagawa.jp
活動エリア	青少年指導員と一体となって活動 活動拠点 会議は中央公民館会議室等で行っている。		
自主活動	ジュニアリーダーキャンプ、他市町のジュニアリーダーとの交流会		
自主研修	内容		講師（指導者）
初心者向け	実施している	野外活動指導者研修会の開催。レクリエーションゲームの進め方を研修。	藤野芸術の家事業課長 西野 祐 氏
中上級者向け	実施していない	-	-
活動上の課題	部活動や学習塾への通学など、中学・高校生は多忙な毎日を送っている。基本的には学校行事を優先し、できる範囲で良いのでジュニアの活動への参加を呼びかけているが、日程調整が難しい場面が多々ある。		
連携（協働事業）	連携（協働）相手	特になし	内容 -
イベント（委託）	子どもキャンプの企画運営、子どもドッジボール大会、町民体育大会、子どもフェスティバル等のボランティア		
協力事業	相手先	なし	
	内容	-	
	回数	-	延人数 -
アピールポイント	青少年指導員と一体となって活動をしている。主体性にやや欠けている部分もあるが、ジュニアリーダーの活動で1泊2日のキャンプを行いたいなどの要望も出てきて、積極性が見られるようになってきた。		
会発足のきっかけ	従来から、ジュニアリーダーとして子どもキャンプのボランティアをお願いしていたが、子どもキャンプのみのかかりであった。青少年指導員協議会ではジュニアリーダーの育成を通して青少年の健全育成を図るため同会の中にジュニアリーダー実行委員会を設け、ジュニアリーダーズクラブが発足された。		
会員募集方法	町内中学校(全員)にチラシ配布、町広報に掲載		
参加動機	いろいろなことに挑戦してみたい。		
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 21歳	中学生中心
	年会費	1,000円	
	会員数	46人	実働人数 40人
	会則	あり	
指導者	青少年指導員		

## 平成17年度 「野外活動指導者研修会」

目的	地域のリーダーを育成していくために、有効なレクリエーションゲームを学び、団体活動の円滑な運営を行っていく方法を学ぶ機会とする。
期日	平成17年6月11日(土) 9:15～12:00
場所	大井町総合体育館 多目的室
対象	ジュニアリーダー、子ども会育成者連絡協議会、母親クラブ本部役員並びに各単位役員、青少年指導員、幼稚園教職員、保育園保育士、少年スポーツクラブ育成者、町民一般など
内容	夏季行事などに生かせるレクリエーションゲームなどの基本を学ぶとともに、指導者の動きの基本を学ぶ。

最初に行うゲーム(ハンドゲーム:グー・パー、数え拍手、王様じゃんけん、指折りゲーム、ワイパー)

中盤に行うゲーム(シンキング・ゲーム:肩たたき、ひざたたき、手たたき、ドン、パラパパパー)+キャッチ、オット失礼動きのあるゲーム(ジャンケンゲーム:じゃんけんお回り、じゃんけんお開き、じゃんけんお縮み、じゃんけん変身、円を作るためのじゃんけん)

円を作って行うゲーム(集合ゲーム、しあわせなら手をたたこう、貨車の入れ替え)

列を作って行うゲーム(伝言ゲーム、ジャンケン・シェー、集団じゃんけん)

終末などに行うゲーム(ひざたたき) まとめにかえて

## 山北ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	山北町子ども会 育成連絡協議会 (略称 山子連)					0465-75-3503	t-ueki@mx9.tten.ne.jp
活動エリア	山北町内		活動拠点	山北町立中央公民館(定例会開催場所)			
自主活動	現在なし						
自主研修			内 容	講師(指導者)			
初心者向け	実施していない		-	-			
中上級者向け	実施していない		-	-			
活動上の課題	会員の増強		育成者(指導者)の協力及び育成	行政機関の協力			
連携(協働事業)	連携(協働)相手	山北町子ども会育成会 連絡協議会(山子連)		内 容	山子連の運営機構の一部会		
イベント(委託)	町教育委員会主催の「ジュニアリーダー研修会」(小学6年生対象)キャンプのスタッフとして参加						
協力事業	相手先	山北町子ども会育成会連絡協議会行事への参加					
	内 容	キャンプのスタッフ、イベントのスタッフ					
	回 数	3回	延人数	25人			
アピールポイント	会員の自主性、責任感、協調性等を身につけさせ、リーダーシップを持ち合わせたジュニアを育成する。						
会発足のきっかけ	他市町村子ども会育成会との交流中に、意見交換があり、小学校卒業後の子どもたちの活動の場に合致した。						
会員募集方法	小学6年生の子ども会会員全員に募集案内配布						
参加動機	キャンプがしたい						
会員情報等	年齢層	12歳 ~ 14歳	中学生	年会費	なし		
	会員数	9人	実働人数	9人	会則	なし	
指導者	山子連育成者						

## 藤野町ジュニアリーダーズクラブ

問い合わせ先	藤野町教育委員会社会教育課		0426-87-5515	fujino-e@alto.ocn.ne.jp		
活動エリア	町内(宿泊研修は町外もある)		活動拠点	-		
自主活動	神馬山のつどいのリーダー、宿泊研修、bigsへの参加、ウォークラリー開催、活動報告会、機関誌作成					
自主研修			内 容	講師(指導者)		
初心者向け	実施していない		-	-		
中上級者向け	実施していない		-	-		
活動上の課題	メンバーの減少					
連携(協働事業)	連携(協働)相手	町子ども会		内 容	-	
イベント(委託)	-					
協力事業	相手先	-				
	内 容	-				
	回 数	-	延人数	-		
アピールポイント	青少年指導員の指導のもと、諸事業の立案、実践を通しリーダーとなるべく活動している。					
会発足のきっかけ	子ども会リーダーから、小学生で終わらたくないとの声を受け、10年間程度続いている。					
会員募集方法	町広報誌					
参加動機	-					
会員情報等	年齢層	13歳 ~ 18歳	中高生	年会費	なし	
	会員数	9人	実働人数	9人	会則	なし
指導者	-					

# 健民少年団神奈川県連合

問い合わせ先	横浜市神奈川区松本町4-34-1 畑誠一方		045-321-7023	-	
活動エリア	神奈川県内全域		活動拠点	特になし	
自主活動	毎年夏に全国大会に参加する他、年末のクリスマス交歓会などを開催している。				
自主研修	内 容			講師（指導者）	
初心者向け	実施している	新人団員向けに1日の研修会で団員としての心構えなど。		先輩会員	
中上級者向け	実施している	中高生を対象にジュニアおよびシニアリーダーとしての役割		先輩会員	
活動上の課題	会員数の減少				
連携（協働事業）	連携（協働）相手	なし	内容	-	
イベント（委託）	なし				
協力事業	相手先	なし			
	内 容	-			
	回 数	-	延人数	-	
アピールポイント	心身共に健康な市民を育てる				
会発足のきっかけ	各都市ごとの団が連携するため				
会員募集方法	単位団体が付近の住民にチラシを配布				
参加動機	野外での活動がしたいから				
会員情報等	年齢層	6歳 ~ 80歳	小学生が多い	年会費	500円
	会員数	282人	実働人数 282人	会則	あり
指導者	成人会員				



活動の様子

青少年が主体的に活動している団体一覧表

地区	ページ	団体名	主体となる世代	問い合わせ先	自主研修		協力事業相手先
					初級	中上級	
横浜・川崎地区	67	鶴見区ジュニアリーダーズクラブ	中高生	クラブHP (P.67参照)			鶴見区子ども育成会連絡協議会・地区の子ども会
	68	西区子ども会育成連絡協議会 ジュニアリーダーズクラブ	中高生中心	区地域振興課 045-320-8392			西区の単位子ども会 / 地区センター
	69	保土ヶ谷区ジュニアリーダーズクラブ	中学生中心	地域振興課 045-334 - 6307			保土ヶ谷区内の単位子ども会及び区子ども会行事
	70	旭区ジュニア・リーダーズ・クラブ	社会人、中高生が多い	地域振興課 045-954-6095			旭区内の子ども会
	71	磯子区ジュニアリーダーズクラブ	中高生中心	地域振興課 045-750-2393			地域子ども会の手伝い
	72	港北区ジュニアリーダーズクラブ	中高生中心	地域振興課 045-540-2239		-	港北区内の子ども会等
	73	緑シニアリーダーズクラブ	中高生が多い	緑シニアリーダーズクラブ 045-932-3130			青少年の家のサポート、中学校自然教室指導員、市のイベントへの参加出店等
	74	あおばレクリエーション リーダー倶楽部	大学生が多い	地域振興課 045-978-2295	-	-	-
	75	栄区ジュニアリーダーズクラブ	高校生、大学生中心	地域振興課 045-894-8395	-	-	栄区各地区の単位子ども会および区子連
	76	泉区ジュニアリーダーズクラブ	高校生以上が多い	地域振興課 045-800-2395			子ども会や区役所などが小学生等を対象とした行事
	77	瀬谷区ジュニアリーダーズクラブ	中高生中心	地域振興課 045-367-5696			瀬谷区子供会育成連絡協議会、及び単位子ども会
	78	川崎市子ども会連盟 ジュニアリーダーズクラブ	中高生	川崎市子ども会連盟事務局 044-733-3951		-	川崎市内単位子ども会、市内こども文化センターなど
	79	川崎市子ども会連盟 シニアリーダーズクラブ むげん	大学生中心		-	-	市主催行事等
80	川崎市青少年の家 ユースワーカーズ倶楽部	中高生	川崎市青少年の家 044-888-3588	-	-	青少年の家のサポート、中学校自然教室指導員、市のイベントへの参加出展等	
横須賀三浦地区	81	横須賀市ジュニアリーダー 養成講習会OB会	中高生中心	青少年課 046-822-8224		-	市内全域の子ども会や子どもにかかわる団体
	82	鎌倉市シニアリーダーズクラブ	中学生から社会人	青少年課 0467-23-3000		-	鎌倉市の地区行事(子ども会、地区の青少年育成団体等)
		逗子市子連 ジュニアリーダーズクラブ	中高生	逗子市子連会長 046-873-2976		-	-
	83	みうら青年ボランティアビューロー	高校生中心	事務局長宅			三浦市の各地区の単位子ども会
84	葉山ジュニアリーダーズクラブ	中高生中心	生涯学習課 046-876-1111			町の青少年育成事業、子ども会派遣	
湘南地区	85	藤沢市コミュニティリーダー-高校生	高校生	(財)藤沢市青少年協会 0466-25-5215	-	-	-
		藤沢市コミュニティリーダー-中学生	中学生		-	-	-
	86	平塚市ジュニア・リーダーズクラブ	中高生	青少年課 0463-32-7029		-	平塚市の各地区の単位子ども会
	87	ヒコーキ雲の会	-		-	-	-
	88	平塚市海洋少年隊	中高生		-	-	-
89	茅ヶ崎市ジュニア・リーダーズ・クラブ	中高生	青少年課 0467 - 82 - 1111		-	茅ヶ崎市の各地区の単位子ども会、青少年課、老人会等	

青少年が主体的に活動している団体一覧表

地区	ページ	団体名	主体となる世代	問い合わせ先	自主研修		協力事業相手先
					初級	中上級	
湘南地区	90	秦野リーダー研修クラブ	高校生中心	青少年課 0463-81-7011			子どもまつり、青少年交流 洋上体験研修事業、青少年 交流キャンプ、青少年会 館師走祭、子ども各種事 業、新成人のつどい実行
		YROH(International The Young Relation Of Hadano)	高校生以上 中心	同上	-	-	子どもまつり、青少年交流洋上体 験研修事業、青少年会館師走 祭、新成人のつどい実行委員会
	91	成瀬ジュニアリーダーズクラブ	中高生	青少年課 0463-94-7171		-	伊勢原市成瀬地区の単位子ども会
	92	伊勢原ジュニアリーダーズクラブ	中高生				市内の単位子ども会、市内外の 団体・施設、青少年課、市子連等
	93	寒川町ジュニアリーダーズクラブ	高校生	生涯学習課 0467-74-1111			-
	94	大磯町ジュニアリーダーズクラブ	中高生中心	生涯学習課 0463-61-4100	-	-	子ども会(小学校4,5,6年 生)
二宮町シニアリーダーズクラブ		高校生中心	生涯学習課 0463-72-6912		-	町子ども会野外活動、町内 単位子ども会活動手伝い、 町恵友会各種研修、町教 育委員会事業手伝い、町 ゴミ拾いキャンペーン	
県央地区	95	厚木市ジュニアリーダーズクラブ	中高生	青少年課 046-225-2580			厚木市、秋田県横手市の 子ども会
	96	大和市ジュニアリーダー研修会	中高生中心	大和市 青少年センター 046-260-5224	-	-	-
	97	大和ユースクラブ・わくわく冒険隊	ユースクラブ は中高生、 わくわく冒険 隊は小学生		-	-	大和市内各種団体の事業 等の支援・大和市事業(成 人式)の支援
	98	海老名市ジュニアリーダーズクラブ	中高生中心	青少年課 046-231-9787		-	海老名市の各地区単位子 ども会
	99	座間市ジュニアリーダーズクラブ	中高生中心	青少年課 046-253-8415			座間市の単位子ども会
	100	ジュニアリーダーズクラブオブあやせ	中高生・社 会人が多い	青少年課 0467-70-5655		-	綾瀬市の各地区の単位子 ども会、青少年課、老人会等
	101	愛川ジュニアリーダーズクラブ	中高生	生涯学習課 046-285-1111		-	依頼があれば自分の地区 の催し物の手伝いに
西湘地区	102	小田原市ジュニアリーダーズクラブ	中高生	市青少年課 0465-33-1736			地域の子ども会、市等主催 のフェスティバル
	103	小田原市シニアリーダーズクラブ	大学生・社 会人中心			-	イベントの募集対象として 主に市内の子ども
	104	湯河原町ジュニアリーダーズクラブ	中高生	町社会教育課 0465-63-2111			湯河原町子ども会・地区子 ども会
足柄上地区	105	大井町ジュニアリーダーズクラブ	中学生中心	町生涯学習課 0465-85-5016		-	-
	106	山北ジュニアリーダーズクラブ	中学生	山子連 0465-75-3503	-	-	山北町子ども会育成会連 絡協議会行事への参加
津久井地区	106	藤野町ジュニアリーダーズクラブ	中高生	町社会教育課 0426-87-5515	-	-	-
民間団体	107	健民少年団神奈川県連合	小学生 が多い	畑誠一 方 045-321-7023			-
	52	青山子ども会	大学生	代表	-	-	-
	54	東京農業大学自然教育研究会 ネイチャーズクラブ	大学生	会長			-
	56	さがみちびっこクラブ	大学生、専 門学校生、 社会人	会長		-	相原地区各子ども会



# 資料

活動に利用できる施設情報	111
1 県内施設一覧表の見方	111
2 施設を利用するまでの流れ	112
県内施設一覧表	114
活動に利用できる助成金情報	130
青少年主管課一覧表	131



# 活動に利用できる施設情報

この「活動に利用できる施設情報」は、地域において活動プログラムの企画をたてる際に、活動場所として使えそうなところをまとめてみました。

詳しくは、各市区町村のホームページをご覧ください。電話等で直接問い合わせていただきたいと思います。また、県内の施設を分野別に一括して調べられるホームページのサイトを紹介するので、参考にしてください。

青少年主管課一覧表 ( P.131 ) に各市区町村青少年主管課の電話番号を掲載してあります。各市区町村において、青少年関係の事務を取り扱っている部署ですので、分からないことがあった場合、電話をすれば、相談にのってもらえます。

## 1 県内施設一覧表 ( P.114 ~ 129 ) の見方

【 種 別 】 についての説明

### 【 公 民 館 】

市区町村によっては市民センター、地区センターなど様々な名称で呼ばれていますが、まとめて公民館という名称でまとめています。会議室やホールがあり、会議や研修会、子どもたちを集めてのイベントなどで使える施設として載せてあります。

### 【 スポーツ 】

スポーツ系のイベントで使える施設として載せてあります。カッコのなかの記号は以下の通りです。

( 体 ) = 体育館・体育室 ( 野 ) = 野球場・ソフトボール場

( グ ) = グラウンド・球技場・運動広場など ( プ ) = プール

( 柔 ) = 柔道場 ( 畳が敷いてある ) ( 剣 ) = 剣道場 ( 板張り ) ( 弓 ) = 弓道場

### 【 公 園 】

イベント・ハイキングなどで使える施設として載せてあります。都市公園・自然公園・緑地・市民の森などです。

### 【 宿 泊 】

文字通り、宿泊可能な施設です。キャンプができる施設もこの項目に入っています。

資料は平成 18 年 ( 2006 年 ) 1 月現在のもので、

## 参考ホームページ

神奈川県ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/>

( 財 ) 神奈川県厚生福利振興会 <http://www.k-kfukuri.or.jp/>

神奈川県生涯学習情報センター PLANET かながわ <http://www.planet.pref.kanagawa.jp/>

( 社 ) 神奈川県観光協会 かながわ NOW <http://www.kanagawa-kankou.or.jp/index.html>

( 財 ) 神奈川県公園協会 花と緑の情報サイト <http://www.kanagawa-park.or.jp/>

横浜市環境創造局 <http://www.city.yokohama.jp/me/kankyou/>

## 2 施設を利用するまでの流れ

### (1) 中心になるメンバーによる企画会議(打ち合わせ)

活動を実施するに当たって、中心になるメンバーによる企画会議が大切です。会議・打ち合わせを実施する際、メンバー全員が集まりやすい会場(施設)の選定をするとよいでしょう(会場の選定にあたっては、(3)以降を参照)。

### (2) 活動目的・内容の決定

企画会議において、十分な意見交換をして、活動する目的と活動を決定します。一人ひとりが納得いくまで話し合いをしましょう。

会議・打ち合わせを実施する際、『会議・話し合いガイド』(神奈川県青少年総合研修センター、平成16年3月)がきっと役に立ちます。県立青少年センター指導者育成課あるいは各市町村の青少年主管課(P.131)にお問い合わせください。

### (3) 会場の選定

より効果的に活動を展開できる会場設定をしたいものです。そのためには活動内容や目的に合った会場(施設)設定が大切です。すべての希望・条件を満たすのは難しいことですが、十分な安全への配慮、固定観念にとらわれない会場選定・配置を心がけます。

利用体験者の意見などを参考に、パンフレットなどで確認し候補をあげ、下見をします。

#### 【会場を選定する際のチェックポイント】

遊休地・屋外などの活用	類似施設や民間施設の活用	参加しやすい
交通機関・方法	駐車場の有無・台数	移動の方法
引率の人員配置	受入体制	自然環境
施設、設備や周囲の状況	安全・衛生	緊急時の対応
バリアフリー(障害者用設備、段差など)		食事
トイレ	更衣場所	使用料(減・免)、経費
施設特有の事項	申し込み期限・開始日 など	

### (4) 会場の決定

申し込みの期限や開始日に注意し、余裕を持った決定をします。

### (5) 会場の借用に際して

利用の手引き等があればもらっておきます。施設運営の方針が異なり、思わぬことに戸惑う場合があります。十分な下見と事前打ち合わせをし、なお不明な点、不安な点は遠慮せずにお問い合わせをする必要があります。利用の手引き等があればもらっておきます。利用施設の職員との人間関係を作ることも重要です。使い慣れている施設でも、プログラムに応じた確認が必要です。

### (6) 会場の下見

「手分けして広範囲を」「1人では気付かない複数の視点」「思い違いや勘違いの防止」などの効果があります。スタッフや実行委員も下見をします。

## (7) 活動内容の工夫

音響、照明、キャンドル台や机・椅子の数なども気を配ります。大丈夫だと思い込まないで、確認が必要です。「ゲームを予定していた芝生が立ち入り禁止」「予定の部屋を他団体が使用中」では慌ててしまいますし、活動の効果も半減です。

会場や周辺の自然などを活用したプログラムは、利用施設の職員に相談し、指導いただくのも一つの方法です。

## (8) 会場の利用

施設利用中には、施設職員の指示に従い、清掃・片付けなどをきちんとし、次に利用する団体が使いやすいようにします。またそうすることで、施設職員との人間関係をよくして、継続して利用しやすいようにします。

### チェック表などの活用

必要に応じて項目を加えたり、省いたりして、下見・打ち合わせに臨みます。

#### 【チェック項目の例】

##### < 基本的な事項 > ……パンフレットなどの資料を活用

利用の目的・内容	打ち合わせ、下見の時期	施設の設置目的、趣旨	施設の名称
設置者、所有者	所在地、電話など連絡方法	責任者、担当者の氏名	交通機関…
…など			

##### < 施設の概要 > ……実際に現場を確認

施設周囲の状況	収容人員数	部屋数(研修用、宿泊・休憩用、ロビー・洗面所など共用部分)	利用可能な部分	各部屋の広さ、収容人数	部屋の目的外利用は可能か	
トイレ(位置、男女、便器数)	食堂(広さ、席数)	風呂場(位置、大きさ、男女別)	非常口(位置、経路)	避難場所	危険箇所、火元	障害者用設備……など

##### < 設備、備品などの概要 > ……実際に試用してみる

研修用具や設備、使用法	使用可能設備や備品	施設の配置図、見取図	湯茶の設備、器具	放送、照明や空調などの設備	駐車場(利用可能台数)	持参する物品(持ち込めない物)	会場の設定方法……など
-------------	-----------	------------	----------	---------------	-------------	-----------------	-------------

##### < 救急体制や現地の協力者 > ……できれば複数を調べる

緊急連絡先、方法	医者、看護師の駐在時間帯	利用可能な医薬品	持参すべき医薬品	医療機関(名称、所在地、電話番号、専門、診療時間、時間外の対応、保険適用、手術、入院、搬送方法・時間・ルートなど)	関係機関、施設	警察署	消防署	学校
民間団体	利用施設の職員、登録ボランティアなどの指導者……など							

##### < プログラム > ……宿泊施設などの場合、実施希望のプログラム案を提示

プログラムをより効果的に展開するための資料収集  
基本の日程(起床、各種つどい、清掃、食事、入浴、就寝など)  
指導者就寝時間、つどいを実施しないなどの変更は可能か  
同時使用団体の有無、調整  
施設、施設周囲を活かしたプログラム内容の助言を得る  
施設に準備されているプログラム内容、指導方法、必要経費  
清掃、ゴミ処理、配膳、食器洗い、寝具、シーツなどの処理方法  
施設特有のプログラム展開、報告事項、禁止事項……など

##### < 食事 > ……予算、食事回数、予定食数などを明確に

食事内容、依頼時期や方法、数を変更できる時期など  
方法(給食、調理者を同行、屋内自炊、野外自炊)  
弁当(業者、依頼方法、支払方法、搬入方法、時間など)  
衛生状態  
食料、水などの調達方法……など

##### < 使用料、経費など > ……額、支払方法、期限など

施設などの使用料、減額や免除の有無と手続き  
食事の単価、調理者の賃金、薪代、洗濯代、材料代、資料代など  
契約方法、特別料金(子ども、仮眠、早着、遅立、予約金など)  
支払事務の必要事項(必要書類、代表者、印、振り込み先など)

横浜市 鶴見区

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	駒岡地区センター	駒岡4-28-5	045-571-0035	
	末吉地区センター	上末吉2-16-16	045-572-4300	
	生麦地区センター	生麦4-6-37	045-504-0770	
	鶴見会館	鶴見中央3-19-11	045-501-4024	
	横浜市鶴見中央交流センター	鶴見中央3-19-11	045-501-0461	
	寺尾地区センター	馬場4-39-1	045-584-2581	
	鶴見公会堂	豊岡町2-1	045-583-1353	
	潮田地区センター	本町通4-171-23	045-511-0765	
	矢向地区センター	矢向4-32-11	045-573-0302	
	スポーツ	鶴見工業高等学校室内温水プール(プ)	下野谷町4-146	045-477-5090
岸谷公園(プ)		岸谷3-20	045-573-1832	
駒岡地区センター(体)		駒岡4-28-5	045-571-0035	
鶴見スポーツセンター(体)		元宮2-5-1	045-584-5671	
鶴見川漕艇場		鶴見区元宮2-6	045-582-8680	
潮田公園(野プ) プール504-4791		向井町2-71-1	045-501-7479	
県立三ツ池公園(野プ)		三ツ池公園1-1	045-581-0287	
末吉地区センター(体)		上末吉2-16-16	045-572-4300	
生麦地区センター(体)		生麦4-6-37	045-504-0770	
大黒ふ頭中央公園(野)		大黒ふ頭1	045-506-6770	
大黒海づり公園		大黒ふ頭20番地先	045-506-3539	
鶴見区スポーツ広場・大黒町(グ)		大黒町4	1	
鶴見中央交流センター(体)		鶴見中央3-19-11	045-501-0461	
寺尾地区センター(体)		馬場4-39-1	045-584-2581	
平安公園(プ)		平安町2-17	045-504-4792	
入船公園(野グ)		弁天町3-1	045-501-2343	
潮田地区センター(体)		本町通4-171-23	045-511-0765	
高齢者保養研修施設ふれーゆ(プ)		末広町1-15-2	045-521-1010	
矢向地区センター(体)		矢向4-32-11	045-573-0302	
公園		栄町公園	栄町通二丁目22-1	045-521-6651
		かぶと塚ふれあいの樹林	駒岡三丁目	045-311-2016
		獅子ヶ谷市民の森	獅子ヶ谷町	045-311-2016
		東寺尾ふれあいの樹林	東寺尾一丁目	045-311-2016
	元宮さわやか公園	元宮二丁目5	鶴見 土木事務所 045-521-6651	
	市場旧東海道公園	市場下町11		
	汐入公園	汐入町二丁目37-1		
	白幡公園	東寺尾二丁目12		
	平安公園	平安町2-17		

公園	潮田公園	向井町2-71-1	045-501-7479
	県立三ツ池公園	三ツ池公園地内	045-581-0287
	馬場花木園	馬場2-20-1	045-585-6552
	入船公園	弁天町3-1	045-501-2343

横浜市 神奈川区

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	神奈川区区民活動支援センター	東神奈川1-29( 2)	045-441-3801	
	神大寺地区センター	神大寺2-28-18	045-491-4441	
	神奈川地区センター	神奈川本町8-1	045-453-7350	
	神之木地区センター	神之木町7-1	045-435-1712	
	菅田地区センター	菅田町1718-1	045-471-2913	
	白幡地区センター	白幡上町44-12	045-430-3050	
	神奈川県社会福祉会館	沢渡4-2	045-311-1421	
	かながわ県民センター	鶴屋町2-24-2	045-312-1121	
	かながわ県民活動サポートセンター	鶴屋町2-24-2	045-312-1121	
	神奈川公会堂	富家町1-3	045-432-3399	
	神奈川区民文化センター かなっくホール	東神奈川1-10-1	045-440-1211	
	スポーツ	羽沢スポーツ会館(体)	羽沢町1700-1	045-381-2540
		神奈川スケートリンク	広台太田町1-1	045-321-0847
		台町公園(野)	高島台29	045-323-0129
		神奈川スポーツセンター(体)	三ツ沢上町11-18	045-314-2662
		三ツ沢公園(野グ)	三ツ沢西町3-1	045-311-2016
		三ツ沢公園青少年野外活動センター(キグ)	三ツ沢西町3-1	045-314-7726
平沼記念体育館(体)		三ツ沢西町3-1	045-311-6186	
県立スポーツ会館(体)		三ツ沢西町3-1	045-311-7871	
神大寺地区センター(体)		神大寺町2-28-18	045-491-4441	
神奈川地区センター(体)		神奈川本町8-1	045-453-7350	
神之木地区センター(体)		神之木町7-1	045-435-1712	
菅田地区センター(体)		菅田町1718-1	045-471-2913	
白幡地区センター(体)		白幡上町44-12	045-430-3050	
神の木公園(野)		神之木台13-20	045-421-7883	
入江町公園(プ)		入江1-27-3	045-421-5315	

1 区民施設担当045-510-1695

2 東部療育ビル3F

横浜市 神奈川区

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公園	羽沢町公園	羽沢町526-8	神奈川 土木事務所 045-491-3363	
	神奈川公園	栄町12-1		
	幸ヶ谷公園	幸ヶ谷3		
	子安台公園	子安台一丁目18		
	松見みはらし公園	松見町三丁目891		
	神大寺中央公園	神大寺三丁目25		
	菅田いでと公園	菅田町34		
	菅田みどりの丘公園	菅田町712-13		
	西寺尾の丘公園	西寺尾二丁目1503-2		
	入江町公園	入江一丁目27-15		
	片倉北公園	片倉五丁目49	045-311-2016	
	台町公園	高島台29		
	三ツ沢公園	三ツ沢西町3-1		
	神の木公園	神之木台13		
	ポートサイド公園	大野町1-4		
	沢渡中央公園	沢渡4-1		
	反町公園	反町一丁目12		
	片倉うさぎ山公園	片倉二丁目42		3
	豊顕寺市民の森	三ツ沢西町		045-948-2475
宿泊	三ツ沢公園青少年野外活動センター	三ツ沢西町3-1	045-314-7726	

3 片倉台住宅管理事務所 045-491-8880

横浜市 西区

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	パシフィコ横浜	みなとみらい1-1-1	045-221-2121	
	フォーラムよこはま	みなとみらい2-2-1	045-224-2001	
	横浜みなとみらいホール	みなとみらい2-3-6	045-682-2020	
	西地区センター	岡野1-6-41	045-314-7734	
	西公会堂	岡野1-6-41	045-314-7733	
	神奈川婦人会館	紅葉ヶ丘2	045-231-2567	
	横浜能楽堂	紅葉ヶ丘27-2	045-263-3050	
	横浜市教育会館	紅葉ヶ丘53	045-231-0960	
	県立音楽堂	紅葉ヶ丘9-2	045-263-2567	
	県立青少年センター(ホール)	紅葉ヶ丘9-1	045-263-4400	
	新都市ホール	高島2-18-1	045-465-2001	
	藤棚地区センター	藤棚町2-198	045-253-0388	
	県立青少年センター	紅葉ヶ丘9-1	045-263-4400	
	横浜市青少年交流センター	老松町25	045-241-0673	
	平沼集会所	西平沼町5-70	045-320-9608	
	東小学校コミュニティハウス	東ヶ丘59	045-263-1111	
	稲荷台小学校コミュニティハウス	藤棚町2-220	045-263-0614	
	軽井沢コミュニティハウス	北軽井沢24	045-324-6771	
	浅間コミュニティハウス	浅間町5-375-1	045-311-6085	
	戸部コミュニティハウス	御所山町1-8	045-231-9865	
	西前小学校コミュニティハウス	中央2-27-7	045-311-8043	
	スポーツ	西地区センター(体)	岡野1-6-41	045-314-7734
		岡野公園(野プ)	岡野2-9-1	045-311-2613
		西スポーツセンター(体プ)	浅間町4-340-1	045-312-5990
		野毛山公園(プ)	東ヶ丘55	045-261-8623
		藤棚地区センター(体)	藤棚町2-198	045-253-0388
横浜市青少年交流センター(体)		老松町25	045-241-0673	
公園	グランモ-ル公園	みなとみらい三丁目	045-671-3648	
	岡野公園	岡野二丁目9	045-671-3648	
	掃部山公園	紅葉ヶ丘57	045-242-1313	
	ジョイナスの森彫刻公園	相鉄ジョイナス屋上	045-319-2438	
	野毛山公園	老松町63-10	045-671-3648	

横浜市 中区

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	横浜市港湾労働会館	海岸通1-1	045-201-3842	
	大さん橋国際客船ターミナル	海岸通1-1	045-211-2304	
	ポートコミュニティ万国橋	海岸通4-23	045-212-1034	
	横浜市婦人コーナー	宮川町3-70	045-231-6431	
	横浜市社会福祉センターホール	桜木町1-1	045-201-2060	
	メルパルクYOKOHAMA	山下町16	045-661-8151	
	横浜人形の家	山下町18	045-671-9361	
	横浜シンポジア	山下町2	045-671-7151	
	ワークピア横浜	山下町24-1	045-664-5252	
	横浜地域職業訓練センター	山下町253	045-651-2195	
	県民ホール	山下町3-1	045-662-5901	
	KKRポートヒル横浜	山手町115	045-621-9684	
	横浜市イギリス館	山手町115-3	045-623-7812	
	かながわ労働プラザ	寿町1-4	045-633-5413	
	関内ホール	住吉町4-42-1	045-662-1221	
	横浜赤レンガ倉庫1号館	新港1-1-1	045-211-1515	
	竹之丸地区センター	竹之丸133-3	045-651-5575	
	平沼記念レストハウス	不老町2-7	045-641-5741	
	開港記念会館	本町1-6	045-671-3419	
	本牧地区センター	本牧原16-1	045-622-4501	
	教育文化ホール	万代町1-1	045-671-3717	
	横浜市技能文化会館	万代町2-4-7	045-681-6551	
	野毛地区センター	野毛町3-160-4	045-241-4535	
	横浜市青少年育成センター	住吉町4-42-1	045-664-6251	
	スポーツ	横浜スタジアム(野)	横浜公園	045-661-1251
		元町公園(プロ)	元町1-77-4	045-671-3648
		中スポーツセンター(体)	新山下3-15-4	045-625-0300
		竹之丸地区センター(体)	竹之丸133-3	045-651-5575
		横浜文化体育館(体)	不老町2-7	045-641-5741
		本牧海づり施設	本牧ふ頭1	045-623-6030
		本牧市民プール(プ)	本牧元町46-1	045-621-5012
		本牧地区センター(体)	本牧原16-1	045-622-4501
		本牧市民公園(グ野)	本牧大里町177-2	045-671-3648
横浜市技能文化会館(体)		万代町2-4-7	045-681-6551	
野毛地区センター(体)		野毛町3-160-4	045-241-4535	

公園	横浜公園	横浜公園	045-671-3648
	元町公園	元町1-77-4	045-671-3648
	根岸森林公園	根岸台	045-671-3648
	山下公園	山下町279	045-671-3648
	港の見える丘公園	山手町114	045-671-3648
	山手イタリア山庭園	山手町16	045-671-3648
	山手公園	山手町230	045-671-3648
	山手見晴らし公園	新山下三丁目15	045-671-7681
	大通り公園	長者町五丁目55-2	045-671-3648
	本牧臨海公園	本牧元町386-1	045-671-3648
	本牧市民公園	本牧大里町177-2	045-671-3648
	新本牧公園	本牧和田20-1	045-671-7681
	本牧山頂公園	和田山1-5	045-671-3648

横浜市 旭区

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	都岡地区センター	今宿西町292-2	045-953-7211	
	今宿地区センター	今宿町2647-2	045-392-1500	
	市沢地区センター	市沢町9	045-371-6662	
	若葉台地区センター	若葉台3-4-2	045-921-2213	
	希望ヶ丘地区センター(4)	中希望ヶ丘145-4	045-361-0424	
	旭公会堂	鶴ヶ峰1-4-12	045-954-6170	
	旭区民文化センター サンハート	二俣川1-3	045-364-3810	
	白根地区センター	白根4-6-1	045-953-4428	
	スポーツ	都岡地区センター(体)	今宿西町292-2	045-953-7211
		今宿地区センター(体)	今宿町2647-2	045-392-1500
今川公園(グ野)		今川町96-2	045-366-9290	
笹野台北公園(グ)		笹野台3-6	045-953-8801	
市沢地区センター(体)		市沢町9	045-371-6662	
日向根公園(グ)		若葉台2-1	045-953-8801	
若葉台公園(野)		若葉台3-1	045-953-8801	
若葉台地区センター(体)		若葉台3-4-2	045-921-2213	
大貫谷公園プール(プ)		若葉台4-17-1	045-922-4153	
上白根大池公園(野)		上白根町910-3	045-953-8801	
旭スポーツセンター(体)		川島町1983	045-371-6105	
こども自然公園(野キ)		大池町65-1	045-351-5024	
希望ヶ丘地区センター(体)(4)		中希望ヶ丘145-4	045-361-0424	
鶴ヶ峰本町公園(プ)		鶴ヶ峰本町1-16-2	045-954-1827	

横浜市 旭区

種別	名称	住所	問い合わせ先
スポーツ	白根公園(グ)	白根三丁目26	045-953-8801
	白根地区センター(体)	白根4-6-1	045-953-4428
	旭プール(プ)	白根町2-33-1	045-953-5010
	本村スポーツ会館(体)	本村町15	045-365-1820
公園	鶴ヶ峰ふれあいの樹林	鶴ヶ峰一丁目92	045-311-2016
	南本宿市民の森	南本宿町	045-311-2016
	白根ふれあいの樹林	白根五丁目22	045-311-2016
	追分市民の森	矢指町	045-311-2016
	矢指市民の森	矢指町	045-311-2016
	ふるさと尾根道緑道	今宿東町816-4	045-954-6027
	今宿東公園	今宿東町942-1	045-953-8801
	今川公園	今川町96 - 2	045-366-9290
	神田公園	市沢町1-1	045-953-8801
	市沢ふれあいの樹林	市沢町1110-1	045-311-2016
	若葉台公園	若葉台三丁目1	045-953-8801
	大貫谷公園	若葉台四丁目35	045-953-8801
	日向根公園	若葉台二丁目1	045-953-8801
	桧山公園	若葉台二丁目14	045-953-8801
	横浜動物の森公園	上白根町1145-3	045-366-9290
	上白根大池公園	上白根町910 - 3	045-953-8801
	櫛谷公園	川島町字櫛谷1726	045-953-8801
	善部町南公園	善部町114-8	045-953-8801
	こども自然公園	大池町65	045-953-8801
	南本宿公園	南本宿町37-4	045-953-8801
	帷子川親水緑道	白根一丁目1	045-953-8801
	白根公園	白根三丁目26	045-953-8801
	宿泊	こども自然公園青少年野外活動センター	大池町65-1

横浜市 港南区

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	東永谷地区センター	東永谷1-1-12	045-826-3882	
	野庭地区センター	野庭町612	045-848-0100	
	永谷地区センター	芹ヶ谷5-47-5	045-823-7789	
	港南台地区センター	港南台5-3-1	045-835-2811	
	港南公会堂	港南中央通10-1	045-847-8480	
	港南区民文化センター ひまわりの郷	上大岡西1-6-1	045-848-0800	
	港南地区センター	日野1-2-31	045-841-8411	
	東永谷地区センター(体)	東永谷1-1-12	045-826-3882	
スポーツ	野庭地区センター(体)	野庭町612	045-848-0100	
	永谷地区センター(体)	芹ヶ谷5-47-5	045-823-7789	
	港南台地区センター(体)	港南台5-3-1	045-835-2811	
	港南プール(プ)	港南台6-22-38	045-832-0801	
	福祉保健研修交流センター(体)	上大岡西1-6-1	045-847-6666	
	久良岐公園(ケ野)	上大岡東三丁目12-1	045-752-3839	
	港南スポーツセンター(体)	日野1-2-30	045-841-1188	
	港南地区センター(体)	日野1-2-31	045-841-8411	
	日野中央公園(野)	日野中央2-2-1	045-846-4489	
	下野庭スポーツ会館(体)	野庭町136-4	045-842-9624	
	野庭中央公園(プ)	野庭町613	045-842-3653	
	公園	下永谷八木中央公園	下永谷四丁目5	045-843-3711
		下永谷市民の森	下永谷町	045-831-8484
		丸山台公園	丸山台四丁目7	045-843-3711
港南台北公園		港南台一丁目3	045-843-3711	
港南台中央公園		港南台三丁目5	045-831-8484	
港南台西公園		港南台四丁目34	045-843-3711	
港南台さえずりの丘公園		港南台八丁目4	045-843-3711	
港南台南公園		港南台六丁目8	045-843-3711	
上永谷緑地		上永谷四丁目2	045-843-3711	
久良岐公園		上大岡東三丁目12-1	045-831-8484	
日限山公園		日限山一丁目66	045-843-3711	
日野中央公園		日野中央二丁目2	045-831-8484	
鍛冶ヶ谷南公園		日野南七丁目12	045-843-3711	
鍛冶ヶ谷公園		日野南六丁目46	045-843-3711	
野庭中央公園		野庭町613	045-843-3711	

横浜市 磯子区

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	磯子センター	磯子3-1-41	045-753-2861
	磯子公会堂	磯子3-5-1	045-750-2520
	横浜市社会教育コーナー	磯子3-6-1-1	045-761-4321
	上中里地区センター	上中里397-2	045-773-3929
	杉田地区センター	杉田1-17-1	045-775-0541
	神奈川県薬業会館	西町14-11	045-761-3241
	根岸地区センター	馬場町1-42	045-751-4777
	磯子区民文化センター「杉田劇場」	杉田1-1	045-771-1212
スポーツ	磯子地区センター(体)	磯子3-1-41	045-753-2861
	横浜市社会教育コーナー(体)	磯子3-6-1	045-761-4321
	磯子腰越公園(プ)	磯子8-12-3	045-751-4911
	岡村公園(野)	岡村2-17-1	045-751-4375
	栗木スポーツ広場(グ体)	栗木2-18	-
	横浜プールセンター(プ)	原町14-1	045-761-1948
	上中里地区センター(体)	上中里397-2	045-773-3929
	磯子海づり施設	新磯子町38	045-761-1931
	森町公園(プ)	森3-2	045-761-6148
	杉田地区センター(体)	杉田1-17-1	045-775-0541
	新杉田公園(野)	杉田5-32	045-776-3313
	磯子スポーツセンター(体)	杉田5-32-25	045-771-8118
	根岸地区センター(体)	馬場町1-42	045-751-4777
	洋光台南公園(プ)	洋光台6-37	045-831-3818
公園	氷取沢市民の森	氷取沢町	045-866-8497
	峯市民の森	峰町	045-866-8497
	岡村公園	岡村二丁目17	045-831-8484
	上中里公園	上中里町1031	045-761-0081
	新杉田公園	杉田五丁目32	045-831-8484
	坪呑公園	杉田三丁目1200-5	045-761-0081
	氷取沢緑地	氷取沢町640-1	045-761-0081
	洋光台北公園	洋光台一丁目3	045-761-0081
	洋光台駅前公園	洋光台五丁目2	045-761-0081
	洋光台西公園	洋光台二丁目2	045-761-0081
	洋光台緑地	洋光台六丁目11	045-761-0081
	洋光台南公園	洋光台六丁目37	045-761-0081

横浜市 保土ヶ谷区

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	初音が丘地区センター	藤塚町15-1	045-352-3992	
	かながわアートホール	花見台4-2	045-341-7657	
	岩間市民プラザ	岩間町1-7-15	045-337-0011	
	今井地区センター	今井町412-8	045-352-1183	
	保土ヶ谷公会堂	星川1-2-1	045-331-0497	
	西谷地区センター	西谷町918	045-371-3794	
	ほどがや地区センター	天王町1-21	045-333-0064	
	県立保土ヶ谷公園(体野ブゲ)	花見台4-2	045-331-5321	
スポーツ	今井地区センター(体)	今井町412-8	045-352-1183	
	保土ヶ谷プール(プ)	狩場町238-3	045-742-2003	
	常盤公園(グ弓)	常盤台42-1	045-331-5995	
	保土ヶ谷スポーツセンター(体)	神戸町129-2	045-336-4633	
	瀬戸ヶ谷スポーツ会館(体)	瀬戸ヶ谷町71	045-712-2412	
	西谷地区センター(体)	西谷町918	045-371-3794	
	西谷体育施設(体野)	川島町522	045-371-0509	
	川辺公園(プ)	川辺町4-4	045-331-5768	
	ほどがや地区センター(体)	天王町1-21	045-333-0064	
	初音が丘地区センター(体)	藤塚町15-1	045-352-3992	
	公園	県立保土ヶ谷公園	花見台及び周辺	045-331-5321
		境木ふれあいの樹林	境木本町	045-948-2475
境木町公園		境木町92-4	045-311-2016	
横浜市児童遊園地		狩場町213	045-311-2016	
上菅田東部公園多目的広場		上菅田町547	045-311-2016	
常盤公園		常盤台42	045-311-2016	
新井町公園		新井町99-2	045-311-2016	
今井の丘公園		新桜ヶ丘一丁目42番	045-311-2016	
川島町公園		川島町825-1	045-311-2016	
仏向矢シ塚公園		仏向町614-2	045-311-2016	

横浜市 金沢区

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	釜利谷地区センター	釜利谷南1-2-1	045-786-2193
	能見台地区センター	能見台東2番1号	045-787-0080
	富岡並木地区センター	富岡東4-13-2	045-775-3692
	六浦地区センター	六浦5-20-2	045-788-4640
	横浜市長浜ホール	長浜114-4	045-782-7371
	鳥浜振興会館	鳥浜町16-6	045-774-4852
	金沢地区センター	泥亀2-14-5	045-784-5860
	金沢公会堂	泥亀2-9-1	045-788-7890
	横浜市金沢産業振興センター	福浦1-5-2	045-782-9700
	スポーツ	釜利谷地区センター(体)	釜利谷南1-2-1
能見台地区センター(体)		能見台東2番1号	045-787-0080
富岡並木地区センター(体)		富岡東4-13-2	045-775-3692
六浦地区センター(体)		六浦5-20-2	045-788-4640
金沢海の公園(グ)		海の公園10	045-701-3200
リネツ金沢(プ)		幸浦2-7-1	045-789-2181
横浜市立大学温水プール(プ)		瀬戸22-2	045-786-0199
金沢スポーツセンター(体)		長浜106-8	045-785-3000
長浜公園(野グ)		長浜町106-6	045-782-8004
鳥浜振興会館(体)		鳥浜町16-6	045-774-4852
金沢地区センター(体グ)		泥亀2-14-5	045-784-5860
富岡西公園(野)		富岡西6-3	045-775-2714
富岡総合公園(グ弓)		富岡東2-9	045-773-9873
富岡八幡公園(プ)		富岡東4-12-1	045-774-2379
横浜市金沢産業振興センター(体野)		福浦1-5-2	045-782-9700
野島公園(野キ)		野島24-1	045-781-8146
六浦スポーツ会館(体グ)		六浦南5-19-2	045-785-3328
横浜・八景島シーパラダイス		八景島	045-788-8888
公園		関ヶ谷市民の森	釜利谷西
	釜利谷市民の森	釜利谷町	045-831-8484
	称名寺市民の森	金沢町、谷津町	045-831-8484
	海の公園	海の公園10	045-831-8484
	草舞台公園	釜利谷西五丁目29	045-781-2511
	釜利谷五号緑地	釜利谷西六丁目41	045-781-2511
	釜利谷七号緑地	釜利谷町1627-2	045-781-2511
	釜利谷緑道	釜利谷町2228-4	045-781-2511
	釜利谷二号緑地	釜利谷町2253-2	045-781-2511
	釜利谷三号緑地	釜利谷町2276-1	045-781-2511

公園	金沢自然公園	釜利谷東五丁目15-1	045-831-8484
	釜利谷六号緑地	釜利谷南三丁目22	045-781-2511
	白山道奥公園	釜利谷南二丁目58	045-781-2511
	釜利谷南公園	釜利谷南二丁目6	045-781-2511
	まつかぜ公園	寺前二丁目27	045-781-2511
	長浜公園	長浜106-6	045-831-8484
	長浜野口記念公園	長浜94-1	045-831-8484
	六浦大道公園	東朝比奈一丁目26	045-781-2511
	能見台北公園	能見台一丁目42-1	045-781-2511
	能見台東公園	能見台五丁目11-1	045-781-2511
	能見台中央公園	能見台三丁目50-1	045-781-2511
	能見堂緑地	能見台森185-4	045-781-2511
	能見台堀口北公園	能見台東6	045-781-2511
	堀口西公園	能見台東9	045-781-2511
	釜利谷ひろば公園	能見台六丁目37	045-781-2511
	阿王ヶ台公園	能見台六丁目9-1	045-781-2511
	富岡公園	富岡西一丁目46	045-781-2511
	富岡西公園	富岡西六丁目3	045-831-8484
	富岡八幡公園	富岡東四丁目12	045-781-2511
	富岡総合公園	富岡東二丁目9	045-831-8484
長浜緑地	富岡東六丁目29	045-781-2511	
金沢緑地	並木一丁目1	045-831-8484	
小柴崎緑道	並木三丁目13	045-781-2511	
野島公園	野島町24	045-831-8484	
宿泊	野島青少年研修センター	野島町24-2	045-782-9169

横浜市 港北区

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	菊名地区センター	菊名6-18-10	045-421-1214	
	綱島地区センター	綱島西1-14-26	045-545-4578	
	篠原地区センター	篠原東2-15-27	045-423-9030	
	横浜市スポーツ医科学センター	小机町3302-5	045-477-5050	
	横浜アリーナ	新横浜3-10	045-474-4000	
	新田地区センター	新吉田町3236	045-591-0777	
	横浜市大倉山記念館	太尾町706	045-544-1881	
	港北公会堂	大豆戸町26-1	045-540-2400	
	障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール	鳥山町1752	045-475-2001	
	日吉地区センター	日吉本町1-11-13	045-561-6767	
	城郷小机地区センター	小机町2484-4	045-472-1331	
	スポーツ	県立武道館(柔剣弓)	岸根町725	045-491-4321
		岸根公園(野)	岸根町725-1	045-311-2016
菊名池公園(ブ)		菊名1-8-1	045-431-6921	
菊名地区センター(体)		菊名6-18-10	045-421-1214	
綱島地区センター(体)		綱島西1-14-26	045-545-4578	
綱島公園(ブ)		綱島台1-1	045-531-9021	
篠原地区センター(体)		篠原東2-15-27	045-423-9030	
小机スポーツ会館(体)		小机町1800-1	045-471-0050	
日産スタジアム・日産フィールド小机(グ)		小机町3300	045-477-5000	
日産ウォーターパーク(ブ)		小机町3302-5	045-477-5040	
横浜アリーナ(体)		新横浜3-10	045-474-4000	
新田地区センター(体)		新吉田町3236	045-591-0777	
太尾公園(野)		太尾町1900	045-540-2238	
港北スポーツセンター(体)		大豆戸町518-1	045-544-2636	
鶴見川樽町公園運動広場		樽町2-753地先	045-540-2238	
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール(体ブ)		鳥山町1752	045-475-2001	
日吉地区センター(体)		日吉本町1-11-13	045-561-6767	
新横浜少年野球場(野)		新横浜2丁目	045-540-2238	
城郷小机地区センター(体)		小机町2484-4	045-472-1331	

公園	綱島市民の森	綱島台	045-311-2016
	熊野神社市民の森	師岡町、樽町	045-311-2016
	篠原園地	篠原台	045-331-6755
	小机城址市民の森	小机町	045-311-2016
	岸根公園	岸根町725	045-531-7361
	菊名池公園	菊名一丁目8-1	045-531-7361
	綱島公園	綱島台1	045-531-7361
	師岡町公園	師岡町401-2	045-531-7361
	新横浜公園	小机町3300	045-531-7361
	新羽丘陵公園	新羽町1491-1	045-531-7361
	新田緑道	新羽町2097	045-531-7361
	新横浜駅前公園	新横浜二丁目16-1	045-531-7361
	太尾堤緑道	太尾町1805	045-531-7361
	太尾公園	太尾町1805	045-531-7361
	大倉山公園	太尾町706	045-531-7361
	太尾見晴らしの丘公園	大曾根台6-1	045-531-7361
	鶴見川樽町公園	樽町二丁目753地先	045-531-7361
	日吉公園	日吉二丁目31	045-531-7361
	日吉本町鯛ヶ崎公園	日吉本町五丁目62	045-531-7361
	日吉の丘公園	箕輪町三丁目13	045-531-7361

横浜市 青葉区

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	山内地区センター	あざみ野2-3-2	045-901-8010
	大場みすずが丘地区センター	みすずが丘23-2	045-974-0861
	青葉区区民活動支援センター	田奈町76	045-989-5265
	青葉公会堂	市ヶ尾町31-4	045-978-2400
	若草台地区センター	若草台20-5	045-961-0811
	青葉区民文化センター フィリアホール	青葉台2-1-1	045-985-8555
	藤が丘地区センター	藤が丘1-14-95	045-972-7021
	奈良地区センター	奈良町1843-11	045-963-5380
	美しが丘西地区センター	美しが丘西3-60-15	045-903-9204
	児童野外活動センターこどもの杜	みたけ台26-17	045-972-7700

横浜市 青葉区

種別	名称	住所	問い合わせ先
スポーツ	美しが丘公園(野)	美しが丘2-22	045-971-2300
	山内地区センター(体)	あざみ野2-3-2	045-901-8010
	大場みずすが丘地区センター(体)	みずすが丘23-2	045-947-0861
	青葉スポーツ広場(グ野)	下谷本町24-1	045-975-2367
	青葉スポーツセンター(体)	市ヶ尾町31-4	045-974-4225
	若草台地区センター(体)	若草台20-5	045-961-0811
	新石川スポーツ会館(体)	新石川3-1346-2	045-911-9870
	千草台公園プール(プ)	千草台17-1	045-973-5400
	くろがね青少年野外活動センター(キグ)	鉄町1380	045-973-2701
	藤が丘地区センター(体)	藤が丘1-14-95	045-972-7021
	奈良地区センター(体)	奈良町1843-11	045-963-5380
	こどもの国(グブキ、アイススケート)	奈良町700	045-961-2111
	美しが丘西地区センター(体)	美しが丘西3-60-15	045-903-9204
	こどもの国	奈良町700	045-961-2111
公園	もえぎ野ふれあいの樹林	もえぎ野	045-948-2475
	寺家ふるさとの森	寺家町	045-948-2475
	寺家ふるさと村	寺家町	045-962-7414
	あかね台鍛冶谷公園	あかね台一丁目14-2	045-971-2300
	あざみ野西公園	あざみ野三丁目15-1	045-971-2300
	赤田東公園	あざみ野南一丁目4-1	045-971-2300
	赤田西公園	あざみ野南三丁目1-1	045-971-2300
	あざみ野東公園	あざみ野二丁目25	045-971-2300
	嶮山公園	すすき野一丁目11-1	045-971-2300
	すすき野二丁目公園	すすき野二丁目5-2	045-971-2300
	たちばな台公園	たちばな台一丁目4-2	045-971-2300
	みたけ台公園	みたけ台42	045-971-2300
	もえぎ野公園	えぎ野7-1	045-971-2300
	荇子田公園	荇子田一丁目13-3	045-971-2300
	荇田富士塚公園	荇田西一丁目4-2	045-971-2300
	泉田向公園	荇田西四丁目8-1	045-971-2300
	小黒公園	荇田北二丁目19-1	045-971-2300
	鴨志田公園	鴨志田町538-1	045-971-2300
	桂台公園	桂台一丁目7	045-971-2300
	桜台公園	桜台42	045-971-2300
	市ヶ尾町公園	市ヶ尾町1069	045-971-2300
	泉天ヶ谷公園	市ヶ尾町490	045-971-2300
	新石川公園	新石川二丁目12-1	045-971-2300

公園	千草台公園	千草台17-1	045-971-2300
	大場かやのき公園	大場町380-2	045-971-2300
	藤が丘公園	藤が丘二丁目18	045-971-2300
	奈良山公園	奈良一丁目4-1	045-971-2300
	山内公園	美しが丘四丁目18	045-971-2300
	保木公園	美しが丘西三丁目65-1	045-971-2300
	美しが丘公園	美しが丘二丁目22	045-971-2300
宿泊	くろがね青少年野外活動センター	鉄町1380	045-973-2701

横浜市 泉区

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	上飯田地区センター	上飯田町3913-1	045-805-5188
	立場地区センター	中田北1-9-14	045-801-5201
	下和泉地区センター	和泉町1929-6	045-805-0026
	中川地区センター	桂坂4-1	045-813-3984
	泉区民文化センター テアトルフォンテ	和泉町3511-9	045-805-4000
スポーツ	泉公会堂	和泉町4636-2	045-800-2470
	上飯田地区センター(体)	上飯田町3913-1	045-805-5188
	立場地区センター(体)	中田北1-9-14	045-801-5201
	下和泉地区センター(体)	和泉町1929-6	045-805-0026
	中川地区センター(体)	桂坂4-1	045-813-3984
	上飯田西公園プール(プ)(夏季のみ)	上飯田町2751	045-804-7077
	泉スポーツセンター(体弓)	西が岡3-11	045-813-7461
	中田中央公園(野)	中田町2989	045-805-0511
	しらゆり公園(プ)(夏季のみ)	中田東1-41	045-803-2061
	公園	泉の森ふれあい樹林	岡津町
鯉ヶ久保ふれあいの樹林		中田町	045-866-8497
中田ふれあいの樹林		中田町	
新橋天神の森公園		新橋町1277-2	
西が岡公園		西が岡一丁目1-1	泉土木事務所
しらゆり公園		中田東一丁目41	045-800-2536
領家公園		領家一丁目11	
緑園東公園		緑園五丁目1	
泉中央公園		和泉町3026-1	
いずみ台公園		和泉町6209-1	
和泉川・地蔵原の水辺		和泉町	
天王森泉公園		和泉町308-1	045-831-8484
中田中央公園		中田町2989	045-831-8484

横浜市 都筑区

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	都筑地区センター	葛が谷2-1	045-941-8380
	都筑公会堂	茅ヶ崎中央32-1	045-948-2400
	中川西地区センター	中川2-8-1	045-912-6973
	仲町台地区センター	仲町台2-7-2	045-943-9191
	北山田地区センター	北山田2-25-1	045-593-8200
スポーツ	都筑地区センター(体)	葛が谷2-1	045-941-8380
	都筑プール(プ)	葛が谷2-2	045-941-8385
	茅ヶ崎公園プール(プ)	茅ヶ崎南1-4	045-476-6011
	大熊スポーツ会館(体)	大熊町310	045-941-9880
	中川西地区センター(体)	中川2-8-1	045-912-6973
	山崎公園プール(プ)	中川4-19	045-476-6010
	仲町台地区センター(体)	仲町台2-7-2	045-943-9191
	東山田スポーツ会館(体)	東山田町105-2	045-593-4682
	都田公園(グ)	二の丸14	045-311-2016
	北山田地区センター(体)	北山田2-25-1	045-593-8200
	横浜国際プール(プ体)	北山田7-3-1	045-592-0453
公園	茅ヶ崎公園	茅ヶ崎南1-4	045-942-0606
	山崎公園	中川4-19	045-942-0606
	都田公園	二の丸14	045-311-2016
	すみれが丘公園	すみれが丘22-1	045-942-0606
	ささぶねのみち	荏田東三丁目21	045-942-0606
	都筑中央公園	荏田東四丁目10	045-311-2016
	鴨池公園	荏田南一丁目18	045-942-0606
	折田不動公園	荏田南四丁目9	045-942-0606
	牛ヶ谷公園	荏田南二丁目27	045-942-0606
	月出松公園	加賀原一丁目4	045-942-0606
	ゆうばえのみち	加賀原一丁目49	045-942-0606
	茅ヶ崎公園	茅ヶ崎南一丁目4	045-942-0606
	大原みねみち公園	茅ヶ崎南四丁目7	045-942-0606
	牛久保公園	牛久保一丁目24	045-942-0606
	牛久保西公園	牛久保西二丁目28	045-942-0606
	佐江戸公園	佐江戸町276	045-942-0606
	せせらぎ公園	勝田南一丁目20	045-942-0606
	せきれいのみち	新栄町18	045-942-0606
	早淵公園	早淵二丁目6	045-942-0606
	大塚・歳勝土遺跡公園	大塚西1	045-311-2016
	山崎公園	中川四丁目19	045-942-0606

公園	中川八幡山公園	中川七丁目13	045-942-0606
	宿之入公園	中川二丁目2	045-942-0606
	烏山公園	中川二丁目7	045-942-0606
	葛ヶ谷公園	長坂15	045-942-0606
	ふじやとのみち	東山田一丁目7	045-942-0606
	東山田公園	東山田二丁目21	045-942-0606
	東方公園	東方町2444-1	045-942-0606
	徳生公園	南山田一丁目5	045-942-0606
	都田公園	二の丸14	045-942-0606
	川和富士公園	富士見が丘20	045-942-0606
	山田富士公園	北山田一丁目4	045-942-0606
	神無公園	北山田三丁目22	045-942-0606
	くさぶえのみち	北山田四丁目27	045-942-0606
	滝ヶ谷公園	北山田二丁目20	045-942-0606

横浜市 瀬谷区

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	阿久和地区センター	阿久和南2-9-2	045-365-9072
	中屋敷地区センター	中屋敷2-18-6	045-304-3100
	瀬谷地区センター	瀬谷3-18-1	045-303-4400
	瀬谷公会堂	二ツ橋町190	045-367-5770
	スポーツ	阿久和地区センター(体)	阿久和南2-9-2
中屋敷地区センター(体)		中屋敷2-18-6	045-304-3100
宮沢町第二公園(プ)		宮沢1-58	045-303-3455
瀬谷地区センター(体)		瀬谷町3-18-1	045-303-4400
上瀬谷球場(野)		瀬谷町6033	045-367-5696
瀬谷スポーツセンター(体)		南台2-4-65	045-302-3301
瀬谷本郷公園(野)		本郷1-70-3	045-304-3633
公園		瀬谷貉窪公園	阿久和西三丁目52-6
	長屋門公園	阿久和東一丁目17-1	045-364-1105
	阿久和大久保原公園	阿久和南二丁目21-9	045-364-1105
	宮沢ふれあい樹林	宮沢町	045-831-8484
	東山ふれあい樹林	宮沢町	045-831-8484
	瀬谷市民の森	瀬谷町、東野台	045-831-8484
	南台こどものもり公園	南台二丁目3-20	045-364-1105
	二ツ橋南公園	二ツ橋町37-4	045-364-1105
	瀬谷本郷公園	本郷一丁目70-2	045-831-8484
	瀬谷中央公園	本郷二丁目28-4	045-364-1105

横浜市 戸塚区

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	踊場地区センター	汲沢2-23-1	045-866-0100
	大正地区センター	原宿3-59-1	045-852-4111
	戸塚地区センター	戸塚町127	045-862-9314
	戸塚公会堂	戸塚町127	045-862-3334
	フォーラム(男女共同参画センター横浜)	上倉田町435-1	045-862-5050
	上矢部地区センター	上矢部町2342	045-812-9494
	東戸塚地区センター	川上町4-4	045-825-1161
	舞岡地区センター	舞岡町3020-1	045-824-1915
スポーツ	踊場地区センター(体)	汲沢2-23-1	045-866-0100
	大正地区センター(体)	原宿3-59-1	045-852-4111
	大坂下公園プール(プ)	戸塚町2974-1	045-881-3870
	小雀公園(グ)	小雀町2470	045-853-1945
	戸塚スポーツセンター(体弓)	上倉田町477	045-862-2181
	上矢部地区センター(体)	上矢部町2342	045-812-9494
	東戸塚地区センター(体)	川上町4-4	045-825-1161
	東俣野中央公園(グ)	東俣野町864	045-852-5432
舞岡地区センター(体)	舞岡町3020-1	045-824-1915	
公園	影取北公園	影取町251	045-881-1621
	豊田中央公園	下倉田町761 - 1	045-881-1621
	まさかりが淵市民の森	汲沢町	045-831-8484
	踊場公園	汲沢八丁目11	045-881-1621
	戸塚公園	戸塚町2420-2	045-881-1621
	宮谷西公園	戸塚町3240	045-881-1621
	小雀公園	小雀町2470	045-831-8484
	上品濃公園	上品濃6	045-881-1621
	上矢部ふれあいの樹林	上矢部町	045-831-8484
	上矢部坂本公園	上矢部町3043 - 9	045-881-1621
	戸塚西公園	深谷町984-6	045-881-1621
	東俣野中央公園	東俣野町864	045-831-8484
	品濃中央公園	品濃町552	045-881-1621
	舞岡ふるさとの森	舞岡町	045-831-8484
	舞岡ふるさと村	舞岡町	045-826-0700
	舞岡公園	舞岡町1703	045-831-8484
	舞岡下谷公園	舞岡町645-8	045-881-1621
	三王山公園	平戸三丁目21	045-881-1621
	川上公園	平戸町394 - 2	045-881-1621
	ウイトリッヒの森	俣野町	045-831-8484

公園	谷矢部池公園	矢部町1996	045-881-1621
----	--------	---------	--------------

横浜市 南区

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	永田地区センター	永田台45-1	045-714-9751
	南公会堂	花之木町3-48-1	045-743-8187
	吉野町市民プラザ	吉野町5-26	045-243-9261
	大岡地区センター	大岡1-14-1	045-743-2411
	横浜市婦人会館	南太田1-7-20	045-714-5911
	南地区センター	南太田2-32-1	045-741-8812
	中村地区センター	中村町4-270	045-251-0130
	横浜青年館	睦町1-15-15	045-711-9610
スポーツ	藤田公園(グ)	宿町一丁目1	045-731-4367
	永田地区センター(体)	永田台45-1	045-714-9751
	弘明寺公園(プ)	弘明寺327	045-721-5948
	清水ヶ丘公園(体 プグ野)	清水ヶ丘87-2	045-253-3888
	大岡地区センター(体)	大岡1-14-1	045-743-2411
	南スポーツセンター(体)	大岡1-14-1	045-743-6341
	中村公園(プ)	中村町4-269-2	045-261-3958
	横浜市婦人会館(体)	南太田1-7-20	045-714-5911
公園	南地区センター(体)	南太田2-32-1	045-741-8812
	六ッ川スポーツ会館(体)	六ッ川2-112-1	045-713-4803
	永田みなみ台公園	永田みなみ台4	045-711-7802
	弘明寺公園	弘明寺町244 - 5	045-711-7802
	阪東橋公園	高根町四丁目23	045-711-7802
	藤田公園	宿町一丁目1	045-711-7802
	清水ヶ丘公園	清水ヶ丘73 - 1	045-711-7802
	南太田四丁目公園	南太田四丁目15	045-711-7802
	六ッ川中央公園	六ッ川一丁目409	045-711-7802
	唐沢公園	唐沢40-1	045-711-7802
横浜市こども植物園	六ッ川三丁目122	045-711-7802	

横浜市 栄区

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	栄区生涯学習支援センター	桂町301	045-894-9900	
	栄公会堂	桂町279-29	045-894-9901	
	本郷地区センター	桂町301	045-892-5310	
	栄区民文化センター リリス	小菅ヶ谷1-2-1	045-896-2000	
	地球市民かながわプラザ「あーすぷらざ」	小菅ヶ谷1-2-1	045-896-2121	
	豊田地区センター	飯島町1368-1	045-895-1390	
	上郷森の家	上郷町1499-1	045-895-5151	
	本郷小コミュニティハウス	中野町16-1	045-895-5588	
	矢沢小コミュニティハウス	桂台南2-34-1	045-895-1037	
	庄戸中コミュニティハウス	庄戸3-1-1	045-890-1877	
	スポーツ	金井公園(野)	金井町315-2	045-851-8333
栄スポーツセンター(体)		桂町279-29	045-894-9503	
本郷地区センター(体)		桂町301	045-892-5310	
豊田地区センター(体)		飯島町1368-1	045-895-1390	
栄プール(プ)		野七里2-21-1	045-891-2110	
上郷森の家(体)		上郷町1499-1	045-895-5151	
上郷森の家(野外炊飯)		上郷町1499-1	045-895-5151	
本郷ふじやま公園(弓道場)		中野町56	045-893-1399	
千秀センター(グ)(野外炊飯)	田谷町1662	045-851-6850		
公園	桂山公園こどもログハウス	区桂台中16-1	045-893-2622	
	笠間中央公園	笠間二丁目26	045-895-1411	
	金井公園	金井町315-2	045-851-8333	
	桂山公園	桂台中16	045-895-1411	
	いの山東公園	犬山町11	045-895-1411	
	荒井沢市民の森	公田町	045-831-8484	
	横浜自然観察の森	上郷町1562-1	045-894-7474	
	上郷市民の森	上郷町	045-831-8484	
	瀬上市民の森	上郷町	045-831-8484	
	上郷七号緑地	上郷町1216-332	045-895-1411	
	上郷九号緑地	上郷町1230-510	045-895-1411	
	上郷五号緑地	上郷町1431-2	045-895-1411	
	本郷ふじやま公園	中野町56-1	045-895-1411	
	本郷ふじやま公園古民家	鍛冶ヶ谷1-20	045-896-0590	
	飯島市民の森	飯島町	045-831-8484	
	飯島南公園	飯島町1879-19	045-895-1411	
	本郷中央公園	本郷台一丁目14	045-895-1411	
	宿泊	上郷森の家	上郷町1499-1	045-895-5151

横浜市 緑区

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	緑公会堂	寺山町118	045-930-2400
	十日市場地区センター	十日市場町808-3	045-981-9573
	中山地区センター	中山町413-4	045-935-1982
	長津田地区センター	長津田町2327	045-983-4445
スポーツ	白山地区センター	白山1-2-1	045-935-0326
	長坂谷公園(野グ)	寺山町745-1	045-934-5045
	十日市場スポーツ会館(体)	十日市場1633	045-983-9490
	十日市場地区センター(体)	十日市場町808-3	045-981-9573
	緑スポーツセンター(体)	中山町329-25	045-932-0733
	中山地区センター(体)	中山町413-4	045-935-1982
	長津田地区センター(体)	長津田町2327	045-983-4445
	白山地区センター(体)	白山1-2-1	045-935-0326
公園	三保市民の森	三保町	045-311-2016
	県立四季の森公園	寺山町291	045-931-7910
	上山ふれあいの樹林	上山町	045-311-2016
	新治市民の森	新治町	045-311-2016
	三保西公園	三保町390	045-981-2100
	三保念珠坂公園	三保町930-8	045-981-2100
	長坂谷公園	寺山町745-1	045-311-2016
	上山町公園	上山二丁目42	045-981-2100
	竹山中公園	竹山三丁目1-1	045-981-2100
	竹山南公園	竹山四丁目5-2	045-981-2100
	東本郷公園	東本郷四丁目27	045-981-2100
	北八朔公園	北八朔町2071	045-311-2016
	霧が丘公園	霧が丘五丁目24	045-981-2100
	萱場公園	霧が丘三丁目19	045-981-2100

公園を主管している緑地事務所の担当区と電話番号は以下の通りです。

- 北部公園緑地事務所 045-311-2016  
鶴見、神奈川、保土ヶ谷、旭、港北、緑、青葉、都筑 各区
- 南部公園緑地事務所 045-831-8484  
南、港南、磯子、金沢、戸塚、栄、泉、瀬谷 各区
- 都市部公園担当(仮称) 045-671-3648  
西、中 各区

## 川崎市 川崎区

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	教育文化会館田島分館	追分町16-1	044-333-9120	
	教育文化会館大師分館	大師駅前1-1-5	044-266-3550	
	川崎市ふれあい館	桜本1-5-6	044-276-4800	
	サンライフ川崎	渡田新町3-2-1	044-344-1777	
	教育文化会館	富士見2-1-3	044-233-6361	
	日進町こども文化センター	日進町5-1( 5)	044-211-3181	
	大師こども文化センター	大師公園1-4	044-266-8874	
	藤崎こども文化センター	藤崎4-17-6	044-222-7711	
	田島こども文化センター	田島町20-23	044-366-2806	
	殿町こども文化センター	殿町1-18-13	044-277-7660	
	渡田こども文化センター	渡田1-15-5	044-344-7425	
	浅田こども文化センター	浅田3-7-10	044-366-0271	
	桜本こども文化センター	桜本1-5-6( 6)	044-276-4800	
	小田こども文化センター	小田2-16-9	044-355-3754	
	旭町こども文化センター	旭町2-1-5	044-222-1451	
スポーツ	入江崎余熱利用プール(プ)	塩浜3-24-12	044-266-2156	
	桜川公園(野)	桜本1-14-3	044-222-5494	
	小田公園(野プ)	小田4-20-38	044-222-5494	
	大師公園(グ野プ)	大師公園1	044-222-5495	
	多摩川緑地(野)	大師川原	044-222-5494	
	池上新田公園(野)	池上町1-4	044-222-5494	
	多摩川緑地(野)	中瀬	044-222-5494	
	ヨネッティー堤根(プ)	堤根73-1	044-555-5491	
	サンライフ川崎(体)	渡田新町3-2-1	044-344-1777	
	川崎市体育館(体)	富士見1-1-4	044-200-3255	
	富士見公園(野プグ弓)	富士見1-1-6	044-222-5494	
	川崎球場(野)	富士見2	044-244-2931	
	多摩川緑地(野)	鈴木町	044-222-5494	
	公園	桜川公園	桜本1-14-3	044-222-5494
		小田公園	小田4-20-38	044-222-5494
ちどり公園		千鳥町	044-200-3049	
大師公園		大師公園1	044-222-5495	
池上新田公園		池上町1-3	044-222-5495	
渡田新町公園		渡田新町1-5-1	044-222-5495	
富士見公園		富士見町1,2丁目他	044-222-5494	
浮島町公園		浮島町12-1	044-222-5494	

## 川崎市 幸区

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	幸市民館日吉分館	南加瀬1-7-17	044-587-1491
	川崎市幸市民館	戸手本町1-11-2	044-541-3910
	ミュージア川崎シンフォニーホール	大宮町1310	044-520-0100
	幸こども文化センター	戸手本町1-11-5	044-544-1489
	南河原こども文化センター	都町74-2	044-511-4963
	小倉こども文化センター	小倉1630	044-599-4153
	南加瀬こども文化センター	南加瀬2-19-3	044-588-6567
	下平間こども文化センター	下平間70-1	044-544-2925
	北加瀬こども文化センター	北加瀬2-12-12	044-599-6848
	スポーツ	石川記念武道館(柔剣)	下平間375
多摩川緑地(野グ)		古市場地内	044-733-5740
幸市民館(体)		戸手本町1-11-2	044-541-3910
幸スポーツセンター(体)		戸手本町1-11-3	044-555-3011
多摩川緑地(野)		小向仲町地内	044-733-5740
小倉西公園(プ)		小倉1630	044-711-3257
御幸公園(野)		東古市場1	044-733-5740
公園	御幸公園	古市場1	044-722-2191
	南河原公園	都町74-2	044-722-2191
	夢見ヶ崎動物公園	南加瀬1-2-1	044-588-4030

5 日進町5-1(福祉センター内)

6 桜本1-5-6(ふれあい館内)

## 川崎市 中原区

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	教職員互助会館とどろき	宮内4-1-2	044-733-3333
	中原市民館	小杉町3-262-1	044-722-7171
	国際交流センター	木月祇園町2-2	044-435-7000
	エポックなかはら(中原会館)	上小田中6-22-5	044-722-0185
	生涯学習財団生涯学習プラザ	今井南町514-1	044-733-5560
	中小企業・婦人会館	新丸子東3-473-2	044-422-2525
	平間こども文化センター	上平間1323	044-522-8077
	玉川こども文化センター	市ノ坪464-2	044-433-8546
	新丸子こども文化センター	新丸子691-7	044-711-0368
	小杉こども文化センター	小杉町3-417	044-722-8290
	住吉こども文化センター	木月祇園町17-6	044-411-1749
	大戸こども文化センター	上小田中2-24-1	044-777-6580
	新城こども文化センター	下新城1-2-4	044-788-8055
	西加瀬こども文化センター	西加瀬5-5	044-434-6408
	井田こども文化センター	井田杉山町16-38	044-752-1260
	宮内こども文化センター	宮内3-4-3	044-752-6055
スポーツ	リハビリテーション福祉センター(体プグ)	井田3-16-1	044-788-1551
	教職員互助会館とどろき(体)	宮内4-1-2	044-733-3333
	中原市民館(体)	小杉町3-262-1	044-722-7171
	多摩川緑地(野)	上丸子山王町地内	044-733-5740
	多摩川緑地(野)	上丸子天神町地内	044-733-5740
	平間公園(プ)	上平間1298	044-522-9047
	多摩川緑地(野グ)	上平間地内	044-733-5740
	等々力緑地(野グプ)	等々力1	044-733-5740
とどろきアリーナ(体)	等々力1-3	044-798-5000	
公園	平間公園	上平間1298	044-522-9047
	等々力緑地	等々力1	044-733-5740
	中原平和公園	木月住吉町33-1	044-733-5740
宿泊	国際交流センター	木月祇園町2-2	044-435-7000

## 川崎市 高津区

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	大山街道ふるさと館	溝口3-13-3	044-813-4705	
	高津市民館橋分館	久末2012-1	044-788-1531	
	高津市民館	溝の口1-4-1	044-814-7603	
	男女共同参画センター(すくらむ21)	溝口2-20-1	044-813-0808	
	市民プラザ	新作1-19-1	044-888-3131	
	高津こども文化センター	溝口3-10-8	044-822-6429	
	上作延こども文化センター	上作延1142-4	044-865-1634	
	末長こども文化センター	末長1289	044-877-5540	
	子母口こども文化センター	子母口983	044-755-7771	
	二子こども文化センター	二子5-14-61	044-844-6818	
	梶ヶ谷こども文化センター	梶ヶ谷6-1-10	044-852-4542	
	東高津こども文化センター	下野毛1-3-2	044-813-0770	
	スポーツ	高津スポーツセンター(体)	二子3-15-1	044-813-6531
		多摩川緑地(野)	宇奈根地内	044-777-2332
		高津市民館(体)	溝口1-4-1	044-814-7603
		市民プラザ(体プ)	新作1-19-1	044-888-3131
多摩川緑地(野)		諏訪2丁目地内	044-777-2332	
多摩川緑地(野)		瀬田地内	044-777-2332	
多摩川緑地(野)		二子地内	044-777-2332	
多摩川緑地(グ)		北見方2丁目地内	044-777-2332	
公園	子ども夢パーク	下作延1500-6	044-811-2001	
	緑ヶ丘霊園	下作延1344	044-811-0013	
	梶ヶ谷第1公園	梶ヶ谷2-10	044-777-2551	
	橋公園	子母口565	044-777-2551	
宿泊	市民プラザ	新作1-19-1	044-888-3131	

川崎市 宮前区

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	宮前市民館	宮前平2-20-4	044-888-3911
	宮前市民館菅生分館	菅生5-4-11	044-977-4781
	宮崎こども文化センター	宮崎1-7	044-888-2755
	宮前平こども文化センター	宮崎6-2	044-855-1884
	野川こども文化センター	野川3182-1	044-788-2202
	有馬こども文化センター	有馬4-5-2	044-855-2166
	菅生こども文化センター	菅生ヶ丘13-2	044-976-0444
	平こども文化センター	平2-13-1	044-865-1032
	白幡台こども文化センター	白幡台1-13-1	044-977-8600
	蔵敷こども文化センター	菅生5-3-21	044-977-2577
スポーツ	青少年の家(ブキ)	宮崎105-1	044-888-3588
	宮前市民館(体)	宮前平2-20-4	044-888-3911
公園	県立東高根森林公園	神木本町2丁目	044-865-0801
宿泊	青少年の家	宮崎105-1	044-888-3588

川崎市 多摩区

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	青少年創作センター	三田2 - 3303 - 1	044-911-1510	
	多摩市民館	登戸1775 - 1	044-935-3333	
	日本民家園	枳形7 - 1 - 1	044-922-2181	
	青少年科学館	枳形7 - 1 - 2	044-922-4731	
	岡本太郎美術館	枳形7 - 1 - 5	044-900-9898	
	多摩福祉館こども文化センター	登戸1831-1	044-911-3404	
	錦ヶ丘こども文化センター	栗谷3-28-2	044-955-6232	
	菅こども文化センター	菅北浦3-11-1	044-944-0666	
	枳形こども文化センター	枳形6-3-1	044-911-5761	
	長尾こども文化センター	長尾1-12-7	044-932-1155	
	中野島こども文化センター	中野島4-22-7	044-932-0971	
	三田こども文化センター	三田3-7-4	044-934-2476	
	南菅こども文化センター	菅馬場3-26-1	044-945-8169	
	スポーツ	三田第一公園(野)	三田4-5	044-932-2871
		稲田公園(野ブ)	菅稲田堤2-9-1	044-932-2871
西菅公園(野)		菅北浦4-13	044-932-2871	
多摩川緑地(野)		菅野戸呂地内	044-932-2871	
多摩市民館(体)		登戸1775 - 1	044-935-3333	
南生田公園(野)		南生田1-8	044-932-2871	

公園	よみうりランド	菅仙谷4-1-1	044-966-1111
	緑化センター	宿河原6-14-1	044-911-2177
	稲田公園	菅稲田堤2-9-1	044-933-2511
	生田緑地	枳形6,7丁目他	044-933-2511

川崎市 麻生区

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	麻生市民館岡上分館	岡上286-1	044-988-0268	
	麻生市民館	万福寺1-5-2	044-951-1300	
	王禅寺こども文化センター	王禅寺東5-32-15	044-989-1601	
	百合丘こども文化センター	百合丘1-11-2	044-955-4445	
	片平こども文化センター	片平5-25-1	044-987-3877	
	東百合丘こども文化センター	東百合丘3-1-10	044-954-4493	
	白山こども文化センター	白山4-2-2	044-988-4931	
	千代ヶ丘こども文化センター	千代ヶ丘1-20-60	044-955-1535	
	虹ヶ丘こども文化センター	虹ヶ丘1-22-1	044-987-3654	
	麻生こども文化センター	上麻生4-32-2	044-954-4888	
	柿生こども文化センター	上麻生7-18-32	044-988-9891	
	岡上こども文化センター	岡上277	044-986-4389	
	スポーツ	ヨネッティー王禅寺(ブ)	王禅寺1321	044-951-3636
		王禅寺ふるさと公園(グ)	王禅寺528-1	044-933-2511
麻生市民館岡上分館(体)		岡上286-1	044-988-0268	
麻生スポーツセンター(体柔剣)		上麻生3-6-1	044-951-1234	
麻生市民館(体)		万福寺1-5-2	044-951-1300	
とんびいけテニスコート		万福寺1-5-2	044-951-1300	
とんびいけ球場(野)		栗木台3-1-1	044-932-2871	
虹ヶ丘球場(野)		虹ヶ丘1-21-1	044-932-2871	
片平球場(野)		片平5-27-1	044-932-2871	
公園		王禅寺ふるさと公園	王禅寺528-1	044-933-2511
宿泊	黒川青少年野外活動センター	黒川313-9	044-986-2511	

横須賀・三浦地区 横須賀市

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	安浦地域自治活動センター	安浦町2-33	046-821-1261
	はまゆう会館	衣笠栄町1-47	046-852-1166
	浦賀公民館	浦賀町5-3	046-841-4184
	浦賀文化センター	浦賀町7-1	046-842-4121
	追浜文化センター	夏島町12	046-866-0518
	追浜公民館	夏島町9	046-865-1145
	鴨居地域自治活動センター	鴨居3-11-12	046-841-1042
	岩戸地域自治活動センター	岩戸1-10-18	046-847-0134
	久里浜市民活動サポートセンター	久里浜4-4-10	046-837-3300
	久里浜公民館	久里浜6-14-2	046-834-1471
	衣笠公民館	公郷町2-11	046-852-3596
	坂本地域自治活動センター	坂本町2-26	046-823-5993
	三春地域自治活動センター	三春町2-12	046-824-3066
	青少年会館	深田台37	046-823-7630
	文化会館	深田台50	046-823-7631
	生涯学習センター	西逸見町1-38-11	046-823-7632
	田浦公民館	船越町6-77	046-823-7633
	大津公民館	大津町3-18-13	046-823-7634
	池上地域自治活動センター	池上4-6-1	046-823-7635
	農業研修センター(あぐりこ長井)	長井5-16-5	046-823-7636
	長浦地域自治活動センター	長浦町2-45	046-823-7637
	西公民館	長坂1-2-2	046-823-7638
	北下浦地域自治活動センター	長沢2-6-40	046-823-7639
	北下浦公民館	長沢2-7-7	046-823-7640
	万代会館	津久井2-15-33	046-823-7641
	追浜市民活動サポートセンター	追浜本町1-28-5	046-823-7642
	逸見公民館	東逸見町2-29	046-823-7643
	ヴェルクよこすか(勤労福祉会館)	日の出町1-5	046-823-7644
	婦人会館	馬堀町1-6-3	046-823-7645
	武山地域自治活動センター	武3-5-1	046-823-7646
	本町地域自治活動センター	本町2-1	046-823-7647
	産業交流プラザ	本町3-27	046-823-7648
	市民活動サポートセンター	本町3-27	046-823-7649
	横須賀芸術劇場	本町3-27	046-823-7650
	追浜みんなの家	鷹取町1-1-3	046-823-7651
	逸見みんなの家	西逸見町1-38-11	046-823-7652
	坂本みんなの家	坂本町1-19	046-823-7653

公民館	本公郷みんなの家	公郷町2-22	046-853-2571
	森崎みんなの家	森崎3-8-2	046-836-0224
	浦賀みんなの家	浦賀町3-60	046-841-6660
	大津みんなの家	大津町5-4-2	046-825-1195
	鴨居みんなの家	鴨居1-19-21	046-843-7800
	久里浜みんなの家	久里浜6-13-1	046-835-2515
	北下浦みんなの家	長沢2-6-40( 7)	046-847-3906
	大楠みんなの家	芦名2-30-4	046-856-8004
	衣笠みんなの家	衣笠栄町3-1	046-851-2532
	池上みんなの家	池上4-6-1	046-853-1288
	武山みんなの家	武3-5-1( 8)	046-857-1601
	追浜公園(野)	夏島町2	046-865-3307
	平成町運動場(グ)	平成町3-2	046-822-8493
スポーツ	浦賀水泳プール(プ)	浦賀7-1	046-841-2602
	横須賀スタジアム(野)	夏島町2	046-865-3307
	北体育会館(体プ)	夏島町2	046-865-9333
	鴨居水泳プール(プ)	鴨居3-1-1	046-841-4011
	久里浜水泳プール(プ)	久里浜6-11-1	046-833-0144
	南体育会館(体)	久里浜6-14-1	046-835-0780
	根岸水泳プール(プ)	根岸町3-17	046-833-0142
	鷹取水泳プール(プ)	湘南鷹取5-20-1	046-865-8875
	くりはま花の国(プ)	神明町1821-12	046-835-7754
	大津公園(野グ)	大津町5-11	046-823-1550
	富浦水泳プール(プ)	長井町1-29-10	046-856-9841
	田の浦水泳プール(プ)	長浦町1-20	046-827-3917
	西体育会館(体)	長坂1-2-3	046-856-8199
	長沢村岡水泳プール(プ)	長沢1-57-1	046-848-0199
	田浦青少年自然の家(日帰りキャンプ)	田浦大作町33	046-861-2702
	馬堀水泳プール(プ)	馬堀海岸2-39-1	046-843-2981
	横須賀アリーナ・総合体育会館(体柔剣ブ)	不入斗町1-2	046-826-2800
	不入斗公園(体野プグ弓)	不入斗町1-2	046-823-9360
	はまゆう公園(グ)	不入斗町4-25	046-826-2874
	西公園(野)	武3-550	046-857-6022
	衣笠公園(野)	平作1-2740	046-851-0947
平作水泳プール(プ)	平作7-5-1	046-853-4480	

7 北下浦市民プラザ内

8 武山市民プラザ内

横須賀・三浦地区 横須賀市

種別	名称	住所	問い合わせ先
公園	しょうぶ園	阿部倉18-1	046-853-3688
	大楠山	芦名3丁目	046-856-3157
	三笠公園	稲岡町82	046-824-6291
	追浜・トンボの王国	浦郷町5-2931	046-865-3321
	猿島公園	猿島1	046-825-7144
	追浜公園	夏島町2	046-865-3307
	県立観音崎公園	9	046-843-8316
	観音埼灯台	鴨居4-1187	046-841-0311
	ペリー公園	久里浜7-14	046-834-7531
	光の丘水辺公園	光の丘1177	046-849-7650
	光の丘公園	光の丘3752	046-849-9120
	根岸公園(交通公園)	根岸町3-17	046-836-1560
	下町・トンボの王国	三春町2-1	046-823-5821
	ヴェルニー公園	汐入町1-1	046-824-1800
	衣笠山公園	小矢部4-922	046-853-8523
	湘南国際村西公園	湘南国際村1-3509	046-858-0779
	中央公園	深田台19	046-822-8333
	くりはま花の国	神明町1	046-833-8282
	県立塚山公園	西逸見町及び周辺	046-853-8800
	愛宕山公園	西浦賀町1-23	046-822-8333
	陸軍棧橋(西浦賀みなと緑地)	西浦賀町1	046-822-8436
	走水ボードウォーク	走水2	046-822-8436
	太田和緑地	太田和5-2638	046-822-8333
	大津公園	大津町5-11	046-823-1550
	荒崎公園	長井6	046-822-9799
	田浦梅の里	田浦大作町	046-861-5945
	不入斗公園	不入斗町1-2	046-823-9360
	はまゆう公園	不入斗町4-25	046-826-2874
	武山	武1	046-822-8301
	西公園	武3-550	046-857-6022
	衣笠公園	平作1-2737	046-851-0947
	海辺つり公園	平成町3-1	046-822-4022
	うみかぜ公園	平成町3-23	046-822-9799
	北下浦海岸	野比、長沢、津久井	046-822-8301
	長井海の手公園(ソレイユの丘)	長井4	046-857-2500
	宿泊	観音崎青少年の村	鴨居4-1262

横須賀・三浦地区 鎌倉市

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	玉縄学習センター	岡本2-16-3	0467-44-2219	
	腰越学習センター	腰越864	0467-33-0712	
	レイ・ウェル鎌倉	小袋谷2-14-14	0467-47-1771	
	鎌倉生涯学習センター	小町1-10-5	0467-25-2030	
	深沢学習センター	常盤111-3	0467-48-0023	
	大船学習センター	大船2-1-26	0467-45-7712	
	鎌倉芸術館	大船6-1-2	0467-48-5500	
	鎌倉青少年会館	二階堂912-1	0467-23-7530	
	玉縄青少年会館	玉縄1-2-1	0467-44-0480	
	*子ども会館が13施設			
	スポーツ	鎌倉海浜公園水泳プール(プ)	坂ノ下34-5	0467-22-2909
		鎌倉武道館(柔剣体)	山崎616-6	0467-46-8010
		大船体育館(体柔剣)	台3-2-5	0467-47-1862
笛田公園(野)		笛田3-30-1	0467-32-0559	
鎌倉体育館(体剣)		由比ヶ浜2-9-9	0467-24-3552	
見田記念体育館		由比ヶ浜2-9-9	0467-24-1415	
公園	散在ヶ池森林公園	今泉台7-930-1	0467-47-1176	
	鎌倉中央公園	山崎1667	0467-45-2750	
	源氏山公園	扇ガ谷4-649-1	0467-45-2750	
	笛田公園	笛田3-30-1	0467-32-0559	
	鎌倉海浜公園	由比ヶ浜4-7-1	0467-22-7272	

9 鴨居3.4丁目、走水2丁目地内

横須賀・三浦地区 返子市

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	小坪公民館	小坪5-21-17	0467-24-6204
	沼間公民館	沼間3-16-32	046-872-2449
	青少年会館	桜山5-20-29	046-873-2018
スポーツ	久木ハイランドスポーツ広場(グ)	久木8-362-83	10
	青少年会館(柔剣)	桜山5-20-29	046-873-2018
	小坪飯島公園(プ)	小坪5-439-2	11
	市立体育館(返子アリーナ)(体柔剣)	池子1-11-1	046-870-1296
	第一運動公園(野弓)	池子1-275-1	046-873-7600
公園	久木大池公園	久木8-1287-2	市役所
	大崎公園	小坪4-739	046-873-1111
	桜山中央公園	桜山5-375-11	(代)(内線
	披露山公園	新宿5-1851	262)
	第一運動公園	池子1-275-1	046-873-8580
宿泊	野外活動センター	桜山8-13-6	12

横須賀・三浦地区 葉山町

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	一色町民いきいの家	一色1779-6	町役場(代)
	堀内町民いきいの家	堀内1768-1	046-876-1111
	福祉文化会館	堀内2220	046-876-1871
	青少年会館	堀内1735-88	046-875-4980
	木古庭児童館	木古庭605	046-878-8250
	上山口児童館	上山口2627	046-878-8052
	下山口児童館	下山口1705-1	046-876-0991
	元町児童館	堀内899-5	046-875-3969
	芝崎児童館	一色2516	046-875-6910
	葉桜児童館	長柄1413-154	046-875-6273
	スポーツ	南郷上ノ山公園(野グ)	長柄1888-1
公園	県立はやま三ヶ岡山緑地	堀内、一色	046-853-8800
	葉山しおさい公園	一色2123-1	046-876-1140
	県立葉山公園	下山口1443 1	046-853-8800
	南郷上ノ山公園	長柄1888 1	046-876-1100
	あじさい公園	堀内1537	町役場(代)
	花の木公園	堀内2145	046-876-1111

横須賀・三浦地区 三浦市

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	三浦市民ホール(シーサイドホール)	三崎5-3-1	046-882-1111
	三浦市初声市民センター	初声町入江200	046-888-6111
	三浦市勤労市民センター	天神町4-19	046-881-3766
	三浦市南下浦市民センター	南下浦町上宮田3274	046-888-1111
	三浦市青少年会館	城山町6-9	046-882-2765
	* 児童館・青少年センターが10施設		
スポーツ	(仮称)飯森総合公園(野)(テ)	13	046-882-1111
	三浦市総合体育館(潮風アリーナ)(体柔剣)	初声町入江169	046-889-0404
	三浦市体育館(体)	城山町6-1	046-889-0404
公園	三浦市営水泳プール(プ)	白石町22-28	046-881-4247
	城ヶ島灯台公園	14	046-882-1111
	県立城ヶ島公園	三崎町城ヶ島	046-853-8800
	油壺公園	15	046-882-1111
宿泊	小松ヶ池公園	16	046-882-1111
	県立三浦ふれあいの村	初声町和田3136	046-888-2100

10 返子ハイランド自治会館 046-873-8814

11 市立体育館 046-870-1296

12 郷土資料館 046-873-1741

13 初声町下宮田字飯森263-乙

14 三崎町城ヶ島字西山689-8外

15 三崎町小網代1239-2外

16 南下浦町上宮田2518-2外

県央地区 相模原市

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	上溝公民館	上溝7-7-17	042-761-2288
	新磯公民館	磯部916-3	046-256-1900
	横山公民館	横山台1-20-10	042-756-1555
	杜のホールはしもと	橋本3-28-1	042-775-3811
	ソレイユさがみ	橋本6-2-1	042-775-1775
	橋本公民館	橋本6-2-1	042-771-1051
	大野中公民館	古淵3-21-1	042-746-6600
	小山公民館	向陽町8-1	042-755-7500
	大野北公民館	鹿沼台1-10-20	042-755-6601
	上鶴間公民館	上鶴間本町7-7-1	042-749-6611
	相武台公民館	新磯野3-29-13	046-256-3700
	星が丘公民館	星が丘3-1-38	042-755-0600
	清新公民館	清新3-16-1	042-755-8000
	サン・エールさがみはら	西橋本5-4-20	042-775-5665
	相原公民館	相原4-14-12	042-773-7800
	東林公民館	相南1-10-10	042-744-0087
	相模台公民館	相模台1-13-5	042-743-7871
	グリーンホール相模大野	相模大野4-4-1	042-749-2200
	大野南公民館	相模大野5-31-1	042-749-2121
	南市民ホール	相模大野5-31-1	042-749-2110
	大沢公民館	大島1776-5	042-762-0811
	相模川ビレッジ若あゆ	大島3497-1	042-760-5445
	大野台公民館	大野台5-16-38	042-755-6000
	産業会館	中央3-12-1	042-768-2311
	総合学習センター	中央3-12-10	042-756-3443
	市民会館	中央3-13-15	042-752-4710
	田名公民館	田名4834	042-761-1251
	大沼公民館	東大沼3-17-15	042-744-7722
	麻溝公民館	当麻1324-2	042-778-2277
	中央公民館	富士見2-13-1	042-758-9000
	けやき会館	富士見6-6-23	042-753-3333
	さがみはら市民活動サポートセンター	富士見6-6-23	042-755-5790
	光が丘公民館	並木4-7-9	042-756-1117
	陽光台公民館	陽光台5-6-1	042-755-3451
	青少年学習センター	矢部新町3-15	042-751-0091
	*各地区に児童館が25施設 こどもセンターが19施設		

スポーツ	鵜野森体育施設(グプ)	鵜野森1-25-1	042-769-8288
	さがみはらグリーンプール	横山5-11-1	042-758-3151
	横山公園(野グプ)	横山5-11-50	042-758-0886
	横山公園陸上競技場(グ)	横山5-11-50	042-758-0886
	さがみはら北の丘センター(プ)	下九沢2071-1	042-773-5570
	相模原北公園スポーツ広場(グ野)	下九沢2368-1	042-763-7711
	北総合体育館(体柔剣弓)	下九沢2368-1	042-763-7711
	内出公園スポーツ広場(グ野)	下九沢2833-1	042-769-8288
	下溝古山公園スポーツ広場(グ野)	下溝2348-1	042-758-0886
	相模原麻溝公園スポーツ広場(グ野)	下溝4221	042-769-8288
	相模台公園(野)	桜台21	042-748-4060
	鹿沼公園(野)	鹿沼台2-15-1	042-755-9781
	小山公園スポーツ広場(グ野)	小山4-3	042-758-0886
	深堀中央公園スポーツ広場(グ野)	上鶴間3-21	042-769-8288
	三栗山スポーツ広場(グ野)	城山町小倉三栗山1907	042-758-0886
	新磯野スポーツ広場(グ野)	新磯野2146-4	042-769-8288
	上大島キャンプ場(キ)	上大島相模川河川敷	042-769-8236
	望地弁天キャンプ場(キ)	田名望地相模川河川敷	042-769-8236
	昭和橋スポーツ広場(野)	昭和橋下相模川河川敷	042-758-0886
	市体育館(体柔弓)	富士見1-2-15	042-769-8288
	市民健康文化センター(プグ)	麻溝台1872-1	042-747-3776
	総合体育館(体柔剣弓)	麻溝台2284-1	042-748-1781
	相模原麻溝台公園フィールドアスレチック	麻溝台2317-1	042-777-3451
	銀河アリーナ(プ、アイススケート)	弥栄3-1-6	042-776-5311
	県立相模原球場・ひばり球場(野体)	弥栄3-1-6	042-753-6930
	淵野辺公園(グ)	弥栄3-1-6	042-753-6930
緑が丘2丁目公園スポーツ広場(野)	緑が丘2-31	042-769-8288	
公園	勝坂歴史公園	磯部4863	042-769-8243
	横山公園	横山5-11-50	042-758-0886
	相模原北公園	下九沢2368-1	042-779-5885
	下溝古山公園	下溝2350-3	042-769-8243
	相模台公園	桜台21	042-748-4060
	鹿沼公園(児童交通公園)	鹿沼台2-15-1	042-755-9781
	横山丘陵緑地	上溝1丁目、4丁目	042-769-8243
	道保川公園	上溝1359	042-776-6484
	深堀中央公園	上鶴間3-21	042-769-8243
	さがみの仲よし小道	新磯野から相模台地内	042-769-8243

県央地区 相模原市

種別	名称	住所	問い合わせ先
公園	千代田緑道	17	042-769-8243
	相模大野中央公園	相模大野4-2-2	042-742-8648
	相模川自然の村公園	大島3853-8	042-769-8243
	相模原中央緑地	大野台8-5	042-769-8243
	県立相模原公園	麻溝台1889	042-778-1653
	相模原麻溝公園	麻溝台2317-1	042-777-3451
	淵野辺公園	弥栄3-1-6	042-753-6930
宿泊	相模川ビレッジ若あゆ	大島3497-1	042-760-5445
	相模川清流の里	大島3497-1	042-760-2711
	上大島キャンプ場	大島地先	042-760-6066
	望地弁天キャンプ場	田名地先	042-760-6077

17 千代田5～光が丘2、千代田4～並木2

県央地区 厚木市

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	愛甲公民館	愛甲2783	046-247-1434	
	勤労福祉センター	旭町2-4-18	046-227-5454	
	厚木南公民館	旭町3-14-4	046-228-0582	
	文化会館	恩名295-1	046-225-2588	
	南毛利公民館	温水西1-17-1	046-248-4309	
	相川公民館	下津古久703-2	046-228-3246	
	依知南公民館	下依知406-1	046-245-0436	
	厚木北公民館	元町9-4	046-223-3147	
	睦合南公民館	妻田北1-18-33	046-223-3774	
	睦合北公民館	三田2735-1	046-241-1310	
	玉川公民館	七沢175-6	046-248-0006	
	依知北公民館	上依知1313-1	046-225-2563	
	萩野公民館上萩野分館	上萩野1925-1	046-242-5330	
	森の里公民館	森の里1-31-1	046-250-5262	
	総合福祉センター	中町1-4-1	046-225-2525	
	パートナーセンター	中町1-4-3	046-225-2500	
	萩野公民館	鳶尾2-25-10	046-241-1030	
	小鮎公民館	飯山3526-2	046-241-1265	
	緑ヶ丘公民館	緑ヶ丘2-2-1	046-221-7556	
	ヤングコミュニティセンター	中町1-1-3	046-221-1110	
	* 児童館が22施設			

スポーツ	旭町スポーツ広場(グ)	厚木3014-2	046-225-2530
	猿ヶ島スポーツセンター(体グ)	猿ヶ島195-129	046-246-2010
	県央地区体育センター(体グ)	温水西1-27-1	046-247-7211
	ぼうさいの丘公園(グ)	温水783-1	046-270-1035
	南毛利公民館(体)	温水西1-17-1	046-248-4309
	中津川スポーツ広場(グ)	下川入地先	046-225-2530
	相川公民館(体)	下津古久703-2	046-228-3246
	及川球技場(グ体)	及川1-17-1	046-242-3060
	ふれあいプラザプール(プ)	金田1156	046-225-2081
	戸沢橋スポーツ広場(グ)	戸田地先	046-225-2530
	厚木野球場(野)	厚木2348	046-225-2533
	市営水泳プール(プ)	厚木2289	046-225-2530
	厚木青少年広場(グ)	厚木2348	046-225-2533
	睦合北公民館(体)	三田2735-1	046-241-1310
	中三田スポーツ広場(グ野)	三田3445	046-225-2530
	酒井スポーツ広場(野グ)	酒井地先	046-228-7310
	玉川野球場(野)	小野286-6	046-225-2534
	依知北公民館(体)	上依知1313-1	046-225-2563
	上の原公園グラウンド(野)	上依知3024	046-225-2530
	萩野公民館上萩野分館(体)	上萩野1925-1	046-242-5330
	森の里公民館(体)	森の里1-31-1	046-250-5262
	萩野運動公園(体グプ)	中萩野1500	046-225-2900
	長沼公園グラウンド(野)	長沼244	046-225-2530
東町スポーツセンター(体柔剣弓)	東町2-1	046-225-2538	
鳶尾公園グラウンド(野)	鳶尾2-11	046-225-2530	
小鮎公民館(体)	飯山3526-2	046-241-1265	
飯山スポーツ広場(野)	飯山4569	046-225-2530	
緑ヶ丘公民館(体)	緑ヶ丘2-2-1	046-221-7556	
公園	東丹沢グリーンパーク	飯山5560	046-241-1427
	七沢弁天の森	七沢2891	046-225-2581
	ぼうさいの丘公園	温水783-1	046-270-1035
	県立七沢森林公園事務所	七沢901-1	046-247-9870
	岩田山公園	小町335-6外	046-225-2412
宿泊	飯山白山森林公園	飯山5600	046-225-2820
	七沢自然ふれあいセンター	七沢2440	046-248-3500
	七沢弁天の森キャンプ場	七沢2891	046-225-2581

県央地区 大和市

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	つきみ野学習センター	つきみ野5-3-5	046-275-0088	
	草柳会館	下草柳552-1	046-264-1355	
	下鶴間会館	下鶴間2516-2	046-276-3407	
	緑野会館	下鶴間4163-23	046-276-1816	
	中央林間会館	下鶴間4444-2	046-276-8121	
	公所会館	下鶴間504-1	046-273-9481	
	下和田会館	下和田791-2	046-267-8500	
	桜森会館	桜森3-5-21	046-264-7629	
	上草柳会館	上草柳5-3-11	046-264-0012	
	上和田会館	上和田2700-18	046-269-8317	
	桜丘会館	上和田860-1	046-269-8047	
	深見北会館	深見498-5	046-262-6030	
	生涯学習センター	深見西1-3-17	046-261-0491	
	深見南会館	深見台1-9-19	046-262-2671	
	深見中会館	深見台4-10-29	046-264-7611	
	西鶴間会館	西鶴間2-4-20	046-276-3447	
	福田会館	代官1-22-3	046-269-9390	
	下草柳会館	中央6-5-19	046-264-5110	
	保健福祉センター	鶴間1-31-7	046-263-1111	
	勤労福祉会館	鶴間1-32-12	046-260-5770	
	鶴間会館	鶴間2-12-35	046-276-3736	
	桜丘学習センター	福田1-30-1	046-269-0411	
	渋谷学習センター	福田2021-2	046-267-2027	
	下福田会館	福田611-1	046-268-1577	
	柳橋会館	柳橋2-12-2	046-268-8505	
	林間学習センター	林間2-6-18	046-274-4361	
	南林間会館	林間7-14-24	046-276-3643	
	青少年センター	中央1-5-14	046-260-5224	
	* 児童館が22施設			
	スポーツ	つきみ野野球場(野)	つきみ野5-6	046-261-6200
		山谷スポーツ広場(グ)	下鶴間754-1	046-261-6200
		桜森スポーツ広場(グ)	桜森1-97-1	046-261-6200
大和スポーツセンター(体) プグ柔剣弓)		上草柳1-1-1	046-261-6200	
泉の森ふれあいキャンプ場(キ)		上草柳1794	046-260-5795	
宮久保野球場(野)		上和田1320-1	046-261-6200	
宮久保スポーツ広場(グ)		上和田2152-1	046-261-6200	
やまと冒険の森(フィールドアスレチック)		草柳3-19-14	-	

スポーツ	青少年センター(体)	中央1-5-14	046-260-5224
	下鶴間少年野球場(野)	下鶴間3008	046-261-6200
	南林間スポーツ広場(グ)	南林間9-3772	046-261-6200
	渋谷西スポーツ広場(グ)	福田4093	046-261-6200
	渋谷西第2スポーツ広場(グ野)	福田4114	046-261-6200
	下福田野球場(野)	福田89	046-261-6200
	引地台温水プール(プ)	柳橋4-5000	046-260-5757
	引地台野球場(野)	柳橋4-5000-1	046-267-0410
	やまと冒険の森	草柳	046-263-9221
	つきみ野1号公園	つきみ野5丁目	046-263-9221
公園	深見歴史の森	一ノ関、城ヶ丘	046-263-9221
	つるま自然の森	下鶴間4453	046-263-9221
	泉の森	上草柳字篠山	046-263-9221
	宮久保公園	上和田字城山2150-2	046-263-9221
	南鶴間いこいの森	西鶴間8-3526-1	046-263-9221
	やまと公園	中央1丁目	046-263-9221
	引地台公園	福田、下草柳	046-263-9221
	福田1号公園	福田4丁目	046-263-9221

県央地区 座間市

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	ひばりが丘コミュニティセンター	ひばりが丘1 49-1	046-257-7698	
	新田宿・四ッ谷コミュニティセンター	四ッ谷1026	046-257-4871	
	小松原コミュニティセンター	小松原1-45-14	046-257-9640	
	相武台コミュニティセンター	相武台3-4770-26	046-258-3001	
	相模が丘コミュニティセンター	相模が丘3-38-1	046-258-3000	
	北地区文化センター	相模が丘5-30-4	042-747-3361	
	東地区文化センター	東原3-1-1	046-253-0781	
	東原コミュニティセンター	東原4-13-13	046-255-9770	
	公民館	入谷1-3097	046-255-3131	
	立野台コミュニティセンター	立野台3-14-12	046-255-0815	
	市民文化会館(ハーモニーホール座間)	緑ヶ丘1-1-2	046-255-1100	
	市民健康センター	緑ヶ丘1-1-3	046-251-6822	
	青少年センター	立野台1-1-4	046-253-8411	
	* 各地区に児童館が5施設			

県央地区 座間市

種別	名称	住所	問い合わせ先
スポーツ	ひばりが丘プール(プ)	ひばりが丘4-4-3	046-255-5087
	旭プール(プ)	ひばりが丘5-28-5	046-256-5508
	栗原遊水地スポーツ広場(グ)	栗原1700-1	046-252-8162
	栗原プール(プ)	栗原中央6-5-25	046-254-5351
	広野プール(プ)	広野台1-37-1	046-252-0077
	鳩川プール(プ)	座間2-1184	046-254-7907
	座間公園プール(プ)	座間3671	046-251-6678
	新田宿グランド(野)	新田宿2178	046-252-8162
	新田宿スポーツ広場(グ)	新田宿2178	046-252-8162
	清川自然の村(キ)	18	046-288-3389
	中原プール(プ)	西栗原2-14-1	046-251-6027
	市民体育館・スカイアリーナ座間(体柔剣弓)	相武台1-5971	046-255-0077
	相武台プール(プ)	相武台4-1329-1	046-255-5086
	相模が丘プール(プ)	相模が丘2-1-9	046-256-2285
	市民球場(野)	相模が丘6-36-24	046-252-8162
	相模川グランド(グ)	相模川座架依橋上流	046-252-8162
	東原プール(プ)	東原3-3-14	046-251-5044
	入谷プール(プ)	入谷2-79	046-256-2325
	立野台プール(プ)	立野台1-1-2	046-251-5672
	青少年センター(体)	立野台1-1-4	046-253-8411
公園	芹沢公園	栗原2891	046-252-7221
	富士山公園	座間1-3734	046-252-7221
	県立座間谷戸山公園	入谷3-3904	046-257-8388
宿泊	清川自然の村	18	046-288-3389

18 清川村宮ヶ瀬字金澤1703

県央地区 海老名市

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	市民活動サポートセンター	さつき町39-1	046-235-6835
	下今泉コミュニティセンター	下今泉1-17-55	046-231-3750
	国分寺台文化センター	国分寺台2-10-23	046-233-0097
	国分コミュニティセンター	国分南4-14-1	046-235-2000
	門沢橋コミュニティセンター	市門沢橋508-1	046-238-4773
	社家コミュニティセンター	社家962	046-231-8415
	勝瀬文化センター	勝瀬4-40	046-235-3600
	総合福祉会館	上郷474-1	046-231-4122
	中央公民館	上郷476-2	046-232-3231
	文化会館	上郷476-2	046-232-3231

公民館	上今泉コミュニティセンター	上今泉1-5-32	046-235-7100
	杉久保コミュニティセンター	杉久保1066	046-238-7950
	大谷コミュニティセンター	大谷3311-1	046-233-4457
	中新田コミュニティセンター	中新田795	046-231-7438
	柏ヶ谷コミュニティセンター	東柏ヶ谷2-14-12	046-231-7475
	本郷コミュニティセンター	本郷4626-1	046-238-4889
	青少年会館	さつき町51	046-231-9787
	青少年会館(体グ)	さつき町51	046-231-9787
	大谷児童館	大谷3889-1	046-232-9996
	河原口児童館	河原口676	046-232-4092
スポーツ	海老名運動公園(グ)	社家4032-1	046-235-7200
	海老名運動公園(野)	社家4032-1	046-235-7200
	陸上競技場	社家4032-1	046-235-7202
	上郷スポーツ広場(野グ)	上郷3-2737	市役所 046-231-2111(代)
	中野多目的広場(グ)	中野2314	
	総合体育館(体柔剣弓)	中新田3291-19	046-235-7204
	屋内プール(プ)	中新田3292-5	046-235-7203
	高座施設組合温水プール(プ)	本郷20-1	046-238-8780
公園	海老名運動公園	社家4032-1	046-235-7200
	北部公園	上今泉	046-292-3300
	清水寺公園	国分北2-3336-1	市役所 046-231-2111 (代)
	大谷近隣公園	大谷	
	海老名中央公園	中央	
東柏ヶ谷近隣公園	東柏ヶ谷		

県央地区 綾瀬市

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	南部ふれあい会館	上土棚南1-5-10	0467-77-3020	
	綾瀬郵便局コミュニティルーム	小園698-7	0467-70-9880	
	寺尾いずみ会館	寺尾台3-6-25	0467-79-1305	
	福祉会館	深谷中4-7-10	0467-78-0806	
	吉岡地区センター	吉岡2316	0467-78-2029	
	綾北福祉会館	寺尾中1-3-22	0467-78-1735	
	綾南地区センター	上土棚中1-10-11	0467-77-5808	
	中村地区センター	深谷中5-16-43	0467-78-2760	
	中央公民館	深谷3838	0467-77-8181	
	文化会館	深谷3838	0467-77-1131	
	早園地区センター	早川2934	0467-78-1160	
	北の台地区センター	蓼川2-1-12	0467-77-6132	
	* 児童館が3施設			
	スポーツ	市民スポーツセンター(体グ柔剣)	深谷4262	0467-76-9292
光綾公園野球場(野)		深谷5234	0467-76-9292	
本蓼川スポーツ施設(野グ)		本蓼川210ほか	0467-76-9292	
蓼川スポーツ広場(グ)		蓼川3-1448	0467-76-9292	
公園	せせらぎ広場	吉岡1332	市役所 0467-77-1111 (代)	
	光綾公園	深谷5234		
	城山公園	早川城山3-4-1		
	綾南公園	落合南9-339		

県央地区 清川村

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	交流促進センター「清流の館」	煤ヶ谷2129-1	046-288-2700
	住民センター	煤ヶ谷2216	19
	総合福祉館	煤ヶ谷2216	046-288-3861
	保健福祉センター「やまびこ館」	煤ヶ谷2218	046-288-3861
スポーツ	金沢キャンプ場(キ)	宮ヶ瀬字金沢1692-6	046-288-2950
	運動公園(野)	煤ヶ谷1518-2	046-288-2548
	県立清川青少年の家(体)	煤ヶ谷2274	046-288-2319
公園	宮ヶ瀬湖畔けやき広場	宮ヶ瀬	046-288-3600
	宮ヶ瀬水の郷	宮ヶ瀬	046-288-3600
	東丹沢県民の森	煤ヶ谷	046-248-0323
宿泊	金沢キャンプ場	宮ヶ瀬字金沢1692-6	046-288-2950
	県立清川青少年の家	煤ヶ谷2274	046-288-2319

県央地区 愛川町

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	中津公民館(レディースプラザ)	中津293-3	046-285-1600
	文化会館	角田250-1	20
	農村環境改善センター	田代1195	046-285-2892
	半原公民館(5Fインプラザ)	半原4343-3	046-281-0177
* 各地区に児童館が15施設			
スポーツ	志田運動場(野)	田代1195	046-285-1818
	小沢ソフトボール場(野)	角田4337-1	046-285-1818
	三増プール(プ)	三増1661-7	046-285-1818
	三増公園陸上競技場(グ)	三増1886	046-281-6777
	町立体育館(体)	中津1409	046-285-1818
	第1号公園体育館(体柔剣プ)	中津4043	046-285-1818
	中津工業団地第1号公園(野プ)	中津4043	046-285-1818
	中津工業団地第2号公園(野)	中津4059	046-285-1818
	坂本運動場(野)	中津5166	046-285-1818
	坂本プール(プ)	中津5177	046-285-1818
	坂本体育館(体)	中津5177	046-285-2753
	農村環境改善センター(体)	田代1195	046-281-2829
	田代運動公園(野プ・スケト)	田代1700	046-281-0427
	県立愛川ふれあいの村(体ブグキ)	半原3390	046-281-1611
	半原公民館・ラビンプラザ(体)	半原4343-3	046-281-0177
	公園	県立あいかわ公園	半原
三増運動公園		三増	046-281-6777
田代運動公園		田代	046-281-0427
八菅山いこいの森		八菅山	20
宿泊	県立愛川ふれあいの村	半原3390	046-281-1611

19 清川村役場 046-288-1211(代)

20 愛川町役場 046-285-2111(代)

湘南地区 平塚市

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	横内公民館	横内2506	0463-54-0118	
	岡崎公民館	岡崎3634	0463-58-1286	
	旭北公民館	河内440	0463-32-2221	
	金目公民館	金目966	0463-58-0101	
	市民センター	見附町15-1	0463-32-2235	
	崇善公民館	見附町30-2	0463-31-1920	
	中原公民館	御殿2-17-38	0463-32-7372	
	旭南公民館	山下1096-1	0463-31-2255	
	四之宮公民館	四之宮3-20-26	0463-55-0655	
	城島公民館	小鍋島127-1	0463-55-1525	
	吉沢公民館	上吉沢395	0463-58-0880	
	八幡公民館	西八幡1-10-22	0463-23-5528	
	大原公民館	大原1-15	0463-34-5011	
	大神公民館	大神2391-1	0463-55-5040	
	富士見公民館	中里11-21	0463-31-2256	
	中央公民館	追分1-20	0463-34-2111	
	勤労会館	追分1-24	0463-32-3355	
	神田公民館	田村3-12-5	0463-55-0239	
	土屋公民館	土屋1864-1	0463-58-0833	
	大野公民館	東真土2-12-1	0463-55-0711	
	松が丘公民館	東中原2-17-19	0463-33-6311	
	花水公民館	桃浜町34-34	0463-31-3824	
	南原公民館	南原2-15-1	0463-33-9800	
	豊田公民館	南豊田366-1	0463-32-7373	
	金田公民館	入野108-1	0463-31-2136	
	市民活動センター	八重咲町3-3	0463-21-7517	
	松原公民館	八千代町2-23	0463-21-6186	
	なでしこ公民館	撫子原12-54	0463-35-1254	
	須賀公民館	夕陽ヶ丘60-32	0463-21-2152	
	青少年会館	浅間町12-41	0463-32-7029	
	*子どもの家が4施設			
	スポーツ	王御住運動広場(野)	岡崎3269-63	0463-31-3060
		湘南海岸公園プール(プ)	高浜台32	市役所
湘南海岸公園(グ)		高浜台34-1	0463-23-1111	
大久保公園プール(プ)		諏訪町28	(代)	
湘南ひらつかビーチセンター		高浜台33-1	0463-23-4781	
旭南公民館(体)		山下1096-1	0463-31-2255	

スポーツ	青少年会館(体柔剣)	浅間町12-41	0463-32-7029
	なぎさふれあいセンター(体)	袖が浜20-1	0463-21-3370
	総合公園(グ)	大原1	0463-35-2233
	総合体育館(体柔剣弓ブ)	大原1-1	0463-35-2255
	平塚球場(野)	大原1-1	0463-33-1166
	平塚競技場(グ)	大原1-1	0463-33-4455
	市民スポーツ広場(野グ)	大神	0463-31-3060
	神田公民館(体)	田村3-12-5	0463-55-0239
	びわ青少年の家(体キ)	土屋2710-1	0463-59-0871
	金目公民館(体)	南金目966	0463-58-0101
	金田公民館(体)	入野108-1	0463-31-2136
	ひらつかアリーナ	中堂246-1	0463-35-2233
	長瀬スポーツ広場(野グ)	馬入字備中島	市役所 0463-23-1111 (代)
	高麗山公園内こどもの森(キ)	万田780-1	
	須賀公園(野)	夕陽ヶ丘21	
	竜城ヶ丘プール(プ)	竜城ヶ丘19-22	
	堤公園(グ)	堤町6	
	土屋スポーツ広場(グ)	土屋1015	
	めぐみが丘公園	めぐみが丘2-14	
	湘南海岸公園	高浜台	
真土大塚山公園	西真土3-18		
八幡山公園	浅間町1		
公園	総合公園	大原1	0463-35-2233
	達上ヶ丘公園	達上ヶ丘14	市役所 0463-23-1111 (代)
	愛宕山公園	土屋3960-3	
	土屋霊園	土屋4300	
	桃浜公園	桃浜町34	
	四十瀬川公園	平塚3-4	
	金目親水公園	北金目914	
	高麗山公園(湘南平)	万田	
	見附台公園	見附町16-3	
	宿泊	高麗山公園子供の森	万田780-1
びわ青少年の家		土屋2710-1	

湘南地区 藤沢市

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	片瀬しおさいセンター(片瀬公民館分館)	片瀬4-9-22	0466-29-6668	
	伊勢山市民の家	藤沢4-5-3-2F	0466-50-3516	
	羽鳥市民の家	羽鳥3-5-20	0466-50-3516	
	円行市民の家	円行2-7-24	0466-50-3516	
	遠藤公民館	遠藤2984-3	0466-87-3009	
	遠藤市民の家	遠藤1	0466-50-3516	
	下土棚市民の家	下土棚1655-1	0466-50-3516	
	駒寄市民の家	大庭5527-4	0466-50-3516	
	御所見公民館	打戻1926	0466-48-1002	
	江の島市民の家	江の島2-2-14	0466-50-3516	
	高倉市民の家	高倉495-1	0466-50-3516	
	高谷市民の家	村岡東4-14-2	0466-50-3516	
	鵜沼公民館	鵜沼海岸2-10-34	0466-33-2001	
	鵜沼藤が谷市民の家	鵜沼藤が谷2-11-32	0466-50-3516	
	鵜沼市民の家	鵜沼海岸1-10-1	0466-50-3516	
	済美館(藤沢公民館分館)	本町4-6-16	0466-28-4471	
	産業センター(湘南NDビル7階)	藤沢109-6	0466-21-3811	
	市民会館	鵜沼東8-1	0466-23-2415	
	七ツ木市民の家	高倉972-2	0466-50-3516	
	小栗塚市民の家	西俣野315-48	0466-50-3516	
	小糸市民の家	大庭5062-2	0466-50-3516	
	湘南台公民館	湘南台1-8	0466-45-1600	
	湘南台文化センター・市民シアター	湘南台1-8	0466-45-1550	
	湘南大庭公民館	大庭5406-1	0466-87-1111	
	菖蒲沢市民の家	菖蒲沢920-2	0466-50-3516	
	石川市民の家	石川2-19-1	0466-50-3516	
	川名通り町市民の家	川名602	0466-50-3516	
	善行乾塚市民の家	善行4-3731	0466-50-3516	
	善行公民館	善行1-2-3	0466-81-4431	
	村岡公民館	弥勒寺1-7-7	0466-23-0634	
	村岡市民の家	弥勒寺3-5-13	0466-50-3516	
	大鋸市民の家	大鋸990-4	0466-50-3516	
	大清水市民の家	白旗4-4-13	0466-50-3516	
	大庭市民の家	大庭5307-8	0466-50-3516	
	滝の沢市民の家	遠藤701-10	0466-50-3516	
	中里市民の家	獺郷183-2	0466-50-3516	
	長後公民館	長後513	0466-44-1622	
	公民館	長後滝山市民の家	長後1183-1	0466-50-3516
		辻堂公民館	辻堂東海岸1-1-41	0466-34-8661
		辻堂砂山市民の家	辻堂西海岸2-1-14	0466-50-3516
辻堂市民の家		辻堂元町4-15-3	0466-50-3516	
辻堂東海岸市民の家		辻堂東海岸2-6-20	0466-50-3516	
辻堂南部市民の家		辻堂3-9-20	0466-50-3516	
藤が岡市民の家		藤が岡2-2-D3	0466-50-3516	
藤沢公民館		藤沢1-9-17	0466-22-0019	
藤沢市民の家		藤沢535-1	0466-50-3516	
藤沢石原谷市民の家		本藤沢3-19-5	0466-50-3516	
片瀬公民館		片瀬3-9-6	0466-27-2711	
片瀬山市民の家		片瀬山3-1-14	0466-50-3516	
片瀬浪合市民の家		片瀬2-18-32	0466-50-3516	
本鵜沼市民の家		本鵜沼3-9-9	0466-50-3516	
明治公民館		辻堂新町1-11-23	0466-34-3444	
明治市民の家		城南4-3-8	0466-50-3516	
用田市民の家		用田705-1	0466-50-3516	
立石市民の家		立石2-1-9	0466-50-3516	
労働会館		本町1-12-17	0466-26-7811	
六会公民館		亀井野4-8-1	0466-81-6677	
六会市民の家	亀井野838-3	0466-50-3516		
藤沢青少年会館	朝日町10-8	0466-25-5215		
辻堂青少年会館	辻堂2-8-31	0466-36-3002		
石川コミュニティーセンター(市民の家)	石川1-1-22	0466-88-8830		
* 地域子供の家が17施設・児童館が5施設				
スポーツ	片瀬しおさいセンター・片瀬公民館分館(体)	片瀬4-9-22	0466-29-6668	
	稲荷スポーツ広場(野)	稲荷452	0466-22-5335	
	遠藤公民館(体)	遠藤2984-3	0466-87-3009	
	桐原公園野球場(野)	桐原5	0466-88-1111	
	御所見公民館(体)	打戻1926	0466-48-1002	
	鵜沼運動公園(野グ)	鵜沼海岸6-12-1	0466-36-1607	
	済美館・藤沢公民館分館(柔剣)	本町4-6-16	0466-28-4471	
	秋葉台公園プール(プ)	遠藤2000-1	0466-88-1811	
	秋葉台公園球技場(グ)	遠藤2000-1	0466-88-1111	
	秋葉台文化体育館(体柔剣弓)	遠藤2000-1	0466-88-1111	
	女坂スポーツ広場(グ野)	用田201	0466-88-1111	
	藤沢市少年の森(キグ)	打戻2345	0466-48-7234	
	湘南台公民館(体)	湘南台1-8	0466-45-1600	

湘南地区 藤沢市

種別	名称	住所	問い合わせ先	
スポーツ	湘南大庭公民館(体)	大庭5406-1	0466-87-1111	
	石名坂温水プール(プ)	本藤沢1-10-1	0466-82-5131	
	善行公民館(体)	善行1-2-3	0466-81-4431	
	太陽の家(体)	鵜沼海岸6-6-12	0466-33-1411	
	県立体育センター(体ブグ)	善行7-1-2	0466-81-2570	
	大清水スポーツ広場(野)	大鋸1500	0466-88-1111	
	大庭スポーツ広場球技場(グ)	大庭6510	0466-88-1111	
	秩父宮記念体育館(体弓)	鵜沼東8-2	0466-22-5335	
	長後公民館(体)	長後513	0466-44-1622	
	辻堂海浜公園(プ)	辻堂西海岸3丁目	0466-34-0011	
	辻堂南部公園野球場(野)	辻堂西海岸3丁目	0466-36-1607	
	明治公民館(体)	辻堂新町1-11-23	0466-34-3444	
	六会公民館(体)	亀井野4-8-1	0466-81-6677	
	鵜沼海浜公園	鵜沼海岸4-5218-1	0466-25-1111	
	公園	湘南台公園	湘南台7-16	市役所 0466-25- 1111 (代)
新林公園		川名字新林411-1		
秋葉台公園		遠藤字向原2000-1		
大庭城社公園		大庭字城山5230-1		
引地川親水公園		大庭字中沢6510		
伊勢山公園		藤沢4-6297-1		
片瀬山公園		片瀬山3-2800-1		
奥田公園		鵜沼東12		
桐原公園		桐原町5		
湘南台公園		湘南台7-16		
翠ヶ丘公園		西富字西原593-2		
小糸台公園		大庭字七塚5055-18		
辻堂南部公園		辻堂西海岸3-7181-8		
御殿辺公園		藤沢2-2089-1		
遠藤公園		遠藤字南大平639-2		
藤沢市少年の森		打戻2345	0466-48-7234	
大庭台墓園		大庭字三ツ又3782	0466-87-3557	
県立辻堂海浜公園		辻堂西海岸3-2-1	0466-34-0011	
八部公園(鵜沼運動公園)		鵜沼海岸6-4131-2	0466-36-1607	
長久保公園		辻堂太平台2-5055	0466-34-8422	
県立湘南海岸公園	片瀬海岸	0467-58-1473		
宿泊	藤沢市少年の森	打戻2345	0466-48-7234	

湘南地区 伊勢原市

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	伊勢原シティプラザ・ふれあいホール	伊勢原2-7-31	0463-95-3233	
	伊勢原北コミュニティセンター	伊勢原3-26-2	0463-94-4499	
	大田公民館	下谷1473	0463-95-4375	
	大田ふれあいセンター	下谷1474-1	0463-90-2250	
	成瀬公民館	高森1840-2	0463-95-1096	
	伊勢原南コミュニティセンター	桜台5-12-18	0463-95-5599	
	成瀬コミュニティセンター	東成瀬26-1	0463-95-5320	
	高部屋公民館	西富岡1143-1	0463-94-3857	
	大山公民館	大山303-1	0463-93-5708	
	比々多公民館	坪ノ内307	0463-92-6961	
	市民文化会館	田中348	0463-92-2300	
	中央公民館	東大竹1-21-1	0463-93-7500	
	伊勢原南公民館	東大竹854	0463-92-1210	
	青少年センター	田中316-1	0463-94-7171	
	*各地区に児童館が13施設			
	スポーツ	武道館(柔剣)	伊勢原3-17-30	0463-94-3555
		竹園すこやかスポーツ広場(グ)	岡崎6529-1	0463-97-7266
大田すこやかスポーツ広場(グ)		下谷1475-1	0463-97-7266	
子どもスポーツ広場(グ)		神戸120	0463-97-7266	
伊勢原球場(野)		西富岡320	0463-92-3536	
伊勢原市体育館(体柔剣)		西富岡320	0463-92-3536	
青少年センター(体弓)		田中316-1	0463-94-7171	
ふれあいの森日向キャンプ場(キ)		日向2190	0463-96-0303	
鈴川公園(野ブ)		鈴川33	0463-92-3536	
市ノ坪公園(野)		鈴川8	0463-92-3536	
公園	緑ヶ丘公園	高森144-2	0463-95-7511	
	伊勢原市総合運動公園	西富岡320	0463-92-3536	
	千津ふれあい広場	東大竹2-1-1	0463-95-7511	
	市民の森ふじやま公園	東富岡134	0463-95-7511	
	鈴川公園	鈴川33	0463-92-3536	
宿泊	御所の入森のコテージ	日向1818	0463-96-5515	
	ふれあいの森日向キャンプ場	日向2190-2	0463-96-0303	
	日向ふれあい学習センター	日向2191	0463-92-1074	

湘南地区 茅ヶ崎市

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	コミュニティーホール	茅ヶ崎1-1-1	21
	海岸地区コミュニティセンター	東海岸北5-16-20	0467-82-6618
	小和田地区コミュニティセンター	小和田1-22-60	0467-52-9016
	小出地区コミュニティセンター	堤1948-1	0467-54-6525
	コミュニティセンター湘南	中島1670	0467-57-5655
	茅ヶ崎地区コミュニティセンター	元町10-33	0467-88-7522
	鶴嶺東コミュニティセンター	西久保180	0467-84-6711
	茅ヶ崎市民活動サポートセンター	茅ヶ崎3-2-7	0467-88-7546
	浜須賀会館	松が丘2-8-63	0467-87-1101
	南湖会館	南湖4-6-1	0467-58-6604
	柳島記念館	柳島1900	0467-85-0182
	茅ヶ崎市民文化会館	茅ヶ崎1-11-1	0467-85-1123
	小和田公民館	美住町6-20	0467-85-8755
	鶴嶺公民館	萩園2028-55	0467-87-1103
	松林公民館	室田1-3-2	0467-52-1314
	南湖公民館	南湖6-15-1	0467-86-4355
	香川公民館	香川1-11-1	0467-54-1681
	青少年会館	十間坂3-5-37	0467-86-9961
	海岸青少年会館	中海岸3-3-10	0467-85-0942
	勤労市民会館	新栄町13-32	0467-88-1331
*子どもの家が5施設			
スポーツ	茅ヶ崎市総合体育館(体柔剣弓)	茅ヶ崎1-9-63	0467-82-7175
	茅ヶ崎市体育館(体柔剣)	十間坂3-6-5	0467-82-7701
	茅ヶ崎公園野球場(野)	中海岸3-3-11	0467-82-6701
	茅ヶ崎公園庭球場(グ)	中海岸3-3-11	0467-82-6701
	芹沢スポーツ広場蹴球兼野球場(野グ)	芹沢430-3	0467-51-1236
	芹沢スポーツ広場庭球場(グ)	芹沢430-3	0467-51-1236
	県立湘南汐見台公園(野グ)	汐見台5750	0467-86-0918
	相模川河畔スポーツ公園陸上競技場(グ)	中島1475-2	0467-83-0431
	相模川河畔スポーツ公園庭球場(グ)	中島1475-2	0467-83-0431
	円蔵スポーツ広場(グ)	円蔵1-651-1	0467-82-7175
	小出暫定スポーツ広場(グ)	堤427	0467-82-7175
	市営中海岸水泳プール(プ)	中海岸3-12986-22	市役所
	市営浜須賀水泳プール(プ)	浜須賀18-38	0467-82-1111
	市営殿山水泳プール(プ)	甘沼285-1	(代)
	茅ヶ崎市屋内温水プール(プ)	萩園820	0467-58-5306
	県立柳島青少年キャンプ場(キ)	柳島浜前	0467-82-8400

公園	県立湘南汐見台公園	汐見台5750	0467-86-0918
	県立茅ヶ崎里山公園	芹沢1030	0467-50-6058
	茅ヶ崎公園	中海岸3-3-11	0467-82-6701
	相模川河畔スポーツ公園	中島1475-2	0467-83-0431
	中央公園	茅ヶ崎2-3-1	0467-83-9127
	高架下公園	西久保111	0467-82-1111
	市民の森	堤716	0467-52-8411
	宿泊	県立柳島青少年キャンプ場	柳島浜前

21 茅ヶ崎市役所 0467-82-1111(代)

湘南地区 秦野市

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	なでしこ会館	今川町1-3	0463-82-6111
	南公民館	今泉598	0463-81-3001
	渋沢公民館	渋沢上2-9-1	0463-87-7751
	上公民館	菅蒲1587-16	0463-87-0212
	くずはの家	菅屋1137	0463-84-7874
	菅屋ふれあい会館	菅屋1-2-15	0463-81-2053
	ほうらい会館	菅屋5798-3	0463-81-8310
	サンライフ鶴巻	鶴巻1768-1	0463-78-2330
	鶴巻公民館	鶴巻2182	0463-76-0463
	東公民館	東田原1538-3	0463-82-3232
	南が丘公民館	南が丘4-2	0463-84-6411
	大根公民館	南矢名3-16-22	0463-77-7421
	本町公民館	入船町12-2	0463-84-5100
	文化会館	平沢82	0463-81-1211
	北公民館	菩提354-3	0463-75-1678
	西公民館	柳町2-5-36	0463-88-0003
	青少年会館	寿町3-12	0463-81-7011
	堀川公民館	堀川203-1	0463-87-4111
	*各地区に児童館が20施設		
スポーツ	テクノスポーツ広場(グ)	掘山下88-17	0463-84-3333
	寺山スポーツ広場(グ)	寺山130	0463-84-3333
	なでしこ運動公園(グ野)	上大槻190	0463-81-2828
	中央こども公園(グ)	新町574	0463-82-7314
	サンライフ鶴巻(体)	鶴巻1768-1	0463-78-2330
	おおね公園(グプ)	鶴巻940	0463-77-7888
	栃窪スポーツ広場(グ野)	栃窪589	0463-84-3333
	立野緑地スポーツ広場(グ)	南が丘5-2-17	0463-82-5023

湘南地区 秦野市

種別	名称	住所	問い合わせ先
スポーツ	総合体育館(体柔剣弓)	平沢101-1	0463-84-3333
	中央運動公園(野グブ)	平沢148	0463-82-1324
	秦野市くずは青少年野外センター(グキ)	菩提2043-2	0463-81-7011
	県立秦野戸川公園	堀山下、戸川、横野	0463-87-9020
	末広自由広場(グ)	末広町6-56	0463-84-3333
公園	桜土手古墳公園	堀山下380-2	0463-87-5542
	震生湖公園	今泉地内	市役所 0463-82-5111 (代)
	弘法山公園	曾屋5884-1	
	南が丘公園	南が丘3-5外	
	立野緑地	南が丘5-2-1外	046-248-0323
	表丹沢県民の森	三廻部	
	交通公園	上大槻190外	0463-81-2828
	秦野中央こども公園	新町574	0463-82-7314
	おおね公園	鶴巻923-1	0463-77-7888
	秦野中央運動公園	平沢148	0463-82-1324
	県立秦野戸川公園	堀山下、戸川、横野	0463-87-9020
	蓑毛自然観察の森	蓑毛269	0463-84-2792
宿泊	秦野市くずは青少年野外センター	菩提2043-2	0463-81-7011

湘南地区 寒川町

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	文化財学習センター	一之宮7-3-1	0467-75-1930
	南部文化福祉会館	一之宮8-5-20	0467-75-0281
	公民館	宮山1030	0467-75-0021
	町民センター	宮山165	0467-74-2333
	北部文化福祉会館	宮山2820-1	0467-74-1515
スポーツ	総合体育館	宮山275	0467-75-1005
	町営プール(プ)	宮山4007	0467-75-6655
	川とのふれあい公園(グ野)	宮山4331	町役場 0467-74-1111 (代)
	倉見スポーツ公園(野)	倉見249-1	
	大蔵青少年広場(グキ)	大蔵344	
	二本松公園(野)	田端1579	
田端スポーツ公園(野)	田端2483-1		
川とのふれあい公園(グ野)	一之宮3003-1外		
公園	一之宮公園	一之宮3-2172-1	
	さむかわ中央公園	宮山275外	

湘南地区 二宮町

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	ふるさとの家	一色432	0463-71-7700
	生涯学習センター・ラディアン	二宮1240-10	0463-72-6911
	公民館	二宮876-1	0463-73-4033
	社会福祉センター	二宮961-イ-3	0463-71-0141
	*各地区に児童館が7施設		
スポーツ	町民運動場(野グ)	山西2023-1	0463-71-8032
	山西プール(プ)	山西2033-1	0463-71-3380
	体育館(体)	山西218-10	0463-71-9981
	町民温水プール(プ)	中里308	0463-72-6030
	武道館(柔剣)	二宮961-25	町役場
	百合が丘プール(プ)	百合が丘1-12-2	0463-71-3311
	袖が浦プール(プ)	二宮92	(代)
公園	二宮せせらぎ公園	一色345	0463-72-6112
	吾妻山公園	山西1084	0463-72-3611
	二宮果樹公園	二宮1199他	0463-72-1203

湘南地区 大磯町

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	生涯学習館	高麗2-14-20	0463-61-0676
	*各地区に児童館が2施設		
スポーツ	大磯運動公園(グ野)	国府本郷2126-1	0463-61-8822
	生沢プール(プ)	生沢475-1	町役場 0463-61-4100 (代)
	武道館(柔剣)	大磯1075-1	
	照ヶ崎プール(プ)	大磯1398	
	公園	東町球技場(グ)	東町3-2-5
高麗山県民の森		高麗山	0463-81-1520
県立大磯城山公園		国府本郷	0463-61-0355

足柄上地区 南足柄市

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	共学館	関本407	0465-74-8111
	文化会館	関本415-1	0465-73-5111
	女性センター	関本591-1	0465-73-8211
	中部公民館	生駒330-1	0465-73-8136
	福沢公民館	千津島941	0465-72-1820
	岡本公民館	塚原2832	0465-74-1971
スポーツ	総合グラウンド(野グ)	関本360	0465-72-1171
	どんぐりの家(キ)	広町1520	0465-74-0449
	丸太の森(キ)	広町1544	0465-74-4510
	パークゴルフ場	広町231	0465-71-0880
	こどもセンター(体)	広町519	0465-74-2060
	中央プール(プ)	広町530	0465-72-1171
	緑が丘プール(プ)	塚原4627-120	0465-72-1171
	運動公園(グ野)	怒田1734	0465-72-0006
	大口河川敷グラウンド(グ)	斑目1548-1	0465-72-1171
	体育センター(体)グ柔剣弓)	和田河原1030	0465-72-1171
	駒千代青少年広場(グ)	塚原2200	0465-73-8034
	南部地区青少年広場(グ)	三竹16	0465-73-8034
公園	足柄森林公園丸太の森	広町1544	0465-74-4510
	森と水の公園	三竹584	0465-73-8049
	範茂史跡公園	怒田125-1	0465-73-8049
	運動公園	怒田1734	0465-72-0006
	県立21世紀の森	内山1507	0465-72-0404
	足柄万葉公園	矢倉沢1943-1	0465-73-8053
	関本公園	関本249-1	0465-73-8049
宿泊	県立足柄ふれあいの村	広町1507	0465-72-2010
	どんぐりの家	広町1520	0465-74-0449
	丸太の森	広町1544	0465-74-4510

足柄上地区 中井町

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	井ノ口公民館	井ノ口1843-1	0465-81-3311
	境コミュニティセンター	境1293	0465-81-3907
	農村環境改善センター	比奈窪56	0465-81-3907
	*各地区に児童館が3施設		
スポーツ	総合グラウンド(グ)	半分形100	0465-81-3907
	中井中央公園(グ、パークゴルフ)	比奈窪580	0465-81-3893
	中井中央公園(野)	比奈窪580	0465-81-3894
	境グリーンテックパーク(グ)	境114	0465-81-3907
公園	蔵島湿生公園	井ノ口1310	0465-81-3901
	中井中央公園	比奈窪580	0465-81-3907

足柄上地区 大井町

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	中央公民館	金子1995	0465-83-5409
	ふれあい館	金子2833	0465-82-6046
	そうわ会館	山田502	0465-85-1601
	いこいの村あしがら	柳260	0465-82-2381
	*各地区に児童館が4施設		
スポーツ	総合体育館(体柔剣)	金子1970	0465-82-9799
	山田総合グラウンド(グ)	山田2000	0465-82-8570
	いこいの村あしがら(プグ)	柳260	0465-82-2381
宿泊	いこいの村あしがら(プグ)	柳260	0465-82-2381

足柄上地区 松田町

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	公民館	松田惣領2078	0465-83-7021
	町民文化センター	松田惣領2078	0465-83-7021
	湯の沢児童センター	寄121-5	0465-83-7021
	河内児童センター	神山71	0465-83-7021
	*児童館が2施設		
スポーツ	寄みやま運動広場(グ)	寄3111	0465-89-2960
	神山ふれあい広場(グ)	神山92	0465-83-7021
	酒匂川町民親水広場(グ野)	酒匂川河川敷	0465-83-7021
	体育館(体)	松田庶子1475	0465-83-6600
公園	西平畑公園	松田惣領2951	松田町
	宮下児童公園	松田惣領1646	建設課
	中丸児童公園	松田惣領915-2	0465-84-1332

足柄上地区 山北町

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	中央公民館	山北1301-4	0465-75-3131
	三保公民館	中川921-82	0465-78-3006
	*各地区に児童館が3施設		
スポーツ	町営プール(プ)	山北2041	
	山北体育館(体)	山北2593	0465-75-3649
	スポーツ広場(グ)	山北3139-1	0465-75-3649
	ひだまりの里(キ)	神縄438	0465-77-2777
	世附キャンプセンター(キ)	世附945-1	0465-78-3944
	河内川ふれあいビレッジ(キ)	湯触322-1	0465-77-2299
	玄倉テニスコート	玄倉491-1	0465-78-3077
	屋内プール(健康福祉センター内)	山北1971-2	0465-75-0822
公園	ぐみの木近隣公園	岸字ぐみの木地内	22
	西丹沢県民の森	玄倉	046-248-0323
	ダム広場公園	神尾田字田ノ入	23
宿泊	大六天バンガロー	中川字小塚898-1	0465-78-3247
	西丹沢コテージキャンプ場	中川881	0465-78-3559
	中川ロッジ	中川897-111	0465-78-3780
	奥篝沢山の家	中川825	0465-78-3410
	丹沢湖キャンプサイト	玄倉490-2	0465-78-3248
	棚沢山荘キャンプ場	山市場棚沢44-1	0465-77-2511
	大石キャンプ場	中川855-3	0465-78-3138
	笹子沢キャンプ場	中川328	0465-78-3427
	世附川ロッジ	世附874	0465-78-3636
	ウッディハウス玄倉	玄倉492-1	0465-78-3007
	丹沢湖ふれあいランド( 24)	玄倉499	-
	パウアーハウス	中川869	0465-78-3959
	丹沢湖ロッジ	玄倉514	0465-78-3780
	リバーサカワゴルフクラブ	谷ヶ字鳥屋1096-1	0465-77-2216
	西丹沢マウントブリッジキャンプ場	中川887-7	0465-78-3378
白石オートキャンプ場	中川870-3	0465-78-3017	
大滝キャンプ場	中川879-43	0465-78-3146	

足柄上地区 開成町

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	町民センター	延沢773	0465-82-5221
	福祉会館	吉田島1043-1	0465-83-7552
	南部コミュニティセンター	牛島396-1	0465-83-4198
	*各地区に児童館が2施設		
スポーツ	町民プール(プ)	延沢767	0465-82-5221
	水辺スポーツ公園(グ野)	吉田島2710	0465-83-1331
	金井島緑陰自由運動広場(グ)	金井島1322	0465-82-5221
公園	開成水辺スポーツ広場	吉田島2710	0465-83-1331

22 山北町都市整備課 0465-75-3647

23 美保ダム管理事務所 0465-78-3711

24 平成15年より休園中

西湘地区 小田原市

種別	名称	住所	問い合わせ先	
公民館	市民会館	本町1-5-12	0465-22-7146	
	中央公民館	荻窪300	0465-35-5300	
	公民館曾我分館	下大井75-1	0465-42-1636	
	国府津公民館	国府津2485-1	0465-48-2035	
	公民館片浦分館	根府川77-1	0465-29-0121	
	生きがいふれあいセンターいそしぎ	酒匂2-32-15	0465-49-2330	
	公民館豊川分館	成田477	0465-36-5222	
	公民館上府中分館	千代813	0465-42-1628	
	公民館橋分館	前川655	0465-43-0111	
	公民館下曾我分館	曾我原147	0465-42-0954	
	梅の里センター	曾我別所807-17	0465-42-5321	
	梅の里センター分館 曾我みのり館	曾我2984	0465-42-5320	
	川東タウンセンター マロニエ	中里273-6	0465-47-1515	
	城北タウンセンターいずみ	飯田岡382-2	0465-37-2111	
	公民館大窪分館	板橋179-5	0465-22-6417	
	* 地域子どもの家が17施設			
	スポーツ	いこいの森(グキ)	久野4294-1	0465-24-3785
塔ノ峰青少年の家(グキ)		久野4866-2	0465-22-6268	
高田運動広場(グ野)		高田401	0465-38-1144	
国府津海水プール(プ)		国府津3-17-1	0465-48-3399	
鴨宮運動広場(グ野)		酒匂967	0465-38-1144	
酒匂川スポーツ広場(野グ)		寿町5-22-29先	0465-35-3977	
城山陸上競技場(グ)		城山2-29-1	0465-22-3549	
城内弓道場(弓)		城内4-27	0465-24-3709	
県立西湘地区体育センター(体グ)		西酒匂1-1-26	0465-48-2650	
総合文化体育館・小田原アリーナ(体)		中曾根263	0465-38-1144	
小田原球場(野)		東大友113	0465-42-5511	
上府中公園(グ)		東大友113	0465-42-5511	
小田原スポーツ会館(体柔剣)		南町1-1-40	0465-23-2465	
御幸の浜プール(プ)		本町3-15-15地先	0465-38-1144	
小田原テニスガーデン		蓮正寺83-1	0465-37-4711	
寿町テニス場		東町5-402	0465-38-1144	
小峰庭球場		城山3-20-22	0465-38-1144	
城山庭球場		城山3-10-20	0465-22-9908	

公園	いこいの森	久野4294-1	0465-24-3785
	辻村植物公園	荻窪4381	0465-33-1583
	小田原こどもの森公園わんぱくランド	久野4377-1	0465-24-3189
	城山公園	城山3-30-1	0465-33-1583
	小田原城祉公園	城内6-1	0465-23-1373
	石垣山一夜城歴史公園	早川字梅ヶ窪地内	0465-33-1583
	上府中公園	東大友113	0465-42-5511
宿泊	いこいの森	久野4294-1	0465-24-3785
	尊徳記念館	栢山2056-1	0465-36-2381
	塔ノ峰青少年の家	久野4866-2	0465-22-6268

西湘地区 真鶴町

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	コミュニティ真鶴	真鶴504-1	0465-68-6455
	公民館	岩172-8	25
スポーツ	町立体育館(体)	真鶴1855-1	0465-68-1144
公園	真鶴町荒井城址公園	真鶴1789外	25
	県立真鶴半島自然公園	-	0460-4-9121

25 真鶴町役場 0465-68-1131(代)

西湘地区 湯河原町

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	中央区民会館	中央5-1572-77	0465-63-2437
	川掘会館	吉浜378-1	0465-63-3967
	文化福社会館	吉浜999	0465-62-8446
	宮下会館	宮下626-1	0465-63-3982
	宮上会館	宮上229-12	0465-62-2658
	城掘会館	城掘87-1	0465-63-3525
	鍛冶屋会館	鍛冶屋379	0465-62-3678
	門川会館	土肥2-19-24	0465-63-4750
	福浦会館	福浦115	0465-63-5277
	*各地区に児童館が1施設		
スポーツ	総合運動公園(グ)	吉浜1987-8	0465-62-6099
	ヘルシープラザ(体)	吉浜863	0465-62-1333
	湯河原海浜公園(プ)	門川11	0465-63-0480
公園	万葉公園	宮上704	0465-62-3761
	幕山公園	鍛冶屋951-1	0465-63-1977
	湯河原海浜公園	門川11	0465-63-0480
	県立奥湯河原自然公園	-	0460-4-9121

西湘地区 箱根町

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	温泉公民館	宮ノ下105	0460-2-2742
	宮城野公民館	宮城野625	0460-7-6355
	元箱根公民館	元箱根63	0460-3-6641
	社会教育センター	小涌谷520	0460-2-2694
	仙石原公民館	仙石原842	0460-4-8387
スポーツ	芦ノ湖キャンプ村(キ)	元箱根 164	0460-4-8279
	弓道場(弓)	二ノ平1154	0460-6-3300
	レイクアリーナ箱根・総合体育館(体)	元箱根164	0460-6-3300
	レイクアリーナ箱根・運動広場(運)	元箱根164	0460-6-3300
	総合保健福祉センター・温水プール(プ)	宮城野881-1	0460-5-0800
	宮城野テニスコート(テ)	木賀1307	0460-2-2220
	仙石原テニスコート(テ)	仙石原1246	0460-4-8884
	強羅公園	強羅1300	0460-2-2825
公園	県立恩賜公園	箱根	0460-3-6205
	箱根の森	元箱根	町役場 0460-5-7111 (代)
	蓬菜園	小涌谷	
	金時公園	仙石原	
	早雲公園	湯本	
	箱根やすらぎの森	箱根	
	弁天清流公園	畑宿	

**津久井地区 津久井町**

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	串川地域センター	青山1012	042-784-2604
	西青山会館	青山3184-1	042-780-5133
	小網地域センター	太井252-1	042-784-4947
	串川ひがし会館	根小屋1619-1	042-784-8264
	三井会館	三井394-1	042-784-4936
	生涯学習センター	三ヶ木414	042-784-2400
	青根公民館	青根1372	042-787-2634
	青根コミュニティセンター	青根1926	042-787-0087
	文化福祉会館・中央公民館	中野633	042-784-3211
	鳥屋地域センター	鳥屋1064	042-785-0049
スポーツ	生涯学習センター(体)	三ヶ木414	042-784-2400
	青根公民館(体)	青根1372	042-787-2634
	青野原総合運動場(野グ)	青野原2118	042-787-1385
	串川社会体育館(体)	長竹1507	042-784-8328
	串川総合運動公園(グ野)	長竹850-1	042-784-4949
	鳥屋地域センター(体)	鳥屋1064	042-785-0049
	総合運動公園(野グ)	又野829	042-784-4756
国体記念鳥屋スポーツ公園(野グ)	鳥屋2305-8	042-785-1501	

**津久井地区 藤野町**

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	農村環境改善センター	牧野4232	0426-98-2685
	県立藤野芸術の家	牧野4819	0426-89-3030
	中央公民館	小淵1992	26
	沢井公民館	沢井936	0426-87-3323
	牧野公民館	牧野4332	0426-87-2121
	*各地区に児童館が1施設		
スポーツ	県立藤野芸術の家(グキ)	牧野4819	0426-89-3030
	吉野イベントパーク(グ)	吉野1010-1	0426-87-4782
	佐野川青少年広場(野)	佐野川2903	0426-87-5515
	日連運動場(野グ)	日連1426-1	0426-87-4782
	スポーツ広場(野グ)	名倉1000	0426-87-4782
宿泊	県立藤野芸術の家	牧野4819	0426-89-3030

**津久井地区 城山町**

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	公民館	久保沢1-3-1	町役場 042-782-1111 (代)
スポーツ	中沢スポーツ広場(野)	中沢239	
	原宿公園多目的広場(グ)	原宿南1-17	
	公民館体育室(体柔剣)	久保沢1-3-1	
	横山スポーツ広場(野)	川尻1930-1	
	町民の森野球場(野)	川尻5841-1	
	小倉スポーツ広場(プ)	小倉1	
公園	県立津久井湖城山公園	城山、津久井町大井地内	042-782-1122 27

**津久井地区 相模湖町**

種別	名称	住所	問い合わせ先
公民館	県立相模湖交流センター	与瀬259-1	0426-82-6121
	相模湖フレッシュ交流センター	若柳1203-2	0426-85-1033
	千木良公民館	千木良992	0426-84-4349
	桂北公民館	与瀬1134	0426-84-2377
スポーツ	小原プール(プ)	小原697	0426-84-2377
	町立小原広場(グ)	小原816-1	0426-84-2377
	内郷町民グラウンド(グ)	寸沢嵐823	0426-84-2377
	県立相模湖漕艇場	与瀬340	0426-84-2339
	与瀬町民グラウンド(グ)	与瀬884	0426-84-2377
	武道場(柔剣)	与瀬956	0426-84-2377
	林間総合公園(野)	若柳1203-2	0426-84-2377
公園	相模湖ピクニックランド	若柳1634	0426-85-1111
	林間総合公園	若柳1203-2	0426-85-1330
	県立相模湖公園	与瀬地内	042-784-1111
	相模湖自然公園ふるさとの森	-	0426-85-0937

26 藤野町役場 0426-87-2111(代)  
27 城山町役場 042-784-1111(代)

## 活動に利用できる助成金情報

NPO・市民活動のために助成金を出している民間の団体があります。青少年活動に関係のある分野についての助成団体を紹介します。

分野や事業形態によって、応募制限がありますので、詳細については各団体に問い合わせてください。またこの情報は平成17年11月現在のものです。最新情報は各団体のホームページ等で御確認ください。

この情報は、(財)助成財団センター(<http://www.jfc.or.jp/main.html>)および(特)神奈川子ども未来ファンド(<http://www.kodomofund.com/program/index.html>)のホームページより、掲載させていただきました。他にも該当する団体があると思いますので、調べてみてください。

団体名	電話番号	内容 / 対象	募集時期	助成期間	助成金(最大)
カメイ社会教育 振興財団	022-264-6543	青少年を対象とする団体が行う青少年の健全育成のための社会教育活動	2月2日～ 4月16日	1年間	1,000千円
国土緑化 推進機構	03-3262-8451	「国民参加の森林づくり」運動の推進を図るため、山村地域の活性化・青少年教育の場としての森林活用の促進・森林ボランティア活動への支援する事業	5月1日～ 6月15日	9月1日から 1年間	-
児童健全育成 推進財団	03-3486-5141	児童・青少年の健全育成に関する活動の具体的実践報告	8月下旬～ 11月末日	年1回	300千円
ソロプチミスト 日本財団	075-341-8825	地域社会のニーズに適合した地域密着型のボランティア活動を地道に行い、貢献している人	2月～6月	-	200千円
日本郵政公社	03-3504-4401	青少年の健全な育成のための社会教育を行う事業	10月1日～ 11月30日	5月～3月	10,000千円
Panasonic サポーターズ マッチング基金	06-6906-1528	社会の変動や多様化する青少年のニーズに応えるため、青少年の健全育成に有効な事業の質的な向上を目指すもの	7月～	翌年1月～ 12月	1,500千円
プルデンシャル 生命保険 株式会社	03-5501-5364	12歳から18歳までの青少年を対象としたボランティア支援制度	5月～ 9月15日	-	-
ニッセイ財団	06-6204-4011	子どもたち自身が主人公となり、地域の人々の協力のもとに、自然体験活動・生活体験活動、仲間づくりや文化の伝承活動等「元気っこ活動」や「地域の子育て活動」を定期的・日常的に継続して実践している民間の団体・グループに対して、その活動に常時・直接必要な物品を助成	10月～ 12月初	決定後8 月末までに 物品購入が完了 すること	1,000千円
神奈川子ども 未来ファンド	045-212-5825	神奈川県内に拠点を置き、主に県内で活動する、子ども・若者や子育てに関わるNPO(民間非営利団体)で、子どものいのちと多様な価値観を育むことを支援する団体、暴力を問題解決の手段としない等、子どもの権利を重視する団体 法人格の有無は問いません。 詳細は、問い合わせてください。	1月初旬 ～2月初旬	4月1日～ 翌年の3 月31日 (最長3年 までの継続 助成あり)	500千円

# 青少年主管課一覽表

	市区町村青少年主管課名	電話番号
横浜市	横浜市市民局共同参画社会推進部青少年課	045-671-2297
	横浜市鶴見区地域振興課生涯学習支援係	045-510-1691 ~ 1693
	横浜市神奈川区地域振興課	045-411-7094
	横浜市西区地域振興課生涯学習支援係	045-320-8390 ~ 8393
	横浜市中区地域振興課生涯学習支援係	045-224-8135 ~ 8137
	横浜市南区地域振興課生涯学習支援係	045-743-8197
	横浜市港南区地域振興課	045-847-8393 ~ 8395
	横浜市保土ヶ谷区地域振興課生涯学習支援係	045-334-6307・6308
	横浜市旭区地域振興課生涯学習支援係	045-954-6095
	横浜市磯子区地域振興課生涯学習支援係	045-750-2395
	横浜市金沢区地域振興課生涯学習支援係	045-788-7804 ~ 7807
	横浜市港北区地域振興課生涯学習支援係	045-540-2238 ~ 2241
	横浜市緑区地域振興課生涯学習支援係	045-930-2235・2236
	横浜市青葉区地域振興課文化・コミュニティ係	045-978-2295
	横浜市都筑区地域振興課区民活動係	045-948-2234 ~ 2236
	横浜市戸塚区地域振興課生涯学習支援担当	045-866-8413・8416
	横浜市栄区地域振興課生涯学習支援係	045-894-8395
	横浜市泉区地域振興課地域活動支援係	045-800-2391
横浜市瀬谷区地域振興課次世代支援育成係	045-367-5694 ~ 5696	
川崎市	川崎市市民局地域生活部青少年育成課	044-200-2111
	川崎市地域振興課(青少年指導員連絡協議会事務局)	044-201-3113
	幸区地域振興課(青少年指導員連絡協議会事務局)	044-556-6666
	中原区地域振興課(青少年指導員連絡協議会事務局)	044-744-3113
	高津区地域振興課(青少年指導員連絡協議会事務局)	044-861-3113
	宮前区地域振興課(青少年指導員連絡協議会事務局)	044-856-3113
	多摩区地域振興課(青少年指導員連絡協議会事務局)	044-935-3113
	麻生区地域振興課(青少年指導員会事務局)	044-965-5100
三浦地区 横須賀	横須賀市こども育成部青少年課	046-822-8223
	鎌倉市教育委員会生涯学習部青少年課	0467-23-3000
	逗子市教育委員会教育部生涯学習課	046-873-1111(内線518)
	三浦市教育委員会社会教育課青少年教育係	046-882-2765
	葉山町教育委員会生涯学習課	046-876-1111
県央地区	相模原市教育委員会生涯学習部青少年課	042-769-8289
	厚木市市民協働部青少年課	046-225-2580
	大和市教育委員会生涯学習部青少年センター	046-260-5224
	海老名市教育委員会生涯学習部青少年課	046-231-9787
	座間市教育委員会教育部青少年課	046-253-8415
	綾瀬市教育委員会生涯学習部青少年課	0467-70-5655
	愛川町教育委員会生涯学習課	046-285-2111
	清川村教育委員会事務局社会教育係	046-288-1215
湘南地区	平塚市市民部青少年課	0463-32-7029
	藤沢市教育委員会生涯学習部青少年課	0466-50-3562
	茅ヶ崎市教育委員会生涯学習部青少年課	0467-82-1111
	秦野市教育委員会生涯学習部青少年課	0463-81-7011
	伊勢原市教育委員会青少年課	0463-94-7171
	寒川町教育委員会生涯学習課青少年担当	0467-74-1111
	大磯町教育委員会生涯学習課	0463-61-4100
二宮町教育委員会生涯学習課	0463-72-6912	
地区 足柄上	南足柄市教育委員会教育部教育総務課	0465-73-8034
	中井町教育委員会生涯学習課	0465-81-3907
	大井町教育委員会生涯学習課	0465-85-5016
	松田町教育委員会生涯学習課社会教育班	0465-83-7021
	山北町教育委員会生涯学習課	0465-75-3649
	開成町教育委員会生涯学習課	0465-82-5221
地区 西湘	小田原市教育委員会生涯学習部青少年課	0465-33-1731
	箱根町教育委員会生涯学習課	0460- 5-7601
	真鶴町教育委員会生涯学習課	0465-68-1131
	湯河原町教育委員会社会教育課	0465-63-2111
地区 津久井	城山町教育委員会教育部生涯学習課	042-782-1111
	津久井町教育委員会生涯学習課	042-784-3211
	相模湖町教育委員会生涯学習課	0426-84-2377
	藤野町教育委員会社会教育課	0426-87-2111

## 編集後記

神奈川県青少年指導者養成協議会では、平成 17 年 3 月に「子どもと大人の参画関係 ～ 子ども・若者が主体的に参画するための活動事例集～」を発行しました。この冊子では、各地域で子ども・若者が主体的に参画している活動事例を集めて掲載しました。特に子ども・若者の活動を支援する大人がどのように関わるのかに焦点を当てています。

今年度は、元気な地域社会で子ども・若者は健やかに育つという考え方を基本としています。「なぜ若者の参画なのか」では、以下のことについて、提言しています。地域の住民間の関係性が薄れてしまっている現在、本来の地域社会と言えなくなってしまうところが多くなっています。そこで地域に住んでいる若者が、若者の特性を生かして子ども活動に主体的に取り組み、子ども・若者が望んでいることを実現してほしいと考えました。その際に大人の力が必要になれば、大人を巻き込むことで、地域住民に共通の話題(あるいは課題)を提供することができます。そして皆で知恵を絞り、汗をかいて活動することで地域住民の関係性を深め、地域社会の活性化にもつなげていくことを考えています。

「若者に使ってほしいプログラム集」では、地域の若者が取り組んでほしい活動プログラムを研究し提言しました。多くの若者が各地域で取り組んでいただきたいと考えています。また地域の大人も若者の活動の意義を理解して、支援をしていただきたいと思えます。

「若者が主体的に参画している活動事例」では、いくつかの団体を訪問し取材させていただいた後に、代表の方に活動内容について執筆していただきました。また専門部会の委員の若者にも、自分が関わっている活動について、執筆してもらいました。お忙しいところありがとうございました。

「調査結果のまとめ」では、平成 17 年 7 月末に、各市区町村青少年主管課及び青少年関係機関・団体に対して、「平成17年度神奈川県青少年指導者養成協議会専門部会に係る調査 青少年団体、ジュニアリーダー等について」という調査依頼をして、御回答をいただいたものについてまとめてあります。御協力ありがとうございました。これらの調査結果では、やはり地域で活動しているジュニアリーダーの団体がほとんどでした。調査結果を見るといろいろな課題を抱えながら活動していることがわかります。今後活発な活動を展開していくために、この活動プログラム集をぜひ利用していただきたいと思えます。

「資料」では、若者が活動に利用できる施設情報を掲載し、また施設を実際に利用するにあたって必要な留意点をまとめてありますので、お読みいただければお役に立つと思えます。

この活動プログラム集を利用して、多くの地域で活動が立ち上がり、元気な地域社会に変わっていくことを期待しています。

平成 18 年 3 月

神奈川県青少年指導者養成協議会 事務局

平成 17 年度神奈川県青少年指導者養成協議会 専門部会委員

< 委 員 >

相模原市生涯学習部青少年課	主 任	高野 靖彦
厚木市市民協働部青少年課	主 査	櫻井 亘
渋谷ファンイン ユースワーカー		岩間 文孝
神奈川県ジュニアリーダー大会実行委員長		増井 保幸
横浜国立大学教育人間科学部心理発達コース		仲里 歌織
県立清川青少年の家	副主幹	中川 賢彦

< 事務局 >

県立青少年センター

青少年支援部長兼指導者育成課長	横田 直
副主幹	川手 隆生
副主幹	日吉 教之

(この冊子は上記委員に検討していただいて作成しました。)

編 集 神奈川県青少年指導者養成協議会

発 行 平成 18 年 3 月

神奈川県立青少年センター

〒 220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘 9-1

電話 045-263-4466

F A X 045-242-8190



M

M

M